

南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 8 年 5 月		工事概要	建築工事 公衆トイレ新築 1棟 ・構造：木造 平屋建て ・延床面積 A=33.33㎡ 既存トイレ撤去 1棟 ・構造：CB造 平屋建て ・延床面積 A=9.92㎡ 既存付属物等撤去を含む	
契約番号	2026000473				
路線名	雲雀ヶ原祭場内南側公衆トイレ				
工事等名	雲雀ヶ原祭場内南側公衆トイレ建替工事				
工事等場所	南相馬市 原町区牛来字出口 地内				
総工事費	当初請負		仕様概要	福島県建築・設備工事共通仕様書に準じて入念に施工のこと。	
	当初設計			請負者は、工所用資材において規格、品質が条件を	
	変更請負			満足するものについては、県内産品を優先使用すること。	
	変更設計			詳細は監督員の指示による事。	
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消 費 税 相 当 額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

工 事 費 内 訳 書

契約番号()		
雲雀ヶ原祭場地内南側公衆トイレ建替工事		
種 別	金 額 (円)	備 考
建築工事		
電気設備工事		
機械設備工事		
直接工事費		
諸経費		
工事費計(税抜き)		

※諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で()の中に金額を記入すること。

住 所

業者名

代表者名



最低制限価格の設定(算定)について

雲雀ヶ原祭場地内南側公衆トイレ建替工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。

※該当工事には のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用＝最低制限価格(P)

■ 最低制限価格(P)の設定範囲： 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%＋消費税額

※ 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

算定式

一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

※建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

舗装工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

水道工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

暖冷房衛生設備工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費68%

電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋機器間接費)×90%＋一般管理費(製作分＋据付分)×68%

機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋据付間接費＋設計技術費)×90%＋一般管理費×68%

※直接製作費:製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

※直接工事費:据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

工事箇所位置図

雲雀ヶ原祭場地内公衆トイレ



太平洋

凡 例	

南側トイレ改築工事				
名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
空気調和設備	1	式		001
換気設備	1	式		002
衛生器具設備	1	式		005
屋内給水設備	1	式		WP
屋内排水設備	1	式		WP
給湯設備	1	式		008
屋外給水設備	1	式		WP
屋外排水設備	1	式		WP
撤去工事	1	式		014
発生材処理	1	式		015
計				

南側トイレ新設					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		001
計					
土工		1	式		001
計					
地業	地業	1	式		001
地業	柱状改良	1	式		002
計					
鉄筋	躯体	1	式		001
計					
コンクリート	躯体	1	式		001
計					
型枠	躯体	1	式		001
型枠	外部仕上	1	式		002
型枠	内部仕上	1	式		003
計					

南側トイレ新設					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
防水	外部	1	式		001
防水	内部	1	式		002
計					
タイル	外部	1	式		001
計					
木	木造	1	式		001
木	外部	1	式		002
木	内部	1	式		003
計					
屋根及びびとい	屋根	1	式		001
屋根及びびとい	外壁	1	式		002
計					
金属	外部	1	式		001
金属	内部	1	式		002
計					

南側トイレ解体					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		001
計					
解体		1	式		WP
計					
発生材	積込	1	式		WP
発生材	運搬	1	式		001
発生材	処分	1	式		002
計					

南側トイレ改築工事（新築・解体）					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電灯設備	電灯幹線	1	式		001
電灯設備	電灯分岐	1	式		002
電灯設備	コンセント分岐	1	式		003
計					
情報表示設備	トイレ呼出表示	1	式		WP
計					
構内配電線路	電力引込み	1	式		001
計					
撤去工事		1	式		WP
計					
発生材処理		1	式		WP
計					

機械設備工事 中科目別内訳

南側トイレ改築工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
空調和設備		1	式		WP
計					
換気設備		1	式		WP
計					
衛生器具設備		1	式		WP
計					
屋内給水設備		1	式		WP
計					
屋内排水設備		1	式		WP
計					
給湯設備		1	式		WP
計					
屋外給水設備		1	式		WP
計					
屋外排水設備		1	式		WP

機械設備工事 中科目別内訳

南側トイレ改築工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
撤去工事	換気設備	1	式		WP
撤去工事	衛生器具設備	1	式		WP
撤去工事	屋内給水設備	1	式		WP
撤去工事	屋内排水設備	1	式		WP
撤去工事	屋外給水設備	1	式		WP
撤去工事	屋外排水設備	1	式		WP
計					
発生材処理	発生材処分	1	式		WP
発生材処理	有価物処分	1	式		WP
計					

南側トイレ新設		木			木造		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
(構造材)						(コメント)	
土台	桧KD材 無等級 120×120×3000	3	本			木造 25	
土台	桧KD材 無等級 120×120×4000	7	本			木造 26	
柱	杉KD材 E70 105×105×3000	38	本			木造 27	
通し柱	杉KD材 E70 105×105×3000	2	本			木造 28	
小屋束	杉KD材 E70 105×105×3000	6	本			木造 29	
梁	杉KD材 E70 105×120×3000	3	本			木造 30	
梁	杉KD材 E70 105×120×4000	16	本			木造 31	
梁	杉KD材 E70 105×210×3000	3	本			木造 32	
登り梁	杉KD材 E70 105×210×4000	4	本			木造 33	
母屋	杉KD材 E70 105×105×3000	14	本			木造 34	
垂木	杉KD材 無等級 45×90×3000	42	本			木造 35	
筋交い	杉KD材 無等級 45×90×3000	11	本			木造 36	
間柱	杉KD材 無等級 36×105×3000	70	本			木造 37	
内部天井 構造用合板	針葉樹 特類2級C-D 24×910×1820	24	枚			木造 38	

南側トイレ新設		木			木造		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
野地板 構造用合板	針葉樹 特類2級C-D 12×910×1820	42	枚			木造 39	
破風・鼻隠し	杉KD材 無等級 24×150×4000	10	枚			木造 40	
(接合金物)						(コメント)	
接合金物類	Zマーク他	33.3	m ²			木造 41	
土台用アカボット	Zマーク M12 L400 角座金共	37	本			木造 42	
基礎パッキン	KP-L120 キワパッキンロング t=20	25.2	m			木造 43	
(工場加工費)						(コメント)	
工場加工費	接合部仕口加工	33.3	m ²			木造 44	
(運搬費)						(コメント)	
運搬費	10tトラック 工場～現場	1	台			木造 45	
(現場施工費)						(コメント)	
現場施工費	建て方 垂木・野地合板・レッカー含む	61.1	m ²			木造 46	
計							

南側トイレ新設		屋根及びとい			屋根		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
塗装GLめっき鋼板横葺き	t0.35 KMEW:スマートメタル同等品	62.3	m ²			屋根 14	
改質アスファルトルーフィング	t1.0	62.3	m ²			屋根 15	
水上雨押え		12.3	m			屋根 16	
水下唐草		12.3	m			屋根 17	
ケバ雨押え		10.2	m			屋根 18	
破風	屋根同材t0.35 現場曲げ加工 糸尺200程度	22.4	m			屋根 19	
鼻隠し	屋根同材t0.35 現場曲げ加工 糸尺200程度	12.3	m			屋根 20	
雪止め	アクリル樹脂焼付塗装 200×60 後付け KMEW:K雪止め金具同等品 SUS304下地共	11.8	m			屋根 21	
軒換気金物	鋼板製 城東テクノ:軒天換気材(軒先タイプ)同等品	33.6	m			屋根 22	
軒樋	硬質塩化ビニル樹脂製 W110 スパル芯 KMEW:KAKU RK85同等品 落葉除けネット共	12.4	m			屋根 23	
落し口	60×60	2	か所			屋根 24	
堅樋	高耐候性特殊樹脂製 60×60 KMEW:S30同等品	7	m			屋根 25	
堅樋エロボ		4	か所			屋根 26	
計							

南側トイレ新設		屋根及びとい			外壁		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
外壁平型スレート	t5.2 千鳥張り KMEW:グアラッシュンブル同等品	69.8	m ²			外壁 10	
透湿防水シート		69.8	m ²			外壁 11	
非透湿防水紙		69.8	m ²			外壁 12	
外壁出隅	スマート出隅	10.5	m			外壁 13	
外壁上部水切		28	m			外壁 14	
開口上部納め見切		3	m			外壁 15	
開口下部納め見切		1.4	m			外壁 16	
開口縦納め見切		15.3	m			外壁 17	
外壁土台水切		26.3	m			外壁 18	
計							

南側トイレ改築工事（新築・解体）		電灯設備		電灯幹線		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
厚鋼電線管 (G)	露出配管(塗装有) 28mm	3	m			E0-131111 260501A-2 市加
波付硬質合成樹脂管 (FEP)	(30)	6	m			E0-431151 260501A-2 標準
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	5.5mm2	3	m			E0-132511 260501A-2 市場
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) (PF管内)	5.5mm2	6	m			E0-132521 260501A-2 補市
EM-CEケーブル	8mm2- 3C 管内	3	m			E0-432631 260501A-2 標準
EM-CEケーブル	8mm2- 3C FEP内 (PF・CD)	6	m			E0-432631 260501A-2 標準
埋設標識シート	2倍長 (W) 150	4	m			E0-433372 260501A-2 標準
根切り (人力)		1.4	m ³			E0-436311 260501A-2 標準
埋戻し	人力 根切り土	1.4	m ³			E0-436321 260501A-2 標準
建設発生土処理	人力 構内敷ならし	1.4	m ³			E0-436331 260501A-2 標準
計						

南側トイレ改築工事（新築・解体）		電灯設備		電灯分岐		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
厚鋼電線管 (G)	露出配管(塗装有) 16mm	5	m			E0-131111 260501A-2 市加
ねじなし電線管 (E)	露出配管(塗装有) 19mm	55	m			E0-131113 260501A-2 市加
ねじなし電線管 (E)	露出配管(塗装有) 25mm	10	m			E0-131113 260501A-2 市加
ねじなし電線管 (E)	露出配管(塗装有) 31mm	16	m			E0-131113 260501A-2 市加
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	2.0mm	352	m			E0-132511 260501A-2 市場
電灯端子盤	LT-2	1	面			代価表 0049
照明器具	A1	5	台			代価表 0050
照明器具	B1	5	台			代価表 0051
照明器具	B2	1	台			代価表 0052
照明器具	C1	4	台			代価表 0053
照明器具	D1	1	台			代価表 0054
熱線センサー自動スイッチ	親機 明るさセンサー付	2	個			代価表 0055
熱線センサー自動スイッチ	親機 換気扇連動用	1	個			代価表 0056
熱線センサー自動スイッチ	子機	2	個			代価表 0057
熱線センサー自動スイッチ	子機 換気扇接続端子付	2	個			代価表 0058

南側トイレ改築工事（新築・解体）		電灯設備		電灯分岐		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
同上用操作スイッチ	2回路用	3	個			代価表 0059
同上用露出取付カバー		7	個			代価表 0060
自動点滅器	点灯照度調整付	1	個			代価表 0061
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×1 125V	3	個			E0-531192 260501A-2 標準
露出スイッチボックス (塗装共)	19(E19, 16) 1個用1方出	3	個			E0-431334 260501A-2 参考
露出スイッチボックス (塗装共)	25(E25, 22) 1個用1方出	3	個			E0-431334 260501A-2 参考
丸形露出ボックス (塗装共)	19(E19, 16) 1方出	2	個			E0-431332 260501A-2 参考
丸形露出ボックス (塗装共)	19(E19, 16) 2方出	3	個			E0-431332 260501A-2 参考
丸形露出ボックス (塗装共)	25(E25, 22) 4方出	1	個			E0-431332 260501A-2 参考
丸形露出ボックス (塗装共)	31(E31, 28) 2方出	5	個			E0-431332 260501A-2 参考
丸形露出ボックス (塗装共)	31(E31, 28) 3方出	1	個			E0-431332 260501A-2 参考
丸形露出ボックス (塗装共)	31(E31, 28) 4方出	2	個			E0-431332 260501A-2 参考
計						

南側トイレ改築工事（新築・解体）		電灯設備		コンセント分岐		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
厚鋼電線管 (G)	露出配管(塗装有) 36mm	3	m			E0-131111 260501A-2 市加
ねじなし電線管 (E)	露出配管(塗装有) 19mm	3	m			E0-131113 260501A-2 市加
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠べい・埋込配管 16mm	21	m			E0-131133 260501A-2 市場
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠べい・埋込配管 22mm	2	m			E0-131133 260501A-2 市場
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠べい・埋込配管 28mm	11	m			E0-131133 260501A-2 市場
600V耐燃性ポリエチレン 絶縁電線(EM-IE)	2.0mm	59	m			E0-132511 260501A-2 市場
600V耐燃性ポリエチレン 絶縁電線(EM-IE) (PF管内)	2.0mm	219	m			E0-132521 260501A-2 補市
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル扁平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ビット・天井	1	m			E0-132621 260501A-2 市場
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×1 (接地極 接地端子付 一体形) 125V	7	個			E0-531192 260501A-2 標準
コンセント (金属プレート付)	連用形2P15A×2 (接地極×2 接地端子×1付 一体形) 125V	7	個			E0-531192 260501A-2 標準
合成樹脂製 7穴ボックス(カバー 付)	中四角 浅型 D44	15	個			E0-131371 260501A-2 市場
丸形露出ボックス (塗装共)	19(E19, 16) 2方出	1	個			E0-431332 260501A-2 参考
ボックス形 屋外(溶融亜鉛め つき)	0.5㎡以上1.0㎡未満/個	0.54	㎡			E0-131221 260501A-2 市場
計						

南側トイレ改築工事 (新築・解体)		構内配電線路		電力引込み		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
厚鋼電線管 (G)	露出配管(塗装有) 28mm	8	m			E0-131111 260501A-2 市加
硬質ビニル電線管 (VE)	(16) 地中	4	m			E0-431131 260501A-2 標準
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)	5.5mm2	4	m			E0-132511 260501A-2 市場
EM-CEケーブル	8mm2- 3C 管内	8	m			E0-432631 260501A-2 標準
埋設標識シト	2倍長 (W) 150	2	m			E0-433372 260501A-2 標準
根切り (人力)		0.7	m3			E0-436311 260501A-2 標準
埋戻し	人力 根切り土	0.7	m3			E0-436321 260501A-2 標準
建設発生土処理	人力 構内敷ならし	0.7	m3			E0-436331 260501A-2 標準
引込開閉器盤	L-M2	1	面			代価表 0048
コンクリート柱(建柱車)	10m- 19cm- 3.5kN	1	本			E0-433112 260501A-2 標準
支線材	亜鉛めっき鋼より線22mm2	1	か所			(見積り・刊行物等) 積算実務マニュアル P571
コンクリート根枷		1	か所			代価表 0073
エントランスキャップ	ZG28	1	個			代価表 0067
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	14φ × 1.5m	1	か所			E0-134132 260501A-2 市場
計						

南側トイレ改築工事 (新築・解体)		撤去工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ねじなし電線管 撤去	(E19) 再使用しない	12	m			E0-471113 260501A-2 標準
合成樹脂被覆鋼管 撤去	(PEG28) 再使用しない	3	m			E0-471111 260501A-2 ※標準
硬質ビニル電線管 撤去	(VE16, HIVE16) 再使用しない	4	m			E0-471131 260501A-2 標準
波付硬質合成樹脂管 (FEP) 撤去	(30)	9	m			代価表 0068
600V絶縁電線 撤去	2.0mm × 1本 再使用しない	30	m			E0-472512 260501A-2 標準
600V絶縁電線 撤去	5.5mm2 × 1本 再使用しない	4	m			E0-472512 260501A-2 標準
EM-CEケーブル 撤去	5.5mm2- 2C 管内	3	m			代価表 0069
EM-CEケーブル 撤去	5.5mm2- 2C 樹脂管内	9	m			代価表 0070
根切り (人力)		2.8	m3			E0-436311 260501A-2 標準
埋戻し	人力 根切り土	2.8	m3			E0-436321 260501A-2 標準
建設発生土処理	人力 構内敷ならし	2.8	m3			E0-436331 260501A-2 標準
引込開閉器盤撤去	屋外樹脂製 露出型	1	面			代価表 0074
電灯分電盤	屋外鋼板製 露出型	1	面			代価表 0075
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 20W × 1 再使用しない	1	個			E0-471170 260501A-2 標準
白熱灯器具 撤去	ブラケットライト 再使用しない	2	個			E0-471115 260501A-2 標準

機械設備工事 細目別内訳

南側トイレ改築工事		屋内給水設備					
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
給水・塩ビ ライン管 (SGP-VB)	ねじ接合 機械室・便所 20A	15	m			MO-631132 260501A-2 標準	
給水・塩ビ ライン管 (SGP-VD)	ねじ接合 機械室・便所 20A	25	m			MO-631133 260501A-2 協議	
配管系統 調整		41	m			MO-636111 260501A-2 標準	
シーリング工事費	屋内給水設備	1	式			別紙 00-0024	
保温工事	屋内給水設備	1	式			別紙 00-0025	
土工事	屋内給水設備	1	式			別紙 00-0026	
計							

機械設備工事 細目別内訳

南側トイレ改築工事		屋内排水設備					
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 50A	9	m			MO-631156 260501A-2 標準 污水管	
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 75A	9	m			MO-631156 260501A-2 標準 污水管	
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 100A	12	m			MO-631156 260501A-2 標準 污水管	
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 40A	7	m			MO-631156 260501A-2 標準 雑排水管	
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 50A	3	m			MO-631156 260501A-2 標準 雑排水管	
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 75A	12	m			MO-631156 260501A-2 標準 雑排水管	
通気・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 40A	1	m			MO-631157 260501A-2 標準	
通気・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 50A	8	m			MO-631157 260501A-2 標準	
配管系統 調整		60	m			MO-636111 260501A-2 標準	
シーリング工事費	屋内排水設備	1	式			別紙 00-0027	
床上掃除口 (非防水形)	COA 80A	2	個			MO-733132 260501A-2 標準	
床上掃除口 (非防水形)	COA 100A	1	個			MO-733132 260501A-2 標準	
床排水トラップ (非防水形)	T 5A 50A	3	個			MO-733122 260501A-2 標準	
排水通気金物	7/8製 露出型 50A	1	個			MO-742382 260501A-2 協議	
保温工事	屋内排水設備	1	式			別紙 00-0028	

南側トイレ新設		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
遣方		1	式			別紙 00-0010
遣方	小規模	33.3	m ²			B0-132511 260501A-2 標準
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0011
墨出し	小規模 -	33.3	m ²			B0-132514 260501A-2 標準
計						
養生		1	式			別紙 00-0012
養生	小規模 -	33.3	m ²			B0-132515 260501A-2 標準
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0013
整理清掃後片付け	小規模 -	33.3	m ²			B0-132531 260501A-2 標準
計						

南側トイレ新設		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部足場		1	式			別紙 00-0014
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 3か月 修理費含む 12m未満	123	m ²			代価表 0001
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 3か月 修理費含む	36.1	m			代価表 0002
計						
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0015
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 平家用	33.3	m ²			B0-131526 260501A-2 標準
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0016
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I類 3か月 修理費含む	123	m ²			代価表 0003
小幅ネット張り (層間塞ぎ)	防災ポリエステル 3か月 修理費含む	36.1	m			代価表 0004
計						

南側トイレ新設		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0017
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	123	m ²			B0-131691 260501A-2 標準
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	36.1	m			B0-131671 260501A-2 標準
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	33.3	m ²			B0-131694 260501A-2 標準
仮設材運搬 (シート・ネット類)		123	m ²			B0-131688 260501A-2 標準
仮設材運搬 (小幅ネット)		36.1	m			B0-131689 260501A-2 標準
計						

南側トイレ解体		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部足場		1	式			別紙 00-0021
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 1か月 修理費含む	124	m ²			代価表 0027
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 1か月 修理費含む	29.2	m			代価表 0028
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0022
養生シート張り	防炎性能 JIS A 8952 I類 1か月	124	m ²			代価表 0029
計						
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0023
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	124	m ²			B0-131691 260501A-2 標準
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	29.2	m			B0-131671 260501A-2 標準
仮設材運搬 (シート・ネット類)		124	m ²			B0-131688 260501A-2 標準
計						

機械設備工事 別紙明細

92

南側トイレ改築工事		屋内給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
シープ工事費	屋内給水設備	1	式			別紙 00-0024
配管工事費(給水・南)		7	%			スリーブ費等1 - 001
計						
保温工事	屋内給水設備	1	式			別紙 00-0025
給水管 保温	標仕保温材 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスクロス 20A	15	m			MO-432111 260501A-2 市加
計						
土工事	屋内給水設備	1	式			別紙 00-0026
根切り(人力)		4.25	m ³			MO-638611 260501A-2 標準
埋戻し	人力 根切り土	4.25	m ³			MO-638621 260501A-2 標準
計						

機械設備工事 別紙明細

93

南側トイレ改築工事		屋内排水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
シープ工事費	屋内排水設備	1	式			別紙 00-0027
配管工事費(排水・南)		7	%			スリーブ費等1 - 002
計						
保温工事	屋内排水設備	1	式			別紙 00-0028
排水管 保温	標仕保温材 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスクロス 40A	2	m			MO-432121 260501A-2 市加
計						
塗装工事	屋内排水設備	1	式			別紙 00-0029
配管用 炭素鋼管(黒管) (VA,PA)塗装 計	露出 50A	3	m			MO-633112 260501A-2 標準

機械設備工事 別紙明細

南側トイレ改築工事		発生材処理		発生材処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込み	陶器屑、ビニル屑	1	式			別紙 00-0040
発生材積込み	陶器屑類 人力	0.12	m3			B0-389511 260501A-2 ※標準
発生材積込み	ビニル屑類 人力	0.2	m3			B0-389511 260501A-2 ※標準
計						
発生材運搬	陶器屑、ビニル屑	1	式			別紙 00-0041
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 陶器屑類 DID区間無し 11.0km以下	0.12	m3			B0-281121 260501A-2 ※標準
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 ビニル屑類 DID区間無し 11.0km以下	0.2	m3			B0-281121 260501A-2 ※標準
計						
発生材処分	陶器屑、ビニル屑	1	式			別紙 00-0042
陶器屑		0.12	m3			(見積り・刊行物等) 産廃処分先比較表 斎藤運輸工業(株)
ビニル屑		0.2	m3			(見積り・刊行物等) 産廃処分先比較表 斎藤運輸工業(株)
計						

機械設備工事 別紙明細

南側トイレ改築工事		発生材処理		有価物処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積込み	鉄屑	1	式			別紙 00-0043
発生材積込み	鉄屑類 人力	0.01	m3			B0-389511 260501A-2 ※標準
計						
発生材運搬	鉄屑	1	式			別紙 00-0044
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 鉄屑類 DID区間無し 11.0km以下	0.01	m3			B0-281121 260501A-2 ※標準
計						
発生材処分	鉄屑	1	式			別紙 00-0045
鉄スクラップ	H2	0.01	t			(見積り・刊行物等) 建設物価_2026_3月_P795
計						

代価表一覧

共通仮設							
NO	名称	摘要	単位	数量	単価	金額	丸め備考
	仮囲い	仮囲鉄板 H=2.0m 5か月	m	1			有り 代価表 0040
	仮囲い	仮囲鉄板 H=2.0m 1か月	m	1			有り 代価表 0041
	キャスターゲート	W6000×H2000 3か月	か所	1			有り 代価表 0042
	キャスターゲート	W6000×H2000 6か月	か所	1			有り 代価表 0043
	キャスターゲート	W6000×H2000 1か月損料	か所	3			有り 代価表 0044
	キャスターゲート	W6000×H2000 5か月	か所	1			有り 代価表 0045
	キャスターゲート	W6000×H2000 1か月	か所	1			有り 代価表 0046
	交通誘導員B	25日×1か月	人	1			有り 代価表 0047

代価表一覧

その他							
NO	名称	摘要	単位	数量	単価	金額	丸め備考
	引込開閉器盤	L-M2	面	1			有り 代価表 0048
	電灯端子盤	LT-2	面	1			有り 代価表 0049
	照明器具	A1	台	1			有り 代価表 0050
	照明器具	B1	台	1			有り 代価表 0051
	照明器具	B2	台	1			有り 代価表 0052
	照明器具	C1	台	1			有り 代価表 0053
	照明器具	D1	台	1			有り 代価表 0054
	熱線センサー自動スイッチ	親機 明るさセンサー付	個	1			有り 代価表 0055
	熱線センサー自動スイッチ	親機 換気扇連動用	個	1			有り 代価表 0056
	熱線センサー自動スイッチ	子機	個	1			有り 代価表 0057
	熱線センサー自動スイッチ	子機 換気扇接続端子付	個	1			有り 代価表 0058
	同上用操作スイッチ	2回路用	個	1			有り 代価表 0059
	同上用露出取付カバー		個	1			有り 代価表 0060
	自動点滅器	点灯照度調整付	個	1			有り 代価表 0061
	呼出表示器	1窓 移報接点付 埋込型	台	1			有り 代価表 0062

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	単価	金額	丸め	備考
	呼出ボタン	引きひも付	個	1			有り	代価表 0063
	電源アダプター		個	1			有り	代価表 0064
	リレーボックス		個	1			有り	代価表 0065
	警報ランプ付プザ	屋外用 100V	個	1			有り	代価表 0066
	エントランスキャップ	ZG28	個	1			有り	代価表 0067
	波付硬質合成樹脂管 (FEP) 撤去	(30)	m	1			有り	代価表 0068
	EM-CEケーブル撤去	5.5mm2- 2C 管内	m	1			有り	代価表 0069
	EM-CEケーブル撤去	5.5mm2- 2C 樹脂管内	m	1			有り	代価表 0070
	熱線センサー自動スイッチ撤去	親機 壁取付型	個	1			有り	代価表 0071
	接地撤去	ED	か所	1			有り	代価表 0072
	コンクリート根枷		か所	1			有り	代価表 0073
	引込開閉器盤撤去	屋外樹脂製 露出型	面	1			有り	代価表 0074
	電灯分電盤	屋外鋼板製 露出型	面	1			有り	代価表 0075
	埋込スイッチ撤去	新金属P 1P15A×1	個	1			有り	代価表 0076
	埋込コンセント撤去	新金属P 2P15A×1	個	1			有り	代価表 0077

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	単価	金額	丸め	備考
	ウェザークーパー 据付 (FE-S-1)	20cm 用	組	1			有り	代価表 0078
	ウェザークーパー 据付 (FE-S-2)	20cm 用	組	1			有り	代価表 0079
	ウェザークーパー 据付 (FE-S-3)	20cm 用	組	1			有り	代価表 0080
	背もたれ 据付 (南側)		組	1			有り	代価表 0081
	コンパクトオストマトバック 据付 (南側)		組	1			有り	代価表 0082
	水抜栓 据付 (南側)	25A	個	1			有り	代価表 0083
	壁用換気扇 撤去 (南側)	100φ x 100m3/h	台	1			有り	代価表 0084
	ウェザークーパー 撤去 (南側)	300x300	組	1			有り	代価表 0085
	横水栓撤去 (南側)		個	1			有り	代価表 0086
	給水管撤去 塩化ビニル管 (VP) (南側)	便所 20A	m	1			有り	代価表 0087
	汚水管撤去 塩化ビニル管 (VP) (南側)	便所 50A	m	1			有り	代価表 0088
	汚水管撤去 塩化ビニル管 (VP) (南側)	便所 75A	m	1			有り	代価表 0089
	汚水管撤去 塩化ビニル管 (VP) (南側)	便所 100A	m	1			有り	代価表 0090
	雑排水管撤去 塩化ビニル管 (VP) (南側)	便所 50A	m	1			有り	代価表 0091
	床上掃除口 撤去 (南側)	COA-100A	個	1			有り	代価表 0092

直接仮設								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 3か月 修理費含む 12m未満	m ²	1				代価表 0001
01	枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 12m未満 -	m ²	1	1			B0-131519 260501A-2 標準
02	枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用1日賃料 修理費含む 12m未満 -	m ²	90	1			B0-131519 260501A-2 標準
03	枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 -	m ²	1	1			B0-131519 260501A-2 標準
	計							
	安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 3か月 修理費含む	m	1				代価表 0002
01	安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	m	1	1			B0-131568 260501A-2 標準
02	安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	m	90	1			B0-131568 260501A-2 標準
03	安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	m	1	1			B0-131568 260501A-2 標準
	計							

直接仮設								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	養生シート張り	防炎性能 JIS A 8952 I類 3か月 修理費含む	m ²	1				代価表 0003
01	養生シート張り	防炎性能 JIS A 8952 I類 掛払い手間 -	m ²	1	1			B0-131561 260501A-2 標準
02	養生シート張り	防炎性能 JIS A 8952 I類 供用1日賃料 修理費含む -	m ²	90	1			B0-131561 260501A-2 標準
03	養生シート張り	防炎性能 JIS A 8952 I類 基本料 修理費含む -	m ²	1	1			B0-131561 260501A-2 標準
	計							
	小幅ネット張り (層間塞ぎ)	防炎ポリエステル 3か月 修理費含む	m	1				代価表 0004
01	小幅ネット張り (層間塞ぎ)	防炎ポリエステル 掛払い手間 -	m	1	1			B0-131566 260501A-2 標準
02	小幅ネット張り (層間塞ぎ)	防炎ポリエステル 供用1日賃料 修理費含む -	m	90	1			B0-131566 260501A-2 標準
03	小幅ネット張り (層間塞ぎ)	防炎ポリエステル 基本料 修理費含む -	m	1	1			B0-131566 260501A-2 標準
	計							

鉄筋									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	非対象	備考
	スラップ 控除	H2	t	1					代価表 0005
01	スラップ 控除	H2	t	1	1				刊行物(材) 1
	計								

コンクリート									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	非対象	備考
	捨てコンクリート	呼び強度18 スラップ 15	m3	1					代価表 0006
01	生コンクリート S (相双1)	呼び強度18 スラップ 15	m3	1	1				B1-100023 260501A-2 独自
02	小型車割増 (生コンクリート) S (相双1)		m3	1	1				B1-100123 260501A-2 独自
	計								
	基礎コンクリート	呼び強度21 スラップ 18	m3	1					代価表 0007
01	生コンクリート S (相双1)	呼び強度21 スラップ 18	m3	1	1				B1-100023 260501A-2 独自
02	小型車割増 (生コンクリート) S (相双1)		m3	1	1				B1-100123 260501A-2 独自
	計								
	スラブコンクリート	呼び強度21 スラップ 18	m3	1					代価表 0008
01	生コンクリート S (相双1)	呼び強度21 スラップ 18	m3	1	1				B1-100023 260501A-2 独自
02	小型車割増 (生コンクリート) S (相双1)		m3	1	1				B1-100123 260501A-2 独自
	計								

コンクリート								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	土間コンクリート	呼び強度18 スランプ15	m ³	1				代価表 0009
01	生コンクリート S(相双1)	呼び強度18 スランプ15	m ³	1	1			B1-100023 260501A-2 独自
02	小型車割増 (生コンクリート) S(相双1)		m ³	1	1			B1-100123 260501A-2 独自
	計							
	地上コンクリート	呼び強度21 スランプ18	m ³	1				代価表 0010
01	生コンクリート S(相双1)	呼び強度21 スランプ18	m ³	1	1			B1-100023 260501A-2 独自
02	小型車割増 (生コンクリート) S(相双1)		m ³	1	1			B1-100123 260501A-2 独自
	計							

型枠								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	型枠	普通合板型枠 基礎部	m ²	1				代価表 0011
01	型枠	小型構造物用型枠 擁壁、圍障の基礎等 -	m ²	1	1			B0-434411 260501A-2 補単
	計							
	型枠	普通合板型枠 地上部	m ²	1				代価表 0012
01	型枠	小型構造物用型枠 擁壁、圍障の基礎等 -	m ²	1	1			B0-434411 260501A-2 補単
	計							
	型枠	打放合板型枠B種 基礎部	m ²	1				代価表 0013
01	型枠	小型構造物用型枠 擁壁、圍障の基礎等 -	m ²	1	1			B0-434411 260501A-2 補単
02	型枠	打放合板型枠B種 7-ル構造 基礎部	m ²	1	1			B0-434411 260501A-2 補単
03	型枠	普通合板型枠 基礎部	m ²	▲1	1			B0-434411 260501A-2 シ単
	計							

型枠								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	型枠	打放合板型枠B種 地上部	m ²	1				代価表 0014
01	型枠	小型構造物用型枠 擁壁、圍障の基礎等 -	m ²	1	1			B0-434411 260501A-2 補単
02	型枠	打放合板型枠B種 7-7構造 基礎部	m ²	1	1			B0-434411 260501A-2 補単
03	型枠	普通合板型枠 基礎部	m ²	▲1	1			B0-434411 260501A-2 シ単
	計							
	捨てコンクリート止枠	H=50	m	1				代価表 0015
01	型枠	小型構造物用型枠 擁壁、圍障の基礎等 -	m ²	0.05	1			B0-434411 260501A-2 補単
02	型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	m ²	0.05	1			B0-434421 260501A-2 市場
	計							

塗装								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	WP塗り	木部 工程B種	m ²	1				代価表 0016
01	WP塗り	木部 工程B種	m ²	1	1			刊行物(工) 1
	計							
	母屋 WP塗り	木部 工程B種 素地A種	m ²	1				代価表 0017
01	WP塗り	木部 工程B種	m ²	1	1			代価表 0016
02	素地ごしらえ	木部 工程A種(屋外)	m ²	1	1			B0-538811 260501A-2 補市
	計							
	D P塗り (糸幅300mm以下)	鉄鋼面 工程B種 錆止現場1回共	m	1				代価表 0018
01	D P塗り (糸幅300mm以下)	鋼製構面 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	m	1	1			刊行物(工) 2
02	錆止め塗料塗り (糸幅300mm以下)	鋼製構面(屋内外) 現場2回目 1回目別途	m	1	1			刊行物(工) 3
03	素地ごしらえ (糸幅300mm以下)	鉄鋼面 工程C種	m	1	1			刊行物(工) 4
	計							

代価表

塗装								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	壁 E P-G塗り	木片セメント板面 工程B種(一般) 素地B種	m ²	1				代価表 0019
01	E P-G塗り	けい酸カルシウム板面 工程B種(一般) 素地B種	m ²	1	1			B0-538823 260501A-2 市加
	計							
	ライノク腰壁 E P-G塗り	フレキシブルボード面 工程B種(一般) 素地B種	m ²	1				代価表 0020
01	E P-G塗り	けい酸カルシウム板面 工程B種(一般) 素地B種	m ²	1	1			B0-538823 260501A-2 市加
	計							
	天井 W P塗り	合板面 工程B種 素地A種	m ²	1				代価表 0021
01	W P塗り	木部 工程B種	m ²	1	1			代価表 0016
02	素地ごしらえ	木部 工程A種(屋内)	m ²	1	1			B0-538811 260501A-2 市場
	計							

代価表

塗装								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	登り梁・母屋 W P塗り	木部 工程B種 素地A種	m ²	1				代価表 0022
01	W P塗り	木部 工程B種	m ²	1	1			代価表 0016
02	素地ごしらえ	木部 工程A種(屋内)	m ²	1	1			B0-538811 260501A-2 市場
	計							
	廻縁 W P塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種 素地A種	m	1				代価表 0023
01	W P塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種	m	1	1			刊行物(工) 5
02	素地ごしらえ (糸幅300mm以下)	木部 工程A種(屋内)	m	1	1			刊行物(工) 6
	計							

代価表

ユニット及びその他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	非可換	備考
	地先境界ブロック	A種 150×200×600 砕石・捨てコンクリート共	m	1					代価表 0024
01	地先境界ブロック	A種 150×200×600 砕石・捨てコンクリート共	m	1	1				刊行物(工) 16
	計								
	雨水浸透柵	300×300 蓋共	か所	1					代価表 0025
01	雨水浸透柵	300×300 蓋共	か所	1	1				刊行物(工) 17
	計								
	誘導用及び注意喚起用床材	点字ブロック レンコンクリート製 300×300 厚さ30 捨てコンクリートt50・砕石t100共	m ²	1					代価表 0026
01	誘導用及び注意喚起用床材	点字ブロック レンコンクリート製 300×300 厚さ30	m ²	1	1				B0-232293 260501A-2 協議
02	生コンクリート S (相双1)	呼び強度18 スランプ 15	m ³	0.05	1				B1-100023 260501A-2 独自
03	コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 S15~S18	m ³	0.05	1				B0-434215 260501A-2 補市
04	砂利地業	再生クワツヤソ	m ³	0.1	1				B0-133421 260501A-2 標準
	計								

代価表

解体									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	非可換	備考
	枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 1か月 修理費含む	m ²	1					代価表 0027
01	枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 12m未満 -	m ²	1	1				B0-131519 260501A-2 標準
02	枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用1日賃料 修理費含む 12m未満 -	m ²	30	1				B0-131519 260501A-2 標準
03	枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 -	m ²	1	1				B0-131519 260501A-2 標準
	計								
	安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 1か月 修理費含む	m	1					代価表 0028
01	安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	m	1	1				B0-131568 260501A-2 標準
02	安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	m	30	1				B0-131568 260501A-2 標準
03	安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	m	1	1				B0-131568 260501A-2 標準
	計								

代価表

解体								備考
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	養生シート張り	防火性能 JIS A 8952 I類 1か月	m ²	1				代価表 0029
01	養生シート張り	防火性能 JIS A 8952 I類 掛払い手間	m ²	1	1			B0-131561 260501A-2 標準
02	養生シート張り	防火性能 JIS A 8952 I類 供用1日賃料 修理費含む	m ²	30	1			B0-131561 260501A-2 標準
03	養生シート張り	防火性能 JIS A 8952 I類 基本料 修理費含む	m ²	1	1			B0-131561 260501A-2 標準
	計							
	RC造建物解体		m ³	1				代価表 0030
01	RC造建物解体	地上からの解体 圧砕機・ハンドブレーカ併用	m ³	1	1			刊行物(工) 9
	計							
	RC造基礎コンクリート解体		m ³	1				代価表 0031
01	RC造基礎コンクリート解体	大型ブレーカ・ハンドブレーカ併用	m ³	1	1			刊行物(工) 10
	計							

代価表

解体								備考
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	土間コンクリート解体		m ³	1				代価表 0032
01	土間コンクリート解体	大型ブレーカ・ハンドブレーカ併用	m ²	1	1			刊行物(工) 12
	計							
	RC階段コンクリート解体		m ³	1				代価表 0033
01	RC造基礎コンクリート解体		m ³	1	1			代価表 0031
	計							
	看板基礎コンクリート解体		m ³	1				代価表 0034
01	RC造基礎コンクリート解体		m ³	1	1			代価表 0031
	計							

発生材									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	非対象	備考
	とりこわし発生材運搬	ダンプトラック バックホウ0.13m3 DID区間無し	2t積級 無筋コンクリート類	1					代価表 0035
	とりこわし発生材運搬	ダンプトラック バックホウ0.13m3 DID区間無し	2t積級 無筋コンクリート類	1	1				B0-339612 260501A-2 参考
	計								
	とりこわし発生材運搬	ダンプトラック バックホウ0.13m3 DID区間無し	2t積級 有筋コンクリート類	1					代価表 0036
	とりこわし発生材運搬	ダンプトラック バックホウ0.13m3 DID区間無し	2t積級 無筋コンクリート類	1	1				B0-339612 260501A-2 参考
	計								
	とりこわし発生材運搬	ダンプトラック バックホウ0.13m3 DID区間無し	2t積級 ガラス・陶器類	1					代価表 0037
	とりこわし発生材運搬	ダンプトラック バックホウ0.13m3 DID区間無し	2t積級 石こうボード類	1	1				B0-339612 260501A-2 参考
	計								
	とりこわし発生材運搬	ダンプトラック バックホウ0.13m3 DID区間無し	2t積級 廃プラスチック類	1					代価表 0038
	とりこわし発生材運搬	ダンプトラック バックホウ0.13m3 DID区間無し	2t積級 石こうボード類	1	1				B0-339612 260501A-2 参考
	計								

発生材									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	非対象	備考
	とりこわし発生材運搬	ダンプトラック バックホウ0.13m3 DID区間無し	2t積級 金属類	1					代価表 0039
	とりこわし発生材運搬	ダンプトラック バックホウ0.13m3 DID区間無し	2t積級 石こうボード類	1	1				B0-339612 260501A-2 参考
	計								

共通仮設								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	仮囲い	仮囲鉄板 H=2.0m 5か月	m	1				代価表 0040
01	仮囲い	設置費 仮囲鉄板 H=2.0m -	m	1	1			B0-131412 260501A-2 標準
02	仮囲い	撤去費 仮囲鉄板 H=2.0m -	m	1	1			B0-131412 260501A-2 標準
03	仮囲い	供用1日賃料 修理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m t=1.2mm w=500 -	m	150	1			B0-131412 260501A-2 標準
04	仮囲い	基本料 修理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m t=1.2mm w=500 -	m	1	1			B0-131412 260501A-2 標準
05	仮囲い運搬	H=2.0m	m	1	1			B0-131414 260501A-2 標準
	計							
	仮囲い	仮囲鉄板 H=2.0m 1か月	m	1				代価表 0041
01	仮囲い	設置費 仮囲鉄板 H=2.0m -	m	1	1			B0-131412 260501A-2 標準
02	仮囲い	撤去費 仮囲鉄板 H=2.0m -	m	1	1			B0-131412 260501A-2 標準
03	仮囲い	供用1日賃料 修理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m t=1.2mm w=500 -	m	30	1			B0-131412 260501A-2 標準
04	仮囲い	基本料 修理費含む 仮囲鉄板 H=2.0m t=1.2mm w=500 -	m	1	1			B0-131412 260501A-2 標準
05	仮囲い運搬	H=2.0m	m	1	1			B0-131414 260501A-2 標準
	計							

共通仮設								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	キャスターゲート	W6000×H2000 3か月	か所	1				代価表 0042
01	キャスターゲート	W6000×H2000 3か月	か所	1	1			刊行物(工) 13
	計							
	キャスターゲート	W6000×H2000 6か月	か所	1				代価表 0043
01	キャスターゲート	W6000×H2000 6か月	か所	1	1			刊行物(工) 14
	計							
	キャスターゲート	W6000×H2000 1か月損料	か所	3				代価表 0044
01	キャスターゲート	W6000×H2000 6か月	か所	1	1			代価表 0043
02	キャスターゲート	W6000×H2000 3か月	か所	▲1	1			代価表 0042
	計							

代価表

共通仮設								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	キヤスターゲート	W6000×H2000 5か月	カ所	1				代価表 0045
01	キヤスターゲート	W6000×H2000 6か月	カ所	1	1			代価表 0043
			カ所					
02	キヤスターゲート	W6000×H2000 1か月損料	カ所	▲1	1			代価表 0044
			カ所					
	計							
	キヤスターゲート	W6000×H2000 1か月	カ所	1				代価表 0046
01	キヤスターゲート	W6000×H2000 3か月	カ所	1	1			代価表 0042
			カ所					
02	キヤスターゲート	W6000×H2000 1か月損料	カ所	▲2	1			代価表 0044
			カ所					
	計							
	交通誘導員B	25日×1か月	人	1				代価表 0047
01	交通誘導員B		人	1	1			刊行物(材) 2
			人					
	計							

代価表

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	引込開閉器盤	L-M2	面	1				代価表 0048
01	引込開閉器盤	L-M2	面	1	0.7			(見積り・刊行物等)
			面					
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
			K01					
03	電工		人	0.775	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
			人					
	その他		式	1	0.2			
			式					
	計							
	電灯端子盤	LT-2	面	1				代価表 0049
01	電灯端子盤	LT-2	面	1	0.7			(見積り・刊行物等)
			面					
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
			K01					
03	電工		人	5	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
			人					
	その他		式	1	0.2			
			式					
	計							

代価表

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	照明器具	A1	台	1				代価表 0050
01	照明器具	A1	台	1	0.7			(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
			K01					
03	電工		人	0.117	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							
	照明器具	B1	台	1				代価表 0051
01	照明器具	B1	台	1	0.7			(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
			K01					
03	電工		人	0.178	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							

代価表

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	照明器具	B2	台	1				代価表 0052
01	照明器具	B2	台	1	0.7			(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
			K01					
03	電工		人	0.178	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							
	照明器具	C1	台	1				代価表 0053
01	照明器具	C1	台	1	0.7			(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
			K01					
03	電工		人	0.13	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							

代価表

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	照明器具	D1	台	1				代価表 0054
01	照明器具	D1	台	1	0.7			(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
			K01					
03	電工		人	0.167	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							
	熱線センサー自動スイッチ	親機 明るさセンサー付	個	1				代価表 0055
01	熱線センサー自動スイッチ	親機 明るさセンサー付	台	1	0.7			(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
			K01					
03	電工		人	0.159	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							

代価表

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	熱線センサー自動スイッチ	親機 換気扇連動用	個	1				代価表 0056
01	熱線センサー自動スイッチ	親機 換気扇連動用	台	1	0.7			(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
			K01					
03	電工		人	0.159	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							
	熱線センサー自動スイッチ	子機	個	1				代価表 0057
01	熱線センサー自動スイッチ	子機	台	1	0.7			(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
			K01					
03	電工		人	0.159	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							

代価表

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	熱線センサー自動スイッチ	子機 換気扇接続端子付	個	1				代価表 0058
01	熱線センサー自動スイッチ	子機 換気扇接続端子付	台	1	0.7			(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
			K01					
03	電工		人	0.159	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							
	同上用操作スイッチ	2回路用	個	1				代価表 0059
01	同上用操作スイッチ	2回路用	台	1	0.7			(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
			K01					
03	電工		人	0.159	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							

代価表

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	同上用露出取付カバー		個	1				代価表 0060
01	同上用露出取付カバー		台	1	0.7			(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
			K01					
03	電工		人	0.1	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							
	自動点滅器	点灯照度調整付	個	1				代価表 0061
01	自動点滅器	点灯照度調整付	台	1	0.7			(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
			K01					
03	電工		人	0.163	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	非対象	備考
	呼出表示器	1窓 移報接点付 埋込型	台	1					代価表 0062
01	呼出表示器	1窓 移報接点付 埋込型	台	1	0.7				(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02				(見積り・刊行物等)
			K01						
03	電工		人	0.168	1			○	E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.19				
	計								
	呼出ボタン	引きひも付	個	1					代価表 0063
01	呼出ボタン	引きひも付	個	1	0.7				(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02				(見積り・刊行物等)
			K01						
03	電工		人	0.055	1			○	E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.19				
	計								

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	非対象	備考
	電源アダプター		個	1					代価表 0064
01	電源アダプター		個	1	0.7				(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02				(見積り・刊行物等)
			K01						
03	電工		人	0.055	1			○	E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.19				
	計								
	リレーボックス		個	1					代価表 0065
01	リレーボックス		個	1	0.7				(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02				(見積り・刊行物等)
			K01						
03	電工		人	0.055	1			○	E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.19				
	計								

代価表

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	警報ランプ付ブザー	屋外用 100V	個	1				代価表 0066
01	警報ランプ付ブザー	屋外用 100V	個	1	0.7			(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
03	電工		人	0.097	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.19			
	計							
	エントランスキャップ	ZG28	個	1				代価表 0067
01	エントランスキャップ	ZG28	個	1	0.7			(見積り・刊行物等)
02	雑材料		式	1	0.02			(見積り・刊行物等)
03	電工		人	0.1	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							

代価表

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	波付硬質合成樹脂管(FEP)撤去	(30)	m	1				代価表 0068
01	電工		人	0.0052	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							
	EM-CEケーブル撤去	5.5mm2- 2C 管内	m	1				代価表 0069
01	電工		人	0.0042	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							
	EM-CEケーブル撤去	5.5mm2- 2C 樹脂管内	m	1				代価表 0070
01	電工		人	0.0038	1			○ E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2			
	計							

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	非対象	備考
	熱線センサー自動スイッチ撤去	親機 壁取付型	個	1					代価表 0071
01	電工		人	0.0477	1			○	E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2				
	計								
	接地撤去	ED	か所	1					代価表 0072
01	電工		人	0.0549	1			○	E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2				
	計								

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	非対象	備考
	コンクリート根柢		か所	1					代価表 0073
01	コンクリート根柢		個	1	1				(見積り・刊行物等) 建設物価 P629
	雑材料		式 K01	1	0.02				(見積り・刊行物等)
03	電工		人	0.174	1			○	E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2				
	計								
	引込開閉器盤撤去	屋外樹脂製 露出型	面	1					代価表 0074
01	電工		人	0.092	1			○	E0-911161 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.2				
	計								

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	非対象	備考
	電灯分電盤	屋外鋼板製 露出型		1					代価表 0075
01	電工		面	0.175	1				○ E0-911161 260501A-2 参資
			人						
	その他		式	1	0				
	計								
	埋込スイッチ撤去	新金属P 1P15A×1		1					代価表 0076
01	電工		個	0.0162	1				○ E0-911161 260501A-2 参資
			人						
	その他		式	1	0				
	計								
	埋込コンセント撤去	新金属P 2P15A×1		1					代価表 0077
01	電工		個	0.0162	1				○ E0-911161 260501A-2 参資
			人						
	その他		式	1	0				
	計								

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	非対象	備考
	ウェザークーパー 据付 (FE-S-1)	20cm 用		1					代価表 0078
01	ダクト工		組	0.2	1				○ M0-911163 260501A-2 参資 公共建築工事積算基準 ペントキャップ参照
			人						
	その他		式	1	0.24				
	計								
	ウェザークーパー 据付 (FE-S-2)	20cm 用		1					代価表 0079
01	ダクト工		組	0.2	1				○ M0-911163 260501A-2 参資 公共建築工事積算基準 ペントキャップ参照
			人						
	その他		式	1	0.24				
	計								
	ウェザークーパー 据付 (FE-S-3)	20cm 用		1					代価表 0080
01	ダクト工		組	0.2	1				○ M0-911163 260501A-2 参資 公共建築工事積算基準 ペントキャップ参照
			人						
	その他		式	1	0.24				
	計								

代価表

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	背もたれ 据付 (南側)		組	1				代価表 0081
01	配管工		人	0.13	1			○ M0-911162 260501A-2 参資 公共建築工事積算基準 仕切板参照
	その他		式	1	0.26			
	計							
	コンパクト レストマット 据付 (南側)		組	1				代価表 0082
01	配管工		人	1.1	1			○ M0-911162 260501A-2 参資 公共建築工事積算基準 掃除流し参照
	その他		式	1	0.26			
	計							
	水抜栓 据付 (南側)	25A	個	1				代価表 0083
01	配管工		人	0.15	1			○ M0-911162 260501A-2 参資 公共建築工事積算基準 水抜栓20A参照
	その他		式	1	0.24			
	計							

代価表

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	壁用換気扇 撤去 (南側)	100φ x 100m3/h	台	1				代価表 0084
01	設備機械工		人	0.39	0.3			○ M0-911165 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.26			
	計							
	ウェザーカバー 撤去 (南側)	300x300	組	1				代価表 0085
01	ダクト工		人	0.2	0.3			○ M0-911163 260501A-2 参資 公共建築工事積算基準 ペントキャップ参照
	その他		式	1	0.26			
	計							
	横水栓撤去 (南側)		個	1				代価表 0086
01	配管工		人	0.08	0.3			○ M0-911162 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.26			
	計							

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	非対象	備考
	給水管撤去 塩化ビニル管 (VP) (南側)	便所 20A	m	1					代価表 0087
01	配管工		人	0.074	0.3			○	M0-911162 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.26				
	計								
	汚水管撤去 塩化ビニル管 (VP) (南側)	便所 50A	m	1					代価表 0088
01	配管工		人	0.154	0.3			○	M0-911162 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.26				
	計								
	汚水管撤去 塩化ビニル管 (VP) (南側)	便所 75A	m	1					代価表 0089
01	配管工		人	0.228	0.3			○	M0-911162 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.26				
	計								

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	非対象	備考
	汚水管撤去 塩化ビニル管 (VP) (南側)	便所 100A	m	1					代価表 0090
01	配管工		人	0.294	0.3			○	M0-911162 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.26				
	計								
	雑排水管撤去 塩化ビニル管 (VP) (南側)	便所 50A	m	1					代価表 0091
01	配管工		人	0.154	0.3			○	M0-911162 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.26				
	計								
	床上掃除口 撤去(南側)	COA-100A	個	1					代価表 0092
01	配管工		人	0.32	0.3			○	M0-911162 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.26				
	計								

代価表

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	給水管撤去 塩化ビニル管(VP) (南側)	地中 20A	m	1				代価表 0093
01	配管工		人	0.043	0.3			○ M0-911162 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.26			
	計							
	プラグ 据付 (南側)	40A	か所	1				代価表 0094
01	配管工		人	0.08	1			○ M0-911162 260501A-2 参資 公共建築工事積算基準 水栓類20A参照
	その他		式	1	0.24			
	計							
	排水管撤去 塩化ビニル管(VP) (南側)	地中 75A	m	1				代価表 0095
01	配管工		人	0.133	0.3			○ M0-911162 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.26			
	計							

代価表

その他								
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	備考
	排水管撤去 塩化ビニル管(VP) (南側)	地中 100A	m	1				代価表 0096
01	配管工		人	0.172	0.3			○ M0-911162 260501A-2 参資
	その他		式	1	0.26			
	計							
	小口径樹撤去 (南側)	90L-300φ-400h 塩ビ蓋	組	1				代価表 0097
01	配管工		人	0.1	0.3			○ M0-911162 260501A-2 参資 公共建築工事積算基準 90L-100x200参照
	その他		式	1	0.26			
	計							
	小口径樹撤去 (南側)	90Y-300φ-650h 塩ビ蓋	組	1				代価表 0098
01	配管工		人	0.1	0.3			○ M0-911162 260501A-2 参資 公共建築工事積算基準 90Y-100x200参照
	その他		式	1	0.26			
	計							

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	単価	備考
	プラグ据付 (南側)	80A	箇所	1					代価表 0099
01	配管工		人	0.08	1				○ M0-911162 260501A-2 参資 公共建築工事積算基準 水栓類20A参照
	その他		式	1	0.24				
	計								
	プラグ据付 (南側)	100A	箇所	1					代価表 0100
01	配管工		人	0.08	1				○ M0-911162 260501A-2 参資 公共建築工事積算基準 水栓類20A参照
	その他		式	1	0.24				
	計								

令和7年度 雲雀ヶ原祭場地内公衆トイレ建替工事

南側トイレ 設計図

図面リスト

番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名
A-01	建築工事特記仕様書 共通	A-26	【南側トイレ】建具表、天井伏図	S-01	構造設計標準仕様書-1	E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	M-01	機械設備工事特記仕様書
A-02	建築工事特記仕様書 1	A-27	【南側トイレ】雑詳細図(建物、外構)	S-02	構造設計標準仕様書-2	E-02	配置図	M-02	機械設備工事試験内容一覧表
A-03	建築工事特記仕様書 2	A-28	【南側トイレ】各伏図	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	E-03	引込開閉器盤・電灯分電盤 結線図 ・照明器具参考姿図・誘導支援設備機器姿図	M-03	【南側トイレ】給排水衛生設備 配置図
A-04	建築工事特記仕様書 3	A-29	【南側トイレ】軸組図	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	E-04	【新築】南側トイレ電気設備図	M-04	【南側トイレ】空気調和・換気・給排水衛生設備 改修後 平面詳細図
A-05	建築工事特記仕様書 4	A-30	【南側トイレ】壁量算定図	S-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	E-05	【解体】南側トイレ電気設備撤去図	M-05	【南側トイレ】空気調和・換気・給排水衛生設備 改修前 平面詳細図
A-06	建築工事特記仕様書 5	A-31	【南側トイレ】サインキープラン、サイン詳細図	S-06	深層混合処理工法 地業特記仕様書				
A-07	建築工事特記仕様書 6	A-32	【南側トイレ】外構図	S-07	【南側トイレ】基礎構造図				
A-08	建築工事特記仕様書 7	A-33	【解体】南側トイレ 配置図						
A-09	建築工事特記仕様書 8	A-34	【解体】南側トイレ 仕上表、平面詳細図、建具表						
A-10	建築工事特記仕様書 9	A-35	【解体】南側トイレ 立面図						
A-11	建築工事概要書 1	A-36	【解体】南側トイレ 矩計図、各詳細図						
A-12	建築工事概要書 2	A-37	【解体】南側トイレ 仮設計画図						
A-13	木工事特記仕様書 1	A-38							
A-14	木工事特記仕様書 2	A-39							
A-15	木工事標準金物仕様書	A-40							
A-16	木造金物要領図	A-41							
A-17	【南側トイレ】付近見取図、敷地求積図	A-42							
A-18	【南側トイレ】敷地断面図	A-43							
A-19	【南側トイレ】配置図	A-44							
A-20	【南側トイレ】仮設計画図	A-45							
A-21	【南側トイレ】外部仕上表、内部仕上表、面積求積図	A-46							
A-22	【南側トイレ】平面図、立面図、断面図	A-47							
A-23	【南側トイレ】矩形図	A-48							
A-24	【南側トイレ】平面詳細図、展開図(1)	A-49							
A-25	【南側トイレ】展開図(2)	A-50							

令和8年 3月

株式会社 楠山設計

1 工事概要
1 工事名称 令和7年度 雲雀ヶ原祭場地内公衆トイレ建替工事
2 工事場所 南相馬市原町区牛来字出口208-3地内、227-1の一部 地内
3 建物概要

Table with 7 columns: 建物名称, 構造, 階数, 延面積 (㎡), 消防法施行令別表第1区分, 備考
1 南側公衆トイレ, 木造, 平屋建て, 33.33, -,

※詳細は工事概要書による。

4 電気設備工事概要
(本工事における工事種目ごとの概要を示すもので仕様を規定するものではない O印を付けたものが該当項目となる)
受電設備, 電力貯蔵設備, 発電設備, 中央監視制御設備

5 機械設備工事概要
(本工事における工事種目ごとの概要を示すもので仕様を規定するものではない O印を付けたものが該当項目となる)
空調調和方式, 主要熱源機器, 換気設備, 排煙設備, 自動制御設備, 給水設備, 排水設備, 消火設備, ガス設備

II 工事仕様
1 図面及び本特記仕様書に記載無き事項は、次による。
※「福島県建築関係工事共通仕様書」(福島県土木部)
※「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」(令和7年版)
※「公共建築設備工事標準仕様書(電気設備工事編)」(令和7年版)
※「公共建築設備工事標準仕様書(機械設備工事編)」(令和7年版)

2 項目は、番号の前にO印、または番号にO印の付いたものを適用する。適用しない項目等は斜線、・印、または無印とする。
3 特記事項は、O印の付いたものを適用する。
4 形状寸法の単位は、特記した場合を除き ミリメートルとする。
5 各章の特記事項欄にある(県:)と表示されているものは、「建築関係工事共通仕様書」を示し、()書きは「公共建築工事標準仕様書」、[]書きは「公共建築改修工事標準仕様書」の章・節・項番号である。
6 本特記仕様書に選択項目がない場合は、空欄等に仕様を記載する。

項目 特記事項

O1 適用基準等
・共通仕様書(土木工事編) (福島県土木部)
・建築工事、電気設備工事、機械設備工事、建築改修工事監理指針 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
・土木工事(建築大工)
・電気設備工事(電気設備工)
・機械設備工事(機械設備工)

O6 イメージアップ
・適用する ※適用しない ・仮囲いの美化 ・フラーボックスの設置 ・夜間照明設備

O8 監督員事務所
・設ける(規模 m2程度) ※設けられない 備品については、監督員の指示による

O15 記録報告
1) 報告時期
工事履行報告書は、下記により提出する。
※毎月1回 ・監督員の指示

O16 電子納品
電子成果品は、福島県電子納品ガイドライン(「営繕工事編」)により納品を行う。
対象書類 ※工事写真 ・施工計画書 ※完成図 ・その他()

O17 完成時の提出書類
(1)完成図書(※提出する・提出しない)・黒表紙(金文字入) A4版(1部) ※ハードファイルA4版(1部)
(2)建築物の保全に関する書類(※提出する・提出しない) ハードファイルA4版(1部)
(3)完成図(※提出する・提出しない) A2版、A3版2つ折り製本(各1部)
(4)CADデータ、PDFデータ(※提出する・提出しない) ※CADデータ提出の場合には、オリジナルCADデータも提出のこと。(※PDFデータとは、CADデータをPDF形式で保存したものを。)

O18 完成図(施工図及び施工計画書を除く)
第1編【総則】1.8.4【完成図その他】によるほか、下記による
(1)種類及び記入内容
種類 記入内容

O19 設計CADデータ
※有 ・無

1 O20 工事検査

提出写真
工事検査に際し、下記により写真を監督員に提出する。
既済検査 着工前 工事中 竣工 部数
竣工検査(既済後) O O O O 1部 1部 1部

O21 建設工事使用機械等
※建設工事による排出ガス対策型建設機械を使用すること。
※建設工事に伴う騒音振動対策技術指針に基づき、低騒音型建設機械を使用すること。
※建設機械等のアイドリングストップを実施し、その点検を行うこと。

O22 設計GL
O23 既存部分等への処置
O24 他工事との取合い
O25 建築材料 設備機器等
O26 電気工事士
電気工事士の適用除外となっている最大電力500kw以上の需要設備の工事においても、第1種電気工事士により施工を行う。

O27 火災保険等
(1)火災保険 ※適用する (※保険期間:工期+14日 ・適用しない)
※加入時期 (※躯体及び竣工完了時 ・着手日(現場施工に着手する日))
(2)法定外の労災保険の付保
※本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

O28 官公庁への 諸手続き等
O29 概成工期
・総合試運転調整を行う期間を設けること。
調整期間は、(・契約期末の) 日間 (・本受電後の電力基本料金は、) ヶ月分とする。
・設備への電源供給開始時期は下記のとおりとする。

O30 B E L S 申請書作成及び申請手続き
(1)建築物エネルギー性能表示制度(BELS)の申請書作成及び申請手続き ・行う ・行わない
※分離発注の場合は、 ※建築 ・工事受注者が、申請書作成及び手続き業務を行う。
(3)分離発注の場合は、申請書作成者へ申請に必要な書類を提出すること。
(4)建築物にBELS表示を行う
※BELS表示は、申請書作成及び手続きを行う受注者が行う。 (サイズ:) とする。

O31 休週2日促進工事
※本工事の発注方式は、発注者指定型である。
・休週2日促進工事 月単位
・休週2日交替促進工事 月単位
・完全休週2日促進工事 月単位
O32 入札時積算数量書活用方式
※本工事は「入札時積算数量書活用方式」の対象工事である。
本方式では、入札時において発注者が入札時積算数量書を示し、入札参加者が入札時積算数量書に記載された積算数量を活用して入札に参加する場合において、工事請負契約の締結後に生じた当該積算数量の疑義について、発注者及び受注者は、入札時積算数量書に基づき、積算数量に関する協議を行うことができる。

O33 情報共有システム
※建築関係工事共通仕様書【県:第1編 1.1.25】による。
O34 遠隔臨場
※建築関係工事共通仕様書【県:第1編 1.1.26】による。
(1)本工事は、「福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領」の対象工事である。
(2)受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。
O35 建設キャリアアップシステム(CCUS)
本工事の施工にあたって資材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。

O1 仮囲い O2 危険防止 O3 足場

・波形鉄板 ※万能板場 ・単管+シート張り
・キャスターゲート ・シートゲート
※シート張り ・金アミ
O4 工事用水
構内既存の施設 ・利用できる(※有償 ・無償) ※利用できない
O5 工事用電力
構内既存の施設 ・利用できる(※有償 ・無償) ※利用できない
O6 工事用進入路
・仮設道路造成 ()
O7 ベンチマーク
設置方法 ※コンクリート杭 ◎固定物 ()
O8 交通誘導警備員
※置く(計 1 人) ・置かない ◎置く期間 (6ヶ月)
指定路線 ※該当無 ・該当有 [県:第1編 1.2.13]

O9 仮設備関係
仮設備の設置条件
使用期間及び借地条件 ※図面による ・その他 () ・別途協議
転用回数 () 回
兼用 ・有り(図面による) ※無し
仮設備の構造及び施工方法の指定
構造及び設計条件 ※図面による ・その他 () ・別途協議
施工方法 ()
その他 ()

O1 埋戻し及び盛土
種類 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (3.2.3) (表3.2.1)
O2 建設発生土の処理
※構外指示の場所 (3.2.5)
搬出先の名称 ()
搬出先の所在地 ()
搬出先での処置 ()
運搬距離 () km

<p>① 支持地盤</p> <p>地業工事</p> <p>2 既製コンクリート杭地業</p>	<p>○杭基礎 支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいの先端の位置含む) ○図示による</p> <p>・直接基礎 支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む) ・図示による 長期設計支持力度 ・() kN/m²</p> <p>・地盤の載荷試験 ・行う 試験の位置、方法等は図示による</p> <p>種類 ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・外縁鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490 ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・()</p> <p>試験掘り ・あり 孔径はオーガー径とする 位置等は図示による 試験掘りの施工は試験杭の施工に先立ち行う ・なし</p> <p>寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分) (4.2.2) (4.3.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験杭</th> <th>種類</th> <th>杭径(mm)</th> <th>杭長(mm)</th> <th>継手数</th> <th>長期設計支持力(kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う () (4.2.2) 試験杭の位置、本数 ※最初の本 () 図示による</p> <p>杭先端部形状 (4.3.3) ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 ()</p> <p>施工方法 (4.3.3~5) ・セメントミルク工法 (4.3.4) ・アースオーガーの支持地盤への掘削深さ ・1.5m程度 () 杭の支持地盤への根入れ深さ ・1.0m以上 () 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 () 杭の傾斜 ・1/100以内 ()</p> <p>・特定埋込杭工法 (4.3.5) ・プレボリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 ()</p> <p>工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$を採用できる工法 図示による ・上記以外の特定埋込杭工法 図示による</p> <p>杭間固定液 ・使用する ・使用しない</p> <p>杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 () 杭の傾斜 ・1/100以内 ()</p> <p>杭継手工法 ・溶接継手 ・構仕 4.3.6による 溶接材料 ・構仕 7.2.5(1)(2)による ・構仕 7.2.5(1)(2)以外() ・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による</p> <p>杭頭処理 ※【県:第2編 4.3.8】による () 杭頭補強用コンクリート型枠 ※鋼製型枠 () 杭頭補強 ※【県:第2編 図4.3.1~4.3.2】による 図示による</p> <p>寸法、継手、性能等 (4.2.2) (4.3.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験杭</th> <th>種類</th> <th>杭径(mm)</th> <th>杭長(mm)</th> <th>継手数</th> <th>長期設計支持力(kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	試験杭	種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考	上杭							中杭							下杭							本杭							上杭							中杭							下杭							試験杭	種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考	上杭							中杭							下杭							本杭							上杭							中杭							下杭							<p>1 地業工事</p> <p>4 場所打ちコンクリート杭地業</p> <p>5 地盤改良(セメント系固化材を用いた工法による改良)</p> <p>6 置換コンクリート地業(ラップルコンクリート地業)</p>	<p>試験杭 (4.2.2) 試験杭の位置、本数及び寸法 図示による</p> <p>杭の材料 (4.4.3) ・図示による</p> <p>溶接材料 ・標準仕様書7.2.5による</p> <p>施工方法 ・標準仕様書4.3.5による</p> <p>杭の精度 (4.4.4) ・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4以内かつ100mm以下 ・杭の傾斜 ・1/100以内 ・評定条件又は設定条件による</p> <p>杭の現場継手 (4.4.3) (7.2.5) ・溶接継手 形状 ・JIS A 5525による 溶接材料 ・構仕 7.2.5(1)(2)による 図示による 溶接部の確認方法 ・構仕 7.6.10による 抜き取り率 ・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による</p> <p>杭頭の処理(切断方法) (4.4.6) ・処理しない(切断しない) ・処理する 処理方法(切断及び補強方法) ・図示による</p> <p>杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの</p> <p>杭径、長さ、仕様等 () ・図示による</p> <p>材料その他 ・図示による 鋼筋の最小かぶり厚さ 図示による セメントの種類 ※高炉セメントB種 () コンクリートの種類 (4.5.4) (6.3.1) ・A種 ・B種 ・審査(評定又は大臣認定)された内容による コンクリートの設計基準強度 () N/mm² (4.5.4) (6.3.1) スラブ ※21cm () cm 構造体強度補正值(S) (4.5.4) ・3N/mm² ・審査(評定又は大臣認定)された内容による ()</p> <p>掘削工法 (4.5.1) (4.5.5~6) ・アースドリル工法 安定液 ・使用する ・使用しない ・リバース工法 ・オールケーシング工法 孔内の水張り ・行う ・行わない</p> <p>併用する工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による () 鋼管巻き材料 ・SKK400 ・SKK490 () ・掘削工法 図示による () 安定液 ・使用する ・使用しない ()</p> <p>試験杭 (4.2.2) (4.5.5~6) 試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う () 試験杭の位置、本数 ※最初の本 () 図示による</p> <p>孔壁測定 (4.5.5~6) ・行う 測定方法、測定箇所は図示による ・行わない</p> <p>杭の精度 水平方向の位置ずれ ・100mm以下 () 杭の傾斜 ・1/200以内 ()</p> <p>工法 (4.7.1~4) ○深層混合処理工法 機械攪拌方式とする 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による 長期設計支持力 () kN/m² () ・浅層混合処理工法 原位置混合方式とする 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による 長期設計支持力 () kN/m² ()</p> <p>形状、支持地盤、仕様 (6.3.1) ・図示による</p> <p>長期設計支持力 () kN/m² ()</p> <p>セメントの種類 (6.3.1) ・高炉セメントB種 () コンクリートの設計基準強度 () kN/m² 構造体強度補正值(S) () kN/m²</p>	<p>7 液化化対策</p> <p>⑧ 砂利地業 (4.6.2) 材料 再生クラッシュラン ・切込砂利及び切込砕石 (4.6.2) 厚さ、幅及び使用範囲 (4.6.3) 地業 割り石 フーチング各外面より+150 ・150 () 砂利(砕石) フーチング各外面より+150 ・60 ○100 ・150</p> <p>⑨ 捨てコンクリート (4.6.4) コンクリートの仕様 ※無筋コンクリートによる () (6.14.1~3) (6.14.1~3) セメントの種類 (6.3.2) ・高炉セメントB種 () 厚さ、幅及び使用範囲 (4.6.4) 部位 幅(mm) 厚さ(mm) 基礎 フーチング各外面より+100 ※50 () 地中ばり フーチング各外面より+100 ※50 ()</p> <p>10 床下防湿層 (4.6.5) 施工範囲 (4.6.5) ・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) 材料 ・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 () 防湿層の位置 ()</p> <p>① 鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1) 鉄筋の種類 種類の記号 呼び名(mm) 備考 ○SD295 ○D10 ○D13 ○D16 () ○SD345 ・D10 ・D13 ・D16 ()</p> <p>② 溶接金網 (5.2.2) 形状等 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) 使用部位 ○溶接金網 ・鉄筋格子</p> <p>③ 鉄筋の継手 (5.3.4) (5.5.2) 継手方法等 部位 継手方法 呼び名(mm) 柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・機械式継手 耐力壁の鉄筋 ※重ね継手 その他の鉄筋() ※重ね継手</p> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4) ※図示による</p> <p>継手位置図 ※図示による</p> <p>鉄筋の定着方法 (5.3.4) ※図示による</p> <p>④ 鉄筋の定着の方法及び長さ (5.3.4) 鉄筋の定着長さ ※図示による ()</p> <p>⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む) (5.3.5) 最小かぶり厚さ(自地底から算出を行う) ※図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・有り 適用箇所 () 最小かぶり厚さ ・鉄筋径の1.5倍以上 () ・() ○無し</p> <p>軽量コンクリートで土に接する部分 無し 適用箇所 () ・有り 適用箇所 () ・図示による ()</p> <p>耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・無し 適用箇所 () ・有り 適用箇所 () ・図示による ()</p> <p>鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) (5.3.5) (図5.3.6) ・()</p> <p>6 特殊な鉄筋継手 (5.5.2) ・機械式継手 使用箇所 ※図示による () 性能(H12建告第1463号に適合するもの) (5.5.2) ・A級 () 機械式継手の種類 () 鉄筋相互のあき () ・図示による () 品質の確認方法 () ・図示による () 不良となった継手の修正方法等 () ・図示による ()</p> <p>・溶接継手 使用箇所 (5.6.3) ※図示による () 性能(H12建告第1463号に適合するもの) () ・A級 () 溶接継手の工法 () 鉄筋相互のあき () ※図示による () 品質の確認方法 () ※図示による () 不良となった継手の修正方法等 () ※図示による ()</p>
	試験杭	種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考																																																																																																													
上杭																																																																																																																				
中杭																																																																																																																				
下杭																																																																																																																				
本杭																																																																																																																				
上杭																																																																																																																				
中杭																																																																																																																				
下杭																																																																																																																				
試験杭	種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考																																																																																																														
上杭																																																																																																																				
中杭																																																																																																																				
下杭																																																																																																																				
本杭																																																																																																																				
上杭																																																																																																																				
中杭																																																																																																																				
下杭																																																																																																																				
<p>3 鋼杭地業</p>	<p>1 地業工事</p>	<p>試験杭 (4.2.2) 試験杭の位置、本数及び寸法 図示による</p> <p>杭の材料 (4.4.3) ・図示による</p> <p>溶接材料 ・標準仕様書7.2.5による</p> <p>施工方法 ・標準仕様書4.3.5による</p> <p>杭の精度 (4.4.4) ・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4以内かつ100mm以下 ・杭の傾斜 ・1/100以内 ・評定条件又は設定条件による</p> <p>杭の現場継手 (4.4.3) (7.2.5) ・溶接継手 形状 ・JIS A 5525による 溶接材料 ・構仕 7.2.5(1)(2)による 図示による 溶接部の確認方法 ・構仕 7.6.10による 抜き取り率 ・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による</p> <p>杭頭の処理(切断方法) (4.4.6) ・処理しない(切断しない) ・処理する 処理方法(切断及び補強方法) ・図示による</p> <p>杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの</p> <p>杭径、長さ、仕様等 () ・図示による</p> <p>材料その他 ・図示による 鋼筋の最小かぶり厚さ 図示による セメントの種類 ※高炉セメントB種 () コンクリートの種類 (4.5.4) (6.3.1) ・A種 ・B種 ・審査(評定又は大臣認定)された内容による コンクリートの設計基準強度 () N/mm² (4.5.4) (6.3.1) スラブ ※21cm () cm 構造体強度補正值(S) (4.5.4) ・3N/mm² ・審査(評定又は大臣認定)された内容による ()</p> <p>掘削工法 (4.5.1) (4.5.5~6) ・アースドリル工法 安定液 ・使用する ・使用しない ・リバース工法 ・オールケーシング工法 孔内の水張り ・行う ・行わない</p> <p>併用する工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による () 鋼管巻き材料 ・SKK400 ・SKK490 () ・掘削工法 図示による () 安定液 ・使用する ・使用しない ()</p> <p>試験杭 (4.2.2) (4.5.5~6) 試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う () 試験杭の位置、本数 ※最初の本 () 図示による</p> <p>孔壁測定 (4.5.5~6) ・行う 測定方法、測定箇所は図示による ・行わない</p> <p>杭の精度 水平方向の位置ずれ ・100mm以下 () 杭の傾斜 ・1/200以内 ()</p> <p>工法 (4.7.1~4) ○深層混合処理工法 機械攪拌方式とする 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による 長期設計支持力 () kN/m² () ・浅層混合処理工法 原位置混合方式とする 適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による 長期設計支持力 () kN/m² ()</p> <p>形状、支持地盤、仕様 (6.3.1) ・図示による</p> <p>長期設計支持力 () kN/m² ()</p> <p>セメントの種類 (6.3.1) ・高炉セメントB種 () コンクリートの設計基準強度 () kN/m² 構造体強度補正值(S) () kN/m²</p>	<p>7 液化化対策</p> <p>⑧ 砂利地業 (4.6.2) 材料 再生クラッシュラン ・切込砂利及び切込砕石 (4.6.2) 厚さ、幅及び使用範囲 (4.6.3) 地業 割り石 フーチング各外面より+150 ・150 () 砂利(砕石) フーチング各外面より+150 ・60 ○100 ・150</p> <p>⑨ 捨てコンクリート (4.6.4) コンクリートの仕様 ※無筋コンクリートによる () (6.14.1~3) (6.14.1~3) セメントの種類 (6.3.2) ・高炉セメントB種 () 厚さ、幅及び使用範囲 (4.6.4) 部位 幅(mm) 厚さ(mm) 基礎 フーチング各外面より+100 ※50 () 地中ばり フーチング各外面より+100 ※50 ()</p> <p>10 床下防湿層 (4.6.5) 施工範囲 (4.6.5) ・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) 材料 ・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 () 防湿層の位置 ()</p> <p>① 鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1) 鉄筋の種類 種類の記号 呼び名(mm) 備考 ○SD295 ○D10 ○D13 ○D16 () ○SD345 ・D10 ・D13 ・D16 ()</p> <p>② 溶接金網 (5.2.2) 形状等 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) 使用部位 ○溶接金網 ・鉄筋格子</p> <p>③ 鉄筋の継手 (5.3.4) (5.5.2) 継手方法等 部位 継手方法 呼び名(mm) 柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・機械式継手 耐力壁の鉄筋 ※重ね継手 その他の鉄筋() ※重ね継手</p> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4) ※図示による</p> <p>継手位置図 ※図示による</p> <p>鉄筋の定着方法 (5.3.4) ※図示による</p> <p>④ 鉄筋の定着の方法及び長さ (5.3.4) 鉄筋の定着長さ ※図示による ()</p> <p>⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む) (5.3.5) 最小かぶり厚さ(自地底から算出を行う) ※図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・有り 適用箇所 () 最小かぶり厚さ ・鉄筋径の1.5倍以上 () ・() ○無し</p> <p>軽量コンクリートで土に接する部分 無し 適用箇所 () ・有り 適用箇所 () ・図示による ()</p> <p>耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・無し 適用箇所 () ・有り 適用箇所 () ・図示による ()</p> <p>鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) (5.3.5) (図5.3.6) ・()</p> <p>6 特殊な鉄筋継手 (5.5.2) ・機械式継手 使用箇所 ※図示による () 性能(H12建告第1463号に適合するもの) (5.5.2) ・A級 () 機械式継手の種類 () 鉄筋相互のあき () ・図示による () 品質の確認方法 () ・図示による () 不良となった継手の修正方法等 () ・図示による ()</p> <p>・溶接継手 使用箇所 (5.6.3) ※図示による () 性能(H12建告第1463号に適合するもの) () ・A級 () 溶接継手の工法 () 鉄筋相互のあき () ※図示による () 品質の確認方法 () ※図示による () 不良となった継手の修正方法等 () ※図示による ()</p>																																																																																																																	

鉄筋工事	⑦ 各部配筋	各部配筋 ※図示による	(5.3.7)	鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた (株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・S ・H ・M ・R ・J グレード以上 ・監督員の承諾する工場(標仕 7.1.1 以外の適用範囲に限る。)	鉄骨工事	15 鉄骨の製作精度	※標仕 7.3.3による 溶接ずれ及び食い違い ・溶接部はH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること ・溶接ずれ及び食い違いはH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する ただし書きの計算確認有り。 図示による	(7.3.3)			
	8 圧接完了後の試験	外観試験 ※行う(全数) 抜取試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験	(5.4.10)		2 施工管理技術者		※適用する ・適用しない	(7.1.3~4)	16 鉄骨の仮組	仮組を行う範囲 ※図示による 確認方法、確認項目 ※図示による	(7.3.10)	
コンクリート工事	⑧ 帯筋	組立の形の種別 ※図示による		鉄骨工事	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた (株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・S ・H ・M ・R ・J グレード以上 ・監督員の承諾する工場(標仕 7.1.1 以外の適用範囲に限る。)	鉄骨工事	17 溶接技能者の技量付加試験	試験の要領及び試験を要する溶接箇所 ※図示による	(7.6.3)			
	10 最上階柱頭補強	補強方法 ※図示による					3 鋼材	材質等 (7.2.1) (表7.2.1)		18 溶接接合	開先の形状 ※図示による スカラップの形状 ※図示による 鋼製エンドタブの切除する部分 ・全て ・見え掛り部となる部分 ・切除する部分なし	(7.6.4) (7.6.7) (7.6.7)
	11 片持ちスラブの出隅部の補強配筋(出隅受け部分の補強筋をきむ)	配筋方法 ※図示による					4 高力ボルト	ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・セットの種類 ・JIS形高力ボルト ・セットの種類	(7.2.2) (7.3.2) (7.4.1~9)	19 現場溶接の有無	溶接部の余盛り高さ ・無し ・有り 適用箇所 図示による	(7.6.7)
	12 壁開口部の補強	一般壁 ※図示による 耐震壁 ※図示による					5 普通ボルト	高力ボルトの径 ・図示による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による すべり係数試験 ※行わない ・行う 試験方法等 図示による	(7.4.2)	20 入熱、バス間温度溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による 適用箇所 ・図示による ・柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部	
	13 梁貫通孔の補強	補強形式 ※図示による 配筋種別 ※図示による 梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト ※図示による					6 溶融垂れめつき高力ボルト	ボルト及びナットの材料 ・標仕 表7.2.3による 座金 ・標仕 7.2.3(4)による ボルトの径 ・図示による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による	(7.2.3) (7.3.2)	21 溶接部の試験	完全溶込み部の超音波探傷試験 ・行わない ※行う ・工場溶接の場合 ・全数検査 ※抜取検査	(7.6.12) (表7.6.2~4)
	⑨ 基礎梁主筋の継手	※図示による					7 アンカーボルト	適用 ・構造用アンカーボルト ・セットの種類 ・JIS B 1220 ABR400 ・JIS B 1220 ABR490 ・図示による ・形状、寸法 ・建方用アンカーボルト ・材質 ・アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ・標仕 表7.2.3による ・図示による	(7.2.4) (表7.2.3) (7.10.3)	22 錆止め塗装	塗料の種類 ・鉄鋼面の錆止め塗料 標仕 18.3.2 表18.3.2 (※Az ・Bz ・Cz)種 ・屋外 ・標仕 18.3.2 表18.3.1 (※Az ・Bz)種 ・屋内 ・標仕 18.3.2 表18.3.1 (※Az ・Bz)種 ・重鉛めつき鉄面の錆止め塗料 ・標仕 18.3.2 表18.3.2 (※Az ・Bz ・Cz)種 ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ・標仕 18.3.2 表18.3.1 (※Az ・Bz)種 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・行わない ・行う 適用箇所 ・図示による ・標仕 18.3.2 表18.3.2 (※Az ・Bz)種 ・標仕 18.3.2 表18.3.2 (※Az ・Bz ・Cz)種	(7.8.4) (18.3.2)
	15 機械吊上げ用フック	種別 ※図示による					8 溶接材料	溶接材料 ※標仕 7.2.5(1)(2)による ・標仕 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 図示による	(7.2.5)	23 耐火被覆	種類 ・耐火材吹付け ・耐火材張り ・耐火材巻付け ・ラス張りモルタル塗り ・耐火塗料	(7.9.2~7)
	⑩ 基礎梁主筋の継手	※図示による					9 ターンバックル	種類 ・建築用ターンバックル胴 ・建築用ターンバックルボルト ・割枠式 ・羽子板ボルト	(7.2.6)	24 アンカーボルトの保持及び埋め込み工法	建方用アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 ・A種 ・B種 構造用アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 ※適切な鋼製アンカーフレーム等を設置して固定する方法 ・図示による 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 ※標仕 表7.10.2 (※A種 [モルタル厚さ50] ・B種 [モルタル厚さ30])による	(7.2.4) (7.10.3) (表7.10.1)
	⑪ 基礎梁主筋の継手	※図示による					10 デッキプレート	材質、形状及び寸法 ・構造床 ・合成スラブ ・床型枠用	(7.2.7)	25 軽量形鋼構造	接合部(ボルト接合の場合) ・普通ボルト接合	(7.11.2)
	⑫ レディーミクストコンクリートの種類	種類 ※I類 ・II類	(6.2.1) (表6.2.1)				11 レール及びその付属品	形状及び寸法等 ・図示による		26 溶融垂れめつき(耐力上必要な部分)	種別等 重鉛めつきの種別 A種 B種 C種 材料 最小板厚 6.0mm以上の形鋼、鋼板 最小板厚 3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	(7.12.4) (表14.2.2)
	⑬ コンクリートの種類強度及び材料	部位 ・杭 ・基礎、地中梁 ・基礎スラブ ・柱、梁 ・床スラブ、壁 ・土間、捨てコン ・その他	強度 Fc ・18 ・21 ・24 ・その他				スラブ ・15 ・18 ・24 ・その他	セメント 種類 ・普通ポルトランド ・高炉B種 ・その他	(6.2.2、表6.2.3、表6.3.1)	27 梁貫通孔の補強	適用箇所 ※図示による 補強方法 ・補強トラス法 適用箇所 ※図示による	
	⑭ レディーミクストコンクリートの種類	強度及び材料	(6.2.1~6.3.1) (表6.2.2、表6.2.3、表6.3.1)				12 スタッド	材質、形状及び寸法 ※頭付きスタッド JIS B 1198	(7.2.8)			
	⑮ 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B	(6.3.1)				13 柱底均しモルタル	モルタルの種類 ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標仕 7.2.9(2)による 品質及び試験方法 ※標仕 表7.2.5による	(7.2.9)			
⑯ 軽量コンクリート	種類 ・1種 ・2種	(6.10.1) (表6.10.1)	14 工作図	監督員による現寸検査 ・行わない ・行う 増築工事等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上作成を行う。	(7.3.2)							
⑰ 無筋コンクリート	適用箇所 ・標仕 6.14.1(4)による箇所 ・標仕 6.14.1(4)以外の箇所 ・図示による	(6.14.1)										
⑱ 設計基準強度	※18N/mm ²	(6.14.1)										
⑲ スラブ	※15cm又は18cm											
⑳ ひび割れ誘発目地打設目地	目地寸法 ・標仕 9.7.3による 間隔、位置、形状 ・図示による	(6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)										
㉑ コンクリート仕上り	部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 ・標仕表6.2.3による 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ ※コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による	(6.2.5) (表6.2.3) (6.2.5) (6.9.3) (表6.2.4)										
㉒ 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	・打放し仕上げ(仕上げ材、塗装等の仕上げを行う部分を含む) の打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げ(仕上げ材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・外壁タイル張り、MCR工法又は目荒らし(高圧水洗)工法を行う場合は外部側に20mmの打増しを行う	(6.8.1)										
㉓ 型枠	せき板の材料 ・合板(国産材) せき板の厚さ ・12mm 断熱材の兼用 ・行う スリーブの材質 ※標仕 6.8.2(9)(4)及び表6.8.11による	(6.8.2)										
㉔ 単位水量の測定	・有り ・無し											
㉕ 混和材料	・混和剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・防錆剤 ・混和材 ・フライアッシュ(Ⅰ種・Ⅱ種) ・高炉スラグ微粉末 ・シリカヒューム ・膨張材											
㉖ 圧縮強度試験	公的機関でコンクリートの材齢28日圧縮強度試験を行う建築物・その部位等 建築物名 部位											

コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造	<p>ブロックの種類 (8.2.2~5)</p> <table border="1"> <tr> <th>断面形状及び圧縮強度による区分</th> <th>正味厚さ</th> <th colspan="2">モジュール呼び寸法</th> <th>化粧の有無</th> <th>適用箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※空洞ブロック-16</td> <td>・120 ※150</td> <td>※400</td> <td>※200</td> <td>※無</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・型枠状ブロック-20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※無</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>各部の配筋 ※図示による</p> <p>化粧目地の有無 無・有</p>	断面形状及び圧縮強度による区分	正味厚さ	モジュール呼び寸法		化粧の有無	適用箇所	備考	※空洞ブロック-16	・120 ※150	※400	※200	※無			・型枠状ブロック-20				※無															
	断面形状及び圧縮強度による区分	正味厚さ	モジュール呼び寸法		化粧の有無	適用箇所	備考																													
	※空洞ブロック-16	・120 ※150	※400	※200	※無																															
	・型枠状ブロック-20				※無																															
2 コンクリートブロック横壁及び扉	<p>ブロックの種類 (8.3.2~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>断面形状及び圧縮強度による区分</th> <th>正味厚さ</th> <th colspan="2">モジュール呼び寸法</th> <th>化粧の有無</th> <th>(表8.3.1)以外の適用箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・空洞ブロック-08</td> <td>・120 ※150</td> <td>※400</td> <td>※200</td> <td>※無</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・空洞ブロック-16</td> <td>・120 ※150</td> <td>※400</td> <td>※200</td> <td>※無</td> <td>・有</td> <td></td> </tr> </table> <p>各部の配筋 ※図示による</p> <p>化粧目地の有無 無・有</p>	断面形状及び圧縮強度による区分	正味厚さ	モジュール呼び寸法		化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考	・空洞ブロック-08	・120 ※150	※400	※200	※無			・空洞ブロック-16	・120 ※150	※400	※200	※無	・有															
断面形状及び圧縮強度による区分	正味厚さ	モジュール呼び寸法		化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考																														
・空洞ブロック-08	・120 ※150	※400	※200	※無																																
・空洞ブロック-16	・120 ※150	※400	※200	※無	・有																															
3 ALCパネル	<p>(8.4.2~5)</p> <table border="1"> <tr> <th>パネルの種類</th> <th>単位荷重(N/m²)</th> <th>厚さ</th> <th>幅</th> <th>耐火性能</th> <th>表面加工</th> <th>構法の種別</th> </tr> <tr> <td>・外壁パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td>・30分 ・1時間 ・2時間</td> <td>・平 ・意匠</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td>・30分 ・1時間 ・2時間</td> <td>・平 ・意匠</td> <td>・C種 ・D種 ・E種</td> </tr> <tr> <td>・屋根パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td>・30分 ・1時間 ・2時間</td> <td>・平</td> <td>F種</td> </tr> <tr> <td>・床パネル</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> <td>・30分 ・1時間 ・2時間</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>耐風圧性能 ()</p> <p>耐震性能 ()</p> <p>パネル幅の最小限度 ※300mm</p> <p>パネル短辺小口相互の接合部の伸縮目地幅 ※10~20mm</p> <p>外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅 (mm) ※10~20</p> <p>伸縮目地への耐圧目地材の充填 ・適用する ・適用しない</p>	パネルの種類	単位荷重(N/m ²)	厚さ	幅	耐火性能	表面加工	構法の種別	・外壁パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平 ・意匠	・A種 ・B種	・間仕切壁パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平 ・意匠	・C種 ・D種 ・E種	・屋根パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平	F種	・床パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間		
パネルの種類	単位荷重(N/m ²)	厚さ	幅	耐火性能	表面加工	構法の種別																														
・外壁パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平 ・意匠	・A種 ・B種																														
・間仕切壁パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平 ・意匠	・C種 ・D種 ・E種																														
・屋根パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間	・平	F種																														
・床パネル		・100		・30分 ・1時間 ・2時間																																
4 押出成形セメント板(ECP)	<p>(8.5.2~5)</p> <table border="1"> <tr> <th>パネルの種類</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ</th> <th>幅</th> <th>工法の種別</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td>・外壁パネル</td> <td>・F ・D ・T</td> <td>・50 ・60 ・100</td> <td>・450 ・600 ・100</td> <td>・A種 ・B種</td> <td>・30分 ・1時間 ・2時間</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁パネル</td> <td></td> <td>・50 ・60 ・100</td> <td>・450 ・600 ・100</td> <td>・B種 ・C種</td> <td>・30分 ・1時間 ・2時間</td> </tr> </table> <p>耐風圧性能 ()</p> <p>耐震性能 ()</p> <p>大臣認定以外の目地及び隙間の処理 ※パネル製造所の仕様</p> <p>パネル幅の最小限度 ※300mm</p> <p>パネルの相互の目地幅 (mm) ※900mm以下の場合 長辺10以上 短辺15以上</p> <p>※900mmを超える場合 長辺15以上 短辺15以上</p> <p>出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm) ※15</p> <p>やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。</p> <table border="1"> <tr> <th>パネルに開口を設ける場合</th> <th>短辺</th> <th>開口の大きさ</th> <th>切断後のパネルの残り部分の幅</th> </tr> <tr> <td>パネルを切り欠く場合</td> <td>短辺</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	工法の種別	耐火性能	・外壁パネル	・F ・D ・T	・50 ・60 ・100	・450 ・600 ・100	・A種 ・B種	・30分 ・1時間 ・2時間	・間仕切壁パネル		・50 ・60 ・100	・450 ・600 ・100	・B種 ・C種	・30分 ・1時間 ・2時間	パネルに開口を設ける場合	短辺	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅	パネルを切り欠く場合	短辺											
パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	工法の種別	耐火性能																															
・外壁パネル	・F ・D ・T	・50 ・60 ・100	・450 ・600 ・100	・A種 ・B種	・30分 ・1時間 ・2時間																															
・間仕切壁パネル		・50 ・60 ・100	・450 ・600 ・100	・B種 ・C種	・30分 ・1時間 ・2時間																															
パネルに開口を設ける場合	短辺	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅																																	
パネルを切り欠く場合	短辺																																			

改質アスファルトシート防水	2	<p>(9.3.2~4) (表9.3.1~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>防湿層</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・AS-T1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-T4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-J1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AS-I-T1</td> <td>(材質) ※JIS A 9521によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ) ※25mm</td> <td></td> <td></td> <td>・設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・AS-I-J1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>仕上塗料 ※カラー ・シルバー</p> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※標仕 表9.3.1~表9.3.3による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※標仕 表9.3.1~表9.3.3による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※標仕 表9.3.1~表9.3.3による</p> <p>押え金物</p> <p>※改質アスファルト製造所の仕様による</p>	種別	施工箇所	断熱材	防湿層	備考	・AS-T1					・AS-T2					・AS-T3					・AS-T4					・AS-J1					・AS-I-T1	(材質) ※JIS A 9521によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ) ※25mm			・設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・設けない	・AS-I-J1																							
	種別	施工箇所	断熱材	防湿層	備考																																																								
	・AS-T1																																																												
	・AS-T2																																																												
・AS-T3																																																													
・AS-T4																																																													
・AS-J1																																																													
・AS-I-T1	(材質) ※JIS A 9521によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ) ※25mm			・設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・設けない																																																									
・AS-I-J1																																																													
3	<p>(9.4.2~4) (表9.4.1~2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>可塑剤移行防止用シートの材質</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・S-F1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-I-F1</td> <td></td> <td></td> <td>(材質) ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの (厚さ) ※25mm</td> <td>※カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-I-F2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-I-M1</td> <td></td> <td></td> <td>(材質) ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの又はA種押出し法※ウレタンフォーム保温材の保温板</td> <td>※カラー・シルバー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-I-M2</td> <td></td> <td>※発砲ウレタンフォームシート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-C1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>歩行 ・軽歩行 ・非歩行</p> <p>ルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>※標仕 表9.4.1~表9.4.2による</p> <p>固定金具の材質及び寸法形状</p> <p>※標仕 9.4.2 (3) (イ)による</p> <p>仕上塗料の種類及び使用量</p> <p>※図示による</p> <p>防水下地かPCコンクリート部材下地の場合の処理</p> <p>目地処理 ※図示による</p> <p>入隅部の増張り (S-F1, S-I-F1の場合) ※図示による</p>	種別	施工箇所	可塑剤移行防止用シートの材質	断熱材	仕上塗料	備考	・S-F1				※カラー・シルバー		・S-F2				※カラー・シルバー		・S-M1				※カラー・シルバー		・S-M2				※カラー・シルバー		・S-I-F1			(材質) ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの (厚さ) ※25mm	※カラー・シルバー		・S-I-F2						・S-I-M1			(材質) ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの又はA種押出し法※ウレタンフォーム保温材の保温板	※カラー・シルバー		・S-I-M2		※発砲ウレタンフォームシート				・S-C1					
種別	施工箇所	可塑剤移行防止用シートの材質	断熱材	仕上塗料	備考																																																								
・S-F1				※カラー・シルバー																																																									
・S-F2				※カラー・シルバー																																																									
・S-M1				※カラー・シルバー																																																									
・S-M2				※カラー・シルバー																																																									
・S-I-F1			(材質) ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの (厚さ) ※25mm	※カラー・シルバー																																																									
・S-I-F2																																																													
・S-I-M1			(材質) ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの又はA種押出し法※ウレタンフォーム保温材の保温板	※カラー・シルバー																																																									
・S-I-M2		※発砲ウレタンフォームシート																																																											
・S-C1																																																													
4	<p>(9.5.2~4) (表9.5.1~2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>保護層</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・X-1</td> <td></td> <td>※カラー ・シルバー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・X-2</td> <td></td> <td>※カラー ・シルバー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-1</td> <td>※地下外壁防水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Y-2</td> <td>※屋内防水</td> <td></td> <td></td> <td>・保護コンクリート ・保護モルタル ※適用しない</td> </tr> </table> <p>・超速硬化ウレタン防水</p> <p>・FRP系塗膜防水</p> <p>仕上塗料の種類及び使用量</p> <p>※図示による</p>	種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	備考	・X-1		※カラー ・シルバー			・X-2		※カラー ・シルバー			・Y-1	※地下外壁防水				・Y-2	※屋内防水			・保護コンクリート ・保護モルタル ※適用しない																																			
種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	備考																																																									
・X-1		※カラー ・シルバー																																																											
・X-2		※カラー ・シルバー																																																											
・Y-1	※地下外壁防水																																																												
・Y-2	※屋内防水			・保護コンクリート ・保護モルタル ※適用しない																																																									
5	<p>(9.6.2~4) (表9.6.1~2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※C-SU1</td> <td></td> <td>・C-SUP</td> <td></td> </tr> </table>	種別	施工箇所	種別	施工箇所	※C-SU1		・C-SUP																																																					
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																										
※C-SU1		・C-SUP																																																											

石工工事	1 施工	<p>石材の割付け ※標仕 10.1.3 (1) (7) ~ (4)による</p> <p>粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ ※図示による</p> <p>屋内の床を本磨きとする場合のワックス掛け ・行う (適用場所) ・すべて () ・行わない</p>																																																																		
	2 石材等	<p>天然石 (10.2.1~3) (表10.2.1~2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品質</th> <th>石材の種類</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・1等品 ・2等品</td> <td></td> <td>※矩形0.8 m/枚</td> <td>・図示</td> <td></td> <td>・粗磨き ・本磨き</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1等品 ・2等品</td> <td></td> <td>※矩形0.8 m/枚</td> <td>・図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>テラズブロック</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>形状</th> <th>仕上げ面</th> <th>寸法</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td>・図示</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・平もの ・役もの</td> <td>・片面 ・両面</td> <td>・図示</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>テラズタイル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・300型 ・400型</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石 ・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・300型 ・400型</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>取り付用モルタル、既設の目地モルタル、浸透性吸水防止材、石裏面処理材、裏打ち処理材</p> <p>※専門工事業者の指定する製品</p> <p>※流し筋工法</p> <p>・あと施工アンカー工法</p> <p>・あと施工アンカー工法</p> <p>・横筋流し工法</p> <p>・流し筋工法</p> <p>・あと施工アンカー工法</p> <p>石裏面処理</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>裏打ち処理</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>下地ごしらえ</p> <p>※あと施工アンカー</p> <p>・横筋流し工法</p> <p>・あと施工アンカー工法</p> <p>受金物</p> <p>材質</p> <p>()</p> <p>形状及び寸法</p> <p>樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ</p> <p>アンカーの材質及び径</p> <p>※SS400 M12</p> <p>あと施工アンカーの材質及び寸法</p> <p>目地</p> <p>一般目地 目地幅(mm) ※6~10</p> <p>シーリング材</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>伸縮調整目地</p> <p>位置</p> <p>※(11.1.3)による</p> <p>※(9.7.3 [目地寸法] (1) (ウ))による</p> <p>・図示による</p> <p>・図示による</p> <p>受金物</p> <p>材質</p> <p>()</p> <p>形状及び寸法</p> <p>石裏面処理</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>裏打ち処理</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>下地ごしらえ</p> <p>※あと施工アンカー</p> <p>・横筋流し工法</p> <p>・あと施工アンカー工法</p> <p>アンカーの材質及び径</p> <p>※SS400 M12</p> <p>あと施工アンカーの材質及び寸法</p> <p>目地</p> <p>一般目地 目地幅(mm) ※6~10</p> <p>シーリング材</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>伸縮調整目地</p> <p>位置</p> <p>※(9.7.3 [目地寸法] (1) (ウ))による</p> <p>・図示による</p> <p>外壁乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等</p>	施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法	厚さ	表面仕上げ	備考		・1等品 ・2等品		※矩形0.8 m/枚	・図示		・粗磨き ・本磨き			・1等品 ・2等品		※矩形0.8 m/枚	・図示				施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法	表面仕上げ	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・図示				※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・図示			施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考		※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型				※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型		
	施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法	厚さ	表面仕上げ	備考																																																												
		・1等品 ・2等品		※矩形0.8 m/枚	・図示		・粗磨き ・本磨き																																																													
	・1等品 ・2等品		※矩形0.8 m/枚	・図示																																																																
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法	表面仕上げ	備考																																																													
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・図示																																																															
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・図示																																																															
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考																																																															
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型																																																																	
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型																																																																	
3 外壁湿式工法	<p>(10.2.2~3) (10.3.2~3)</p> <p>石裏面処理</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>裏打ち処理</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>下地ごしらえ</p> <p>※あと施工アンカー</p> <p>・横筋流し工法</p> <p>・あと施工アンカー工法</p> <p>受金物</p> <p>材質</p> <p>()</p> <p>形状及び寸法</p> <p>樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ</p> <p>アンカーの材質及び径</p> <p>※SS400 M12</p> <p>あと施工アンカーの材質及び寸法</p> <p>目地</p> <p>一般目地 目地幅(mm) ※6~10</p> <p>シーリング材</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>伸縮調整目地</p> <p>位置</p> <p>※(11.1.3)による</p> <p>※(9.7.3 [目地寸法] (1) (ウ))による</p> <p>・図示による</p> <p>・図示による</p>																																																																			
4 内壁塗工工法	<p>(10.2.2) (10.4.2~3)</p> <p>受金物</p> <p>材質</p> <p>()</p> <p>形状及び寸法</p> <p>石裏面処理</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>裏打ち処理</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>下地ごしらえ</p> <p>※あと施工アンカー</p> <p>・横筋流し工法</p> <p>・あと施工アンカー工法</p> <p>アンカーの材質及び径</p> <p>※SS400 M12</p> <p>あと施工アンカーの材質及び寸法</p> <p>目地</p> <p>一般目地 目地幅(mm) ※6~10</p> <p>シーリング材</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>伸縮調整目地</p> <p>位置</p> <p>※(9.7.3 [目地寸法] (1) (ウ))による</p> <p>・図示による</p> <p>外壁乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等</p>																																																																			
5 外壁乾式工法	<p>(10.5.2~3) (表10.2.4)</p> <p>取付け方式</p> <p>・スライド方式 ・ロッキング方式0.2.2</p> <p>裏打ち処理</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>だば用の穴の位置</p> <p>※標仕 10.5.2 (2) (7)による</p> <p>・図示による</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法</p> <p>※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)</p> <p>アンカーの材質及び形状</p> <p>あと施工アンカーの材質及び寸法</p> <p>目地 目地幅 (mm) ※8以上</p> <p>シーリング材</p> <p>・適用する (※標仕 9章8節 [シーリング] による) ・適用しない</p>																																																																			
6 床及び階段の石張り	<p>(10.6.2~3)</p> <p>床の浸透性吸水防止剤</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>床の石裏面処理</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>床の裏打ち処理</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>階段の石裏面処理</p> <p>目地</p> <p>一般目地 目地幅 (mm) ・屋外: 4mm以上 屋内: 3~6mm</p> <p>シーリング材</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>伸縮調整目地 位置</p> <p>※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他の部材と取り合う箇所</p> <p>・図示による</p>																																																																			
7 笠木、甲板等の石張り	<p>(10.2.2) (10.7.3)</p> <p>取付け工法</p> <p>・湿式工法 ・乾式工法</p> <p>取付け金物</p> <p>※標仕 10.2.2 (3)による</p> <p>引金物、だば、かすがい及び受金物</p> <p>※標仕 10.2.2 (1)による</p> <p>石裏面処理</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>乾式工法の場合の取付け代</p> <p>※標仕 10.5.3 (2)による</p> <p>石裏の補強用モルタル</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>アンカーの材質及び径</p> <p>・ステンレス (SUS304) M10</p> <p>あと施工アンカーの材質及び寸法</p> <p>()</p>																																																																			
8 製造所及び施工業者	<p>監督員の承諾による。</p>																																																																			

8	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 2 セメントモルタルによる 3 有機系接着剤による 4 階段滑り止め	位置 ※標仕 表11.1.1による ・ 図示による (11.1.3) (表11.1.1)	3 造作用単板積層材 4 直交集成板 5 合板等 6 接着剤 7 防菌・防蟻・防虫 8 不燃処理木材等	JAS0701(単板積層材)に規定する造作用単板積層材 (12.2.1(4)) 施工箇所 寸法 表面の化粧加工 防虫処理 備考 ・有り(加工:天然木加工・塗装加工) ・適用する ・無し(等級:) ・適用しない	4) 大断面集成材 5) 接合金物等の 6) 製作精度 7) 表面仕上げ 8) アンカーボルト 9) 柱底均し仕上げ 10) 普通ボルト 11) ボルト孔 12) ラグスクリー 13) ドリフトピン 14) ジベル 15) 錆止め塗装 16) 垂鉛めっき 17) 防火被覆材 18) 防火被覆処理	大断面集成材の品質等 強度等級は、次による 構成するひき板の品質等による区分 ・対象異等級集成材 ・非対称異等級集成材 ・国土交通大臣が認定したものの 断面の品質 ※2種 ・3種 接着性能 ・使用環境1 ・使用環境2 樹種 ・べいまつ ・からまつ ・すぎ ・() ・()
		「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 施工箇所 寸法 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 ・有り(加工:天然木加工・塗装加工) ・適用する ※14%以下 ・無し(等級:) ・適用しない		鋼材の材質 ※SS400 ・SN400A ・() ・()		
		直交集成板 (12.2.1(5)) 施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能(使用環境) 樹種 寸法 備考		※精度基準は次による 部位等 精度基準 短辺 製作寸法の±1.5mm以内 長辺 製作寸法の±1.5mm以内、かつ、±5mm以内 材長 工作寸法の±5mm以内 断面直角精度 直角とのひずみ±1/100mm		
		下地用合板 (12.2.1(6)) 施工箇所 厚さ 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 難燃処理 防火処理 備考 ※5.5 ・ラフ ・※1類 広葉樹 ・適用する ・適用する ・適用する ・しな ・2類 ※2等以上 ・1等 ・適用しない ・適用しない ・適用しない 針葉樹 ※C-D以上		仕上げの程度 ・A種 ※B種 材質 ※SS400 ・() 寸法 ※図示 ・() アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・A種 ※B種 ・C種		
3 有機系接着剤による 4 階段滑り止め	位置 ※標仕 表11.1.1による ・ 図示による (11.1.3) (表11.1.1)	標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ※行わない 見本焼き ・行う ※行わない モルタル塗りのコンクリート素地の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法(高圧洗浄) ・() 壁紙張りの工法 内外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ユニットタイル(内装タイル以外) ・マスク張り ・モザイクタイル張り 既製鋼管モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、 混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による	⑥ 接着剤 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ()	① 長尺金属板葺 ② 折板葺 ③ とい	① 長尺金属板葺 (13.2.2~3) 施工箇所 板及びコイルの種類 塗膜の耐久性の種類 めっき付着量 厚さ 屋根葺形式 備考 ※JIS G 3322の 屋根用コイル (CGLCCR-20-AZ150) AZ150 0.27 以上 心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・横葺 ・横葺 下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ②改質アスファルトルーフィング下葺材 (①一般タイプ) ・粘着層付タイプ 雪止め ※設置する(図示) ・設置しない	
9 ① 製材	JAS1083(製材)に基づく製材 (12.2.1(2)) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) ・下地用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 ※2級 ・A種 ・B種	⑦ 造作用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 廻縁 米松 15x20 ※2級 ・A種 ・B種	⑦ 防菌・防蟻・防虫 ・防菌、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材 適用部位 () ・薬剤の加圧注入による防菌・防蟻処理 適用部位 () 保存処理性能区分 ・K2 ・K3 ・K4	② 折板葺 (13.2.2) (13.3.2~3) (表13.2.1) 施工箇所 形式 山高、山ピッチによる区分 耐力による区分 材料による区分 厚さ 軒先面戸板 耐火性能 山高、山ピッチ () 種 ・鋼板製 ・鋼板製 ・75x75mm 合金板製 ・有り ・無し ・30分 ・無し	③ とい (13.5.2~3) (表13.5.1) 種別 材種 径 施工箇所 備考 たてどい ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管 □G ④高耐熱性特殊樹脂管 軒どい ⑤硬質塩化ビニル樹脂管 SUS304、厚2	
10 ① 製材	JAS1083(製材)に基づく製材 (12.2.1(2)) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) ・下地用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 ※2級 ・A種 ・B種	⑧ 造作用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 廻縁 米松 15x20 ※2級 ・A種 ・B種	⑧ 不燃処理木材等 ・ボード原料接着材への薬剤混入による防菌、防蟻処理 適用部位 () ・防虫処理 適用部位 () ・不燃材料 () ・準不燃材料 () ・難燃材料 ()	④ とい (13.5.2~3) (表13.5.1) 種別 材種 径 施工箇所 備考 たてどい ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・配管用鋼管 ・ステンレス鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管 □G ④高耐熱性特殊樹脂管 軒どい ⑤硬質塩化ビニル樹脂管 SUS304、厚2	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	
11 ① 製材	JAS1083(製材)に基づく製材 (12.2.1(2)) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) ・下地用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 ※2級 ・A種 ・B種	⑨ 造作用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 廻縁 米松 15x20 ※2級 ・A種 ・B種	⑨ 軸組構法工事 1) 木材 2) 工法 3) 工作図	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	
12 ① 製材	JAS1083(製材)に基づく製材 (12.2.1(2)) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) ・下地用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 ※2級 ・A種 ・B種	⑩ 造作用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 廻縁 米松 15x20 ※2級 ・A種 ・B種	⑩ 軸組構法工事 1) 木材 2) 工法 3) 工作図	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	
13 ① 製材	JAS1083(製材)に基づく製材 (12.2.1(2)) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) ・下地用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 ※2級 ・A種 ・B種	⑪ 造作用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 廻縁 米松 15x20 ※2級 ・A種 ・B種	⑪ 軸組構法工事 1) 木材 2) 工法 3) 工作図	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	
14 ① 製材	JAS1083(製材)に基づく製材 (12.2.1(2)) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) ・下地用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 ※2級 ・A種 ・B種	⑫ 造作用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 廻縁 米松 15x20 ※2級 ・A種 ・B種	⑫ 軸組構法工事 1) 木材 2) 工法 3) 工作図	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	
15 ① 製材	JAS1083(製材)に基づく製材 (12.2.1(2)) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) ・下地用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 ※2級 ・A種 ・B種	⑬ 造作用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 廻縁 米松 15x20 ※2級 ・A種 ・B種	⑬ 軸組構法工事 1) 木材 2) 工法 3) 工作図	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	
16 ① 製材	JAS1083(製材)に基づく製材 (12.2.1(2)) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) ・下地用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 ※2級 ・A種 ・B種	⑭ 造作用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 廻縁 米松 15x20 ※2級 ・A種 ・B種	⑭ 軸組構法工事 1) 木材 2) 工法 3) 工作図	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	
17 ① 製材	JAS1083(製材)に基づく製材 (12.2.1(2)) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) ・下地用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 ※2級 ・A種 ・B種	⑮ 造作用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 廻縁 米松 15x20 ※2級 ・A種 ・B種	⑮ 軸組構法工事 1) 木材 2) 工法 3) 工作図	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	
18 ① 製材	JAS1083(製材)に基づく製材 (12.2.1(2)) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) ・下地用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 ※2級 ・A種 ・B種	⑯ 造作用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 廻縁 米松 15x20 ※2級 ・A種 ・B種	⑯ 軸組構法工事 1) 木材 2) 工法 3) 工作図	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	
19 ① 製材	JAS1083(製材)に基づく製材 (12.2.1(2)) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) ・下地用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 ※2級 ・A種 ・B種	⑰ 造作用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 廻縁 米松 15x20 ※2級 ・A種 ・B種	⑰ 軸組構法工事 1) 木材 2) 工法 3) 工作図	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	
20 ① 製材	JAS1083(製材)に基づく製材 (12.2.1(2)) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) ・下地用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 ※2級 ・A種 ・B種	⑱ 造作用製材 施工箇所 樹種 寸法 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 備考 廻縁 米松 15x20 ※2級 ・A種 ・B種	⑱ 軸組構法工事 1) 木材 2) 工法 3) 工作図	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	④ とい (13.5.2) (表13.5.2) ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろくろ葺用(・縦型 ・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中継用	

1 2 金属工事 1 あと施工アンカーの確認試験 (14.1.3 (1) (エ)) による確認試験を行う。 (14.1.3) 2 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2) (表14.2.2) 3 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) 4 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1) 5 金属成形板張り (14.7.2~3) (表14.2.1) 6 アルミニウム製装木 (14.7.2~3) (表14.2.1)

3 左官工事 1 仕上塗材仕上げ (15.6.2) (表15.6.1) 2 ALCパネルの場合の下地処理 (15.6.4) 3 マスチック塗料塗り (15.7.2) (表15.7.1) 4 ロックウール吹付け (15.12.2~4) 5 モルタル塗り

1 アルミニウム製建具 (16.2.2~5) (表16.2.1) 2 網戸等 (16.2.3 (5)) 3 樹脂製建具 (16.3.2) (表16.3.1~3) 4 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2) 5 鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2~4) 6 ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~4) 7 木製建具 (16.7.2~4) (表16.7.1)

8 建具用金物 (16.4.6) (16.8.4) 9 錠箱 (16.8.4) 10 自動ドア開閉機構 (16.9.2~3) 11 閉閉式上吊り引戸装置 (16.10.2~3) (表16.10.1) 12 重量シャッター (16.11.2~4) (表16.11.1) 13 軽量シャッター (16.12.2~4)

14 オーバーヘッドドア 建具工事

セクション材料による区分	耐風圧 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレール材
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・1250 ・1000 ・750 ・500	※バランスタイプ ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

15 ガラス

電動式の場合の障害物感知装置の設置場所 ※図示による

・フロントガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
・図示 (※建具表) による

①型板ガラスの厚さによる種類
②図示 (※建具表) による

・納入りガラス及び継入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・図示 (※建具表) による

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・図示 (※建具表) による

形状による種類
・平面合わせガラス
・曲面合わせガラス
落下衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類
・Ⅱ-1類
・Ⅱ-2類
・Ⅲ類

・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
・図示 (※建具表) による

破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類
・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・図示 (※建具表) による

性能による種類
・Ⅰ類
・Ⅱ類

・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・図示 (※建具表) による

断熱性による区分
・T1
・T2
・T3
・T4
・T5
・T6

日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G
・S

乾燥気体の種類
・空気
・アルゴン

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・図示 (※建具表) による

(16.14.2) (16.14.4)

日射熱遮蔽性による区分
・Ⅰ類
・Ⅱ類
・Ⅲ類

耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)
・A類
・B類

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・図示 (※建具表) による

ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.2~4) (図16.14.1)

留め材の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	※グレイジングチャンネル ・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による
樹脂製	※押線及びグレイジングガスケット	
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材	
ステンレス製	※シーリング材	

ガラス端部で枠にのみ込まない部分の小口加工
・建具表による

ガラスブロック積み JIS A 5212によるもの又は評価名簿によるもの (16.14.5)

表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色柄	クリア乳白	平積み	目地幅	曲面積み	伸縮目地調整位置	防火認定
・正方形	・160x160	95	・	・	※8~15	外側※15以下 内※6以上	※6以下こと に幅10~ 25mm	※6以下こと に幅10~ 25mm	・なし ・防火設備 ・防火設備
・長方形	・200x200	95	・	・	・	・	・	・	・

16 ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 95%以上

品質 JIS A 5759による。

カーテンウォール工事

2 メタルカーテンウォール

性能	耐震性	水密性	気密性	耐火性	耐温度差性	遮音性	断熱性
耐風圧性	水平方向 (kH) ・1.0 垂直方向 (kV) ・0.5			・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60		

カーテンウォールの材料 (17.2.2)

材料	規格	映透調整
※アルミニウム製	※標仕 16.2.3による	・行 ・行わない
・ステンレス		

製品及び取付位置の寸法許容差 ※標仕 表17.2.1~3による
ガラス溝の寸法、形状 ※製造所の仕様による
シーリング材の種類 (※標仕 表14.2.11による)
ガラスの取付方法 ()

3 PCカーテンウォール (17.3.2~5)

カーテンウォールの材料

コンクリート	※標仕 17.3.2 (1) (ア)~(イ)による
鉄筋	※SD295 (・D13 ・D10)
補強鉄線	径(mm) ※32 ・4.0 ・5.0 ・6.0

網目寸法
※図示による

配筋
・サッシ枠
・セラムック
・石膏材 (花こう岩
・大理石)

先付けの材料
・セラムック

表面仕上げ剤
・セラムック

ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm)
・t=1~2
・W1及びW2=±1

製品及び取付位置の寸法許容差 ※標仕 表17.2.2、表17.3.2による

① 材料

② 素地ごしらえ

③ 錆止め塗料塗り

④ 塗装

⑤ 接着剤

⑥ ニル床シート

⑦ ニル床タイル

⑧ 視覚障害者用床タイル

⑨ ビニル床幅木

⑩ ゴム床タイル

⑪ カーペット敷き

⑫ 合成樹脂塗床

① 材料

② 素地ごしらえ

③ 錆止め塗料塗り

④ 塗装

⑤ 接着剤

⑥ ニル床シート

⑦ ニル床タイル

⑧ 視覚障害者用床タイル

⑨ ビニル床幅木

⑩ ゴム床タイル

⑪ カーペット敷き

⑫ 合成樹脂塗床

③ 錆止め塗料塗り (18.3.2) (表18.3.1)

種類	下地面等	塗料の種類	備考
鉄鋼面	SOP	※As種	
	DP	※1回目 Cs種 2・3回目 Ds種	
	EP-G	※Bz種 ・Az種	
	EP-G	※Bz種 ・Az種	
亜鉛めっき鋼面	SOP	※Az種 ・Bz種	
	DP	※Bz種 ・Az種	
亜鉛めっき鋼面	SOP	※Bz種 ・Az種	
	DP	※Bz種 ・Az種	

④ 塗装 (18.3.3) (表18.3.3~6)

種類	下地面等	工程の種類	備考
鉄鋼面	SOP	※A種 ・B種	
	EP-G	見え隠れ部分 ※B種 ・A種	
	DP	※表18.3.4による	
	DP	※表18.3.4による	
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種 ・B種	
	EP-G	※B種 ・A種	
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種 ・B種	
	DP	※B種 ・A種	

⑤ 接着剤 (19.2.2)

⑥ ニル床シート (19.2.2~3)

種類	JIS記号	色柄	特殊機能	厚さ	工法
・発泡層のないもの (複層ビニル床シート)	※FS	・	・帯電防止 ・耐動過重性	※2.0	※熱溶接 ・突付け
・発泡層のあるもの		・	・防汚性 ・耐薬品性		

⑦ ニル床タイル (19.2.2~3)

JIS記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ
※KT (コンポジションビニル床タイル)	・無地	・300角 ・450角 ・500角	・帯電防止 ・防汚性	※2.0 ・2.5 ・3.0

⑧ 視覚障害者用床タイル (11.2.2)

種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内 ・図示による ・ ()	・300角 ・ ()	・ ()
屋外 ・図示による ・ ()	・300角 ・ ()	・ ()

⑨ ビニル床幅木 (19.2.2)

材種	厚さ	高さ
※軟質 ・硬質 ・溶接	※2.0	※60 ・75 ・100

⑩ ゴム床タイル (19.2.2)

色柄	厚さ	寸法 (mm)
・ ()	・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0	・ ()

⑪ カーペット敷き (19.3.2~3)

タイルカーペット	種別	寸法	総厚さ (mm)	色柄	帯電性
※ループパイル ・カットパイル ・カット、ループ併用	※第一種 ・第二種	・500角 ・ ()	・6.5 ・ ()	※無地 ・柄物	※3kV以下 ・その他

⑫ 合成樹脂塗床 (19.4.2~3) (表19.4.1~8)

種別	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 ・弾性ウレタン樹脂系		※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ・エポキシ樹脂系塗床	・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ
・薄膜型塗床材		※平滑仕上げ
⑬セメント系床仕上材	⑭コンクリート一体型工法	※平滑仕上げ

9 フローリング張り (19.5.2)

フローリング張り	工法	厚さ、幅、長さ	樹種	仕上塗装
・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り)	1.5×7.5×4.00 1.2×7.5×4.00	・ひのき ・なら	・塗装品 ・無塗装品
・フローリングブロック1等	・接着工法	0.8×7.5×4.00	・ ()	
・複合フローリング	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	・A種 ・B種 ・C種	・ひのき ・なら	

9 畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)

ホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ ()
接着剤工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ()

種別 (畳表: ・JS)

・A種 (畳表: ・PS-C20
・PS-C25
・PS-C30)
・B種 (畳表: ・KT-I
・KT-II
・KT-III
・KT-K
・KT-N)
・C種
・D種

下地の種類
・樺仕 表12.6.11による床組
・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン)

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びヒスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする

・衝撃緩和型畳
畳表 (JIS A 5902) ・C1 ・C2

⑩ せっこうボード
その他ボード張り (19.7.2~3) (表19.7.1)

規格名称	種類	厚さ等
◎木質系セメント板	木毛セメント板	15mm
◎繊維強化セメント板		
◎火山性ガラス質複層板		
◎繊維板	ケイ酸カルシウム板	5mm
◎吸音材料		
・せっこうボード製品		

普通適合板

表板の樹種名
板面の品質
厚さ
防虫処理

天然木化粧合板
化粧板の樹種名
厚さ
防虫処理

特殊加工化粧合板
化粧加工の方法
表面性能
厚さ
防虫処理

天井のボードの重ね張り
合板類の張付け
せっこうボードの目地工法

11 壁紙張り (19.8.2)

ホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ (19.8.2)
壁紙 ※F☆☆☆☆
接着剤 ※F☆☆☆☆

施工箇所	壁紙の種類	防火種別	商品名 (程度)
		・不燃 ・準不燃	

商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。 (19.8.3)

素地ごしらえの種類 (19.8.3)

モルタル面及びせっこうプラー面
コンクリート面
せっこうボード面
けい酸カルシウム板面

12 断熱材 (19.8.3)

・断熱材打込み工法 (19.8.3)

種類	厚さ (mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ※押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキ層なし)	・2種b ※3種b
・A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・フェーメル保温材 (3種2号を除く)	

・断熱材現場発泡工法 (19.8.3)

種類	厚さ (mm)	施工箇所
・A種1 ・A種1H	・25 ・30	※図示による

<p>1 フリーアクセスフロア</p> <p>2 可動間仕切</p> <p>3 移動間仕切</p> <p>④ トイレブース</p> <p>⑤ 手すり</p> <p>⑥ 階段滑り止め</p> <p>7 床目地棒</p> <p>8 視覚障害者用床タイル</p> <p>9 黒板及びホワイトボード</p> <p>10 タラップ</p> <p>11 煙突ライニング</p> <p>12 ブラインド</p> <p>13 ロールスクリーン</p> <p>14 カーテン</p> <p>15 カーテンレール</p> <p>16 カーテンボックス</p>	<p>フリーアクセスフロア及び表面仕上げ材 (20.2.2)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">パネル構造</th><th colspan="2">漕漕法</th></tr> <tr><td>寸法(mm)</td><td>4.50角以上600角以下</td><td></td><td>(床版から仕上げ材天端までの寸法)</td></tr> <tr><td>高さ(mm)</td><td>100</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>耐震性能</td><td>1.0G</td><td>0.6G</td><td></td></tr> <tr><td>所定荷重(N)</td><td>3000</td><td>5000</td><td></td></tr> <tr><td>帯電防止性能</td><td>0.6以上</td><td>1.2以上</td><td></td></tr> <tr><td>漏えい抵抗</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>表面仕上げ材</td><td>・タイルカーベット</td><td>・帯電防止床材</td><td></td></tr> <tr><td>床パネルの材質</td><td>・アルミ合金ダイカスト製</td><td>・スチール製又は複合材等</td><td></td></tr> <tr><td>構造材の材質</td><td>・アルミニウム製</td><td>・鋼製 (仕上げ)</td><td></td></tr> <tr><td>配線取り出しパネル</td><td>フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合</td><td>20~30%</td><td></td></tr> <tr><td>配線取り出し開口</td><td>・パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>空調用吹き出し(吸い込み)パネル</td><td>なし</td><td>あり (形式、施工箇所: 図示による)</td><td></td></tr> <tr><td>ローリングロード性能</td><td>適用しない</td><td>適用する (適用室:)</td><td></td></tr> </table> <p>20.2.3</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">構造形式</th><th colspan="2">構成基材の種類</th><th>総厚さ(mm)</th><th>遮音性(db)</th></tr> <tr><td>・スタッド式(内蔵)</td><td>・スタッド</td><td>・アルミ</td><td>・木質系</td><td>※30以上</td><td>0</td></tr> <tr><td>・スタッド式(露出)</td><td>・スチール</td><td>・スチール</td><td>・スチール系</td><td>・()</td><td>12</td></tr> <tr><td>・パネル式</td><td></td><td></td><td>・ガラス系</td><td>※60以上</td><td>20</td></tr> <tr><td>・スタッドパネル式</td><td></td><td></td><td>・アルミニウム合金系</td><td>・()</td><td>28</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>36</td></tr> </table> <p>20.2.4</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">表面仕上げ材</th><th colspan="2">パネル表面仕上げ</th></tr> <tr><td>・鋼板</td><td>・0.6</td><td>・メラミン樹脂焼付</td><td></td></tr> <tr><td>・()</td><td>・0.8</td><td>又はアクリル樹脂焼付</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>・壁紙張り</td><td></td></tr> </table> <p>パネル内に取り付ける建具 あり(※図示による) なし</p> <p>20.2.4</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">操作方法</th><th colspan="2">圧縮装置操作方法</th><th>総厚さ(mm)</th><th>遮音性 (db/500Hz)</th></tr> <tr><td>・手動式</td><td>・フッシュ式</td><td>・60程度</td><td>・鋼板</td><td>・鋼板</td><td>※36未満</td></tr> <tr><td>・電動式</td><td>・ハンドル式</td><td>・100程度</td><td>・焼付塗装</td><td>・壁紙張り</td><td>・36以上</td></tr> <tr><td>・部分電動式</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>20.2.5</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">表面材の種類</th><th colspan="2">脚部形状</th><th colspan="2">ドアエッジ</th></tr> <tr><td>※メラミン樹脂系化粧板</td><td>※幅木タイプ</td><td>・標準</td><td>・R</td><td>・アルミニウム製</td><td>・ステンレス製</td></tr> <tr><td>・ポリエステル樹脂系化粧板</td><td></td><td></td><td></td><td>・表面材と同等</td><td></td></tr> </table> <p>20.2.6</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">材質</th><th colspan="2">表面仕上げ</th><th>直径(mm)</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・タモ</td><td>・クリアラッカー</td><td></td><td></td><td>35</td><td>・1段手すり</td></tr> <tr><td>・ステンレスパイプ</td><td>・H L</td><td></td><td></td><td>45</td><td>・2段手すり</td></tr> <tr><td>・鋼製パイプ</td><td>・E P-G</td><td>・S O P</td><td></td><td>()</td><td>(指詰め防止材共)</td></tr> <tr><td>・ビニル製ハンドル</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>20.2.7</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">材質</th><th>幅(mm)</th><th>取付工法</th></tr> <tr><td>・ステンレス製(SUS304)</td><td>※35</td><td>※接着工法</td><td></td></tr> <tr><td>・ビニルタイヤ入り</td><td>()</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>◎磁器質タイル</td><td>◎150×60</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。 ※ステンレス製 □型 (幅40程度 ア1.5) ・ステンレス製 6×12 ・黄銅製 6×12</p> <p>20.2.8</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">種類</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th></tr> <tr><td>・塩化ビニル製</td><td>・磁器質タイル</td><td>◎300角</td><td>7.0</td></tr> <tr><td>・レンジコンクリート製</td><td>・コンクリート製</td><td></td><td>◎60.0</td></tr> <tr><td>・磁器質タイル</td><td>・レンジコンクリート製</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>◎コンクリート製</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>ブロックパターンはJIS T 9251による</p> <p>20.2.9</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">種類</th><th>取付方法</th><th>形状</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・鋼製黒板</td><td>直付け</td><td>※平面</td><td>アルミニウム製枠、チョーク溝、チョーク入れ、チョーク粉入れ付き</td><td></td></tr> <tr><td>・ほうろろ黒板</td><td></td><td>・曲面</td><td>マーキングペン受け付き</td><td></td></tr> <tr><td>・ほうろろ白板</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>20.2.12</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">種類</th><th>仕上げ</th><th>備考</th></tr> <tr><td>※ステンレス製(SUS304)</td><td></td><td>※研磨なし</td><td></td></tr> <tr><td>・()</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>20.2.13</p> <p>材料 煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度 400℃・650℃・()</p> <p>20.2.14</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">形式</th><th colspan="2">※機型ブラインド</th><th colspan="2">縦型ブラインド</th></tr> <tr><td>開閉方式</td><td>※キヤ式</td><td>・コード式</td><td>・操作棒式</td><td>※2本操作コード方式</td><td></td></tr> <tr><td>スラットの幅</td><td>※2.5</td><td>・3.5</td><td></td><td>・8.0</td><td>・10.0</td></tr> </table> <p>20.2.15</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">材質</th><th colspan="2">操作方式</th><th colspan="2">備考</th></tr> <tr><td>※ポリエステル</td><td>※チェーン式</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・綿</td><td>・フルコード式</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ガラス繊維</td><td>・電動式</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>20.2.16</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">形式</th><th colspan="2">開閉操作</th><th colspan="2">ひだの種類</th><th colspan="2">生地の種類</th></tr> <tr><td>・シングル</td><td>・片引き</td><td>・手引き</td><td>・つまみひだ</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr> <tr><td>・ダブル</td><td>・引分け</td><td>・ひも引き</td><td>・箱ひだ、片ひだ</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>・電動</td><td>・フレーンひだ</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>レール及びブラケットの強さによる区分 ※10-90 () レールの材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ()</p> <p>20.2.16</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">仕上げ</th><th colspan="2">※アルマイト</th><th colspan="2">()</th></tr> <tr><td>形状</td><td>※角型</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>フック</td><td>※鋼製</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>20.2.16</p> <p>材質 ・アルミニウム製既製品 (・シルバー ・着色)</p>	パネル構造		漕漕法		寸法(mm)	4.50角以上600角以下		(床版から仕上げ材天端までの寸法)	高さ(mm)	100			耐震性能	1.0G	0.6G		所定荷重(N)	3000	5000		帯電防止性能	0.6以上	1.2以上		漏えい抵抗				表面仕上げ材	・タイルカーベット	・帯電防止床材		床パネルの材質	・アルミ合金ダイカスト製	・スチール製又は複合材等		構造材の材質	・アルミニウム製	・鋼製 (仕上げ)		配線取り出しパネル	フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合	20~30%		配線取り出し開口	・パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上			空調用吹き出し(吸い込み)パネル	なし	あり (形式、施工箇所: 図示による)		ローリングロード性能	適用しない	適用する (適用室:)		構造形式		構成基材の種類		総厚さ(mm)	遮音性(db)	・スタッド式(内蔵)	・スタッド	・アルミ	・木質系	※30以上	0	・スタッド式(露出)	・スチール	・スチール	・スチール系	・()	12	・パネル式			・ガラス系	※60以上	20	・スタッドパネル式			・アルミニウム合金系	・()	28						36	表面仕上げ材		パネル表面仕上げ		・鋼板	・0.6	・メラミン樹脂焼付		・()	・0.8	又はアクリル樹脂焼付				・壁紙張り		操作方法		圧縮装置操作方法		総厚さ(mm)	遮音性 (db/500Hz)	・手動式	・フッシュ式	・60程度	・鋼板	・鋼板	※36未満	・電動式	・ハンドル式	・100程度	・焼付塗装	・壁紙張り	・36以上	・部分電動式						表面材の種類		脚部形状		ドアエッジ		※メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・標準	・R	・アルミニウム製	・ステンレス製	・ポリエステル樹脂系化粧板				・表面材と同等		材質		表面仕上げ		直径(mm)	備考	・タモ	・クリアラッカー			35	・1段手すり	・ステンレスパイプ	・H L			45	・2段手すり	・鋼製パイプ	・E P-G	・S O P		()	(指詰め防止材共)	・ビニル製ハンドル						材質		幅(mm)	取付工法	・ステンレス製(SUS304)	※35	※接着工法		・ビニルタイヤ入り	()			◎磁器質タイル	◎150×60			種類		寸法(mm)	厚さ(mm)	・塩化ビニル製	・磁器質タイル	◎300角	7.0	・レンジコンクリート製	・コンクリート製		◎60.0	・磁器質タイル	・レンジコンクリート製			◎コンクリート製				種類		取付方法	形状	備考	・鋼製黒板	直付け	※平面	アルミニウム製枠、チョーク溝、チョーク入れ、チョーク粉入れ付き		・ほうろろ黒板		・曲面	マーキングペン受け付き		・ほうろろ白板					種類		仕上げ	備考	※ステンレス製(SUS304)		※研磨なし		・()				形式		※機型ブラインド		縦型ブラインド		開閉方式	※キヤ式	・コード式	・操作棒式	※2本操作コード方式		スラットの幅	※2.5	・3.5		・8.0	・10.0	材質		操作方式		備考		※ポリエステル	※チェーン式					・綿	・フルコード式					・ガラス繊維	・電動式					形式		開閉操作		ひだの種類		生地の種類		・シングル	・片引き	・手引き	・つまみひだ	・()	・()	・()	・()	・ダブル	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、片ひだ							・電動	・フレーンひだ					仕上げ		※アルマイト		()		形状	※角型					フック	※鋼製											<p>16 コーナービート (壁ボード出隅保護金物)</p> <p>17 天井見切縁</p> <p>18 点検口</p> <p>19 収納・収納家具</p> <p>20 消火器ボックス</p> <p>21 ステンレス流し台</p> <p>22 コンロ台</p> <p>23 吊戸棚</p> <p>24 水切棚</p> <p>25 くつふきマット</p> <p>26 旗竿</p> <p>27 旗竿受金物</p> <p>② フェンス</p> <p>29 敷地境界線</p> <p>30 止水板</p> <p>③ 雨水浸透槽</p> <p>19-1 排水管</p> <p>2 鋳鉄製ふた</p> <p>3 グレーチング</p> <p>4 埋戻し土</p> <p>20-1 路床</p>	<p>材質 ※アルミニウム押出形材差込型 ※シルバー ・焼付 ・() ・コーナー保護金物付きジョイントテープ</p> <p>材質 ・アルミニウム押出形材 ※強化ビニル製</p> <p>施工箇所 ※仕上表による ()</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">形式</th><th colspan="2">材質</th><th colspan="2">寸法</th><th colspan="2">形式</th><th colspan="2">備考</th></tr> <tr><td>天井</td><td>・アルミニウム製</td><td></td><td></td><td>・450角</td><td>・600角</td><td>・一般形</td><td>・鍵付き</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>床</td><td>・アルミニウム製目地</td><td></td><td></td><td>・450角</td><td>・600角</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>合板類 ホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ () ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) 及びパーティクルボード</p> <p>※既製品 (埋込みタイプ)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">材質</th><th colspan="2">仕上</th><th colspan="2">寸法</th><th colspan="2">扉</th><th colspan="2">表示</th></tr> <tr><td>※鋼製</td><td></td><td>※焼付塗装</td><td></td><td>※W300×H900程度</td><td></td><td>※有り</td><td></td><td>※経・文字表示</td><td></td></tr> </table> <p>※既製品 ・優良住宅部品 (セクショナルキッチン) 上板及びシンク底部はステンレス製、単槽シンク、トラップ付</p> <p>※既製品 ・優良住宅部品 (セクショナルキッチン) テーブルトップはステンレス製、バックガード (※有り ・無し)</p> <p>※既製品 ・優良住宅部品 (セクショナルキッチン)</p> <p>※既製品ステンレス製一般型 ()</p> <p>材質 ・ステンレス製ノンスリップ型 (緑金物: ステンレス製) ・硬質アルミニウム製 (緑金物: 硬質アルミニウム製) ・塩化ビニル製またはゴム製 (緑金物: ステンレス製)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">材質</th><th colspan="2">形状</th><th colspan="2">操作方法</th><th colspan="2">固定方法</th><th colspan="2">備考</th></tr> <tr><td>※アルミニウム合金製</td><td></td><td>・テーパー式</td><td>・同一段面式</td><td>・ロープ式</td><td>・ハンドル式</td><td>・埋込式</td><td>・ベース式</td><td>・バンド式</td><td></td></tr> </table> <p>材質 ※ステンレス製 (SUS304)</p> <p>フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ◎アルミフェンス</p> <p>・花こう岩 (文字記号入り) ・コンクリートブロック製の市販品程度 ・金属製 (真ちゅう製60角 アンカー共)</p> <p>形状 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式</p> <p>◎300×300 (図示による)</p> <p>材質 ・適心力鉄筋コンクリート管 (21.2.1) (表21.2.1) ・硬質ポリ塩化ビニル管 (※VP ・VU ・RS-VU) ・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管</p> <p>21.2.1</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">種類</th><th colspan="2">適用荷重</th><th colspan="2">鍵</th></tr> <tr><td>・水封形</td><td>・簡易密閉形 (パッキン形)</td><td>・T-2用</td><td>・有り</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・密閉形 (テーパー・パッキン形)</td><td>・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン形)</td><td>・T-6用</td><td>・無し</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・RS-VU</td><td></td><td>・T-20用</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>上記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209 による。 ※表面には用途別の標準文字付きとする。</p> <p>21.2.1</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">材質</th><th colspan="2">形式</th><th colspan="2">用途</th><th colspan="2">適用荷重</th><th colspan="2">メインバーピッチ</th><th colspan="2">垂れめつき (付着量)</th><th colspan="2">上面形状</th></tr> <tr><td>・鋼製</td><td>・鋼製</td><td>・変形付き</td><td>・ホルン</td><td>・溝ふた (横断用)</td><td>・歩行用</td><td>・T-2用</td><td>・T-6用</td><td>・T-14用</td><td>・T-20用</td><td>・細め</td><td>・()</td><td>・凹凸形</td><td>・()</td></tr> <tr><td>・ステンレス製</td><td>・ステンレス製</td><td>・固定</td><td>・固定</td><td>・溝ふた (側溝用)</td><td>・溝ふた (側溝用)</td><td>・T-2用</td><td>・T-6用</td><td>・T-14用</td><td>・T-20用</td><td>・普通目</td><td>・細め</td><td>・()</td><td>・()</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・溝ふた (側溝用)</td><td>・溝ふた (側溝用)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・溝ふた (側溝用)</td><td>・溝ふた (側溝用)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※B種 ()</p> <p>22.2.2~3</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">路床の材料</th><th colspan="2">材料</th></tr> <tr><td>・盛土</td><td>・A種</td><td>※B種</td><td>・C種</td><td>・D種</td><td>・建設汚泥から再生した処理土</td></tr> <tr><td>・遮断層</td><td>・川砂</td><td>・海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・凍上抑制層</td><td>・再生クラッシュヤラン</td><td>・クラッシュヤラン</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・フィルター層</td><td>・川砂</td><td>・海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・路床安定処理用</td><td>・普通ポルトランドセメント</td><td>・高炉セメントB種</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>添加材料</td><td>・フライアッシュセメントB種</td><td>・生石灰 (特号)</td><td>・生石灰 (1号)</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・消石灰 (特号)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>22.2.5</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床度の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない</p>	形式		材質		寸法		形式		備考		天井	・アルミニウム製			・450角	・600角	・一般形	・鍵付き			床	・アルミニウム製目地			・450角	・600角					材質		仕上		寸法		扉		表示		※鋼製		※焼付塗装		※W300×H900程度		※有り		※経・文字表示		材質		形状		操作方法		固定方法		備考		※アルミニウム合金製		・テーパー式	・同一段面式	・ロープ式	・ハンドル式	・埋込式	・ベース式	・バンド式		種類		適用荷重		鍵		・水封形	・簡易密閉形 (パッキン形)	・T-2用	・有り			・密閉形 (テーパー・パッキン形)	・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン形)	・T-6用	・無し			・RS-VU		・T-20用				材質		形式		用途		適用荷重		メインバーピッチ		垂れめつき (付着量)		上面形状		・鋼製	・鋼製	・変形付き	・ホルン	・溝ふた (横断用)	・歩行用	・T-2用	・T-6用	・T-14用	・T-20用	・細め	・()	・凹凸形	・()	・ステンレス製	・ステンレス製	・固定	・固定	・溝ふた (側溝用)	・溝ふた (側溝用)	・T-2用	・T-6用	・T-14用	・T-20用	・普通目	・細め	・()	・()					・溝ふた (側溝用)	・溝ふた (側溝用)													・溝ふた (側溝用)	・溝ふた (側溝用)									路床の材料		材料		・盛土	・A種	※B種	・C種	・D種	・建設汚泥から再生した処理土	・遮断層	・川砂	・海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)				・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン	・クラッシュヤラン				・フィルター層	・川砂	・海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)				・路床安定処理用	・普通ポルトランドセメント	・高炉セメントB種				添加材料	・フライアッシュセメントB種	・生石灰 (特号)	・生石灰 (1号)				・消石灰 (特号)					<p>2 路盤</p> <p>3 アスファルト舗装</p> <p>4 コンクリート舗装</p> <p>5 ブロック系舗装</p> <p>6 車止め</p> <p>7 区画線等</p> <p>2-1 植栽地の確認等</p> <p>2 植栽基盤の整備</p> <p>3 植込み用土</p> <p>4 土壌改良材</p> <p>5 芝</p> <p>6 樹木札</p> <p>7 枯損樹木などの替え</p> <p>8 その他</p>	<p>路盤の材料 (22.3.3) ・砕石 C-40 ※再生クラッシュヤラン RC-40 ・クラッシュヤラン鉄鋼スラグ CS-40</p> <p>試験 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない</p> <p>22.3.5</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">一般地域</th><th colspan="2">寒冷地</th></tr> <tr><td>・密粒度アスファルト混合物 (13)</td><td>・細粒度アスファルト混合物 (13)</td><td>・密粒度アスファルト混合物 (13F)</td><td>・細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F)</td></tr> </table> <p>22.4.5</p> <p>シールコートの施工 ・行う ・行わない</p> <p>22.4.6</p> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p> <p>22.5.3</p> <p>早強セメント ※使用しない ・使用する 溶接金網 ※使用しない ・使用する</p> <p>22.5.6</p> <p>試験 コンクリート版の厚さの試験 ・行う ・行わない</p> <p>22.8.2~3</p> <p>・コンクリート平板舗装 ・インターロッキングブロック舗装</p> <p>車止め用既製コンクリート W200×L600×H120 小型反射板付き 全面接着アンカー併用固定 (掘り込み30mm埋め込み65mm以上)</p> <p>トラフィックペイント JIS規格品 ※溶融型 (ア1.5) ・加熱型 (ア1.0程度) 区画線幅 ※150 ・身障者専用駐車スペース表示 (1300角) ・駐車スペースナンバー表示 (350角)</p> <p>23.1.3</p> <p>土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・行う ・行わない 水溶性塩類 (EC) の試験 ・行う ・行わない</p> <p>23.2.2</p> <p>土壌改良材 ・適用する ・適用しない</p> <p>23.2.3</p> <p>※建設発生土の良質土 ・寄土</p> <p>23.2.3</p> <p>・適用する (施工範囲 ※図示による)</p> <p>23.4.2</p> <p>種類 ※コウライ芝 ・ノシバ</p> <p>図示による</p> <p>※引渡し日から1年 ()</p>	一般地域		寒冷地		・密粒度アスファルト混合物 (13)	・細粒度アスファルト混合物 (13)	・密粒度アスファルト混合物 (13F)	・細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F)
	パネル構造		漕漕法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	寸法(mm)	4.50角以上600角以下		(床版から仕上げ材天端までの寸法)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	高さ(mm)	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	耐震性能	1.0G	0.6G																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	所定荷重(N)	3000	5000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	帯電防止性能	0.6以上	1.2以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	漏えい抵抗																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	表面仕上げ材	・タイルカーベット	・帯電防止床材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	床パネルの材質	・アルミ合金ダイカスト製	・スチール製又は複合材等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	構造材の材質	・アルミニウム製	・鋼製 (仕上げ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	配線取り出しパネル	フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合	20~30%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	配線取り出し開口	・パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	空調用吹き出し(吸い込み)パネル	なし	あり (形式、施工箇所: 図示による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	ローリングロード性能	適用しない	適用する (適用室:)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	構造形式		構成基材の種類		総厚さ(mm)	遮音性(db)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・スタッド式(内蔵)	・スタッド	・アルミ	・木質系	※30以上	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・スタッド式(露出)	・スチール	・スチール	・スチール系	・()	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・パネル式			・ガラス系	※60以上	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・スタッドパネル式			・アルミニウム合金系	・()	28																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
					36																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
表面仕上げ材		パネル表面仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・鋼板	・0.6	・メラミン樹脂焼付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・()	・0.8	又はアクリル樹脂焼付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		・壁紙張り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
操作方法		圧縮装置操作方法		総厚さ(mm)	遮音性 (db/500Hz)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・手動式	・フッシュ式	・60程度	・鋼板	・鋼板	※36未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・電動式	・ハンドル式	・100程度	・焼付塗装	・壁紙張り	・36以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・部分電動式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
表面材の種類		脚部形状		ドアエッジ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
※メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・標準	・R	・アルミニウム製	・ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ポリエステル樹脂系化粧板				・表面材と同等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
材質		表面仕上げ		直径(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・タモ	・クリアラッカー			35	・1段手すり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ステンレスパイプ	・H L			45	・2段手すり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・鋼製パイプ	・E P-G	・S O P		()	(指詰め防止材共)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ビニル製ハンドル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
材質		幅(mm)	取付工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ステンレス製(SUS304)	※35	※接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ビニルタイヤ入り	()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
◎磁器質タイル	◎150×60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
種類		寸法(mm)	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・塩化ビニル製	・磁器質タイル	◎300角	7.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・レンジコンクリート製	・コンクリート製		◎60.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・磁器質タイル	・レンジコンクリート製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
◎コンクリート製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種類		取付方法	形状	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・鋼製黒板	直付け	※平面	アルミニウム製枠、チョーク溝、チョーク入れ、チョーク粉入れ付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ほうろろ黒板		・曲面	マーキングペン受け付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ほうろろ白板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種類		仕上げ	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
※ステンレス製(SUS304)		※研磨なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
形式		※機型ブラインド		縦型ブラインド																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
開閉方式	※キヤ式	・コード式	・操作棒式	※2本操作コード方式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
スラットの幅	※2.5	・3.5		・8.0	・10.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材質		操作方式		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
※ポリエステル	※チェーン式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・綿	・フルコード式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ガラス繊維	・電動式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
形式		開閉操作		ひだの種類		生地の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・シングル	・片引き	・手引き	・つまみひだ	・()	・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ダブル	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、片ひだ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		・電動	・フレーンひだ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
仕上げ		※アルマイト		()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
形状	※角型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
フック	※鋼製																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
形式		材質		寸法		形式		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
天井	・アルミニウム製			・450角	・600角	・一般形	・鍵付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
床	・アルミニウム製目地			・450角	・600角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材質		仕上		寸法		扉		表示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※鋼製		※焼付塗装		※W300×H900程度		※有り		※経・文字表示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
材質		形状		操作方法		固定方法		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※アルミニウム合金製		・テーパー式	・同一段面式	・ロープ式	・ハンドル式	・埋込式	・ベース式	・バンド式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類		適用荷重		鍵																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・水封形	・簡易密閉形 (パッキン形)	・T-2用	・有り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・密閉形 (テーパー・パッキン形)	・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン形)	・T-6用	・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・RS-VU		・T-20用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
材質		形式		用途		適用荷重		メインバーピッチ		垂れめつき (付着量)		上面形状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・鋼製	・鋼製	・変形付き	・ホルン	・溝ふた (横断用)	・歩行用	・T-2用	・T-6用	・T-14用	・T-20用	・細め	・()	・凹凸形	・()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ステンレス製	・ステンレス製	・固定	・固定	・溝ふた (側溝用)	・溝ふた (側溝用)	・T-2用	・T-6用	・T-14用	・T-20用	・普通目	・細め	・()	・()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				・溝ふた (側溝用)	・溝ふた (側溝用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
				・溝ふた (側溝用)	・溝ふた (側溝用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
路床の材料		材料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・盛土	・A種	※B種	・C種	・D種	・建設汚泥から再生した処理土																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・遮断層	・川砂	・海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン	・クラッシュヤラン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・フィルター層	・川砂	・海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・路床安定処理用	・普通ポルトランドセメント	・高炉セメントB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
添加材料	・フライアッシュセメントB種	・生石灰 (特号)	・生石灰 (1号)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・消石灰 (特号)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
一般地域		寒冷地																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・密粒度アスファルト混合物 (13)	・細粒度アスファルト混合物 (13)	・密粒度アスファルト混合物 (13F)	・細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

2-2 1 揮発性有機化合物の室内濃度の測定
1)対象揮発性有機化合物(VOC)
2)測定室
3)測定方法

2 県産材・地域材の活用
1)木工事
2)木造工事
3)石工事
4)その他()工事

2-3 1 資材調達
2 労働者確保

その他

東日本大震災の復興・復興事業における積算方法等

下記の室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告する。
・ホルムアルデヒド ・アセトアルデヒド
・トルエン ・キシレン ・パラジクロロベンゼン ・スチレン ・エチルベンゼン
()
()

※簡易測定法による
VOCの種別 測定方法
※ホルムアルデヒド ・検知紙法 ・検知管法 ・定電位電解法 ・吸光度法 ・ﾊﾞｯﾌﾟ型採取
※トルエン※キシレン※スチレン ・ﾊﾞｯﾌﾟ型採取
※エチルベンゼン

・厚生労働省の標準的測定方法による。
VOCの種別 採取方法 測定方法
・ホルムアルデヒド ・DNPH透過体化固相吸着/溶媒抽出 ・高速液体クロマトグラフィー
・アセトアルデヒド ・固相吸着/溶媒抽出法
・トルエン ・固相吸着/溶媒抽出法
・キシレン ・固相吸着/加熱脱着法
・パラジクロロベンゼン ・容器採取法
・スチレン
・エチルベンゼン

県産材を使用部位及び樹種については下記による。(代用樹種は使用できない)
使用部位 () 樹種 ()
地域材を使用する部位及び樹種については下記による。
使用部位 () 樹種 ()

県産材を使用部位及び樹種については下記による。(代用樹種は使用できない)
使用部位 () 樹種 ()
地域材を使用する部位及び樹種については下記による。
使用部位 () 樹種 ()

県産材を使用部位及び石材については下記による。(代用石材は使用できない)
使用部位 () 石材 ()
地域材を使用する部位及び石材については下記による。

県産材を使用部位及び材については下記による。(代用材は使用できない)
使用部位 () 材 ()
地域材を使用する部位及び材については下記による。
使用部位 () 材 ()

1 ①工程関係
②施工時期
施工時間
施工方法

2 ③他機関との協議

3 ④工事用地

4 ⑤公害対策

5 ⑥安全対策

6 ⑦その他

※調整無し
・別途工事との工程調整が必要有り
調整項目 ・資材等の流用 ・仮設及び工事用道路等の調整 ・建設機械等の調整
・施工順序の調整 ・図示による ・その他 ()

※制限無し
・制限有り
・制限する工種名 (())
・施工時期 (: 土日祝日のみ ())
・施工時間 (())
・施工方法 (())

・有 (() 年 月 日 () 別紙のとおり)
・無 (() : ~ : () 別紙のとおり)
・無 ()

協議が必要な機関名 ()
協議完了見込み時期 ()

・下記以外は図示等による。
(1)工事車両の駐車場 (※構内 () (協議による))
(2)資材置き場 (※構内 () (協議による))
(3)建設発生土(埋戻し、盛り土用)の仮置場所 (※構内 () (協議による))

・仮設ヤード ※無し ・有り (※図示による ())

※施工方法の制限無し
・施工方法の制限有り
・騒音 ・振動 ・水質 ・粉じん ・排出ガス ・その他 ()
・施工方法等 () ・別途協議による ・図示による
・指定工法名 ()
・事業損失防止に関する調査 ()
・騒音測定 ・振動測定 ・水質調査 ・近隣家屋の事前・事後調査 ・地盤沈下測定
・その他 ()
・調査箇所 ()
・図示による ()
・調査時期 ()
・図示による ()

・近接公共施設等に対する制限
・近接公共施設名等 (・鉄道 ・電気 ・ガス)
・水道 ・電話 その他 ())
・制限を受ける工種 ()

※敷地内は禁煙とし、喫煙場所は別途協議による。
※当該工事現場を使用した技術研修会の開催に関する依頼を受けた場合はこれに協力するものとする。

別表-1の記入上の注意: 「※を基本とし、他の発注工種が適用する場合には・を○に変え、※を・に変えること。また、空欄を適用する場合には○を記入し、※を・に変えること。」

別表-1 設備工事との工事区分表

工 事 内 容		建築工事	電気設備工事	機械設備工事	その他
機器の基礎	電気関係	配電盤 ・ 制御盤の基礎	※	・	
		屋内	※	・	
		屋外	※	・	
		自家発電機の基礎 (アンカーボルトを除外)	※	・	
		テレビアンテナ基礎 (")	※	・	
		避雷針の基礎 (")	※	・	
		屋内設備 (梁台、アンカーボルトを除く)	※	・	
		屋上設備 (")	※	・	
		屋外設備 (")	※	・	
		梁台、アンカーボルト	※	※	※
開口部	待記した基礎	※	・	・	
	梁、床、壁	・	※	※	
	貫通スリーブ	・	※	※	
	梁、床、壁	・	※	※	
	貫通部型枠	・	※	・	
	軽量鉄骨下地、壁	・	※	・	
	天井ボード類の切込	・	※	・	
	埋込形分電盤	・	※	・	
	端子盤等の仮枠	・	※	・	
	上記開口部の補強	・	※	・	
上記開口部の突出し	・	※	※	※	
スリーブの穴埋め (型枠の穴埋めを含む)	・	※	・		
フリーアクセスフロア用配線器具	・	※	・		
点検口	・	※	・		
外部取付ガリリダクト、チャンバーの接続用フランジを含む	・	※	・		
湯沸室のフード	・	※	・		
換気扇の取付枠	・	※	・		
流し台	・	※	・		
排水トラップ共	・	※	・		
防油堤	・	※	・		
オイルサービスタンクの防油堤	・	※	・		
タンク基礎	・	※	・		
床下水槽のマンホールふた	・	※	・		
屋外排水管	・	※	・		
雨水、雑排水	・	※	・		
雨水立管 (たてどい)	・	※	・		
トイレ手すり	・	※	・		
化粧鏡 (衛生器具まわり)	・	※	・		
はめ込形洗面器用カウンター (前板共)	・	※	・		
ガスボンベ転倒防止用の鎖	・	※	・		
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ	・	※	・	
	防火扉レリーズ	・	※	・	
	電極棒	・	※	・	
	配線ビッド及びふた	・	※	・	
	機器などへの接続 (1次側)	・	※	・	
	機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管 (接地共)	・	※	・	
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線	・	※	・	
	自動制御盤と動力盤との電源供給の減り配管配線	・	※	・	
	自動制御盤と動力盤との操作回路の減り配管配線	・	※	・	
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その減り配管 (接地共)	・	※	・	
天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチと、その減り配線	・	※	・		
個別パッケージの室内機、室外機の減り配線 (接地共)	・	※	・		
煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線	・	※	・		
小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線	・	※	・		
ガス漏れ検知器	・	※	・		
電気錠	・	※	・		
電気錠 T E Nキー及び制御盤	・	※	・		
エレベーター出入口三方枠 (金属製)	・	※	・		
エレベーター出入口三方枠 (右製)	・	※	・		
シャワーユニット	・	※	・		
バスユニット	・	※	・		
洗濯機パン	・	※	・		
システム天井	・	※	・		
照明ライン設備プレート	・	※	・		
空調ライン設備プレート	・	※	・		
消火器ボックス	・	※	・		
自動制御設備関連のインバーター装置及び盤	・	※	・		
自動制御設備関連のインバーター装置 (別塗、盤に組込む)	・	※	・		

<p>2 5 1 内容</p> <p>現場環境改善（快適トイレの設置）</p>	<p>① 受注者は、現場環境改善の一環として、工事場所毎に設置するトイレのうち男女別に1基ずつ以下の(1)～(17)の仕様をすべて満たす快適トイレを設置することとする。ただし、快適トイレの設置が困難な場合は監督員と協議する。 (12)～(17)の仕様については、満たしていればより快適に出来ると思われる項目であり、必須ではない。</p> <p>【快適トイレに求める標準仕様(全項目必須)】 (1) 洋式(洋風)便座 (2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置含む) (3) 臭い逆流防止機能 (4) 容易に開かない施錠機能 (5) 照明設備 (6) 衣類掛け等のフック、又は荷物のおける棚(耐荷重を5kg以上とする)</p> <p>【付属品として備えるもの(全項目必須)】 (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫 (9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置) (10) 鏡と手洗器 (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品</p> <p>【推奨する仕様、付属品(任意)】 (1) 2) 室内寸法900mm×900mm以上(面積A=0.81m2以上ではない。幅・奥行き各900mm以上) (1) 3) 擬音装置(機能を含む) (1) 4) 着替え台 (1) 5) 臭気対策機能の多重化 (1) 6) 室内温度の調整が可能な設備 (1) 7) 小物置き場等(トイレトペーパー予備置き場等)</p> <p>② 受注者は、快適トイレの設置にあたっては、①の内容を満たす参考見積書(標準仕様、付属品の内訳を明示したもの)を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議の上決定し、快適トイレ仕様チェックシート及び資料等(カタログなど)を施工計画書提出に合わせ提出する。</p> <p>③ 現場事務所等の屋内に設けるトイレには適用しない。</p> <p>2 設置に要する費用</p> <p>快適トイレに要する費用については、当初契約時は計上していない。月額の実態がわかる資料により、監督員と協議の上、51,000円/基・月を上限とし、設計変更の対象とする。ただし、運搬費・設置費等は対象外とし、従来品相当額(10,000円/基・月)は差し引くものとする。なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ合計2基までとする。</p>	<p>① 準備期間確保</p> <p>② フレックス工事</p> <p>③ 着工届の提出</p> <p>④ コリンズの登録</p> <p>⑤ 福島県元請・下請関係適正化指導要綱関係</p> <p>⑥ その他</p>	<p>準備期間確保工事における事務処理要領 この工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間(〇〇日間)内に着工日を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、着工日(工事の始期)を通知すること。また、契約締結後に、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。</p> <p>この工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、工事の始期及び終期を通知すること。</p> <p>着工届は、着工後速やかに提出すること。</p> <p>受注時の「コリンズ登録」は、着工後に監督員の確認を受け、着工後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。</p> <p>施工体制台帳については、福島県元請・下請関係適正化指導要綱第10に基づき、提出すること。</p> <p>・準備期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、準備期間内に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(準備期間確保工事)</p> <p>・工事の始期までの着工猶予期間は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の搬入しない設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、着工猶予期間中に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(フレックス工事)</p>	<p>① 再生資源利用計画書</p> <p>② 再生資源利用促進計画書</p>	<p>2 6 (1) 工期・工程等</p> <p>・猛暑による作業不能日数</p> <p>本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。</p> <p>ii) 上記 i) は、環境省が公表する東北地方●●※1(福島)地点における WBGT 値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分(令和●●年～●●年)について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3日)を除く。)において、8時から17時の間にWBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものの5年分を平均したもの。</p> <p>iii) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方●●(福島)地点における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したものの(小数点以下第一位を四捨五入する。))が i) の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。</p> <p>※1 下表の観測地点を記入(参考)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建設事務所管内</th> <th>観測地点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北</td> <td>茂庭、梁川、福島、鷲倉、二本松</td> </tr> <tr> <td>県中</td> <td>船引、郡山、湯本、小野新町、石川</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>白河、東白川</td> </tr> <tr> <td>会津若松</td> <td>金山、若松</td> </tr> <tr> <td>喜多方</td> <td>松原、喜多方、西会津、猪苗代</td> </tr> <tr> <td>南会津</td> <td>只見、南郷、田島、松枝岐</td> </tr> <tr> <td>相双</td> <td>相馬、飯館、浪江、川内、広野</td> </tr> <tr> <td>いわき</td> <td>山田、小名浜</td> </tr> </tbody> </table>	建設事務所管内	観測地点	県北	茂庭、梁川、福島、鷲倉、二本松	県中	船引、郡山、湯本、小野新町、石川	県南	白河、東白川	会津若松	金山、若松	喜多方	松原、喜多方、西会津、猪苗代	南会津	只見、南郷、田島、松枝岐	相双	相馬、飯館、浪江、川内、広野	いわき	山田、小名浜	<p>2 9 1 内容</p> <p>総合評価方式における技術提案書の確認</p>	<p>※総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況の確認について</p> <p>総合評価方式において、受注者が技術提案書に記載した事項の具体的な実施方法等を、施工計画書に「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」として記載し、提出しなければならない。</p> <p>なお、施工計画書に記載された「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」については、実施状況について発注者の確認を受けなければならない。</p> <p>確認の方法については、「土木工事共通仕様書 Ⅲ編 2. 様式 第8号様式(確認書)」を用いることとし、監督員へ提出の上確認を受けることを原則とする。</p> <p>また、技術提案事項の履行が確認できない場合は、工事成績評定において減点とする場合があるとともに、入札参加資格制限措置の対象となる場合がある。</p>
建設事務所管内	観測地点																								
県北	茂庭、梁川、福島、鷲倉、二本松																								
県中	船引、郡山、湯本、小野新町、石川																								
県南	白河、東白川																								
会津若松	金山、若松																								
喜多方	松原、喜多方、西会津、猪苗代																								
南会津	只見、南郷、田島、松枝岐																								
相双	相馬、飯館、浪江、川内、広野																								
いわき	山田、小名浜																								

工 事 概 要 書

1. 工事名称その他

工事名称	雲雀ヶ原祭場地内公衆トイレ建替工事	建築主 (発注者)	南相馬市	建設地 地名地番	福島県南相馬市原町区牛来字出口 208-3地内、227-1の一部	主要用途	公衆便所	工事種別	(新築・増築・改築・模様替・その他(修繕))
------	-------------------	--------------	------	-------------	-------------------------------------	------	------	------	--------------------------

2. 敷地状況

敷地面積	南側トイレ 635.17㎡	都市計画区域	<input checked="" type="radio"/> 内 ・市街化区域 ・市街化調整区域 <input checked="" type="radio"/> 区域区分非設定 ・外	用途地域	・有 () () <input checked="" type="radio"/> 無	防火地域	・防火 ・準防火 ・無 <input checked="" type="radio"/> 法22条	道路種別幅員 南側トイレ	・西面 m <input checked="" type="radio"/> 北面 8.00m <input checked="" type="radio"/> 東面 6.90m ・南面 m	都市計画道路	<input checked="" type="radio"/> 無・計画決定・事業決定 ・名称幅員 ・処置	規制地域の指定	・騒音規制 ・振動規制 ・その他 (土砂災害警戒区域)	その他の許可届出等 (根拠法令等・届出・許可番号・年月日)
------	---------------	--------	---	------	--	------	--	-----------------	--	--------	--	---------	--------------------------------------	-------------------------------

3. 構造・規模面積

	計 画 部 分	計画以外の部分	合 計	棟 別 名	構 造	基礎工法	階 数	建築面積	床 面 積					合計
									1 階	2 階	3 階	PH 階	階	
建築面積	南側トイレ 33.33 ㎡	— ㎡	南側トイレ 33.33 ㎡	南側トイレ	木造	直接基礎	1	33.33 ㎡	33.33 ㎡	—	—	—	—	33.33 ㎡
延べ床面積	南側トイレ 33.33 ㎡	— ㎡	南側トイレ 33.33 ㎡											
増築予定	その他 (ピロティ・バルコニー・ドライエリア・屋外階段・ぬれえん・吹抜等)													
・有														
<input checked="" type="radio"/> 無														
合 計					—	—	—		—	—	—	—		

4. 法規制概要

項 目	計画実施概要	規制概要	備考 (参照図面等)	項 目	計画実施概要	規制概要	備考 (参照図面等)	項 目	計画実施概要	規制概要	備 考 (参照図面等)
	容積率	南側トイレ 5.24%	法第52条 200.0%	工事概要書	延焼のおそれのある部分	外壁 (軒裏)	—				
	斜線制限	道路	—		開口部	—					
		隣地	—		防火区画	位置	—				
		北側 (日影規制)	—		構造	—					
	最高の高さ	南側トイレ 3.85m	法第21条	断面図	区画部の外壁	—					
	最高の軒の高さ	南側トイレ 2.60m	法第21条	断面図	貫通部の処理	—					
	床高	南側トイレ 0.30m	—	断面図	開口部に設けられる防火設備 (開口部設備)	—					
	地域・規模等による構造 (耐火・準耐火)		—		開口部設備感知器とその位置	—					
					内装制限	—					
一般構造及び設備規制	階 段	幅員 (踊場)	法第36条 令第23条 140cm以上	平面詳細図	廊下の幅員	—		その他			
		蹴上	屋外) 12.5cm	法第36条 令第23条 20cm以下	平面詳細図	階段の数及び種類	—				
		踏面	屋外) 30.0cm	平面詳細図	階段までの歩行距離	—					
	屋上広場等の手摺高 (バルコニー含)		—		排煙	—					
	有効採光面積		—		非常用照明	—					
	居室の換気		—		非常用の進入口	—					
	避雷針		—		敷地内避難通路	—					
	便所・浄化槽	水洗便所(公共下水道)	法第31条2項 水洗便所	機械設備図	非常出口の解錠方法及び表示	—					

5. 工事範囲

(○印をつけたものが該当する。)

Table with columns for '種別' (Category), '有' (Included), '無' (Excluded), and '備考' (Remarks). Categories include 電気 (Electrical), 給排水衛生 (Water/Sanitation), 空気調和 (HVAC), 昇降機 (Elevators), 備品等 (Furniture), 外構 (Exterior), and その他 (Others).

6. 建築・電気機械各工事の分担区分表

(※適用欄○印が該当する。)

Main table with columns for '工事項目' (Item), '適用' (Applicable), '工事区分' (Division), '建築' (Construction), '空調' (HVAC), '衛生' (Sanitation), '電気' (Electrical), '昇降機' (Elevators), '備考' (Remarks), and '工事項目' (Item), '適用' (Applicable), '工事区分' (Division), '建築' (Construction), '空調' (HVAC), '衛生' (Sanitation), '電気' (Electrical), '昇降機' (Elevators), '備考' (Remarks).

木工事（構造製材工事） 特記仕様 No. 1

1. 一般事項

- (1) 適用範囲
本仕様書は建築物および工作物の二次部材の木材を用いる工事に適用する。
● は適用項目を示すものとする。
- (2) 設計図書
設計図書とは本仕様書、設計図、指示書（現場説明書および質疑回答書を含む）をいう。
- (3) 標準仕様書
設計図書に記載なきものは、工事特記仕様書に指定した共通仕様書、および国土交通大臣官房官庁営繕部監修「木造計画・設計基準」、「木造建築工事標準仕様書」、日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS11 木工事（以後、『JASS11』と記す。）」、「木質構造設計標準・同解説」、「木質構造接合部設計マニュアル」による。
上記の仕様書に記載なき場合は、住宅金融公庫監修「木造住宅工事共通仕様書」ならびに公共規格がこれに準ずる規格を適用する。
- (4) 設計図書の優先順位
設計図書の優先順位は下記による。
1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書含む）
 2. 本仕様書
 3. 設計図
 4. 標準図
 - 木造軸組標準図
 - 構造用集成材躯体工事仕様書
 - 鉄筋接合木質2方向ラーメン構造標準図
5. 上記1.（3）に記載の仕様書
- (5) 疑義
疑義が生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監督職員に申し出、その処理方法について協議する。
- (6) 製作要領書および施工計画書の作成・提出
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。
- (7) 施工図およびプレカット図の提出
工事に先立ち、各種の施工図を作成し、監督職員の承諾を受ける。
- (8) 製作工場の選定・承諾
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場および加工場を選定し、監督職員の承諾を受ける。
- (9) 各種試験・検査報告書の提出
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

2. 材料の品質

2-1 木質材料

- (1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材
本項の内容は特記なき限り針葉樹の構造用製材および広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材等の日本農林規格に準ずること。

部位	品名	樹種	その他

- 記入なき梁桁、母屋、垂木等の曲げ材のうち、見えがかり材は目視等級材の甲種2級、見えない部分の木材は甲種3級とする。その他は乙種2級とする。
- 主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。
- 乾燥の際、背割りを行う。但し見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。
- 含水率は平均含水率とし、下地材等に用いる場合でも含水率0.25以下であることを確認する。
- 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の箇、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点があたらないよう加工する。
- 材の曲がりについては、上記に関わらず目視等級1級相当とする。

- (2) 構造用集成材、構造用単板積層材（LVL）
本項の内容は特記なき限り構造用集成材および構造用単板積層材の日本農林規格に準ずること。

部位	品名	樹種	曲げヤング係数区分	材面品質	接着性能	ホルムアルデヒド放散量
	等級		水平せん断性能区分			
図示	図示	図示	図示	図示	図示	F☆☆☆☆

- (3) 構造用合板、構造用パネル
本項の内容は特記なき限り構造用合板および構造用パネルの日本農林規格に準ずること。
なお、構造用合板はできる限り大きい寸法のものを用いる。

部位	品名	強度等級	曲げ性能基準	板面品質	接着耐久性	寸法（mm） 厚（巾×長）	ホルムアルデヒド放散量
			合板1級				
壁	構造用合板	2級	－	C-D	1類	9mm	F☆☆☆☆

2-2 ファスナー

ここに示すファスナーや接合金具等は、木質構造の接合部に適用する。ファスナーや接合金物等に錆を生じるおそれのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。
標準メッキ処理は、浴酸亜鉛メッキ（JIS H 8641）、電気メッキ（JIS H 8610）とする。

- (1) くぎ、木ネジ、特殊ネジ

種類	材質	適用径	使用箇所 頭部／胴部の形状
●N釘	・鉄 ・ステンレス鋼 ・鉄	N 19～N 150 CN 25～CN 150 BN 25～BN 125 ZN 45～ZN 90 GNF 25～GNF 125 3.05mm	屋根 石膏ボード用 シーディングインシュレーション ファイバーボード
●木ネジ ●特殊ネジ ●コースレッド	・軟鋼線材 ・ステンレス鋼 ・真鍮		

- (2) ボルト、ナット（鉄筋接合木質2方向ラーメン構造標準図による）
径と長さの組み合わせは、JIS B 1180を参照すること。

種類	材質	適用径	表面処理、部品等級など
・呼び径六角ボルト	・SS400	M3～M36	
・有効径六角ボルト	・SS400	M3～M20	
・全ネジ六角ボルト	・SS400	M3～M36	
・ステンレスボルト	・SUS304		
・アンカーボルト	・SS400	M12～M30	

- (3) 座金

適用	材質	適用径	表面処理、部品等級など
・座金	・SPCC (JIS G 3131)	M6～M24	
	・SPHC (JIS G 3141)		

座金は用途毎（引張、せん断）に下表により使い分ける。

引張を受けるボルト	ボルト径に対する座金の大きさ						
	厚さ	8	10	12	16	20	24
せん断を受けるボルト	厚さ	4.5	4.5	6	9	9	13
	角座金の一辺	40	50	60	80	105	125
	丸座金の直径	45	60	70	90	120	140
せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6	6
	角座金の一辺	25	30	35	50	60	70
	丸座金の直径	30	35	40	60	70	80

- (4) ドリフトピン、コーチスクリューボルト、ジベル、シアプレート、木栓（鉄筋接合木質2方向ラーメン構造標準図による）

種類	材質	適用径・長さ	表面処理、その他
・ドリフトピン	・SS400	φ9～φ19	・電気メッキ
・コーチスクリューボルト（ラグスクリューボルト）	・SWRCH10R (JIS G 3507)	φ9～φ19	・電気メッキ
・スプリットリング	・SS400	φ64, φ102	2
・シアプレート			・電気メッキ
・木栓	・堅木	M12～M24	

- (5) 接合金物、鋼材（鉄筋接合木質2方向ラーメン構造標準図による）

種別	材質	表面処理	適用・形状・その他
○Zマーク			
○Cマーク			
・引寄せ金物			
・その他の金物			
○鋼材	・SS400	・電気メッキ	・設計図中の特記による

- (6) 接着剤（接着接合）
ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とし、内容は特記による。

3. 材料品質の検査方法

現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受入れ検査を実施し、監督職員に報告する。また、監督職員立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜取り検査を実施する。社内検査で試験本数や抜取り率の指定がない場合は原則全数とする。
検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の処置を行うこと。

- (1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材（数量は特記なき限り%を示す）

部材	確認する仕様	確認者	材種等級	外観検査	寸法検査	含水率測定			ヤング係数測定			
						表示		含水率計	表示		静的試験	動的試験
						全乾重量法	含水率計		静的試験	動的試験		

- 監理者欄の●は立会い検査が必要であることを示す。
- 材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。
- 含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や静的曲げ試験は公的試験場にて行う。含水率計は（財）日本住宅・木材技術センター認定品を、曲げヤング係数は（社）全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。
- 全乾重量法や静的曲げ試験は1荷口につき確認する試験本数（または割合）を示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法（JIS Z 2101）に準ずる。
- 動的曲げ試験の判定基準は日本農林規格の針葉樹の構造用製材、合板、パネルの強度に準ずる。
- 含水率測定は、乾燥作業直後に行う。

- (2) 構造用集成材、構造用単板積層材（LVL）

材料	確認項目	確認の方法
構造用集成材	部材、断面、長さ、数量	● 製造工場の認定書等の写し ● 日本農林規格
構造用LVL	樹種、品名、強度、材面の品質、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	
構造用合板	樹種、曲げヤング係数、水平せん断、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	（JAS）表示 ● 立会い目視検査
構造用パネル	寸法、数量 強度、ホルムアルデヒド放散量	

- (3) ファスナー

ファスナーの種類	確認項目	確認の方法
●くぎ	・材質、胴径部、長さ、仕上げ	・ミルシートの写し
●木ネジ類	・材質、径、長さ、仕上げ	●日本農林規格
・ボルト・ナット	・材質、径、長さ、仕上げ	●立会い目視検査
・座金	・材質、径、仕上げ	
・ドリフトピン	・材質、径、長さ、仕上げ	
・コーチスクリューボルト	・材質、径、長さ、仕上げ	
・スプリットリング	・材質、径、形状、仕上げ	

ファスナーの種類	確認項目	確認の方法
・シアプレート	・材質、径、形状、仕上げ	・ミルシートの写し
・木栓等	・樹種、曲げ強度、比重	・日本農林規格 ●立会い目視検査

- 設計図書に明記されたファスナーであることを確認すること。同等性能のファスナーを用いる場合には、その主旨・内容を監督職員に申し出、承諾を得ること。

- (4) 接合金物

接合金物	確認項目	確認の方法
●Zマーク金物	・材質、形状、仕上げ	●ミルシートの写し ●表示の確認
●Cマーク金物	・材質、形状、仕上げ	
・引寄せ金物	・材質、形状、仕上げ	
・その他の金物	・材質、形状、仕上げ、製造所	
・鋼材	・材質、形状、仕上げ、溶接	

- 設計図書に明記された接合金物であることを確認すること。同等認定品や性能認定品を用いる場合には、その主旨・内容を監督職員に申し出、承諾を得ること。

4. 耐久性（防腐・防蟻・耐候処理）

- (1) 木材の防腐・防蟻処理
● 高耐久材の使用（注：製材の心材あるいは心持ち材、または集成材）
● 工場処理材（注：現場の加工、切断、穿孔箇所等は、現場処理に準ずる）
JAS保存処理材：K5 K4 K3 K2
AQ認証保存処理材：1種 2種 3種
● 現場処理（注：給排水用塩化ビニル管に接する部分は、管を保護する）
● 塗布 ・ 吹付 ・ 浸漬（処理量 300ml/m² 処理回数 2回）
（社）日本しろあり対策協会または（社）日本木材保存協会の認定品とする。

使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理材
土台	● ヒノキ	・K3	・（ ） ・塗布
外周柱下部1m	● すぎ	● K3	・（ ） ● 塗布
水回り	・（ ）	・K3	・（ ） ・（ ）
その他	・（ ）	・K4	・（ ） ・（ ）

- (2) 土壌処理
● 防蟻薬剤による処理：薬剤（ ）
特記なき場合は、（社）日本しろあり対策協会または（社）日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。
● 防蟻薬剤による処理と同等以上の対策（ ）
● 土壌処理省略 □北海道 □東北 □北陸
※注：処理範囲は、外周部基礎の内側、内部基礎の周辺20cm、東石等の周囲20cmを標準とし、処理方法は（社）日本しろあり対策協会の標準仕様書に準ずる。

- (3) 耐候処理（塗装）
● 造膜型 ・ 含浸型 ・ 部位（ ）

5. 木材の加工

- (1) 刻み時の注意
製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。
- (2) 加工寸法の精度（下記の値を標準とする）
● 構造用製材、枠組壁工法構造用製材の断面寸法
● 図面表示が挽き立て寸法の場合：±1.5mm以下
● 図面表示が仕上がり寸法の場合：+1.5mm、-0mm以下
● 構造用製材、枠組壁工法構造用製材の材長
● 軸組工法の継手仕口の場合：±1.5mm以下
● ボルト接合法の場合：±5mm以下
● 集成材、構造用単板積層材（LVL）（鉄筋接合木質2方向ラーメン構造標準図による）
短辺：±1.5mm
長辺：±1.5%かつ±5mm以下
材長：±5mm以下
● ボルト穴径：d+1.5mm（d≤M12）、d+2.0mm（d≤M16）（dはボルト径）
● ドリフトピンの穴径：d±0mm（dはボルト径）

- (3) 表面仕上げ
● 製材 化粧材： 野物材： 板材：

- (4) 面取り
● 柱：（ ）mm
● 梁：（ ）mm

木工事（構造用製材工事） 特記仕様 No. 2

って接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。

- (1) その他の方法による場合
 - ・使用材料および使用方法は構造図によるものとし、監督職員の承認を得る。

6. 接合

- (1) 仕口・継手の原則
 - ・仕口、継手の方法は構造図による。特記なき場合は 1. (3) 標準仕様書に示された在来工法用の一般的な適用例に従う。一般的な適用例については、9. 軸組構法接合部標準仕様書による。
 - ・採用する方法は監督職員の承認を得る。
 - ・仕口、継手の各部に作用する応力を考慮し、部材の引き抜けが生じないように、原則として羽子板ボルトや木栓など、引っ張り抵抗を有する補強部材を併用する。
- (2) 釘接合
 - ・釘は材の繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように端距離、縁距離、釘間隔を大きく取る。
 - ・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。
 - ・1ヶ所の釘の本数は2本以上とする。
 - ・釘に錆を生じるおそれのある場合は、適切な防錆処理を施す。
 - ・自動釘打ち機を使用する場合は、面に釘がめり込まないようにする。そのために、釘打ち機の圧力を弱め、最後は手打ちなどの方法による。
 - ・構造用面材を耐力壁とする場合の釘打ち方法は「昭和56年建設省告示1110号」による。
 - ・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
 - ・木口面に打たれた釘は、引き抜き方向に抵抗させることはできない。
- (3) ホネジ接合
 - ・構造耐力上主要な部分において、ホネジを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
 - ・木口面にねじ込まれたホネジは、引き抜き方向に抵抗させることはできない。
 - ・ホネジの先孔の径： 針葉樹・・・主材 0.6d 側材 0.8d
広葉樹・・・主材 0.8d 側材 1.0d (dはボルト径)
(先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。)
 - ・ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んではいならない。
 - ・ねじ込みを容易にしたり、損傷させないために潤滑油を用いても良い。
- (4) ボルト接合
 - ・締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工ヶ所に通しているものであることを確認する。
 - ・ボルトの締め付けは、座金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付けを完了する。
 - ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。
 - ・一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。
- (5) コーチスクリュー接合
 - ・構造耐力上主要な部分において、コーチスクリューを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
 - ・コーチスクリューの配置間隔、縁距離および端距離、使用する座金は同じ胴部径のボルトに準ずる。
 - ・胴部の先孔の径は胴部と同径とし、長さも胴部と同寸とする。
 - ・ねじ部の先孔の径： 比重 0.4以上の樹種・・・ねじ径の60~70%
その他の樹種・・・ねじ径の40~70%
 - ・コーチスクリューは先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んではいならない。
 - ・ねじ込みを容易にするためや、損傷させないために潤滑油を用いても良い。
- (6) ドリフトピン接合
 - ・ボルトやコーチスクリュー等と併用し、ドリフトピンの変形に伴う部材の開きを防止する。
 - ・ドリフトピンは孔に密着させる。
 - ・一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。
- (7) ジベル接合
 - ・木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点に注意し、彫込み・打ち込みまたは圧入に際して割れを生じないよう、ジベルの種類に応じたボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。
- (8) 既製金物の接合
 - ・羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かな折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれの仕様に基づき、接合面材の間が密着するように締め付ける。
- (9) 接着接合
 - ・接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。
 - ・接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実験によ

7. 運搬・建方

- (1) 運搬計画
 - 製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し、十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。
 - 輸送計画書の提出 ()
- (2) 集積・保管
 - 集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。
 - ・ 集積場の確認 ()
- (3) 建方計画
 - 建方計画書の提出 ()
 - アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕付け、地組、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。
- (4) 施工時の安全性
 - 建方作業中および作業後、横架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監督職員および監理者の承認を得ること。また、強風などによる諸外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。
 - ・ 施工時の安全性に対する検討書の提出
 - ・ 施工時荷重条件の通知
- (5) アンカーボルトの施工
 - ・ 施工者は着工後、直ちに配筋とアンカーボルトとの納まり図を作成し、監督職員および監理者の承認を得ること。
 - ・ 芯だしは、型板を用いて基準墨に正しく合わせて適切な機器等で正確に行う。
 - ・ アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打込みを行う。
 - ・ アンカーボルトはダブルナットとする。(適用除外：)
 - ・ 土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。
 - ・ 通り芯からの誤差： ±3mm以下 ()
- (6) 建方精度
 - ・ 建方の精度基準は下記による。
 - ・ 建物の倒れ： $e \leq H/2500 + 10\text{mm}$ かつ $e \leq 50\text{mm}$ ()
 - ・ 梁の水平度： $e \leq L/700 + 5\text{mm}$ かつ $e \leq 15\text{mm}$ (節点間のレベル差) ()
 - ・ 建物のわん曲： $e \leq L/2500\text{mm}$ かつ $e \leq 50\text{mm}$ ()
 - ・ 柱据え付け面の高さおよび位置
柱据え付け面の基準高さからの誤差： $\pm 0 - 3\text{mm}$ 以下 ()
通り芯からの誤差： $\pm 5\text{mm}$ 以下 ()
階高： $\pm 5\text{mm} \leq \Delta H \leq +5\text{mm}$ ()
 - ・ 建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監督職員に報告し対応を協議する。
- (7) 施工状況の検査
 - ・ アンカーボルト施工時の立会い検査
 - ・ 目視による精度確認
 - ・ 計測機器による精度確認
 - ・ アンカーボルト径、間隔
 - ・ 施工者自主検査記録の提出 ()
 - ・ 地組時の立会い検査
 - ・ 目視による精度確認
 - ・ 計測機器による精度確認
 - ・ 材料の加工寸法検査
 - ・ 施工者自主検査記録の提出 ()
 - ・ 建方時の立会い検査
 - ・ 目視による精度確認
 - ・ 計測機器による精度確認
 - ・ 材料の加工寸法検査
 - ・ 施工者自主検査記録の提出 ()
 - ・ 建方時の施工状況の検査
 - ・ 防腐・防蟻処理
 - ・ 材料の加工寸法検査
 - ・ ファスナーの施工状況
 - ・ 接合金物の施工状況
 - ・ その他 ()
 - ・ 施工者自主検査記録の提出 ()
- (7) 施工状況の検査
 - ・ アンカーボルト施工時の立会い検査
 - ・ 目視による精度確認
 - ・ 計測機器による精度確認
 - ・ アンカーボルト径、間隔
 - ・ 施工者自主検査記録の提出 ()
 - ・ 地組時の立会い検査

8. 軸組構法接合部の標準仕様 (参考)

- (1) 横架材同士の継手
 - 1. 曲げ応力や引張力を負担しない継手：腰掛け蟻継ぎ、腰掛け鎌継ぎ
 - ・ せん断力が大きい場合は台持ち継ぎとする。
 - ・ 長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
 - ・ 逆せん断と引張の補強として短冊金物等を併用すること。
 - ・ 柱からの持ち出し位置は、連続梁の長期荷重の反曲点付近とする。
 - 2. 曲げ応力や引張力を負担する継手：追掛け大栓・金輪・戻拵継ぎ、鋼板挿入ドリフトピン接合
 - ・ 伝達できる曲げや引張りは母材全断面の2割以下と考えること。
- (2) 柱の継手
 - ・ 伝達できる曲げや引張りは母材全断面の2割以下と考えること。
 - ・ やむを得ず柱の継手をつける場合は、曲げと軸力による複合応力の検定を行い安全性を確認する。
- (3) 横架材同士の仕口
 - 1. せん断力が母材全断面の3割以下の仕口：(大入れ) 蟻掛け
 - ・ 長期荷重時のせん断力の向きを考慮し、女木と男木を決める。
 - ・ 逆せん断と引張の補強として羽子板ボルト等を併用すること。
 - ・ 男木の梁せいが女木の2/3以下の場合は、仕口直下に柱がある場合には、大入れとしてよいが、そうでない場合は男木のせいの2/3程度の顎をかける。
 - 2. せん断力が母材全断面の3割を超える仕口：梁受け金物
 - ・ 既製品の場合は金物メーカーの許容せん断耐力の値を用い、特注品の場合は構造計算で許容せん断耐力を算出して安全性を確認すること。
 - 3. 一方を片持ち梁とする場合：レベル差を設け渡り懸掛け
 - ・ 逆せん断の補強として羽子板ボルト等を併用すること。
- (4) 柱と横架材の仕口
 - 1. 柱の上下反歩：短ほぞ差し・長ほぞ差し込み止め
 - ・ 短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算または許容応力度計算により、必要耐力を有するマーク金物等を併用すること。
 - 2. 土台の出隅入隅部
 - ・ 土台同士は横輪小根ほぞ差しまたは寄せほぞ差し、柱脚部は扇ほぞ差しまたは寄せほぞ差しとする。(ただし、柱勝ちの場合、落とし蟻または土台を寄せほぞ差しとする。)
 - ・ 短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算または許容応力度計算により、必要耐力を有するマーク金物等を併用すること。落とし蟻の場合、HD金物を用いる。

- 3. 通し柱と扇差し：小胴付きほぞ差し、傾ぎ大入れほぞ差し、梁受け金物
 - ・ 梁受け金物以外の仕口には、引張の補強として短冊金物やかな折り金物等を併用すること。
- (5) 筋かい端部
 - ・ 平12建告1460号の例示仕様または同等品とする。
- (6) 火打ち・方杖
 - ・ 角材を用いる場合の端部は、傾ぎ大入れほぞ差し+ボルト締めとする。
 - ・ 火打ち材は設計図書に記載の火打ち材を使用すること。
- (7) 小屋束の上下端部
 - ・ 短ほぞ差しまたは長ほぞ差し込み止めとする。
 - ・ 短ほぞ差しの場合、風圧力による引張力の補強として、かすがい2本、ひら金物または山形プレート止めとする。
- (8) 根太、垂木と横架材
 - ・ 落とし根太：横架材に大入れまたは根太掛け+斜め釘とする。
 - ・ 半欠き根太：横架材に大入れ懸掛け+斜め釘とする。
 - ・ 転ばし根太：根太が正角断面の場合、横架材に脳釘止めとする。根太が縦長角断面の場合、斜め釘2本+転び止めとする。
 - ・ 垂木：横架材に垂木道を掘り、転ばし根太と同様に止める。
 - ・ 風の風圧の補強：許容応力度計算により必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。
- (9) 間柱と横架材
 - ・ 上下横架材に深さ3mm程度大入れ+斜め釘上部ほぞ差し、下部突き付け+斜め釘とする。
- (10) 釘の最小間隔及び最小端あき距離

		加力方向		(d: 釘径)	
		繊維方向	繊維直交方向		
繊維方向	E1	15d	10d		
	P1	12d	10d		
繊維直交方向	E2	5d	8d		
	P2	5d	8d		
- (11) ボルトの最小間隔及び最小端あき距離

		加力方向		(d: ボルト径, t: 主材厚)	
		繊維方向	繊維直交方向		
繊維方向	E1	7d (荷重非制御)	7d		
	P1	7d	7d		
繊維直交方向	E2	1/d ≥ 6: 1.5d 1/d > 6: 1.5dかつP2/2	4d (荷重非制御)		
	P2	3d	4d		
- (12) 面材耐力壁
 - ・ 壁量計算図に基づき建築基準法施行令第46条及び昭56建告第1100号の規程に従う。

主な接合部位に対応する金物種類			
部位	主な接合部位	金物種類	備考
筋かい	柱+土台・胴差・梁	筋かいプレートBP	BP-30×90筋かいに使用。
		筋かいプレートBP-2	BP-2→45×90筋かいに使用。
		筋かいボックスBB-2・BB-32 筋かいボックスBB-33	BB-2→45×90筋かいに使用。 BB-33→90×90筋かいに使用。
柱	土台	かど金物CP-L	高倍率の耐力壁を構成する場合に使用する。
		かど金物CP-T	
		山形プレートVP	
		ホールダウン金物HD-B (15)	
		ホールダウン金物HD-N ()	
	ホールダウン金物S-HD (15)	高倍率の耐力壁を構成する場合に使用する。	
	柱脚金物PB-33		
	柱脚金物PB-42		
	三角火打金物		
桁・胴差	桁・胴差	かど金物CP-L	羽子板ボルトSB-E2、SB-F2は 仮止め用(釘穴なし)
		かど金物CP-T	
山形プレートVP	大断面構造集材材との取合についてはメーカー 及び監督員と打合の上現場決定とする。		
羽子板ボルトSB-E			
軒桁	軒桁	羽子板ボルトSB-E	羽子板ボルトSB-E2、SB-F2は 仮止め用(釘穴なし)
管柱	管柱・継束	ホールダウン金物HD-B ()	どちらか一方で高倍率の耐力壁を構成する 場合に使用する。
		ホールダウン金物HD-N ()	
		ホールダウン金物S-HD ()	
		短冊金物S	
ひら金物SM () ()	耐力壁廻りには使用しない。		
通し柱	桁・胴差	羽子板ボルトSB-E	はずれ止め、SAは隔通し柱に使用。 羽子板ボルトSB-E2、SB-F2は 仮止め用(釘穴なし)
		短冊金物S	
		かね折り金物SA	
		三角火打金物	
胴差	胴差・梁(継手)	短冊金物S	はずれ止め、SAは隔通し柱に使用。 羽子板ボルトSB-E2、SB-F2は 仮止め用(釘穴なし)
		羽子板ボルトSB-E	
		三角火打金物	
小屋梁	小屋束	羽子板ボルトSB-E	はずれ止め、SAは隔通し柱に使用。 羽子板ボルトSB-E2、SB-F2は 仮止め用(釘穴なし)
		山形プレートVP	
		ひら金物SM () ()	
かずがいC () ()	はずれ止め		
その他	土台+基礎(大引)	アンカーボルトM-12・16 (L:400・600)	大引及び内部間仕切土台は監督員と協議の上 後施工アンカーとする事が出来る。
		三角火打金物	
	大引+床束	山形プレートVP	はずれ止め
		ひら金物SM	
	床組・小屋組隅角部	火打金物HB	ねじれ防止
		三角火打金物	
垂木+母屋・軒桁	ひねり金物ST	はずれ止め	
	折曲げ金物SF		
	くら金物SS		
タルキック(ロングビス)			
火打梁	ボルト(短冊金)		

Zマーク表示金物及びZマーク同等認定金物				
接合金物				
種類・記号	形状・寸法(単位mm)	使用接合具	用途・使い方	
かど金物 CP-L CP-T	【寸法・形状】 (ろ) (は)	太め釘 ZN65	【用途】引張りを受ける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 種架材 隔柱 土台 筋かい 柱 かど金物CP-L アンカーボルトA 柱 かど金物CP-T	
	短期許容耐力(kN) 記号 CP-L/CP-T			
山形プレート VP	【寸法・形状】 (同等品以上可)	太め釘 ZN90 8本	【用途】かど金物と同様の用途 【使い方】 柱 土台 基礎 山形プレートVP	
	短期許容耐力(kN) 記号 VP			
ひねり金物 ST (右ひねりのみ)	【寸法・形状】 ST-9 ST-12 ST-15	太め釘 ZN40	【用途】垂木と軒桁又は、母屋との接合 【使い方】 垂木 ひねり金物ST-9、ST-12 軒桁	
				短期許容耐力(kN) 記号 ST-9 ST-12 ST-15
				記号 ST-9 ST-12 ST-15
				短期許容耐力(kN) 記号 ST-9 ST-12 ST-15
桁受け金物 (大断面集材材と在来工法取合部等)	120 x 180 (120) 用	太め釘 ZN-65 10本	(株)カネシン OH-105程度	
				短期許容耐力(kN) 記号 OH-105
桁受け金物 (大断面集材材と在来工法取合部等)	120 x 210 用	ラグスクリュー (2-LS12)	血頭スクリュー釘 BN-60 14本 目安1000 (長期)	
				短期許容耐力(kN) 記号 2-LS12
【用途】集材材と普通構造材の緊結 【使い方】	普通構造材	普通構造材	普通構造材	
				短期許容耐力(kN) 記号

Zマーク表示金物及びZマーク同等認定金物				
接合具				
種類	記号	形状・寸法(単位mm)	用途・使い方	
太め釘	ZN40 ZN65 ZN90	短期許容耐力(kN) 記号 ZN40 ZN65 ZN90	【用途】引張りを受ける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 種架材 隔柱 土台 筋かい 柱 かど金物CP-L アンカーボルトA 柱 かど金物CP-T	
				短期許容耐力(kN) 記号 ZN40 ZN65 ZN90
				短期許容耐力(kN) 記号 ZN40 ZN65 ZN90
				短期許容耐力(kN) 記号 ZN40 ZN65 ZN90
スクリュー釘	ZS50	短期許容耐力(kN) 記号 ZS50	【用途】引張りを受ける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 種架材 隔柱 土台 筋かい 柱 かど金物CP-L アンカーボルトA 柱 かど金物CP-T	
				短期許容耐力(kN) 記号 ZS50
				短期許容耐力(kN) 記号 ZS50
				短期許容耐力(kN) 記号 ZS50
六角ボルト・六角ナット	M12 (ボルト・ナット共)	L: 110, 125, 140, 150, 165, 180, 195, 210 225, 240, 255, 270, 285, 300, 315, 330, 345 360, 375, 390, 405, 420, 435, 450, 465, 480, 510 540, 570, 600	【用途】引張りを受ける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 種架材 隔柱 土台 筋かい 柱 かど金物CP-L アンカーボルトA 柱 かど金物CP-T	
				短期許容耐力(kN) 記号 M12
六角ボルト・六角ナット	M16 (ボルト・ナット共)	Lの表はM12と同じ	【用途】引張りを受ける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 種架材 隔柱 土台 筋かい 柱 かど金物CP-L アンカーボルトA 柱 かど金物CP-T	
				短期許容耐力(kN) 記号 M16
全六角ねじボルト	M12 x 115 M12	Lの表はM12と同じ	【用途】引張りを受ける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 種架材 隔柱 土台 筋かい 柱 かど金物CP-L アンカーボルトA 柱 かど金物CP-T	
				短期許容耐力(kN) 記号 M12 x 115 M12
角ボルト	M12	Lの表はM12と同じ	【用途】引張りを受ける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 種架材 隔柱 土台 筋かい 柱 かど金物CP-L アンカーボルトA 柱 かど金物CP-T	
				短期許容耐力(kN) 記号 M12
平釘	ZF55	Lの表はM12と同じ	【用途】引張りを受ける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 種架材 隔柱 土台 筋かい 柱 かど金物CP-L アンカーボルトA 柱 かど金物CP-T	
				短期許容耐力(kN) 記号 ZF55
アンカーボルト	A A-60 A-70	L: 400, 600	【用途】引張りを受ける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 種架材 隔柱 土台 筋かい 柱 かど金物CP-L アンカーボルトA 柱 かど金物CP-T	
				短期許容耐力(kN) 記号 A A-60 A-70
産金付ボルト	M16W	L: 150, 165, 180, 195, 210 225, 240, 255, 270, 285, 300 315, 330, 345, 360, 375, 390 405, 420, 435, 450, 465, 480, 510 540, 570, 600	【用途】引張りを受ける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 種架材 隔柱 土台 筋かい 柱 かど金物CP-L アンカーボルトA 柱 かど金物CP-T	
				短期許容耐力(kN) 記号 M16W
角産金	W4.5 x 4.0 W6.0 x 6.0	短期許容耐力(kN) 記号 W4.5 x 4.0 x 14 W6.0 x 6.0 x 14	【用途】引張りを受ける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 種架材 隔柱 土台 筋かい 柱 かど金物CP-L アンカーボルトA 柱 かど金物CP-T	
				短期許容耐力(kN) 記号 W4.5 x 4.0 x 14 W6.0 x 6.0 x 14
				短期許容耐力(kN) 記号 W4.5 x 4.0 x 14 W6.0 x 6.0 x 14
				短期許容耐力(kN) 記号 W4.5 x 4.0 x 14 W6.0 x 6.0 x 14
角産金	W9.0 x 8.0	短期許容耐力(kN) 記号 W9.0 x 8.0 x 18	【用途】引張りを受ける柱と土台・横架材の接合 【使い方】 種架材 隔柱 土台 筋かい 柱 かど金物CP-L アンカーボルトA 柱 かど金物CP-T	
				短期許容耐力(kN) 記号 W9.0 x 8.0 x 18
				短期許容耐力(kN) 記号 W9.0 x 8.0 x 18
				短期許容耐力(kN) 記号 W9.0 x 8.0 x 18

仕口の 種類	筋違いの 種類	平屋建ての柱 2階建ての2階の柱 2階建ての1階下屋部分の柱				2階建ての1階の下屋部分以外の柱		
		出隅の柱		その他の柱		1階柱：出隅 2階柱：出隅	1階柱：その他 2階柱：出隅	1階柱：その他 2階柱：その他
		筋違いの下部 が取り付く柱	(2)	筋違いの下部 が取り付く柱	(1)	(4)	(2)	(1)
30×90 (1.5倍)		その他の柱	(4)	その他の柱	(2)	(4)	(2)	(1)
()内は壁 倍率								
45×90 (2.0倍)		筋違いの下部 が取り付く柱	(3)		(2)	(7)	(3)	(2)
		その他の柱	(5)					
構造用合板 等 (個別)			(5)		(2)	(8)	(6)	(3)
30×90 たすき (3.0倍)			(7)		(3)	(9)	(7)	(4)
45×90 たすき (4.0倍)			(7)		(4)	(10)	(8)	(7)

筋違い端部の金物

〔寸法・形状〕
130
100
90
t=1.6

〔使用材〕
角形平鋼φ12
小径角形金物 φ12×20
t=2.3
六角ナット φ12
六角ワッシャー φ12

〔用途〕 筋違いを柱と構材材に同時に接合

〔注〕筋違い断面寸法20×90に使用する

〔寸法・形状〕
120
160
200
t=2.2

〔使用材〕
角形平鋼φ12
小径角形金物 φ12×20
六角ナット φ12
六角ワッシャー φ12

〔用途〕 筋違いを柱と構材材に同時に接合

〔注〕筋違い断面寸法20×90に使用する

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

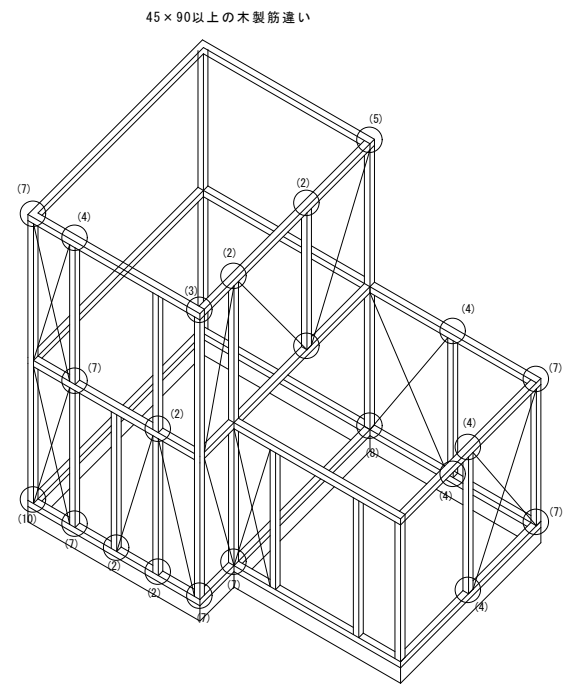
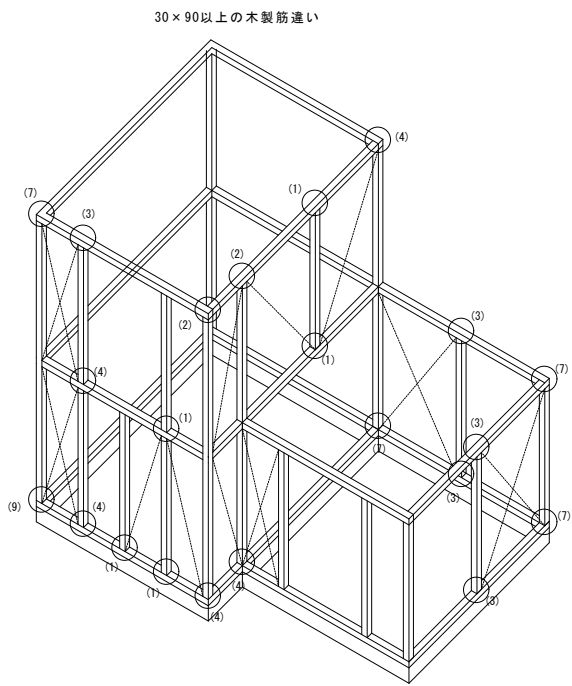
(6)

(7)

(8)

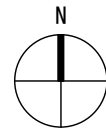
(9)

(10)



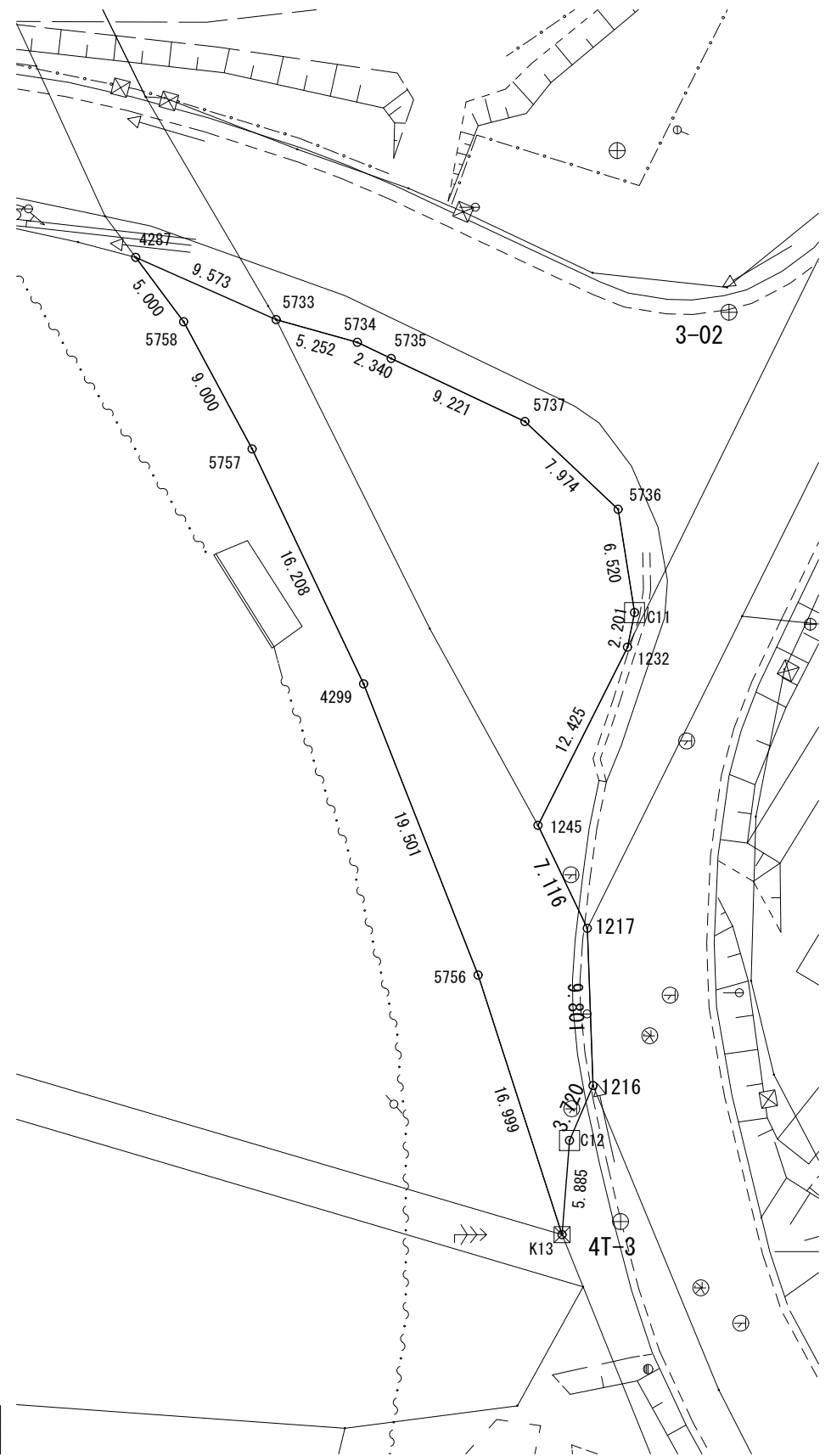
※接合部に使用する金物は、Zマーク表示品又はZマーク同等品とする。

※複数の仕様が表示されている場合は、いずれかを選択する。



南側トイレ計画地：南相馬市原町区牛来字出口208-3、227-1の一部

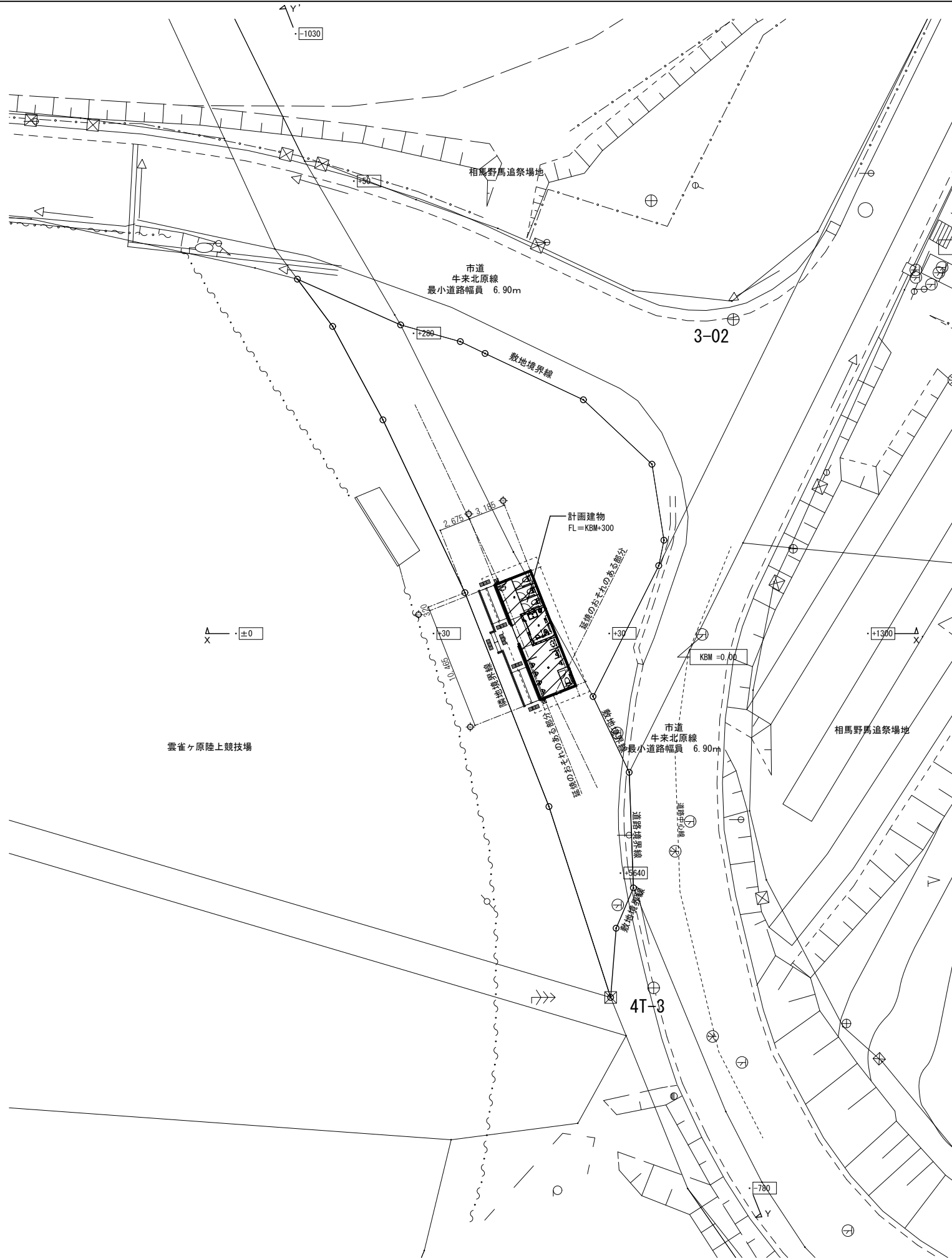
付近見取図




地番	南側トイレ			辺長
NO	X	Y		
4287	180611.957	99358.659	9.573	
5733	180608.076	99367.411	5.252	
5734	180606.664	99372.470	2.340	
5735	180605.657	99374.582	9.221	
5737	180601.729	99382.925	7.974	
5736	180596.265	99388.733	6.520	
C11	180589.824	99389.750	2.201	
1232	180587.665	99389.317	12.425	
1245	180576.562	99383.738	7.116	
1217	180570.141	99386.806	9.801	
1216	180560.346	99387.161	3.720	
C12	180556.925	99385.699	5.885	
K13	180551.058	99385.235	16.999	
5756	180547.233	99380.003	19.501	
4299	180545.380	99372.863	16.208	
5757	180600.023	99365.912	9.000	
5758	180607.946	99361.647	5.000	
合計			1270.357656	
面積			635.17	

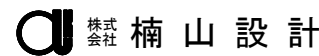
基準点座標一覧		
点名	X座標	Y座標
3-02	180608.534	99395.640
4T-3	180551.869	99388.881

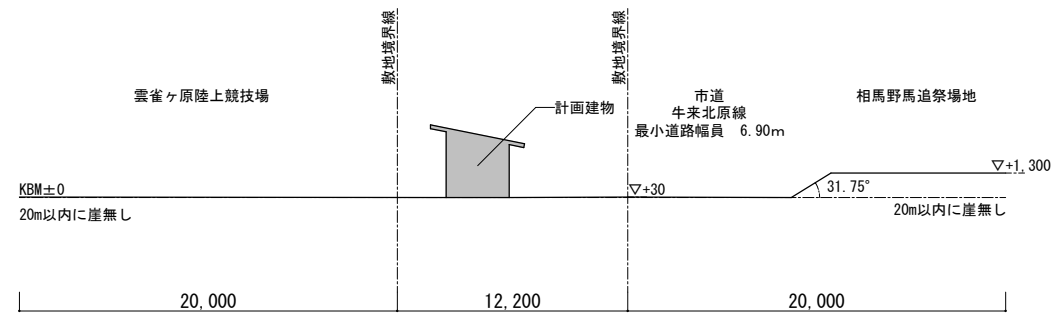
【新築】南側トイレ 敷地求積図 1/200



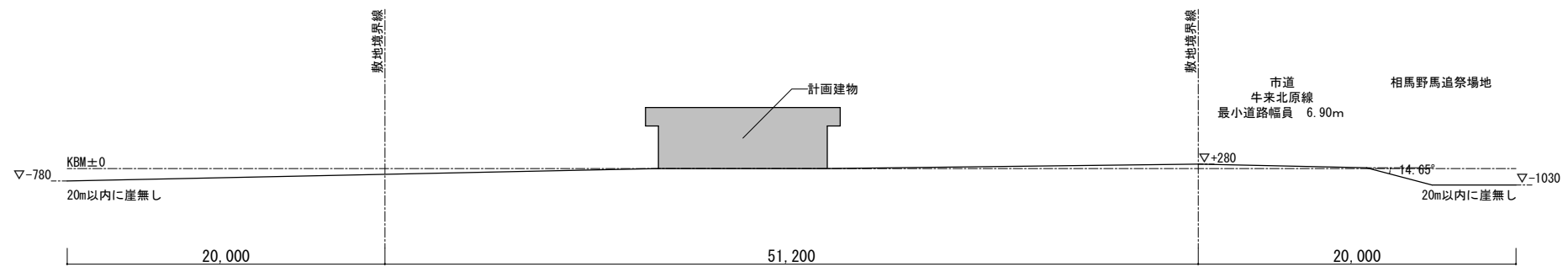
 : 計画建物位置を示す

【南側トイレ】 配置図 1/200

記事		仙台市青葉区一番町三丁目3番16号 オー・エックス芭蕉の辻ビル TEL (022) 224-1207	一級建築士事務所 宮城県知事 登録 第23110182号 板垣 俊也 登録 第 207908号	設計者	承認	設計部	月日	縮尺	工事名	図面名	No.
							R8.3	A1=1/200 A3=1/400	令和7年度 雲雀ヶ原祭場内公衆トイレ建替工事	【南側トイレ】 配置図	A-18

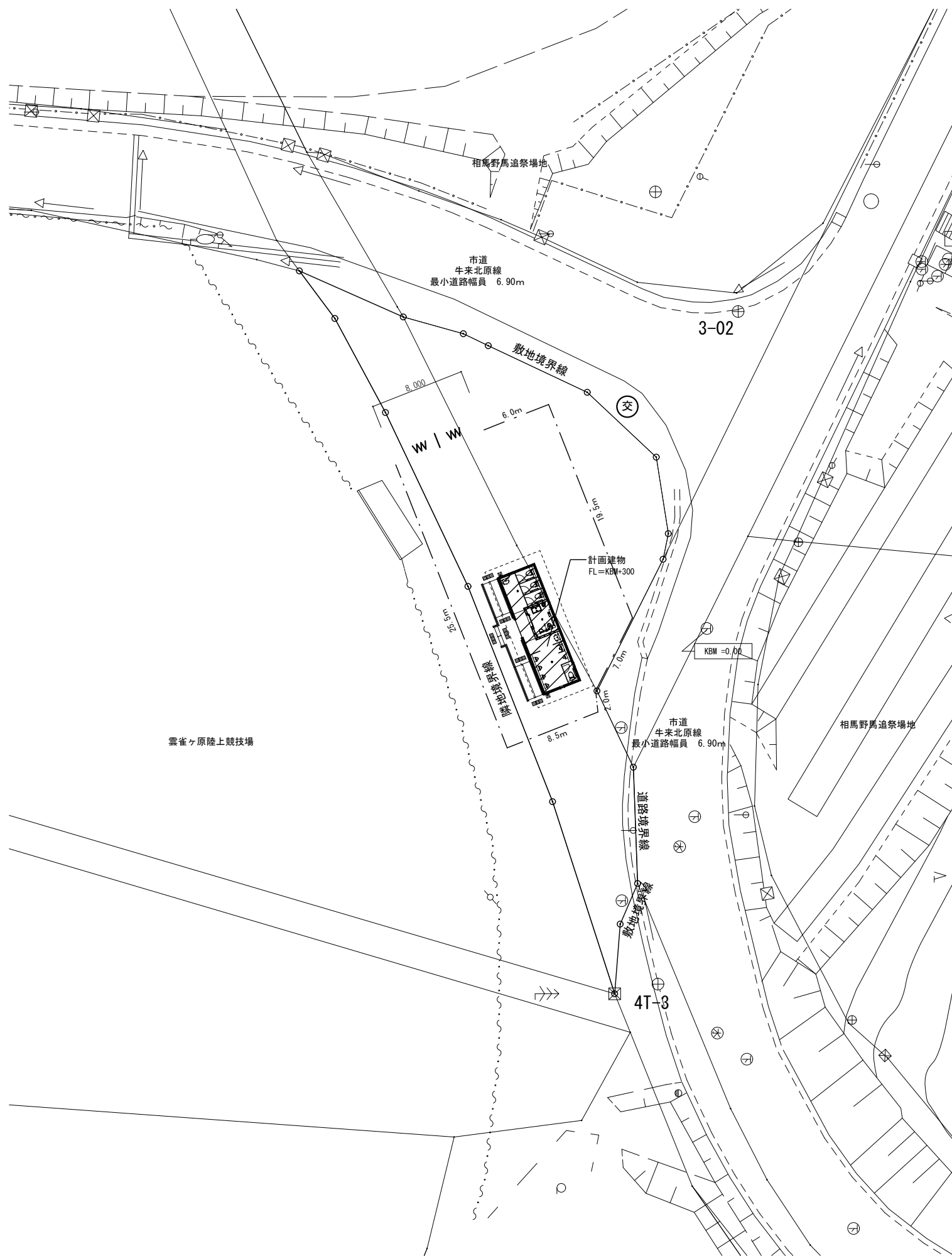


【南側トイレ】 X-X' 敷地断面図 1/200



【南側トイレ】 Y-Y' 敷地断面図 1/200

記号 _____ _____ _____		仙台市青葉区一番町三丁目3番16号 オー・エックス芭蕉の辻ビル TEL (022) 224-1207	一級建築士事務所 宮城県知事 登録 第23110182号 板垣 俊也 登録 第 207908号	設 計 者	承 認	設 計 部	月 日	縮 尺	工 事 名	図 面 名	No.
							R8. 3	A1=1/200 A3=1/400	令和7年度 雲雀ヶ原祭場内公衆トイレ建替工事	【南側トイレ】敷地断面図	A-19



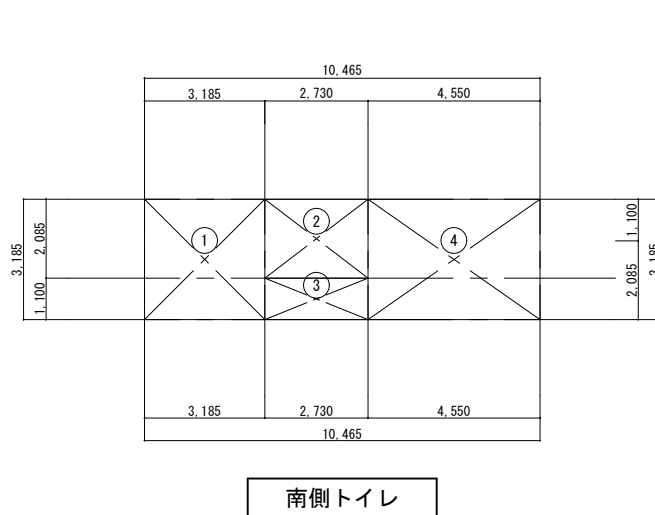
凡例	仕様
---	万能板塀：H=2.0m
WW WW	キャスターゲート：W=8.0 × H=2.0m
⊗	交通誘導員（5ヶ月）

【南側トイレ】 仮設計画図 1 / 200

■各種凡例等				■外部仕上表						■共通事項						
区分	記号	仕様	認定番号等	部位	区分	仕様		部位	区分	仕様						
下 地 等	C	コンクリート		屋 根	屋根	仕上	塗装GLめっき鋼板t0.35 横葺き(勾配2/10) (KMEW:スマートメタル同等品) 不燃材料認定番号:NM-8697	建 具		特記仕様書、建具表による	1) 内部仕上材は材料・接着材共F☆☆☆☆品を使用する。 2) 内外共に使用する金物は全てSUS304とする。 3) 仕上材にはクロロピリホスの添加はない材料を使用する。 4) 厚生労働省指針13物質を使用しない。					
	M	モルタル				下地	改質アスファルトルーフィングt1.0、 構造用合板t12、垂木90×45#303									
	W	木下地			軒 樋	仕上	硬質塩化ビニル樹脂製 W110、落葉除けネット共 (KMEW:KAKU RK85同等品)									
						下地	スチール芯									
					縦 樋	仕上	高耐候性特殊樹脂製 60×60 (KMEW:S30同等品)									
						下地	-									
	GB-R	石膏ボード	不燃 準不燃 NM-8619 QM-9828		破 風 鼻 隠	仕上	塗装GLめっき鋼板t0.35 現場曲げ加工									
	GB-S	シーリング石膏ボード	不燃 準不燃 NM-9639 QM-9826			下地	下地板t30×135									
	GB-NC	化粧石膏ボード(ジプトーンライト同等品)	不燃 準不燃 NM-1864 QM-0524			雪 止	仕上					アクリル樹脂焼付塗装200×60 後付け (KMEW:K雪止め金具同等品)				
							下地					SUS304				
			軒 天	仕上	EP											
				下地	t5ケイ酸カルシウム板 目透かし張り(屋根垂木に直張り)											
			外 壁	仕上	平型スレートt5.2 千鳥張り (KMEW:グラッサシンブル同等品) 不燃材料認定番号:NM-2093											
				下地	木軸組、透湿防水シート、縦胴縁15×45、構造用合板t9.0、非透湿防水紙											
塗 装	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り		根 廻 り 腰 壁	仕上	コンクリート保護撥水材塗布 (ABC商会:ワイティプルーフC同等品)	雑 金 物		既製品 アルミ既製品 D600L1,000、D600L2,000 (ABC商会:インサルヒサッシュ同等品)							
					下地	コンクリート打放し補修(B種)					サイン	鋳鉄製ピクトサイン(平付け、突出し)				
												鋳鉄製ピクトサイン(平付け、突出し)				
												屋外手すり	屋外用樹脂製手すりφ34 四国化成:手すり セイフティビーム SF型 同等品			
												四国化成同等品				
					外 部 床	犬 走					仕上	t10 舗装用洗い出し仕上	そ の 他		目隠しフェンス	四国化成:アレグリアフェンスTL5型 同等品
											下地	コンクリート金ゴテ				
					ス ロ ー プ	仕上					t10 舗装用洗い出し仕上					
						下地					コンクリート金ゴテ					
	防火 構造	外壁	外装材、外装材下地材、構造用面材、木軸組、内装材		PC030BE-3804(2)											

■内部仕上表														
階	室名	床		床高	巾木	巾木高	壁	柱型	梁型	天井	天井高	廻縁	備考	内装制限
1 階	男子トイレ	仕上	一般部 : 散布硬質床t1.5	±0~+20	床同材立上	+300	EP-G	-	-	WP	-	-	トイレブース、ライニング 小便器用手すり、L型手すり	-
		下地	一般部 : C、防水Mt10~20	-10	C			t12.5 GB-R、木胴縁15×45、t15木片セメント板			小屋組み現し			
	女子トイレ	仕上	一般部 : 散布硬質床t1.5	±0~+20	床同材立上	+300	EP-G	-	-	WP	-	-	トイレブース、ライニング L型手すり	-
		下地	一般部 : C、防水Mt10~20	-10	C			t12.5 GB-R、木胴縁、t15木片セメント板			小屋組み現し			
	多目的トイレ	仕上	一般部 : 散布硬質床t1.5	±0~+20	床同材立上	+300	EP-G	-	-	WP	-	-	床下改め口、L型手すり ベビーベッド、ベビーチェア チェンジングボード ※トイレユニットは設備区分	-
		下地	一般部 : C、防水Mt10~20	-10	C			t12.5 GB-R、木胴縁、t15木片セメント板			小屋組み現し			
		仕上												
		下地												

■床面積求積図(A1=1/100、A3=1/200)

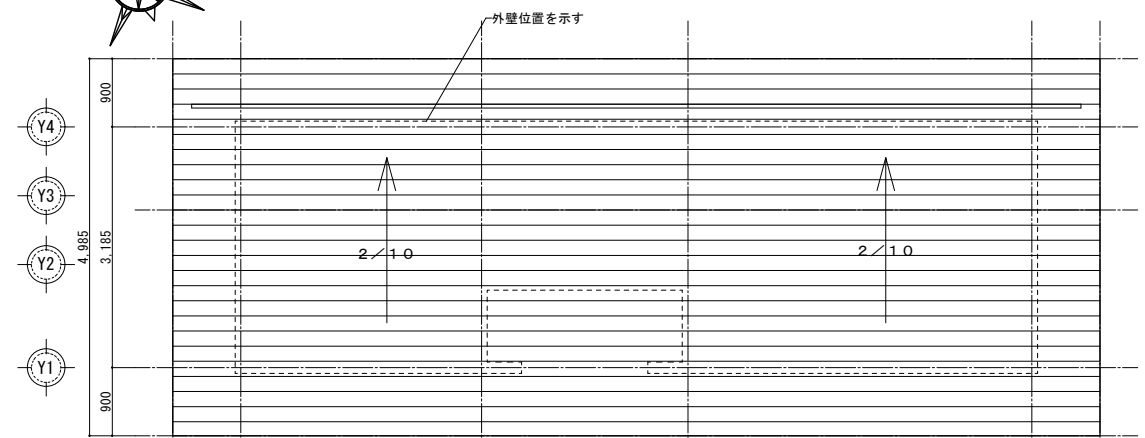
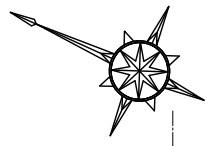


南側トイレ床面積表

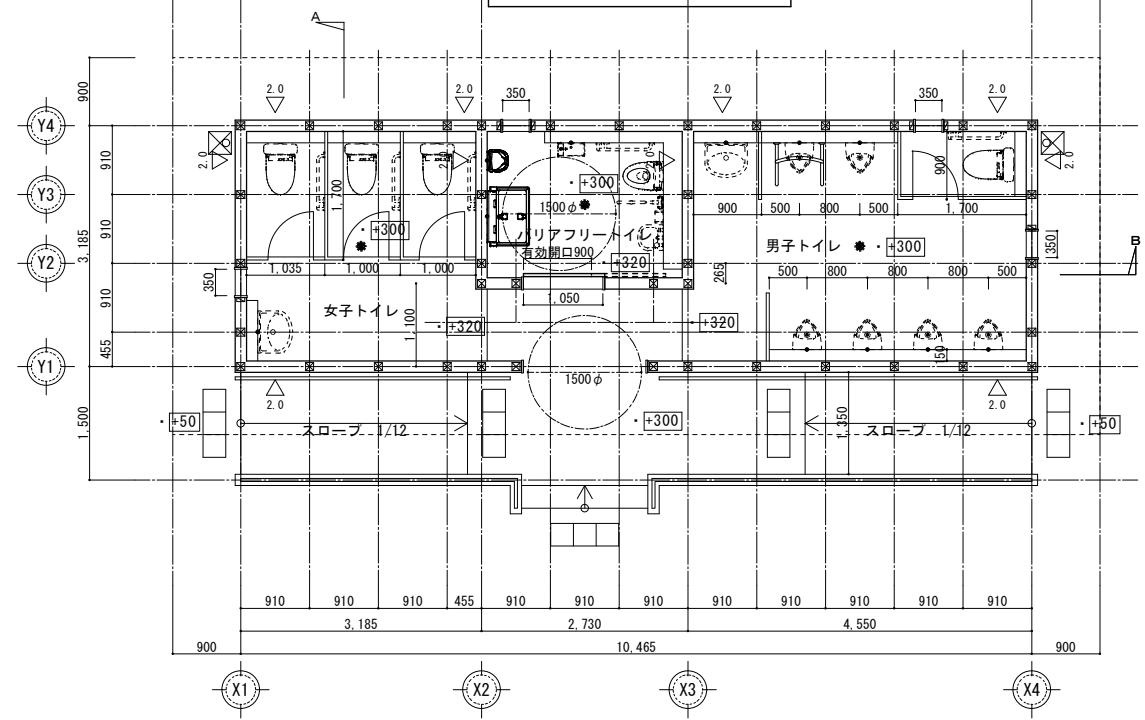
符号	計算式	面積(m ²)
①	3.185 X 3.185	10.144225
②	2.085 X 2.73	5.69205
③	1.10 X 2.73	3.003
④	3.185 X 4.55	14.491975
床面積		33.33125
改め		33.33

南側トイレ建築面積表

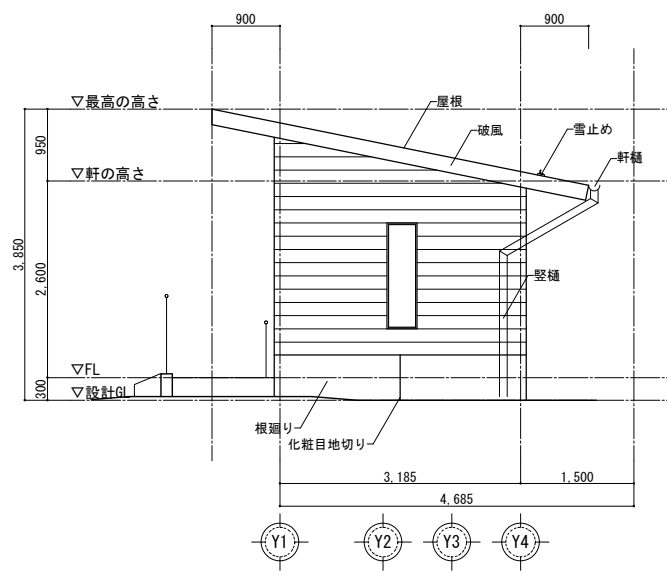
符号	計算式	面積(m ²)
①	3.185 X 3.185	10.144225
②	2.085 X 2.73	5.69205
③	1.10 X 2.73	3.003
④	3.185 X 4.55	14.491975
床面積		33.33125
改め		33.33



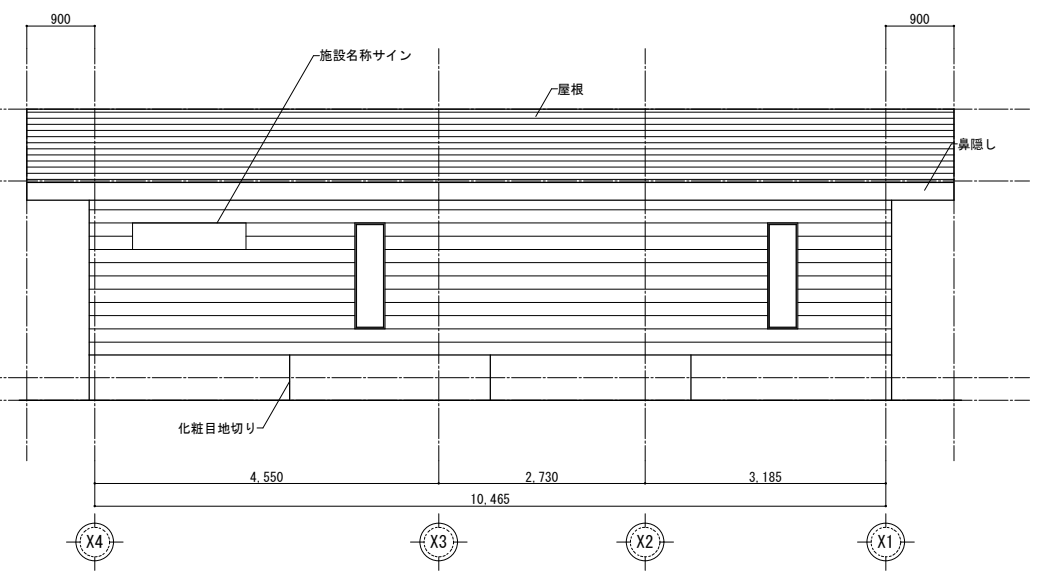
【新築】南側トイレ 屋根伏図 1/50



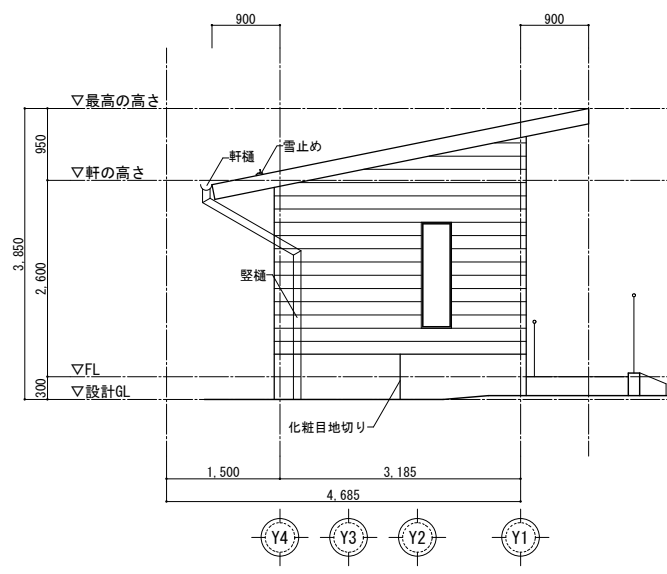
【新築】南側トイレ 平面図 1/50



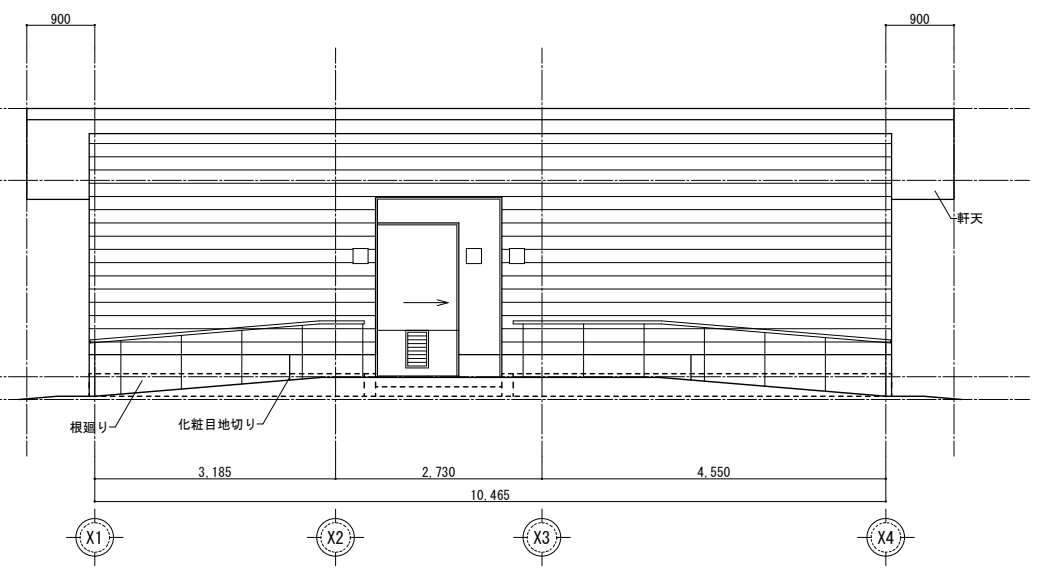
【新築】南側トイレ 南立面図 1/50



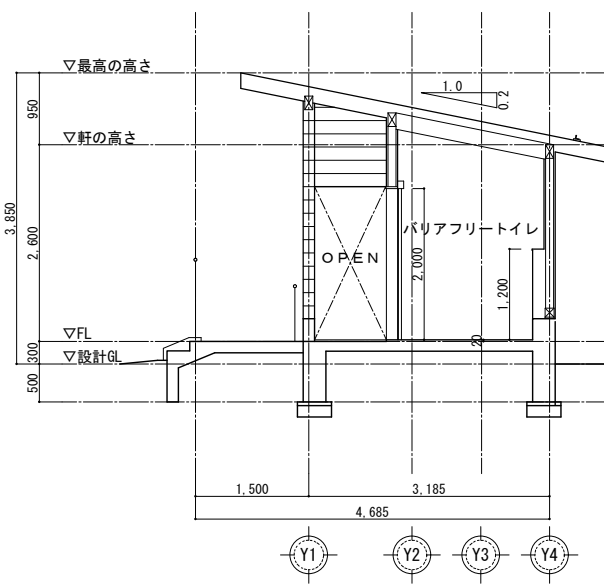
【新築】南側トイレ 東立面図 1/50



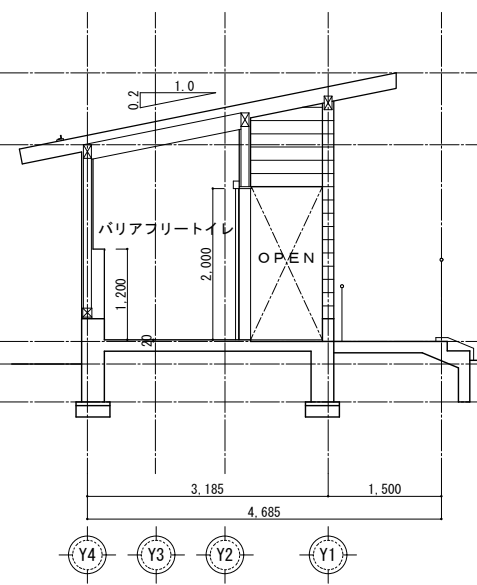
【新築】南側トイレ 北立面図 1/50



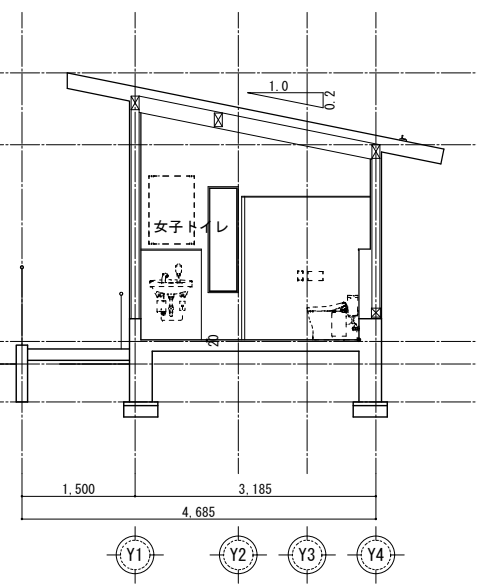
【新築】南側トイレ 西立面図 1/50



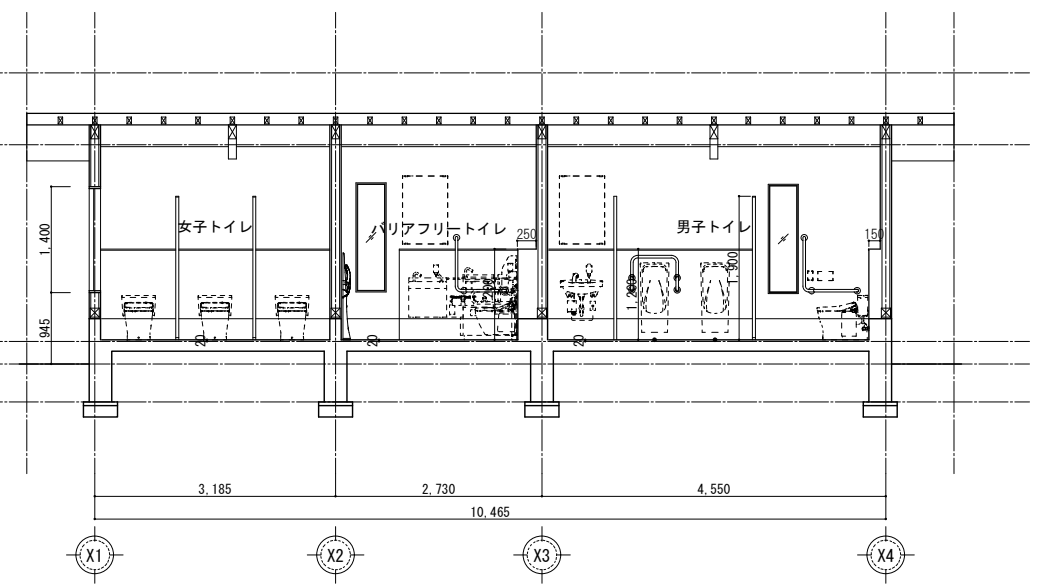
【新築】南側トイレ 出入口 断面図 1/50



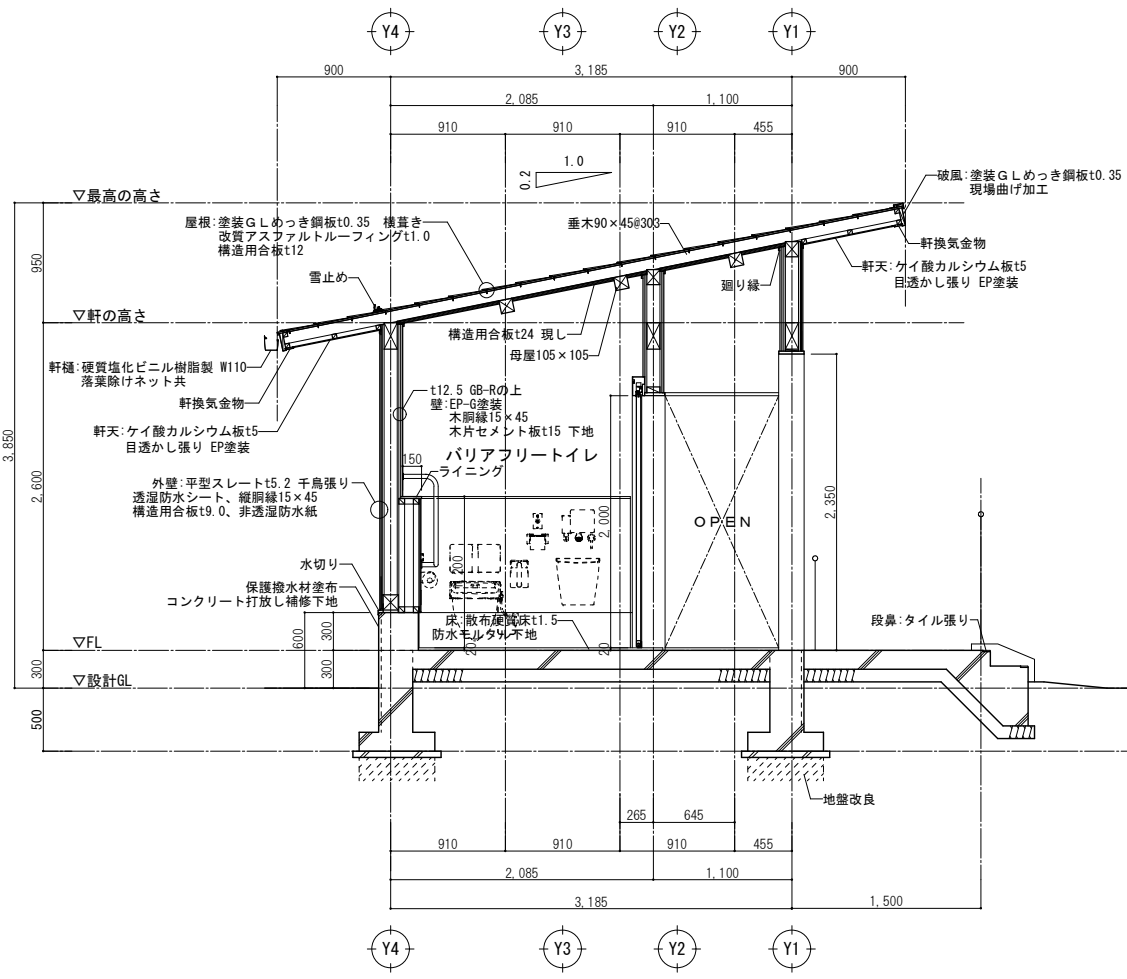
【新築】南側トイレ 出入口 断面図 1/50



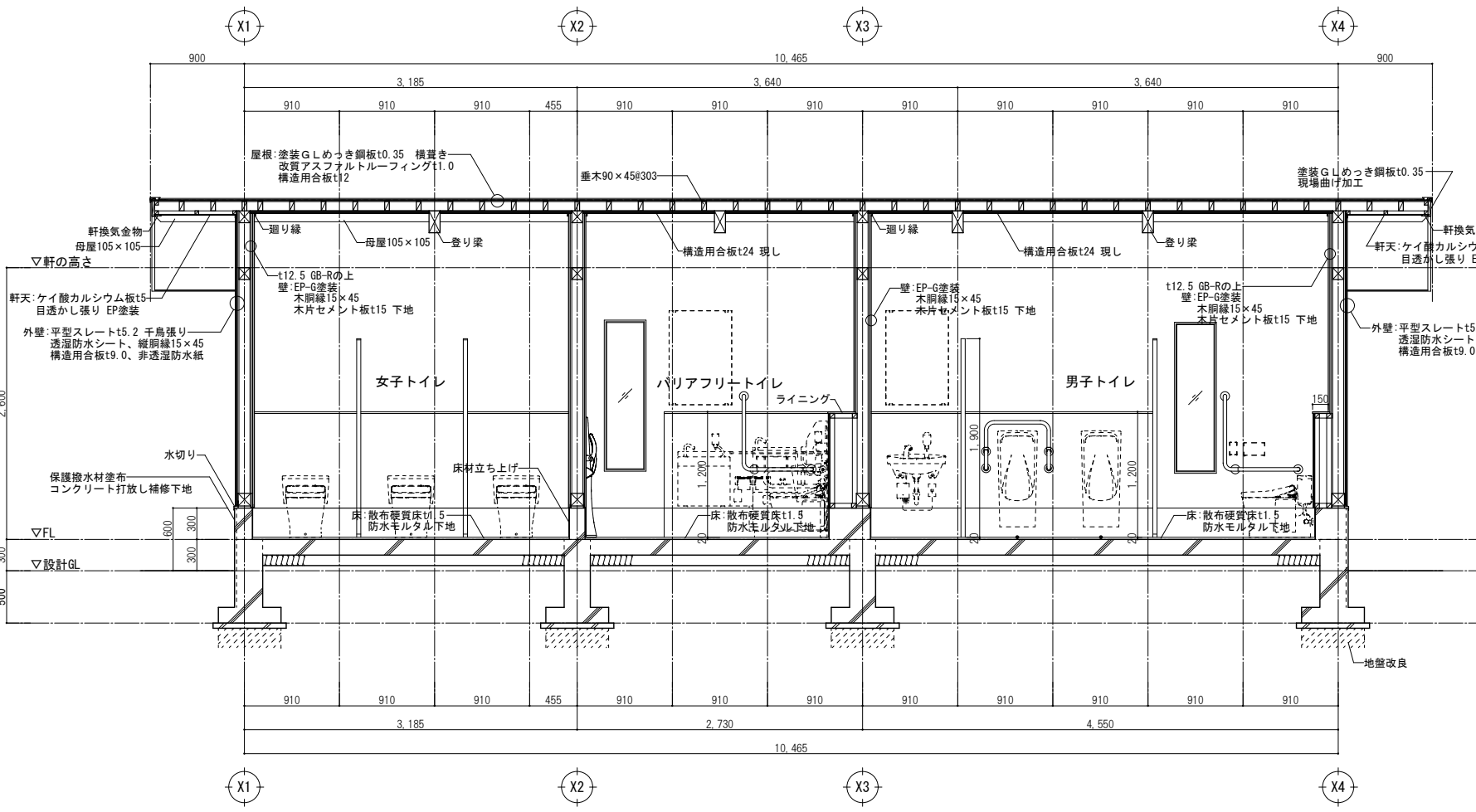
【新築】南側トイレ A断面図 1/50



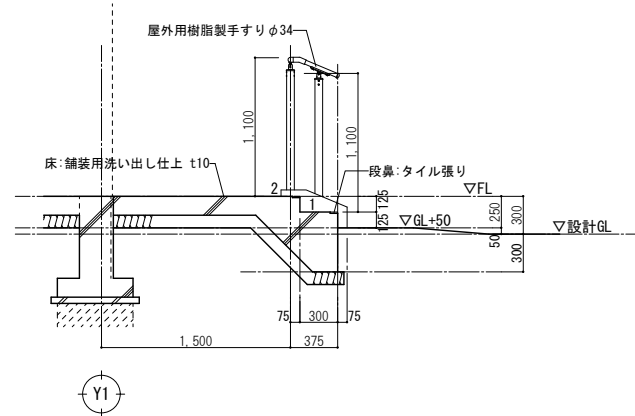
【新築】南側トイレ B断面図 1/50



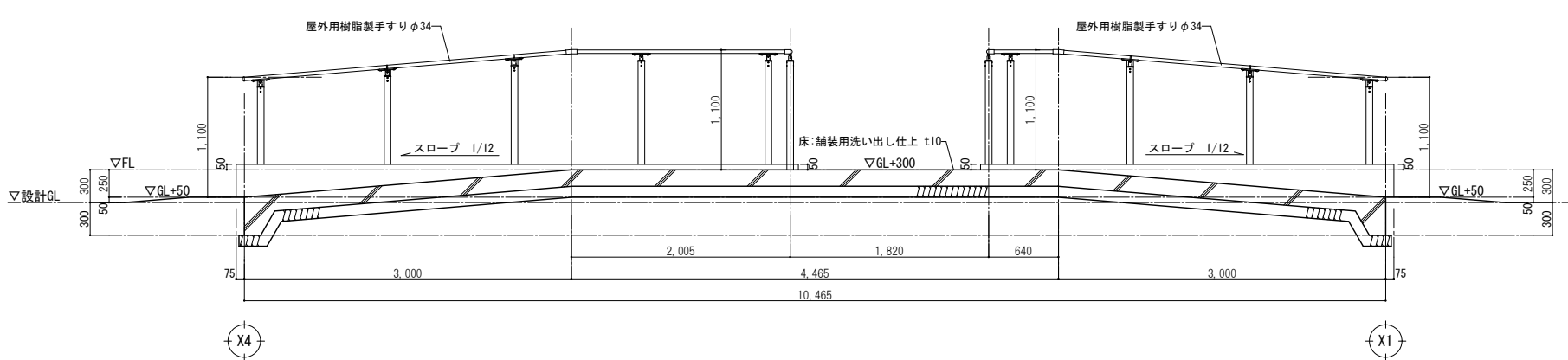
【新築】南側トイレ 矩計図 (2) 1/30



【新築】南側トイレ 矩計図 (1) 1/30

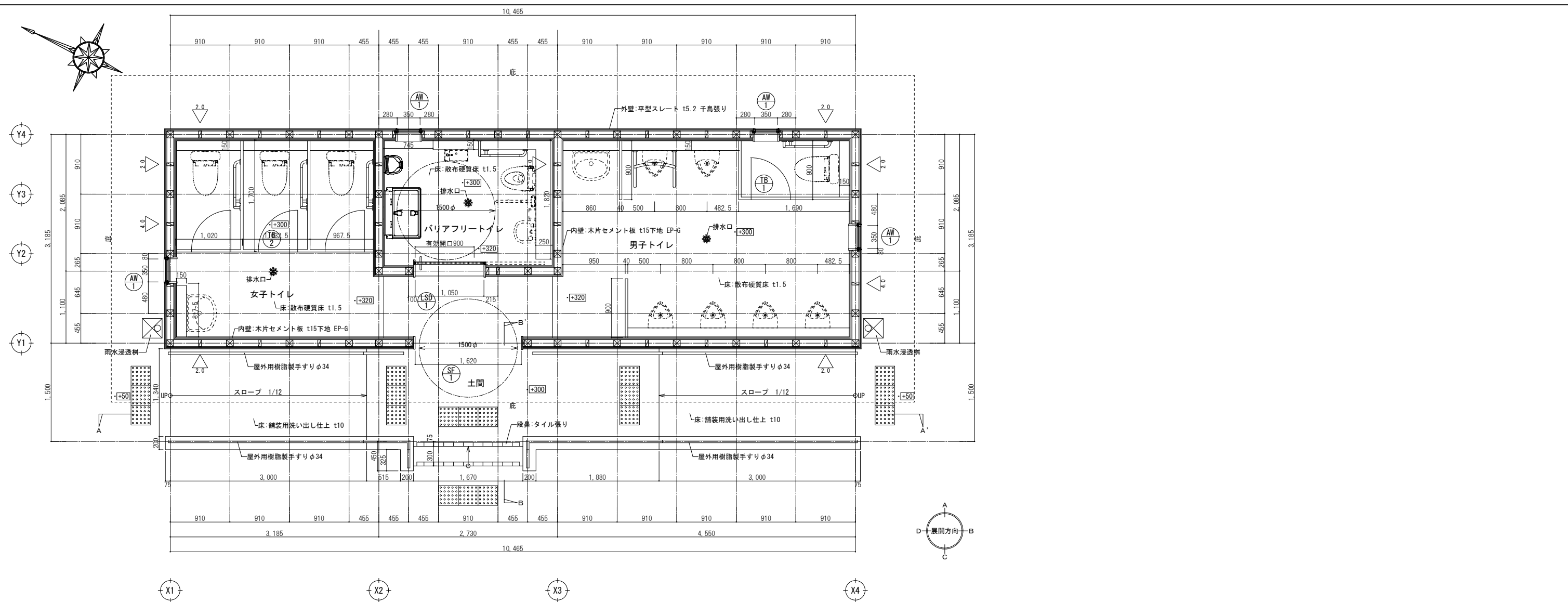


【新築】南側トイレ B-B'断面詳細図 1/30



【新築】南側トイレ A-A'断面詳細図 1/30

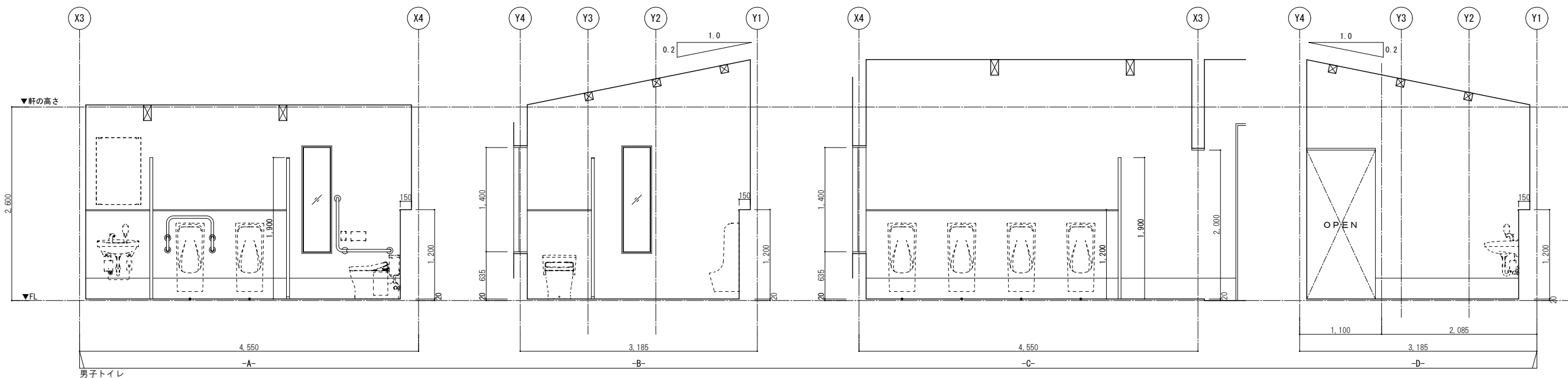
記事	株式会社 楠山設計	仙台市青葉区一番町三丁目3番16号 オー・エックス芭蕉の辻ビル TEL (022) 224-1207	一級建築士事務所 宮城県知事 登録 第23110182号 板理 俊也 登録 第 207908号	設計者	承認	設計部	月日	縮尺	工 事 名	図 面 名	No.
				R8.3	A1=1/30 A3=1/60	令和7年度 雲雀ヶ原祭場内公衆トイレ建替工事	【南側トイレ】矩計図	A-23			



【新築】南側トイレ 平面詳細図 1/30

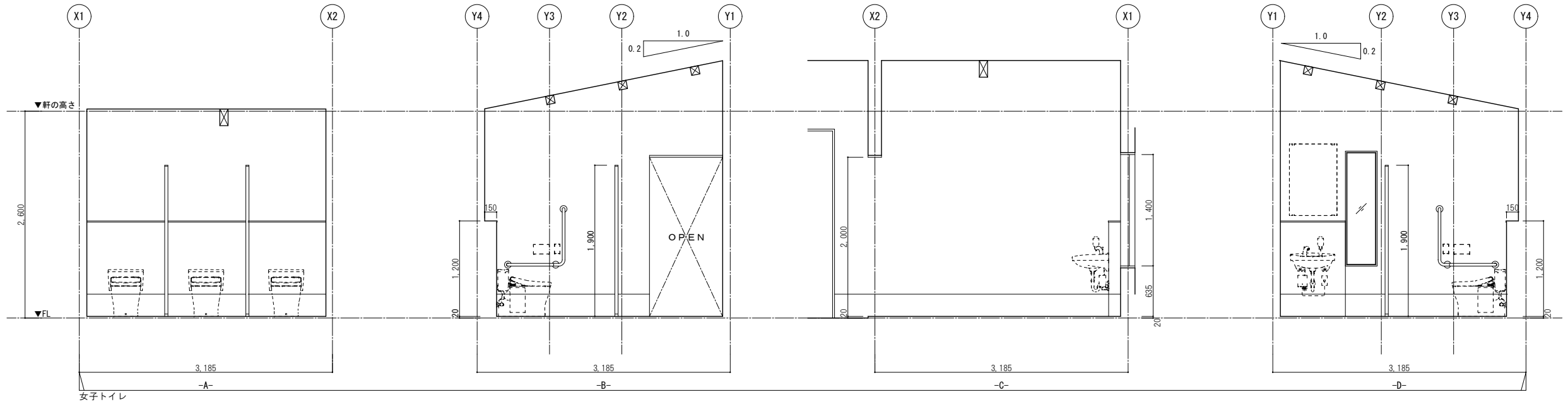
■特記なき仕上げは下記による

室名	男子トイレ
床	t1.5 散布硬質床
巾木	床材立上
壁	EP-G
柱型	-
梁型	-
天井	WP
備考	トイレブース ライニング 小便器用手摺 L型手摺



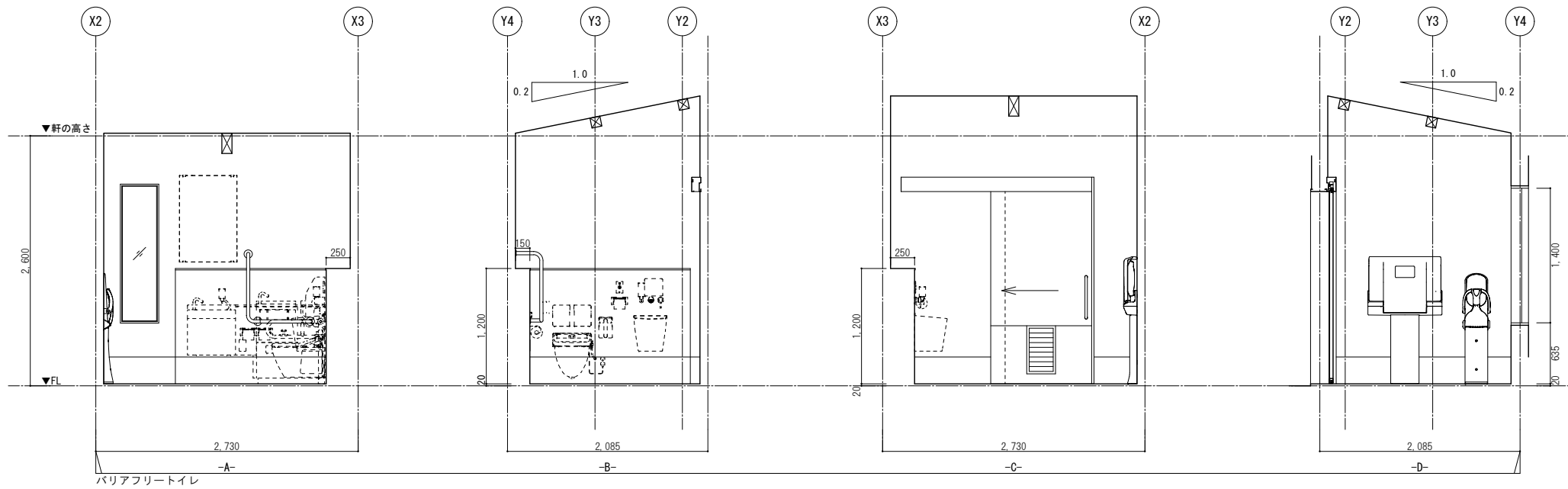
■特記なき仕上げは下記による

室名	女子トイレ
床	t1.5 散布硬質床
巾木	床材立上
壁	EP-G
柱型	—
梁型	—
天井	WP
備考	トイレブース ライニング L型手摺



■特記なき仕上げは下記による

室名	バリアフリートイレ
床	t1.5 散布硬質床
巾木	床材立上
壁	EP-G
柱型	—
梁型	—
天井	WP
備考	床下改め口 L型手摺 ベビーベッド ベビーチェア チェンジングボード ※トイレユニットは設備気分



記事

株式会社 楠山設計

仙台市青葉区一番町三丁目3番16号
オー・エックス芭蕉の辻ビル
TEL (022) 224-1207

一級建築士事務所
宮城県知事登録 第23110182号
板垣 俊也 登録 第 207908号

設計者

承認

設計部

月日

R8. 3

縮尺

A1=1/30
A3=1/60

工事名

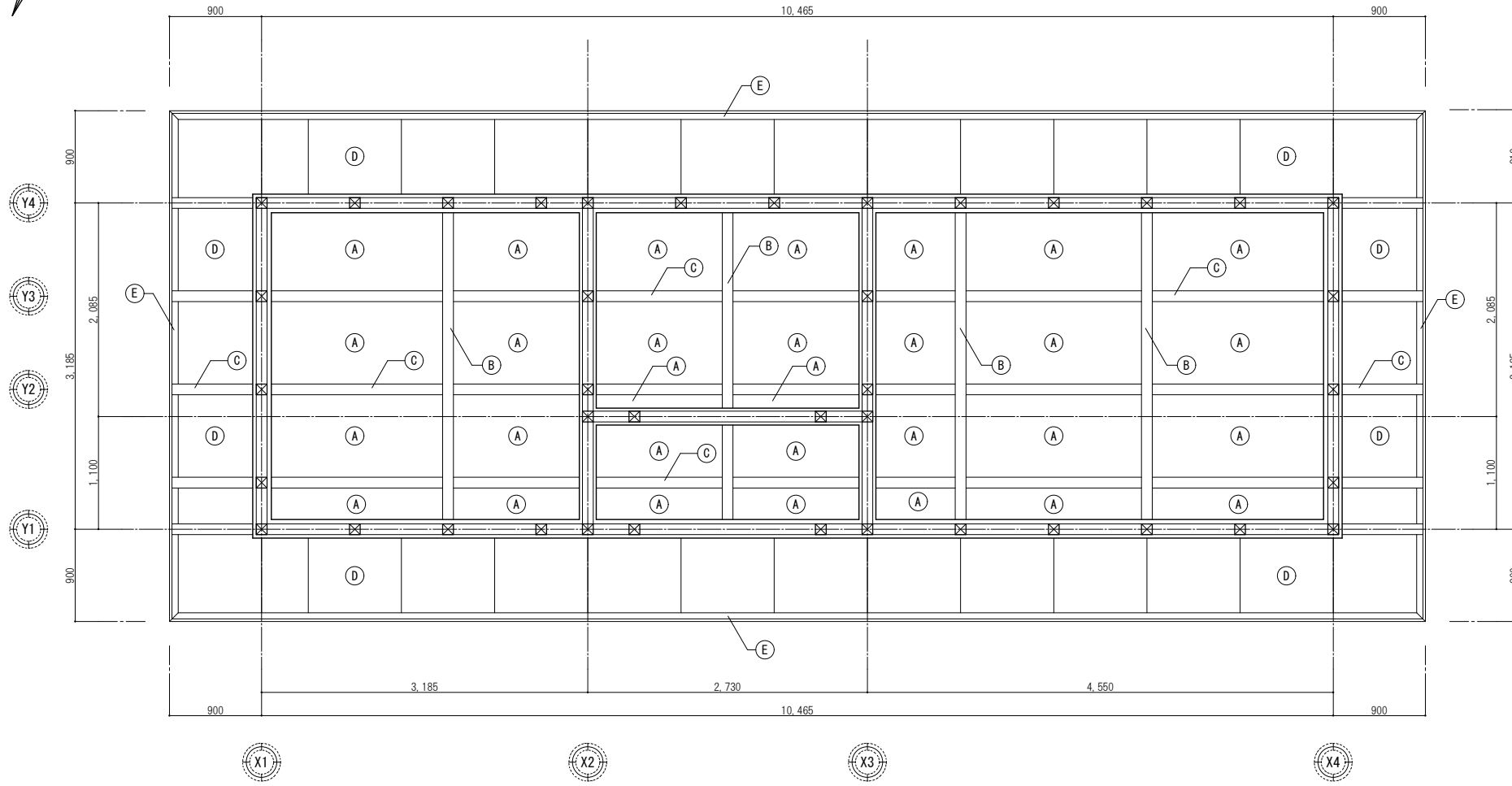
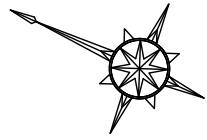
令和7年度 雲雀ヶ原祭場内公衆トイレ建替工事

図面名

No.

【南側トイレ】展開図 (2)

A-25



【新築】南側トイレ 天井伏図 1/30

■天井仕上リスト ※特記なきは下記による

(A)	構造用合板t24 現し
(B)	登り梁
(C)	母屋105×105
(D)	ケイカル板t5 目透かし張り EP塗装
(E)	軒換気金物
(F)	
(G)	
(H)	

建具凡例	
(AW)	アルミニウム製窓
(AD)	アルミニウム製ドア
(SW)	鋼製窓
(SD)	鋼製ドア
(ADW)	アルミニウム製窓付ドア
(TP)	ステンレス製トップライト
(SS)	シャッター ・アルミ製 ・鋼製
(LSD)	軽量スチールドア
(SDW)	スライディングウォール ・アルミ製 ・木製
(WD)	木製ドア
(WW)	木製窓
(WF)	襖戸
(SJ)	障子
(TB)	トイレブース
(AG)	アルミニウム製ガラリ
(SK)	鋼製防球格子
(SSD)	ステンレス製ドア
(SF)	スチール製枠
(GPT)	ガラスパーテーション

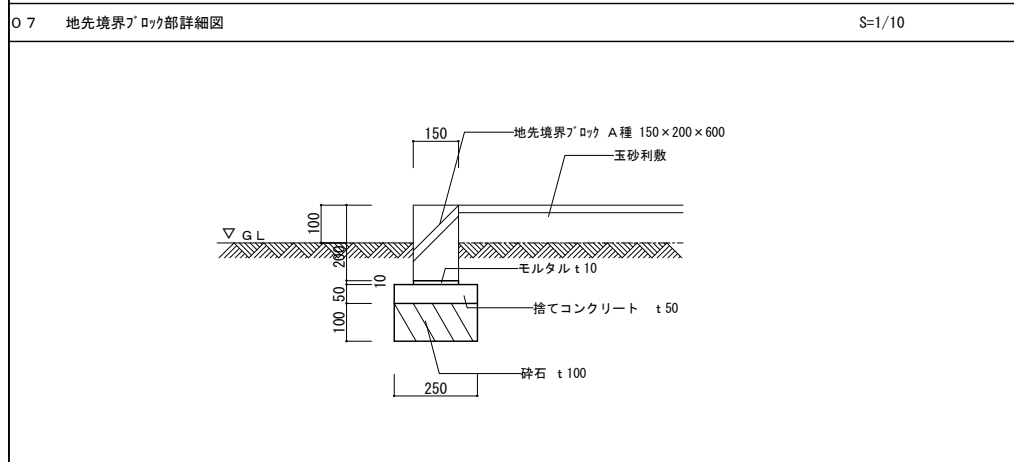
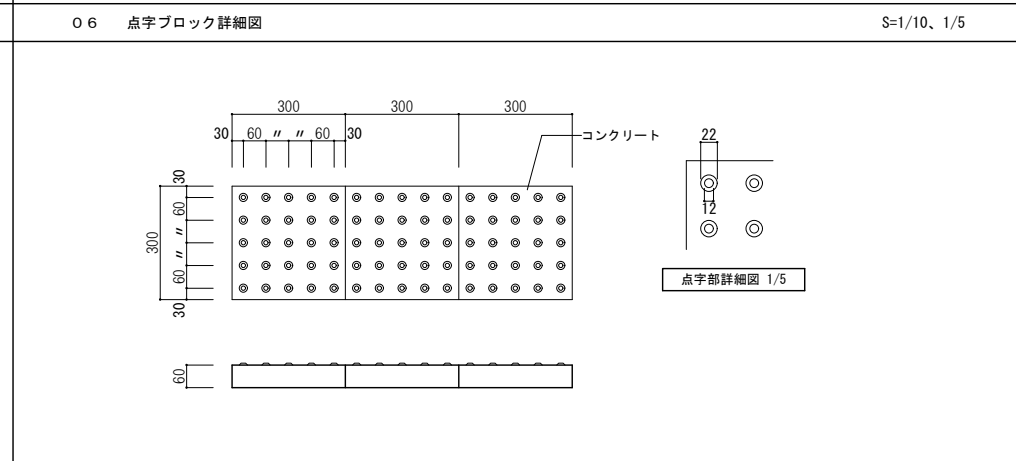
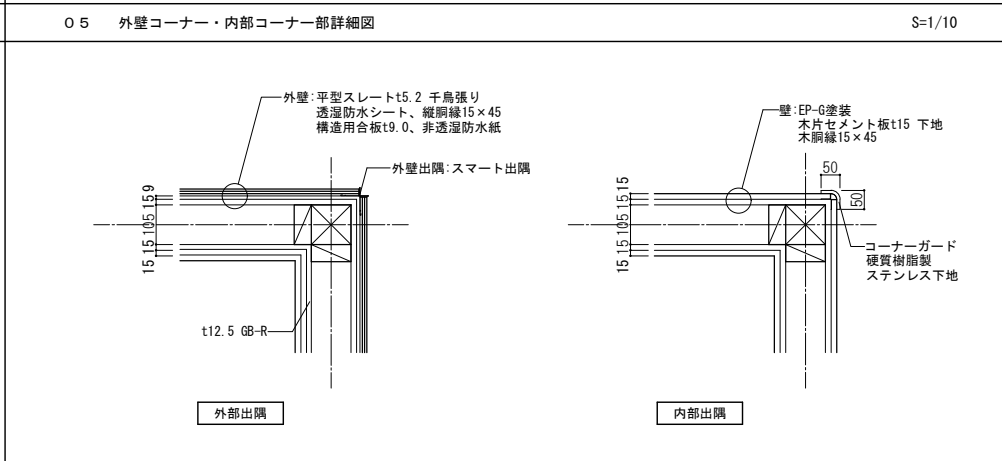
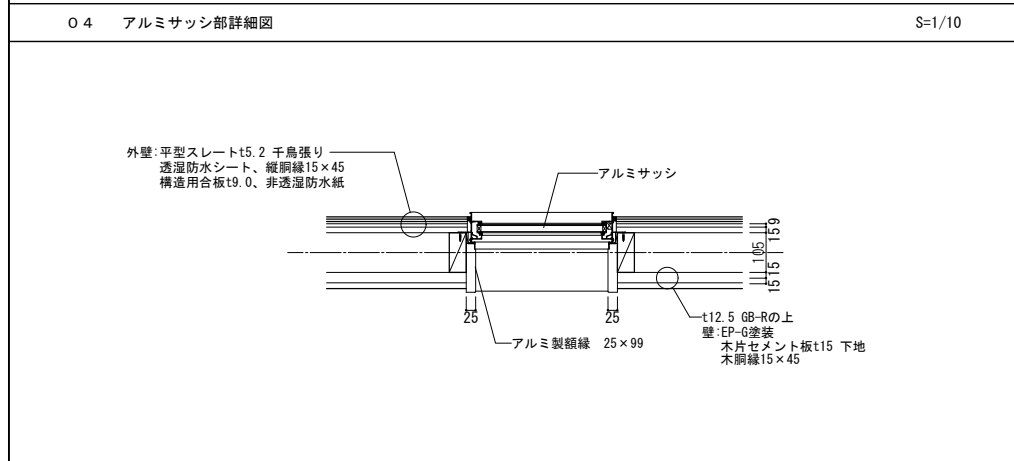
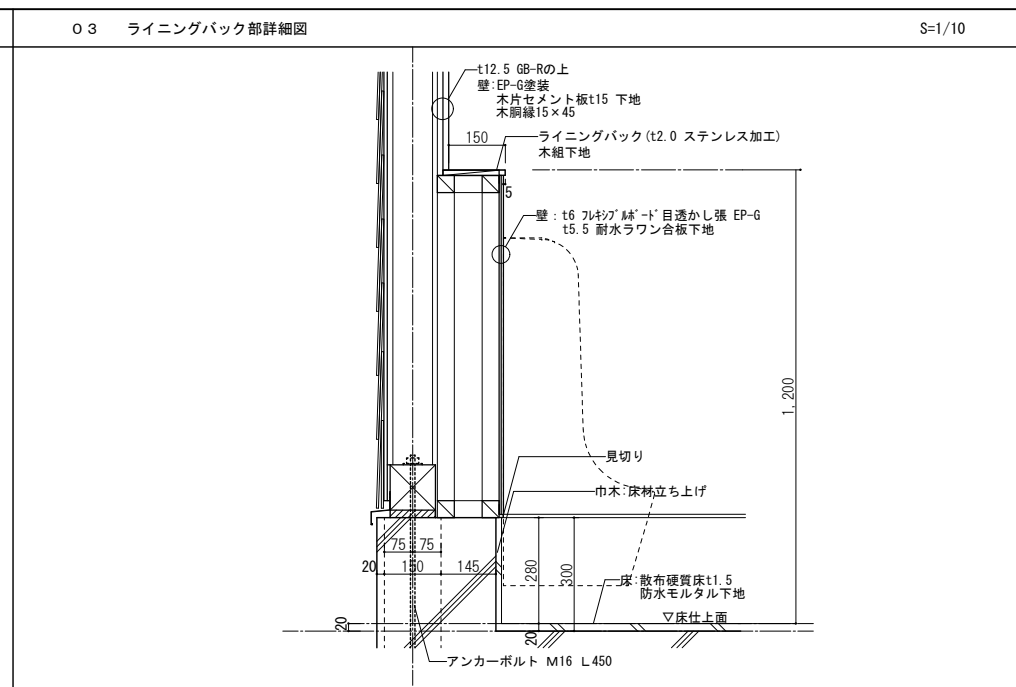
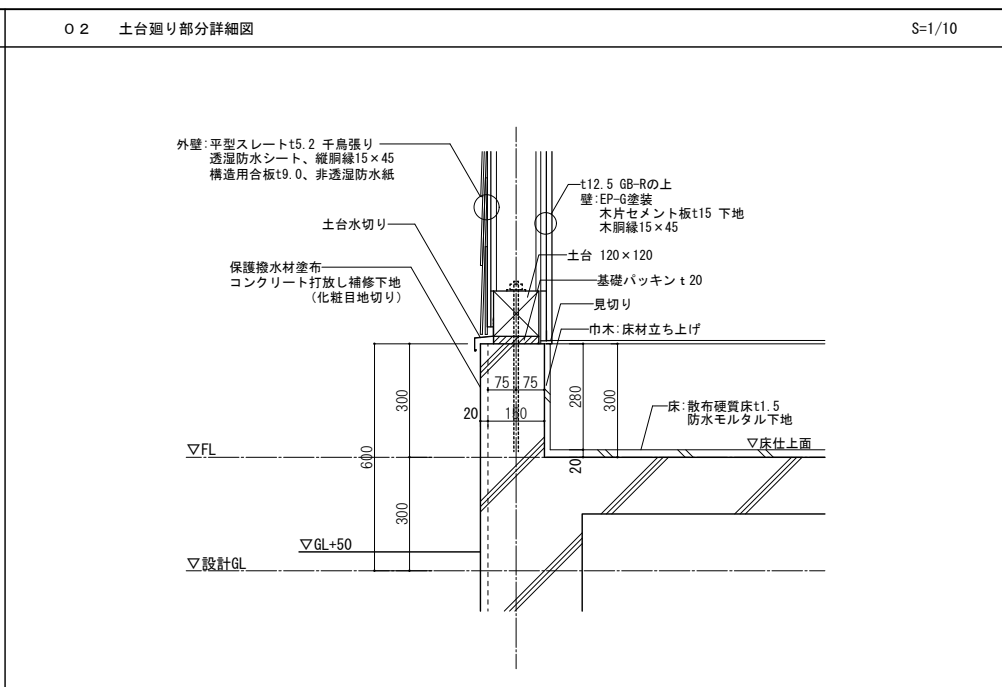
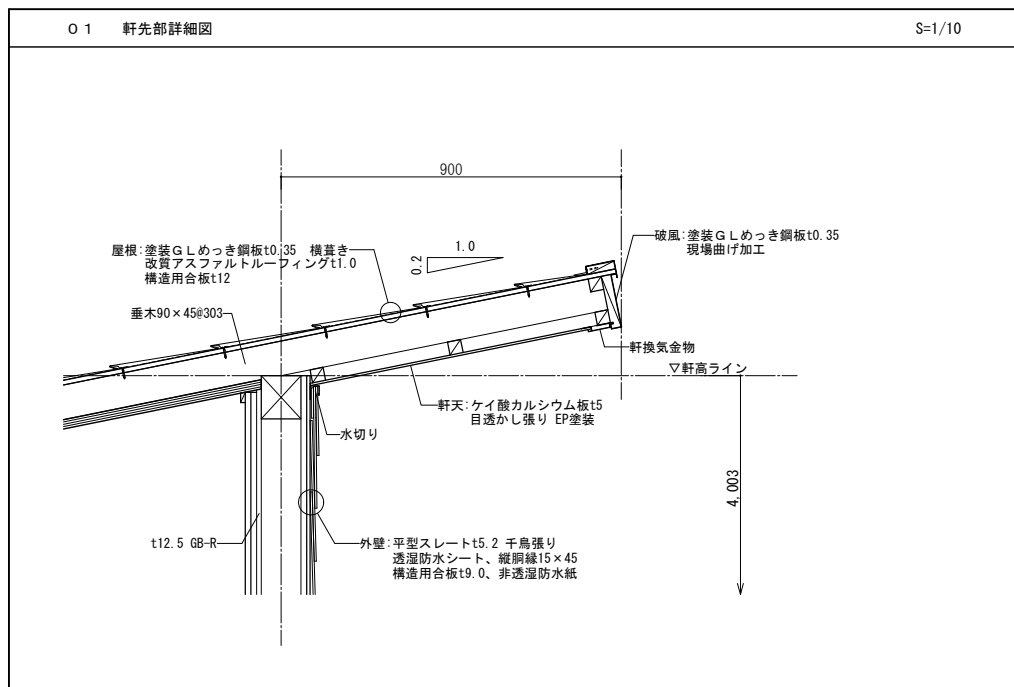
< 特記事項 >

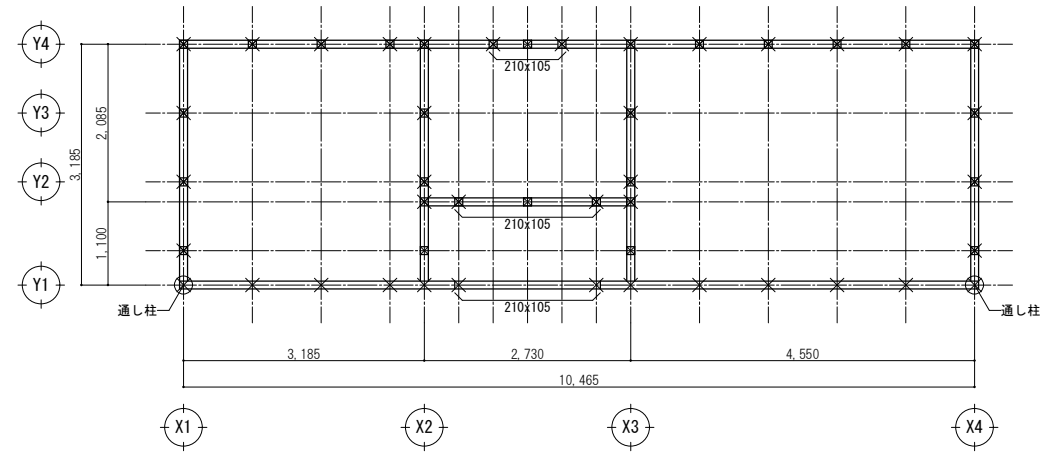
- *オペレーター装置はワンタッチ付とし特記なきは埋込型とする
- *アルミニウム製建具の種別特記なき場合はB種（標準品）
- *シリンドー本締錠は特記なき限り内部サムターンとする

符号	(LSD)1	(AW)1	(SF)1	(TB)1	(TB)2
形状寸法					
使用ケ所	バリアフリートイレ	男子トイレ、女子トイレ、バリアフリートイレ	トイレ入口	男子トイレ	女子トイレ
ケ所数	1	4	1	1	1
形式	片引きハンガードア	FIX窓	鋼製3方枠	トイレブース	トイレブース
見込寸法	190	70	190	40	40
仕上	硝子	化粧鋼板	標準色	メラミン樹脂化粧板	メラミン樹脂化粧板
建具金物	シリンドー引戸錠、BH、ストッパー、自閉装置、ハンガードユニット 表示錠、非常開錠装置、ガラリ、付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	表示付ラッチ、グレビティヒンジ、戸当り 付属金物一式	表示付ラッチ、グレビティヒンジ、戸当り 付属金物一式
備考				ステンレス製巾木、Riッヅ	ステンレス製巾木、Riッヅ

- ガラス符号
- * FL : フロートガラス
 - * F : 型板ガラス
 - * PW : 網入り磨きガラス
 - * FW : 網入り型板ガラス
 - * T : 強化ガラス
 - * FT : 型板強化ガラス
 - * FLK : 高透過ガラス
 - * FSL : 低膨張防火ガラス

- 金物符号
- * FH : フロアヒンジ
 - * PH : ピボットヒンジ
 - * DC : ドアチェック
 - * DCS : ドアチェックストッパー付
 - * LH : レバーハンドル
 - * HDY : ハンガードユニット
 - * BH : バーハンドル (引棒)
特記無きはL=450とする
 - * KH : カムラッチハンドル

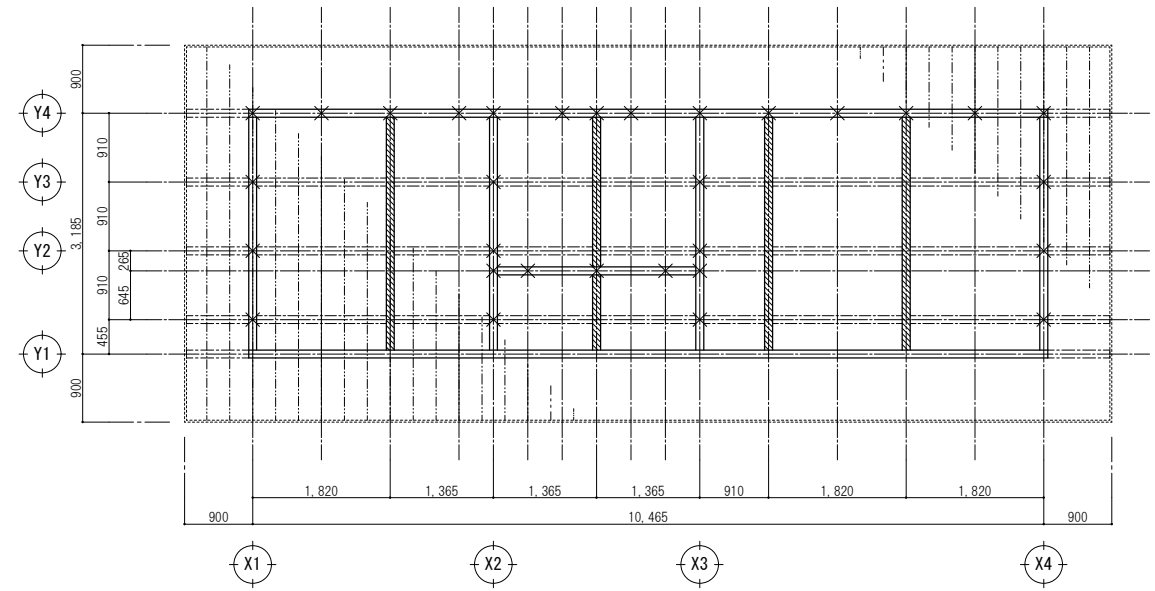




【新築】南側トイレ 梁伏図 1/50

	小屋束 105×105
	1階柱 105×105

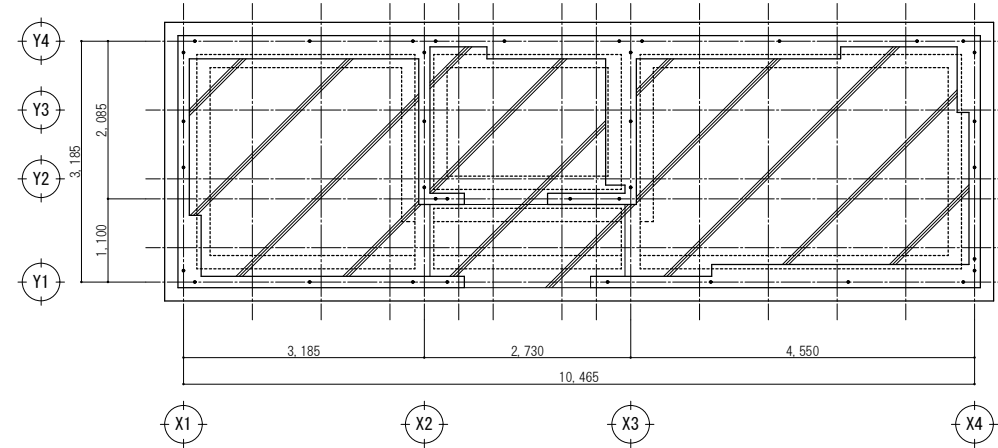
※特記なき梁はH120×W105とする



【新築】南側トイレ 小屋伏図 1/50

	登り梁 H210×W105
	母屋 105×105 #910
	主木 H90×W45 #303
	小屋束 105×105

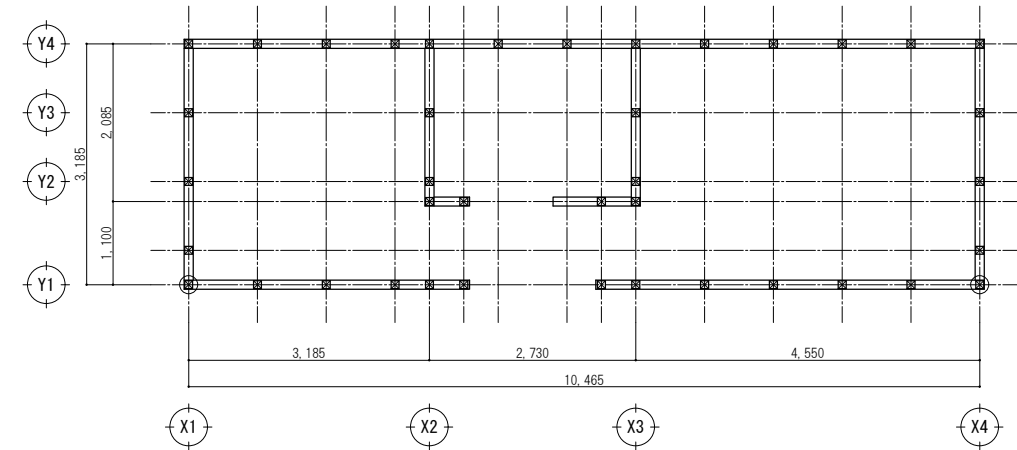
※特記なき登り梁はH120×W105とする



【新築】南側トイレ 基礎伏図 1/50

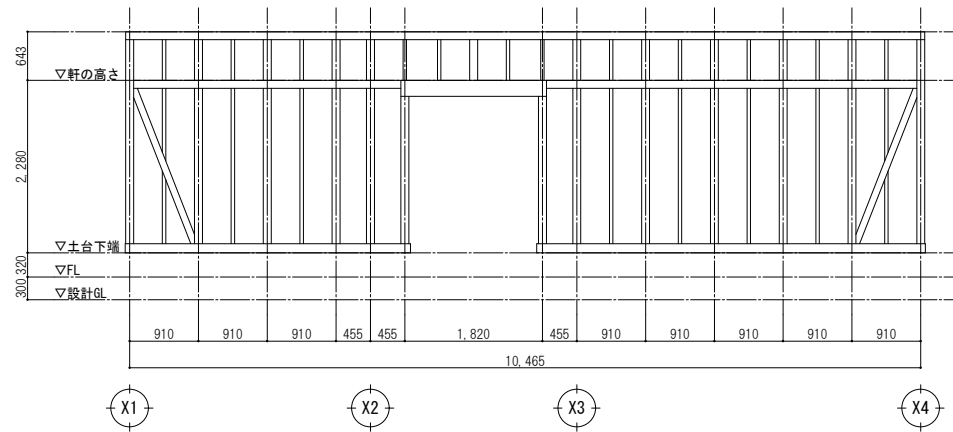
	アンカーボルト (M12×L400) ※間隔は2.0m以内
	土間コンクリート

※詳細は基礎構造図による

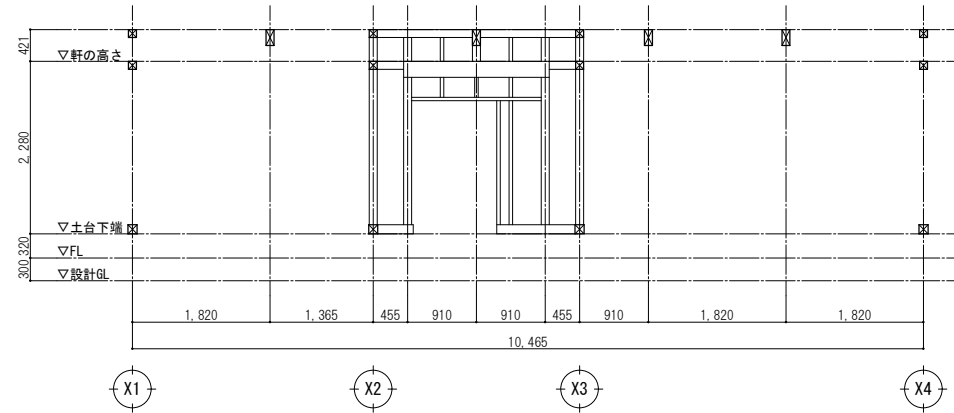


【新築】南側トイレ 土伏図 1/50

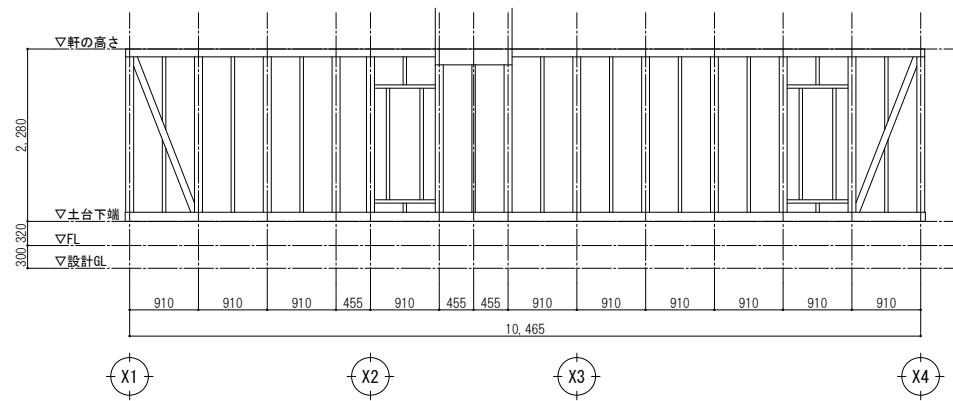
	土台 120×120
	柱 105×105
	通し柱 105×105



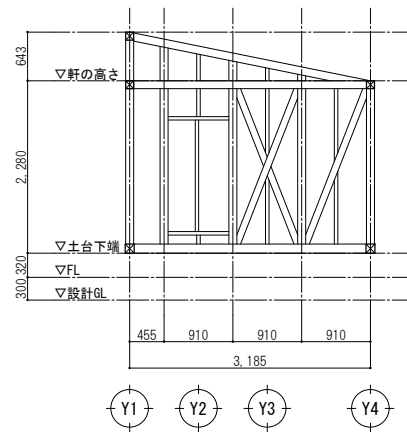
【新築】南側トイレ Y1通り軸組図 1/50



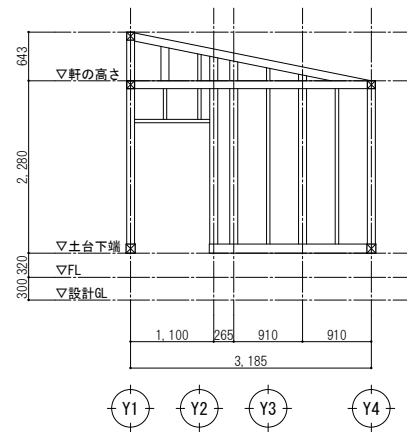
【新築】南側トイレ Y1~Y2通り軸組図 1/50



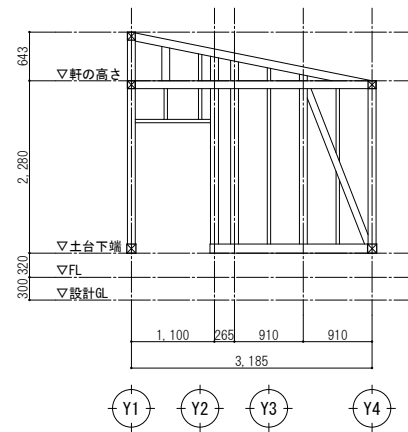
【新築】南側トイレ Y4通り軸組図 1/50



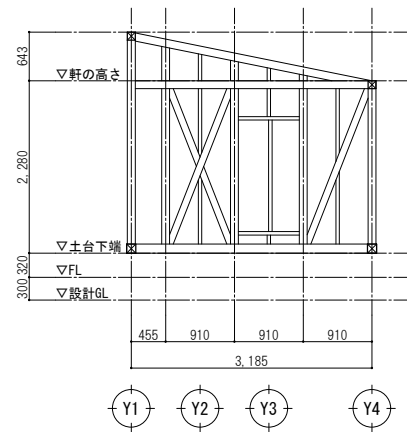
【新築】南側トイレ X1通り軸組図 1/50



【新築】南側トイレ X2通り軸組図 1/50

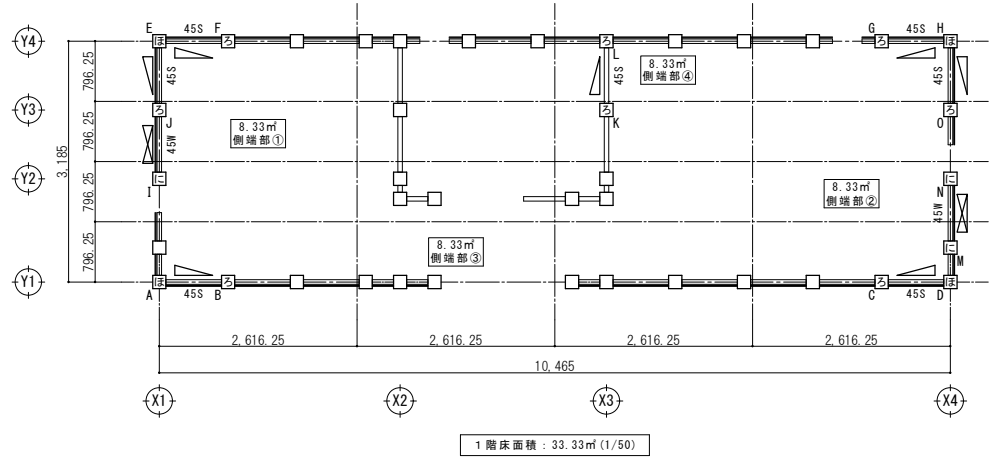


【新築】南側トイレ X3通り軸組図 1/50



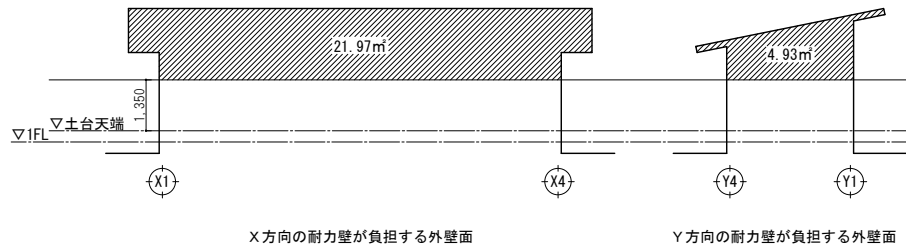
【新築】南側トイレ X4通り軸組図 1/50

【建築基準法による壁量計算1】



【建築基準法による壁量計算2】

- 外壁面積
- ※面積算定はCAD測定値による



a) 風圧力に必要な壁量

●壁係数

■風圧力による壁係数	
風圧時の外壁係数 (cm/m²)	
風の強い地域	一般地域
5.0 ~ 7.5 (cm/m²) の範囲で 各行政にて定められた数値	5.0 (cm/m²)

各階外壁見付面積 × 壁係数 (風圧)

※係数cmをmに換算(壁面積)

1階X方向に必要な壁量	$21.97 \times 0.5 = 10.96 \text{ m}$
1階Y方向に必要な壁量	$4.93 \times 0.5 = 2.46 \text{ m}$
2階X方向に必要な壁量	$- \times 0.5 = - \text{ m}$
2階Y方向に必要な壁量	$- \times 0.5 = - \text{ m}$

c) 台風時と地震時の安全側で必要壁量を決定する

階数	方向	風圧力による 必要壁量	採用 判定	地震力による 必要壁量	最終の 必要壁量
1階	X	10.96	>	3.66	10.96 m
	Y	2.46	<	3.66	3.66 m
2階	X	-	>	-	- m
	Y	-	>	-	- m

b) 地震力に必要な壁量

●壁係数

■地震力による壁係数					
地震時の壁係数 (cm/m²)					
屋根・外壁が軽い建物			屋根・外壁が重い建物		
平屋	2階建	3階建	平屋	2階建	3階建
	1.5	3.4		2.1	3.9
(1)	2.9	4.6	1.5	3.3	5.0

※係数cmをmに換算(床面積)

1階必要壁量	$33.33 \times 0.11 = 3.66 \text{ m}$
2階必要壁量	$- \times - = - \text{ m}$

e) 必要壁量の確保

1階X方向	必要壁量: 10.96m	1階Y方向	必要壁量: 3.66m
$0.91 \times 2 \times 4.0 = 7.28$	合計: 12.74m	$0.91 \times 4 \times 2.0 = 7.28$	合計: 7.28m
$0.91 \times 3 \times 2.0 = 5.46$	∴OK		∴OK
2階X方向	必要壁量: -	2階Y方向	必要壁量: -

d) 必要壁量算定

●壁倍率

仕様	筋かい耐力壁				面材耐力壁	
	30×90	45×90	構造用合板		片面	両面
片筋かい	1.5	3.0	2.0	4.0	4.0	
たすき掛						

形状:

記号: 30S, 30W, 45S, 45W, WS

向き: 下, 上

建設省告示第1460号: 木造の継手及び仕口の構造方法及びN値の接合部の仕様表3

告示	N値	接合方法	告示	N値	接合方法	告示	N値	接合方法
(イ)	0.00 以下	短ほぞ差し、かすがい打ち又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	(ほ)	1.60 以下	厚さ3.2mmの鋼板添え板に径12mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリーナ釘打ち、横架材に対して厚さ4.5mm、40mm角の角座金を介してナット締めしたもの又は厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリーナ釘打ちとしたもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの	(ち)	3.70 以下	厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト4本、横架材(土台を除く)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの ※ホールダウン金物(20k N用: アンカーボルトは基礎埋込み)
(ろ)	0.65 以下	長ほぞ差し込み釘打ち若しくは厚さ2.3mmのL字型の鋼板添え板を、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5cmの太め鉄丸くぎを5本平打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	(へ)	1.80 以下	厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト2本、横架材、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの ※ホールダウン金物(10k N用)	(り)	4.70 以下	厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト5本、横架材(土台を除く)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの
(は)	1.00 以下	厚さ2.3mmのT字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ6.5cmの太め丸くぎを5本平打ちしたもの若しくは厚さ2.3mmのV字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ9cmの太め鉄丸くぎを4本平打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	(と)	2.80 以下	厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト3本、横架材(土台を除く)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれと同等以上の接合方法としたもの ※ホールダウン金物(15k N用: アンカーボルトは基礎埋込み)	(ぬ)	5.60 以下	(と)に横ける仕口を2組用いたもの
(に)	1.40 以下	厚さ3.2mmの鋼板添え板に径12mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12mmのボルト締め、横架材に対して厚さ4.5mm、40mm角の角座金を介してナット締めしたもの若しくは厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12mmのボルト締めとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの						

※表記の金物仕様については同等以上とする

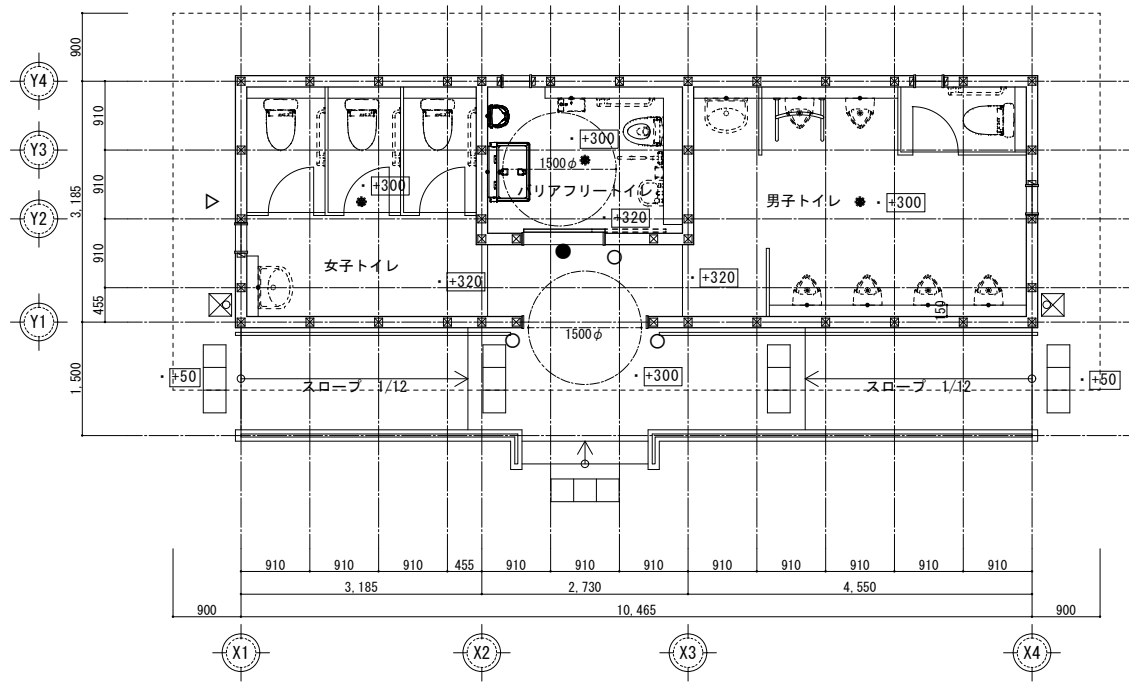
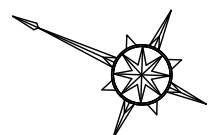
【N値計算による接合部金物選定】

1階									
柱位置	壁倍率	補正值	出隅等	通し柱	上階	計算式: A1×B1-L	N値	接合部	備考
Y1通り	A	2.0	+0.5	出隅	無	$(2.0+0.5) \times 0.8 - 0.4$	1.60	(ほ)	
	B	2.0	-0.5	その他	無	$(2.0-0.5) \times 0.5 - 0.6$	0.15	(ろ)	
	C	2.0	-0.5	その他	無	$(2.0-0.5) \times 0.5 - 0.6$	0.15	(ろ)	
	D	2.0	+0.5	出隅	無	$(2.0+0.5) \times 0.8 - 0.4$	1.60	(ほ)	
Y4通り	E	2.0	+0.5	出隅	無	$(2.0+0.5) \times 0.8 - 0.4$	1.60	(ほ)	
	F	2.0	-0.5	その他	無	$(2.0-0.5) \times 0.5 - 0.6$	0.15	(ろ)	
	G	2.0	-0.5	その他	無	$(2.0-0.5) \times 0.5 - 0.6$	0.15	(ろ)	
	H	2.0	+0.5	出隅	無	$(2.0+0.5) \times 0.8 - 0.4$	1.60	(ほ)	
X1通り	I	4.0	0	その他	無	$4.0 \times 0.5 - 0.6$	1.40	(に)	
	J	2.0	0	その他	無	$2.0 \times 0.5 - 0.6$	0.40	(ろ)	
X3通り	E	2.0	+0.5	出隅	無	$(2.0+0.5) \times 0.8 - 0.4$	1.60	(ほ)	
	L	2.0	-0.5	その他	無	$(2.0-0.5) \times 0.5 - 0.6$	0.15	(ろ)	
Y4通り	M	4.0	0	その他	無	$4.0 \times 0.5 - 0.6$	1.40	(に)	
	N	4.0	0	その他	無	$4.0 \times 0.5 - 0.6$	1.40	(に)	
	O	2.0	-0.5	その他	無	$(2.0-0.5) \times 0.5 - 0.6$	0.15	(ろ)	
	H	2.0	+0.5	出隅	無	$(2.0+0.5) \times 0.8 - 0.4$	1.60	(ほ)	

f) 耐力壁のバランス(4分割法)

- 充足率・壁比率の判定
- ※壁比率0.5以上、若しくは両端の壁量充足率がそれぞれ1.0以上を確保

1階	X方向の壁	側端部①		側端部②	
		床面積	8.33m²	床面積	8.33m²
	存在壁量	$0.91 \times 1 \times 4.0 = 3.64$ $0.91 \times 1 \times 2.0 = 1.82$	存在壁量	$0.91 \times 1 \times 4.0 = 3.64$ $0.91 \times 1 \times 2.0 = 1.82$	
	合計	5.46m	合計	5.46m	
	必要壁量	$8.33 \times 0.11 = 0.91\text{m}$	必要壁量	$8.33 \times 0.11 = 0.91\text{m}$	
	充足率	$5.46 / 0.91 = 6.00$ ∴OK	充足率	$5.46 / 0.91 = 6.00$ ∴OK	
	壁比率判定	$6.00 / 6.00 = 1.00$	$1.00 > 0.50$ ∴OK (バランスが良い)		
Y方向の壁	側端部③		側端部④		
	床面積	8.33m²	床面積	8.33m²	
	存在壁量	$0.91 \times 2 \times 2.0 = 3.64$	存在壁量	$0.91 \times 2 \times 2.0 = 3.64$	
	合計	3.64m	合計	3.64m	
	必要壁量	$8.33 \times 0.11 = 0.91\text{m}$	必要壁量	$8.33 \times 0.11 = 0.91\text{m}$	
	充足率	$3.64 / 0.91 = 4.00$ ∴OK	充足率	$3.64 / 0.91 = 4.00$ ∴OK	
	壁比率判定	$4.00 / 4.00 = 1.00$	$1.00 > 0.50$ ∴OK (バランスが良い)		
2階	X方向の壁	側端部⑤		側端部⑥	
		床面積		床面積	
	存在壁量		存在壁量		
	必要壁量		必要壁量		
	充足率		充足率		
	壁比率判定				
Y方向の壁	側端部⑦		側端部⑧		
	床面積		床面積		
	存在壁量		存在壁量		
	必要壁量		必要壁量		
	充足率		充足率		
	壁比率判定				

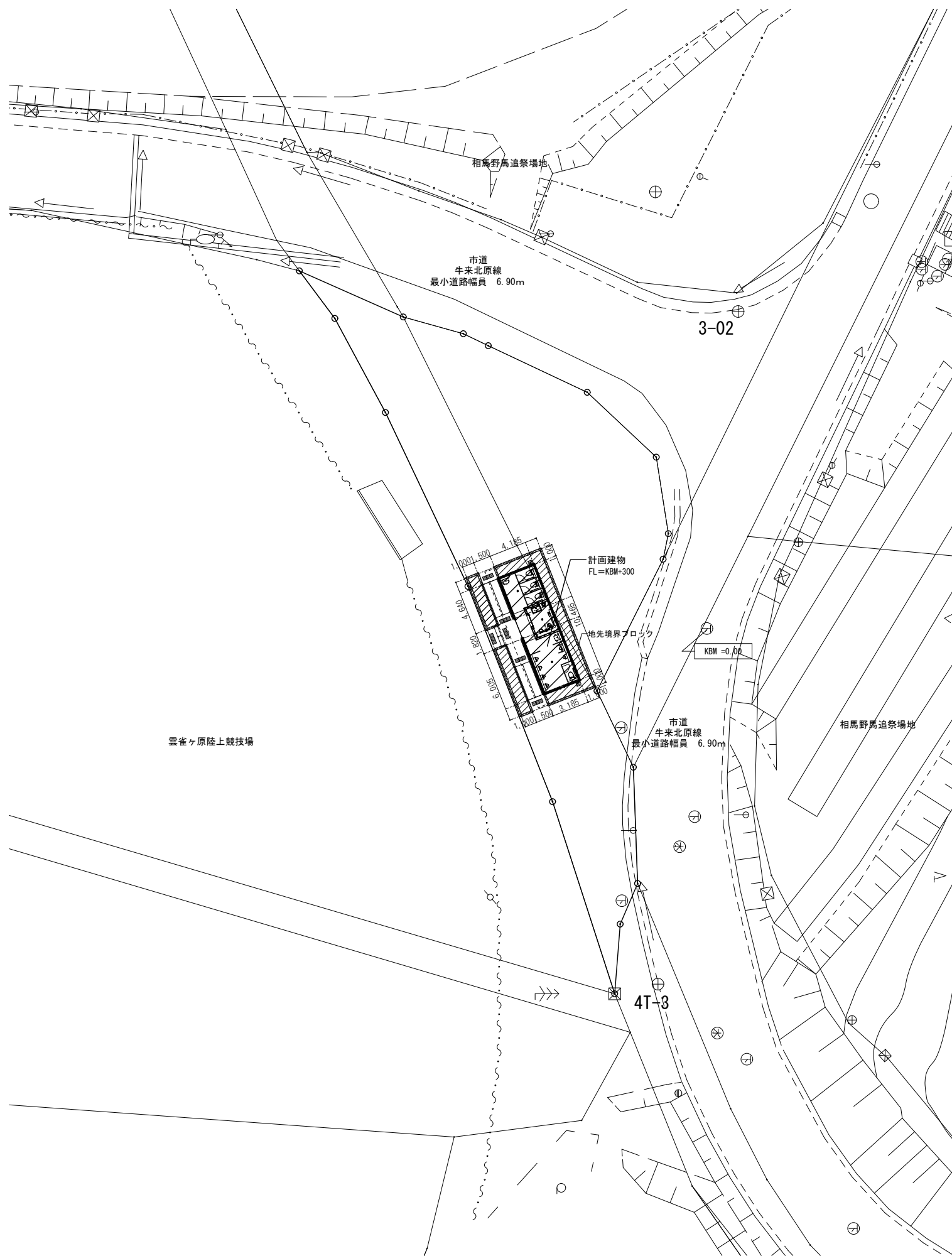


【新築】北側トイレ サインキープラン 1/50

□ サインリスト

アイテム区分	記号	サイン名称	外構	内装	小計 単位	備考
南側トイレ	EX-01	施設名称サイン	1	0	1 ヶ所	△にて表記
	T-01	ピクトサイン-A (壁付)	3	0	3 ヶ所	○にて表記
	T-02	ピクトサイン-B (扉付)	1	0	1 ヶ所	●にて表記

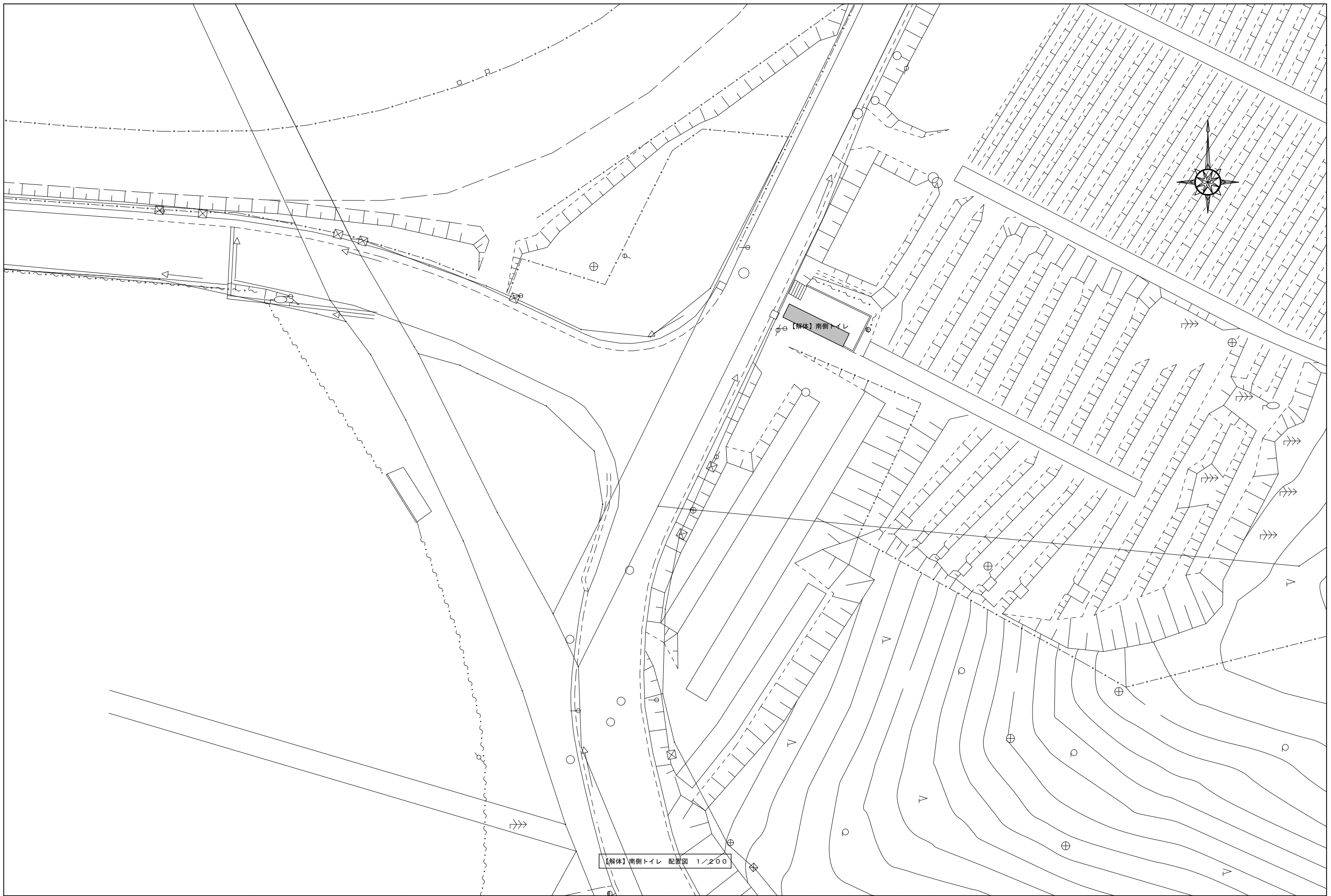
アイテム区分	施設名称サイン	1 ヶ所	T-O1	ピクトサイン-A (壁付)	2 ヶ所	T-O2	ピクトサイン-B (扉付)	3 ヶ所
施設名、書体、寸法、色は打合せによる								
	S=1/20	S=1/5	S=1/5	S=1/20	S=1/20	S=1/20	S=1/20	



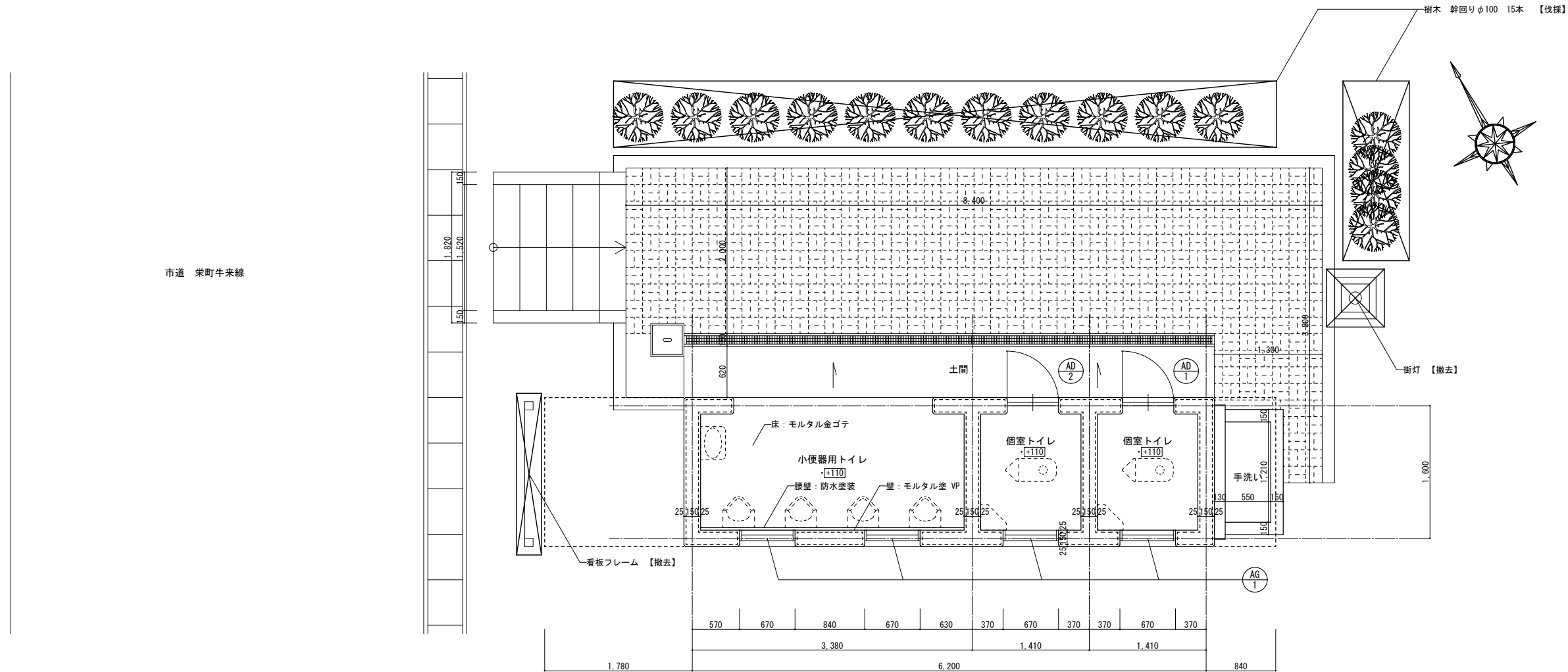
▨ : 玉砂利範囲を示す

【南側トイレ】 外構図 1/200

記号 _____ _____ _____		仙台市青葉区一番町三丁目3番16号 オー・エックス芭蕉の辻ビル TEL (022) 224-1207	一級建築士事務所 宮城県知事 登録 第23110182号 板垣 俊也 登録 第 207908号	設計者	承認	設計部	月日	縮尺	工事名	図面名	No.
							R8. 3	A1=1/200 A3=1/400	令和7年度 雲雀ヶ原祭場内公衆トイレ建替工事	【南側トイレ】 外構図	A-32



記事		仙台市青葉区一番町三丁目3番16号 オー・エックス芭蕉の辻ビル TEL (022) 224-1207	一級建築士事務所 宮城県知事 登録 第23110182号 板垣 俊也 登録 第 207908号	設 計 者	承 認	設 計 部	月 日	縮 尺	工 事 名	図 面 名	No.
							R7.6	A1=1/200 A3=1/400	令和7年度 雲雀ヶ原祭場内公衆トイレ建替工事	【解体】南側トイレ 配置図	A-33



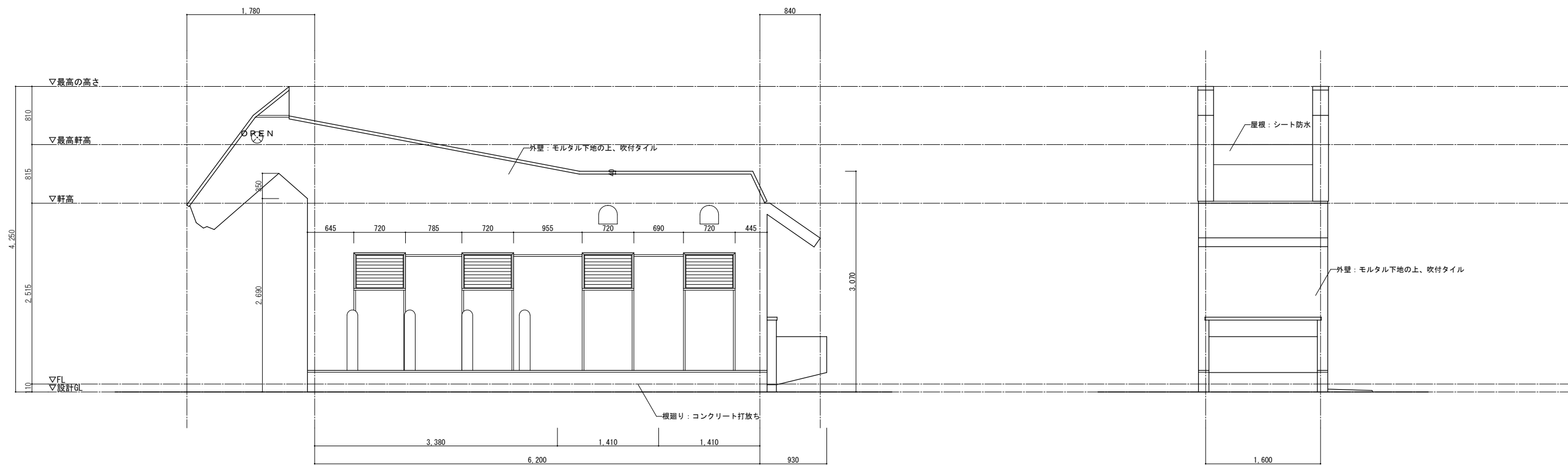
【解体】南側トイレ 平面図 1/30

【解体】南側トイレ 建具表 1/50

外部仕上表		内部仕上表	
屋根	シート防水	床	モルタル金ゴテ仕上げ
笠木	モルタル笠木	腰壁	モルタル下地の上、防水塗装
外壁	モルタル下地の上、吹付タイル	腰見切り	モルタル腰見切り
基礎	根廻り：コンクリート打放ち	壁	モルタル下地の上、VP
犬走り	モルタル金ゴテ仕上げ	天井	モルタル下地の上、VP
		備考	小便器、和式便器、洗面器、鏡

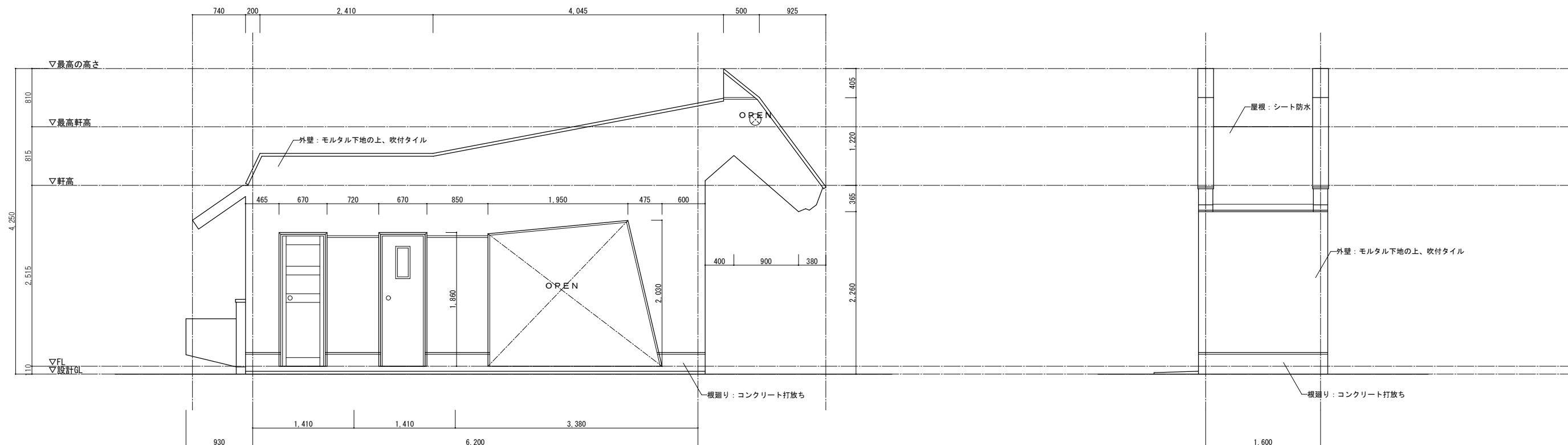
名称	AD1 片開きドア	AD2 片開きドア	AG1 ガラリ
寸法	590	590	620
立面(寸法)	1,810	1,810	450 1,340
場所	個室WC	個室WC	個室WC、小便器用WC
見込み・数量	70・1ヶ所	70・1ヶ所	70・4ヶ所
塗装・材料	アルミ製	アルミ製	アルミ製
硝子	FW6.8	FW6.8	-
金物	三方枠 SUS純擦 下番 付属金物一式	三方枠 SUS純擦 下番 付属金物一式	アングル 結露受 水切 他 付属金物一式
備考			開口率 35%

※解体後、GLレベルに埋め戻しを行う



【解体】南側トイレ 南立面図 1/30

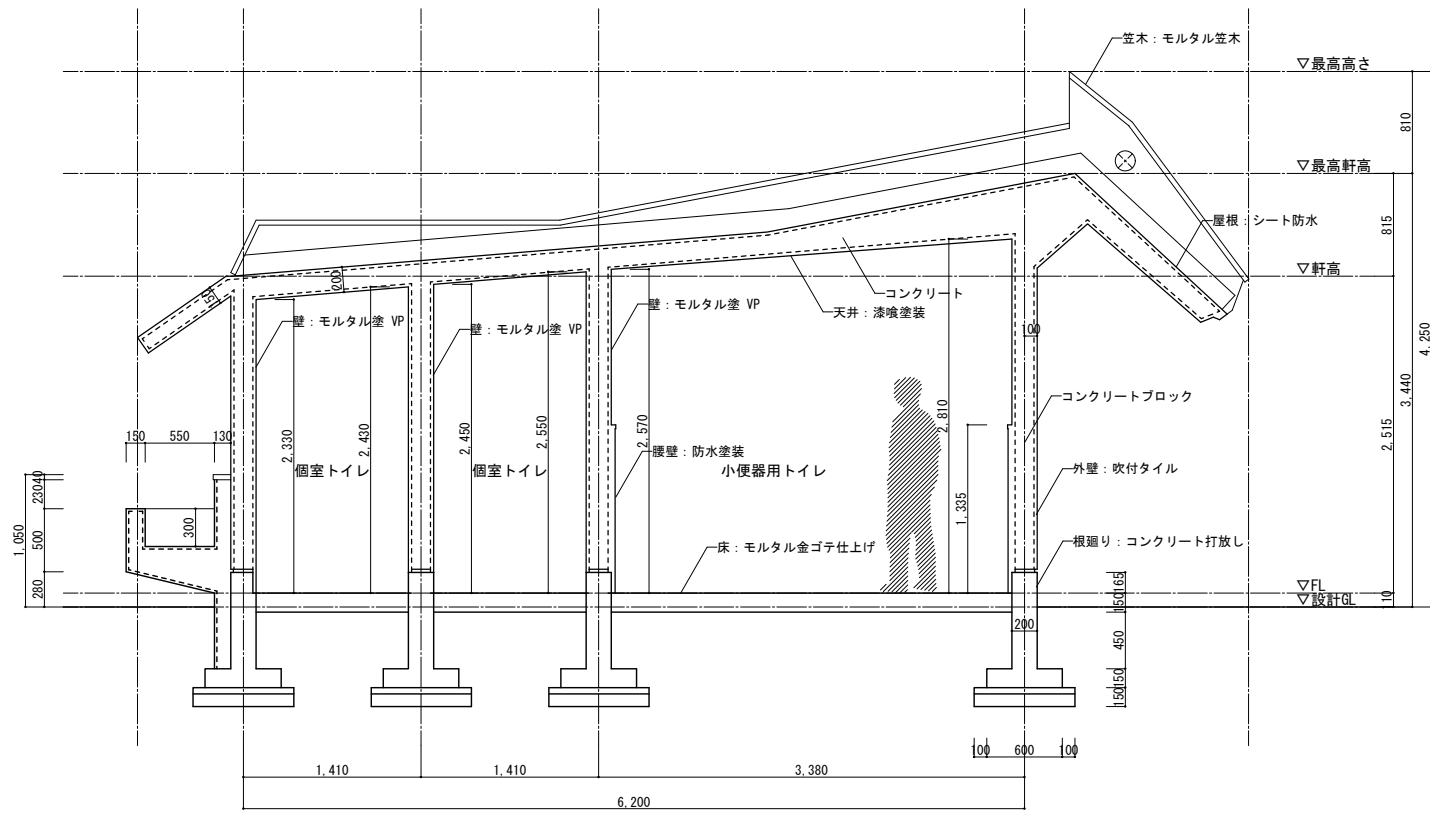
【解体】南側トイレ 東立面図 1/30



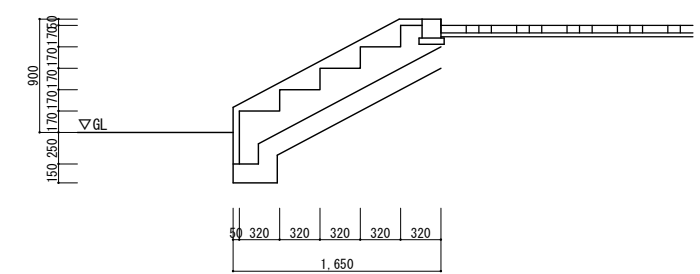
【解体】南側トイレ 北立面図 1/30

【解体】南側トイレ 西立面図 1/30

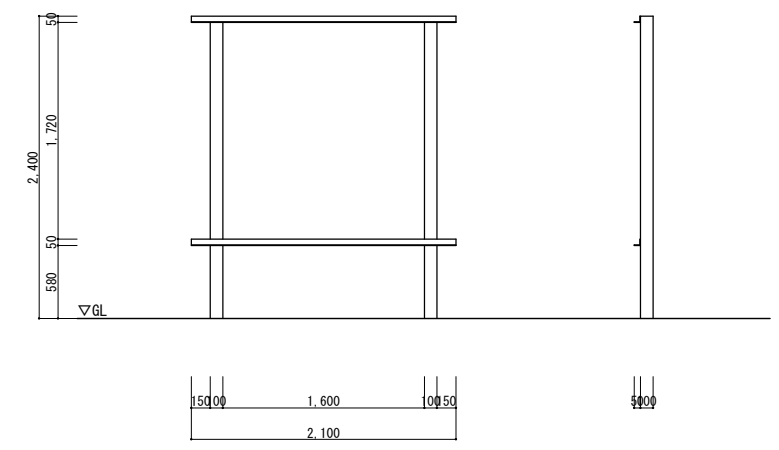
記事 〃 〃 〃		仙台市青葉区一番町三丁目3番16号 オー・エックス芭蕉の辻ビル TEL (022) 224-1207	一級建築士事務所 宮城県知事 登録 第23110182号 板垣 俊也 登録 第 207908号	設 計 者	承 認	設 計 部	月 日	縮 尺	工 事 名	図 面 名	No.
							R7.6	A1=1/30 A3=1/60	令和7年度 雲雀ヶ原祭場内公衆トイレ建替工事	【解体】南側トイレ 立面図	A-35



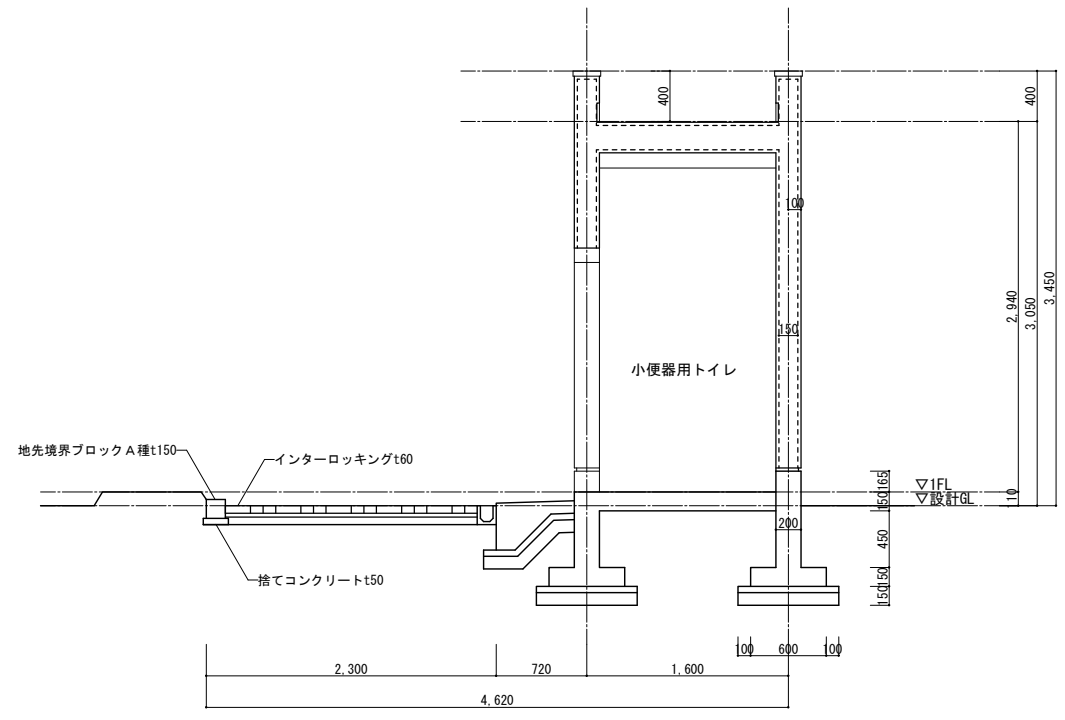
【解体】南側トイレ 矩計図 1/30



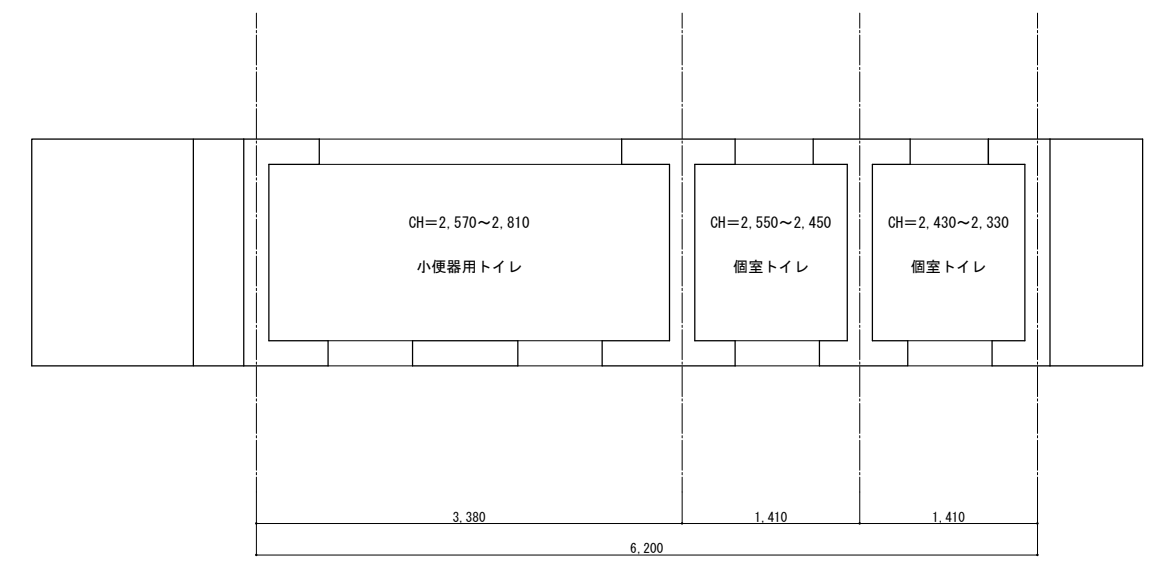
【解体】屋外階段 断面図 1/30



【解体】看板フレーム 立面図 1/30

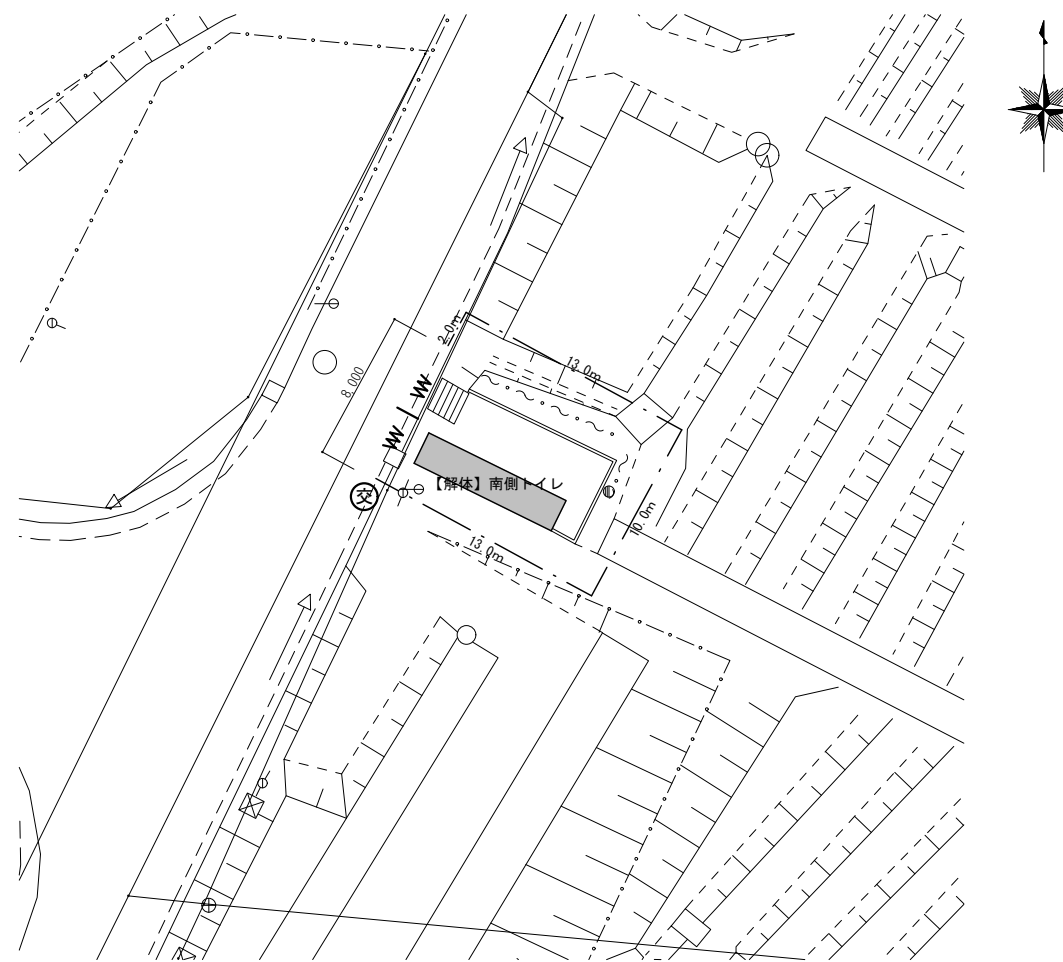


【解体】南側トイレ 矩計図 1/30



【解体】北側トイレ 天井伏図 1/30

凡例	仕様
---	万能板塀：H=2.0m
W W	キャスターゲート：W=8.0 × H=2.0m
⊗	交通誘導員（5ヶ月）



【解体】南側トイレ 仮設計図面 1/200

構造設計標準仕様

設計図書優先順位は次の通りとする。
 1. 現場打合せ記録書・質疑応答書
 2. 設計図
 3. 特記仕様書・各諸標準書

本特記仕様書及び設計図書に記載なき事項は国土交通省大臣官房官庁審議部監修 公共建築工事標準仕様書（令和4年版 社団法人 公共建築協会）による。適用は●印を記入する

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称 令和7年度 雲雀ヶ原祭場屋内公衆トイレ建替工事
 建築場所 福島県南相馬市原町区牛来字出口

(2) 工事種別 ●新築 □増築 □増改築 □改築

(3) 構造種別
木造(W) □補強コンクリートブロック造(CB) □鉄骨造(S)
鉄筋コンクリート造(RC) □壁式鉄筋コンクリート造(WRC)
鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC) □壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC)
プレキャスト鉄筋コンクリート造(PCRC) □壁式ラーメン鉄筋コンクリート造

(4) 階数 地下 0階 地上 1階 塔屋 0階

(5) 主要用途 トイレ

(6) 屋上付属物
高架水槽 kN □キュービクル kN □広告塔 □煙突

(7) 特別な荷重
エレベータ 人乗(ロープ式 油圧式) □リフト kN □ホイスト kN
倉庫積載用 N/m² □受水槽 kN

(8) 付帯工事
門扉 □擁壁 □

(9) 増築計画 □有 () □無 ●無

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度 Fc = N/mm ²	鋼合管理強度 Fm = N/mm ²	スランプ cm	備考
躯体	普通	21	24以上	18	比重γ=23kN/m ³
土間コンクリート	普通		18	15	比重γ=23
捨てコンクリート	普通		18	15	比重γ=23
押えコンクリート	普通		18	15	比重γ=23

※ 鋼合管理強度 Fm は下記とする。
 $F_m \geq (F_c, F_d \text{ の大きい方の値}) + m S_n$
 m Sn : 構造体強度補正係数
 Fc : 設計基準強度
 Fd : 耐久設計基準強度
 ただし、非構造部材の土間コンクリート・捨てコンクリート・押えコンクリート等は除外する。

(2) コンクリートブロック (CB)

□A種 □B種 □C種 厚□100 □120 □150 □190

(3) 鉄筋

異形鉄筋	種類	径	使用箇所	継手工法
●SD295	D10~D16		躯体全般	●重ね継手 D10~D16 □ガス圧接継手 D19~D29
□SD345				
□SD390				
高強度せん断補強筋 □SHD685*				
溶接金網 (JIS G 3531)				

(4) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	備考
□SS400 □SM400 □SN400A, B, C		□有 □無	
□STKR400 □STKR490		□有 □無	
□BCR295 □BCP235		□有 □無	
□SM490A □SN490B, C		□有 □無	
□SSC400		□有 □無	

(5) ボルト

□高力ボルト
 □普通:F10T又は特殊:S10T 認定品(□M12 □M16 □M20 □M22 □M24)
 □普通:F8T (溶接部めっき) 認定品(□M16 □M20 □M22 □M24)

□中ボルト 高力ボルトすべり係数試験 □要 □否
 M M 高力ボルト 導入張力確認試験 □要 □否

□アンカーボルト
 □ABR400 M L = ■■ ナット(□シングル、□ダブル)
 □ M L = ■■ ナット(□シングル、□ダブル)

□噴付スタッドボルト φ = ■■ L = ■■ 適用箇所(□柱 □大梁 □小梁)
 φ = ■■ L = ■■ 適用箇所(□柱 □大梁 □小梁)

(6) 屋根・床・壁

□ALC版 厚 H = 厚
 □折版 型式 H = 厚
 □デッキプレート 型式 厚

3. 地盤

(1) 地盤調査資料
 ●有 (●敷地内 □近隣) □ボーリング調査 □PS検層 □土質試験 □液化判定
 □無 (調査予定 □有 □無)
 □平板載荷試験 □現場透水試験 ●サウンディング試験

(2) 地盤調査計画
 □ボーリング調査 □静的貫入試験 □標準貫入試験 □水平地盤反力係数の測定
 □土質試験 □物理探査 □平板載荷試験 □試験堀(支持層の確認)

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭径、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

(4) ボーリング標準貫入値、土質構成

深度	土質	N値	標準貫入試験						備考
			10	20	30	40	50	60	
1									敷地内
2									敷地内
3									敷地内
4									敷地内
5									敷地内
6									敷地内
7									敷地内
8									敷地内
9									敷地内
10									敷地内
11									敷地内
12									敷地内
13									敷地内
14									敷地内
15									敷地内
16									敷地内
17									敷地内
18									敷地内
19									敷地内
20									敷地内
21									敷地内
22									敷地内
23									敷地内
24									敷地内
25									敷地内
26									敷地内

4. 地業工事

(1) 直接基礎

□ベタ基礎 ●布基礎 □独立基礎 (地盤改良併用) 試験場 □有 ●無
 深さGL- 0.5 m
 支持層-粘性土
 長期許容支持力 南側:30 kN/m² 載荷試験 □有 ●無

(2) 杭基礎

杭種	材料	施工法	備考
□RC □PRC □PHC □FRP □鋼管 □摩擦杭 □	PRC(□I種 □II種 □III種) PHC(□A種 □B種 □C種) 鋼材 □SS400 □STK400 □	□打ち込み □埋込み(セメントミルク工法) □	大臣認定番号 年月日
□場所打ちコンクリート杭	コンクリートFc = N/mm ² スラップセメント量 kg/m ³ 鉄筋主筋 SD フープ SD	□オールケーシング □鉄底杭 □リバスサーキュレーション □アースドリル □ミニアース □BH □深挿 □手掘 □機械掘	

杭仕様 □施工計画書承認 □杭施工結果報告書
 試験杭 (□有・□無) (□打ち込み・□載荷) 本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

※()内は拡底部施工径を示す。

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

●コンクリートは JIS A5308 に適合するもの又は大臣認定品とし、JIS表示認定工場の製品とする。施工に関しては JASS5(2018)による。

●耐久設計基準強度 ●短期(Fd18) □標準(Fd24)
 □長期(Fd30) □超長期(Fd36)

●セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。

●骨材の品質は、JIS A5308 附属書1(規定)による。アルカリシリカ反応試験による区分「A」(無害)と判定されたものを用いる。砂利、砂は JIS A5308 附属書1(規定)による。スラグ骨材は JIS A5011-1~4による。

●粗骨材の最大寸法は、砂利で25mm、砕石、高炉スラグ砕石で20mm以下とする。

●コンクリートの練り混ぜに用いる水は、JIS A5308 付属書9(規定)による。

●調合計画 (構造部材に適用する。)
 設計基準強度 Fc=21N/mm²
 ホセメント比 60%以下
 単位水量 185kg/m³以下
 単位セメント量 270kg/m³以上
 空気量 4~6%
 混和剤 AE減水剤
 但し、単位水量を満足するために必要な場合、高性能AE減水剤とする。

調合計画は、工事開始前に工事監督者の承認を得ること。

●寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、監理方法など必要事項について、工事監督者の承認を得ること。

●フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一材料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。

●構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体(JASS5T-603)は、標準養生、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。

また、打ち込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4適用に3本を用いる。

●コンクリートの圧縮強度試験は JIS A1108 による。ただし、供試体が凍結しているおそれのあるときは、試験直前に約10°Cの水中に2~3時間浸せきしたのち試験を行う。

●打継ぎ

a. 打継ぎ部の位置は、構造部材の耐力への影響の最も少ない位置に定めるものとし、下記を標準とする。
 (1) 梁および床スラブの鉛直打継ぎ部は、スパンの中央付近に設ける。
 (2) 柱および壁の水平打継ぎ部は、床スラブ・梁の下端、または床スラブ・梁・基礎梁の上端に設ける。

b. 打継ぎ部の形状は、打継ぎ面が鉄筋に直角となり、構造部材の耐力の低下が少なく、コンクリート打ち込み前の打継ぎ部の処理が円滑に行え、かつ新たに打ち込むコンクリートの締結性が容易に行えるものとする。

c. コンクリートの打継ぎ面は、レイタンス、脆弱なコンクリート、ゴミなどを取り除き、新たに打ち込むコンクリートと一体となるように処理する。計画供用期間の級が“長期”の場合の打継ぎ部の処理方法は、特記または設計図書による。

d. 打継ぎ部のコンクリートは、散水などにより湿潤しておく。ただし、打継ぎ面の水は、コンクリートの打ち込み前に高圧空気などによって取り除く。

e. 打継ぎ部の一体性の確保または水密性の確保のための特別な処理を講ずる場合は、適切な方法を定めて工事監督者の承認を受ける。

f. 逆打ち工法の打継ぎ部の形状は、特記または設計図書による。

g. コンクリートの打ち込み開始後にやむを得ず打ち込みを中止する場合は打継ぎ部の位置・形状および処理方法は、上記a~eに準ずる。

●打ち込み

a. コンクリートは、その占める位置にできるだけ近づけて打ち込む。その際、打ち込み箇所以外の鉄筋、型枠および先付けタイルなどにコンクリートが付着しないようにする。

b. 打継ぎ部におけるコンクリートの打ち込み・締結は、打継ぎ部に締結不良やブリーディング水の集中などによる脆弱部を生じないように行う。

c. 1回に打ち込むように計画された区画内では、コンクリートが一体になるように連続して打ち込む。

d. 打ち込み速度は、コンクリートのワーカビリティおよび打ち込み場所の施工条件などに応じ、良好な締結ができる範囲とする。

e. コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。

f. 打重ね時間間隔の限度は、コールドジョイントが生じない範囲として定め、工事監督者の承認を受ける。

g. コンクリートの打ち込みに際しては、鉄筋、型枠、スペーサーおよびバサボートの移動などにより、かぶり厚不足が生じることがないようにする。

●締固め

a. 締固めは、鉄筋および埋設物などの周辺や型枠の隅々までコンクリートが充填され、密実なコンクリートが得られるように行う。

b. 締固めは、コンクリート形振動機・型枠振動機または突き棒を用いて行い、必要に応じて他の用具を補助として用いる。

c. コンクリート形振動機は、打込み各層ごとに用い、その下層に振動機の先端が入るようにほぼ鉛直に挿入する。振動機の挿入間隔は60cm以下とし、型枠はコンクリートの上面にベーストが浮くまでとする。

d. 突き棒振動機は、打込み高さおよび打ち込み速度に応じてコンクリートが密実になるよう順序立てて加振する。

●養生

a. コンクリートは、打ち込み終了直後からセメントの水とおよびコンクリートの硬化が十分に進行するまでの間、急激な乾燥、過度の高湿または低温の影響、急激な温度変化、振動および外力の影響を受けないように養生しなければならない。

b. 養生の方法・期間および養生に用いる資材などの計画を定めて工事監督者の承認を受ける。

c. 打ち込み後のコンクリートは、透水性の小さいせき板による被覆、養生マットまたは水密シートによる被覆、散水・噴霧、炭素養生剤の塗布などにより湿潤養生を行う。

湿潤養生の期間

セメントの種類	計画供用期間の等級	一般および標準	長期
早強ポルトランドセメント		3日以上	5日以上
普通ポルトランドセメント		5日以上	7日以上
その他のセメント		7日以上	10日以上

d. 早強ポルトランドセメントまたは普通ポルトランドセメントを用いる厚さ18cm以上のコンクリート部材においては、コンクリートの圧縮強度が下表を満足することを確認すれば、以降の湿潤養生を打ち切ることができる。

養生打ち切りのための必要強度(N/mm²)

セメントの種類	計画供用期間の等級	一般および標準	長期
早強ポルトランドセメント		10以上	15以上
普通ポルトランドセメント			

e. 「(3)型枠」の項中「型枠の存置期間」に定めるせき板の存置期間後、上記2表の養生必要期間に達する前にせき板を取り外す場合は、その日数の間または所定の圧縮強度が発現するまで、コンクリートを散水・噴霧、その他の方法によって湿潤を保たなければならない。

f. 気温が高い場合、風が強い場合または直射日光を受ける場合には、コンクリート面が乾燥することがないように養生の管理を行うこと。

●打継ぎ・打ち込み・締固め・養生方法は上記による他、JASS5-7節、8節に準拠する。

5. 鉄筋コンクリート工事 6. 鉄骨工事 7. 設備関係 8. その他 9. 法第20条各号(令第129条の2の3関連)の法適合確認

(2) 鉄筋

- 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。施工はJASS5(2018)による。
- 高強度せん断補強筋は、JIS G3137に規定されるD種1号適合品とする。
- 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。
- D19未満は、すべて重ね継手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、日本鉄筋継手協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
- ガス圧接部の抜き取り検査は引張試験または超音波探傷試験とし、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超えるときは、200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は引張試験の場合は3本以上、超音波探傷試験の場合は30箇所とする。
- 外観検査 有 無、引張試験又は超音波探傷試験 有 無
- 柱の帯筋(HOOP)の加工法は、H型 スパイラル型又は溶接閉鎖型とする。

(3) 型枠

- 材料 合板厚 12mmを標準とする。 施工はJASS5による。
- 型枠存置期間
- a) 基礎・梁側・柱および壁のせき板の存置期間は、コンクリートの圧縮強度*が 5N/mm²以上に達したことが確認されるまでとする。ただし、せき板材置期間中の平均気温が 10℃以上の場合、コンクリートの材齢が下表に示す日数以上経過すれば、圧縮強度試験を必要とすることなく取り外すことができる。

セメントの種類	コンクリートの材齢 (日)		
	早強シリカセメント	普通シリカセメント	高炉セメントB種
平均気温			
20℃以上	2	4	5
20℃未満10℃以上	3	6	8

- b) 床スラブ下・屋根スラブ下および梁下のせき板は、支保工を取り外した後に取り外す。
- c) 支保工の存置期間は、スラブ下・梁下とも設計基準強度の100%以上のコンクリートの圧縮強度*が得られたことが確認されるまでとする。
- d) 支保工除去後、その部材に加わる荷重が構造計算書におけるその部材の設計荷重を上回る場合には、上述の存置期間にかかわらず、計算によって十分安全であることを確かめた後取り外す。
- e) 上記c)より早く支保工を取り外す場合は、対象とする部材が取り外し直後、その部材に加わる荷重を安全に支持できるだけの強度を適切な計算方法から求め、その圧縮強度を実際のコンクリートの圧縮強度*が上回ることを確認しなければならない。ただし、取り外し可能な圧縮強度は、この計算結果にかかわらず最低12N/mm²以上としなければならない。
- f) 片持梁または庇の支保工の存置期間は、上記c)、d)に準ずる。
- (注)*印は JASS 5 T-603(構造体コンクリートの強度推定のための圧縮強度試験方法)による。ただし、養生方法は構造体コンクリート強度の管理用供試体と同一とする。

●かぶり厚さ(単位: mm)

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最少かぶり厚さを確保する。

部 位	設計かぶり厚さ (mm)		最少かぶり厚さ (mm)
	屋根スラブ	屋内	
土に接しない部分	床スラブ	30	20
	非耐力壁	40	30 ⁽¹⁾
	柱	40	30
	はり	50	40 ⁽¹⁾
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁	50	40
	基礎	70	60

(1) 外壁の屋外に面する部位に耐久性上必要な仕上がりがある場合、屋外側の部分に限り10mm減することができる。
(2) 軽量コンクリートの場合は、各部かぶり厚さ共に10mm増しの値とする。
(3) ビット内のかぶり厚さは、土に接する部分に準ずる。

●梁の二段筋及び柱の寄せ筋の間隔は「主筋の外径+呼び径の1.5倍」とし許容差は-0mm~+20mmとする。許容差は参考値とし、許容差より過大にならないよう施工時に考慮すること。

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

- 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
- 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

(2) 工事監督者の承認を必要とするもの

- 製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書
- 指定性能評価機関認定の鉄骨製作工場 グレード以上
- 材料規格証明書または試験成績書 鋼材 高力ボルト 特殊ボルト 頭付スタッド
- 社内検査表

(3) 工事監督者が行う検査項目 (□印以外の項目の検査結果については、工事監督者に報告すること)

- 現寸検査 組立・開先検査 製品検査
- 建方検査

(4) 接合部の溶接は下記によること

- 日本建築学会「溶接工作規程、同解説I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
- 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工場現場施工編」

(5) 接合部の検査

- 溶接部の検査(検査結果は後日工事監督者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		社内	第三者	工事監督者	
□完全溶込み溶接部	超音波探傷試験	%	%	%	
	外観(目視)検査	%	%	%	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名					
第三者検査機関とは、建築主、工事監督者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注1) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行う事。
注2) 現場溶接部は、超音波探傷試験を100%行う事。

- 高力ボルトとは「JISB1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
- 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(6) 防錆塗装

- 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めのペイントは、JIS K5674、2回塗りを標準とする。
- 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとす。

(7) 耐火被覆の材料

-

●特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。

●設備機器の架台及び基礎については工事監督者の承認を得ること。

●床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監督者に報告すること。
- 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

●建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

- 1 建築設備(昇降機を除く)、建築設備の支持構造部及び繋結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
 - 適合を確認した
 - 該当無し
- 2 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
 - 適合を確認した
 - 該当無し
- 3 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支柱を設けたものを除き、90cm以下とすること。
 - 適合を確認した
 - 該当無し
- 4 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造、コンクリートブロック造とすること。
 - 適合を確認した
 - 該当無し
- 5 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
 - 5-1 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
 - 適合を確認した
 - 該当無し
 - 5-2 建築物の部分を貫通して配管する場合には、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
 - 適合を確認した
 - 該当無し
 - 5-3 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
 - 適合を確認した
 - 該当無し
 - 5-4 管を支持し、又は固定する場合には、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
 - 適合を確認した
 - 該当無し
- 6 法第20条第1項第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
 - 適合を確認した
 - 該当無し
- 7 給湯設備等は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。
 - 「給湯設備」: 建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの
 - 適合を確認した
 - 該当無し
- 8 その他
 - 「令第39条の規定(屋根垂き材等)」に関する取り付けにあっては、構造耐力上安全なものとする。

※上記、法第20条各号(令第129条の2の3関連)における

- 「構造関係規定に関する部分の図書を作成した」
- 「構造関係規定に関する部分が適合することを確認した」

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

※修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
 (2) 記号

d...異形鉄筋の呼び名に用いた数値(径) D...部材のせい、又は鉄筋内法直径
 @...間隔 r...半径 C...中心線 L₀...部分間の内法距離 h₀...部材間の内法高さ
 ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S.HOOP...補強帯筋

2. 鉄筋加工

(1) 鉄筋の折り曲げ加工

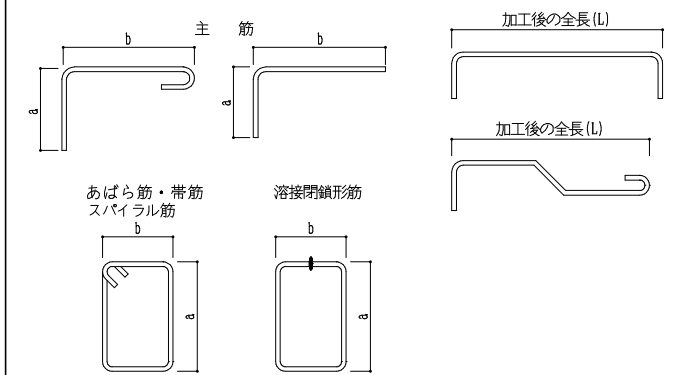
図	折り曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径(D)
	180°	SD295	D16以下	3d以上
	135°	SD345	D19~D41	4d以上
	90°	SD390	D41以下	5d以上
	90°	SD490	D25以下	5d以上
	90°	SD490	D29~D41	6d以上

- [注] (1) dは呼び名に用いた数値とする。
 (2) スパイラル筋の重ね継手部に90°フックを用いる場合は、余長は12d以上とする。
 (3) 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
 (4) スラブ筋、壁筋には、溶接金網を除いて丸鋼を使用しない。
 (5) 折り曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。
 (6) SD490の鉄筋を90°を超える曲げ角度で折り曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。

(2) 加工寸法の許容差

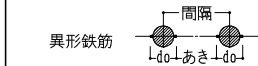
項目	符号	許容差 (mm)
主筋	D25以下	a, b ±15
	D29以上D41以下	a, b ±20
あばら筋・帯筋・スパイラル筋	a, b	±20
	加工後の全長 L	±5
加工後の全長 L	L	±20

[注] (1) 各加工寸法及び加工後の全長の測り方の例を下図に示す。



(3) 鉄筋のあき

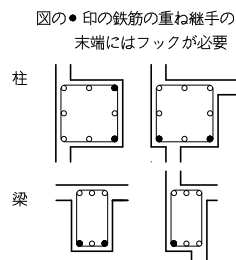
異形鉄筋では呼び名に用いた数値の1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mmのうち最も大きい値。



(4) 鉄筋のフック

a~eに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。

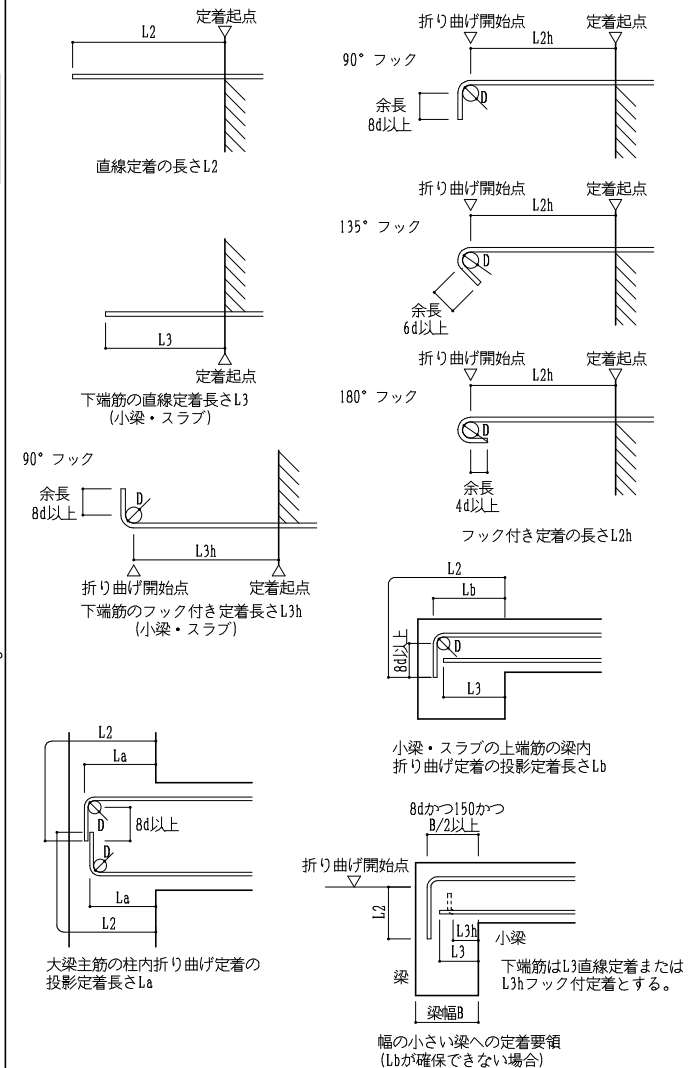
- あばら筋、帯筋、および幅止メ筋
- 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)
- 柱、梁(基礎梁を除く)の出すみ部分および下端の両端にある場合の鉄筋(右図参照)
- 単純梁の下端筋
- その他、本配筋標準に記載する箇所



(5) 定着長さ

鉄筋種類	定着の長さ							
	一般				小梁下端筋		スラブ下端筋	
コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	L2 (フックなし)	L2h (フックあり)	La ¹⁾	Lb	L3 (フックなし)	L3h (フックあり)	L3 (フックなし)	L3 (フックなし)
SD295	18	40d	30d	20d	15d	20d	10d	10d
	21	35d	25d	15d	15d			
	24~27	30d	20d	15d	15d			
	30~36	30d	20d	15d	15d			
	39~45	25d	15d	15d	15d			
	48~60	25d	15d	15d	15d			
SD345	18	40d	30d	20d	20d	20d	10d	10d
	21	35d	25d	20d	20d			
	24~27	35d	25d	20d	15d			
	30~36	30d	20d	15d	15d			
	39~45	30d	20d	15d	15d			
	48~60	25d	15d	15d	15d			
SD390	21	40d	30d	20d	20d	20d	10d	10d
	24~27	40d	30d	20d	20d			
	30~36	35d	25d	20d	15d			
	39~45	35d	25d	15d	15d			
	48~60	30d	20d	15d	15d			
	24~27	45d	35d	25d	—			
SD490	30~36	40d	30d	25d	—	—	—	—
	39~45	40d	30d	20d	—	—	—	—
	48~60	35d	25d	20d	—	—	—	—
	48~60	35d	25d	20d	—	—	—	—

- [注] (1) フック付き鉄筋の定着長さL2hは、定着起点から鉄筋の折り曲げ開始点までの距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。
 (2) フック部の折り曲げ内法直径D及び余長は、「鉄筋の折り曲げ加工」の表による。
 (3) 梁主筋を柱へ定着する場合、水平定着長さがL2h確保できない場合は折り曲げ定着とし、全定着長をL2以上とするともに、水平定着長さをLa以上とし、余長を8d以上とする。尚、Laの値は原則として柱せいの3/4倍以上とする。
 (4) 耐圧スラブの下端筋の定着長は一般定着L2とする。



(6) 継手

■重ね継手

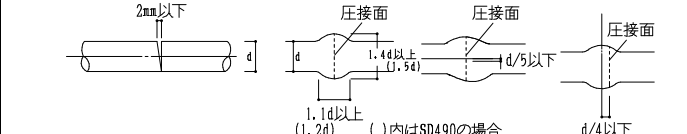
鉄筋種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²)	重ね継手長さ	
		L1 (フックなし)	L1h (フックあり)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24~27	35d	25d
	30~36	35d	25d
	39~45	30d	20d
	48~60	30d	20d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24~27	40d	30d
	30~36	35d	25d
	39~45	35d	25d
	48~60	30d	20d
SD390	21	50d	35d
	24~27	45d	35d
	30~36	40d	30d
	39~45	40d	30d
	48~60	35d	25d
	24~27	55d	40d
SD490	30~36	50d	35d
	39~45	45d	35d
	48~60	40d	30d
	48~60	40d	30d

- [注] (1) 表中のdは、異形鉄筋の呼び名の数値を表し、丸鋼には適用しない。
 (2) 直径の異なる鉄筋相互の重ね継手の長さは、細い方のdによる。
 (3) フック付き重ね継手の長さは、鉄筋相互の折り曲げ開始点間の距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。

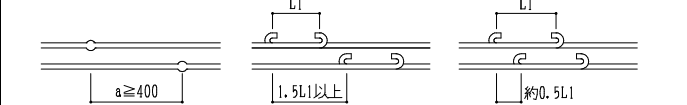
■継手に関する注意点

- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
- D19以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。(スラブ・壁を除く)
- 鉄筋径dの差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。
- ガス圧接継手の形状、および継手の配置は下図による。

・ガス圧接形状(平成12年建設省告示1463号下図のほか、折れ曲がり、焼き割れ、へこみ、垂れ下がり及び内部欠損がないもの)



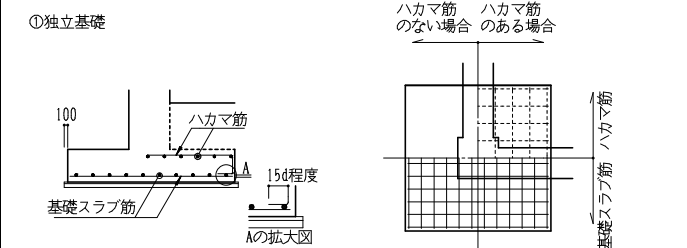
・圧接継手



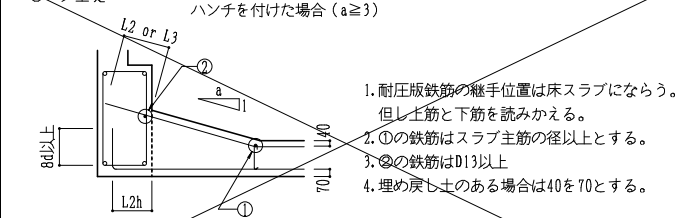
- 溶接継手および機械式継手を用いる場合は、信頼できる機関の認定等を受けたA級継手工法とする。
- 非破壊検査は工事監理者が承諾した信頼できる検査機関で行うこと。

3. 杭・基礎

(1) 直接基礎



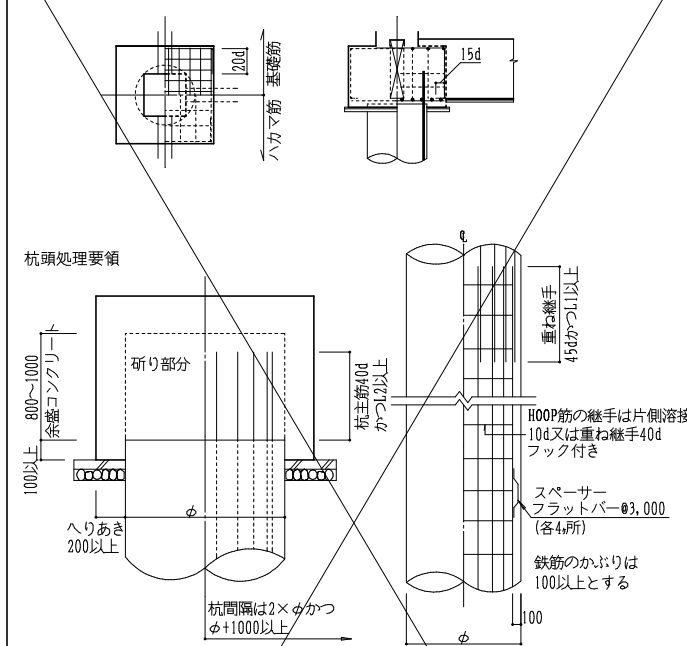
◎ベタ基礎



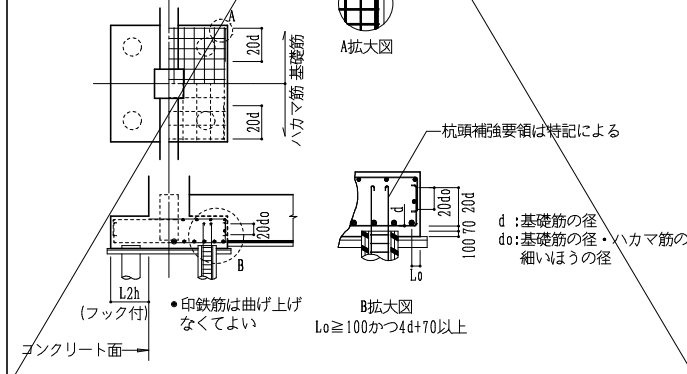
- 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう。但し上筋と下筋を読みかえる。
- ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする。
- ②の鉄筋はD13以上
- 埋め戻し土のある場合は40をT0とする。

(2) 杭基礎

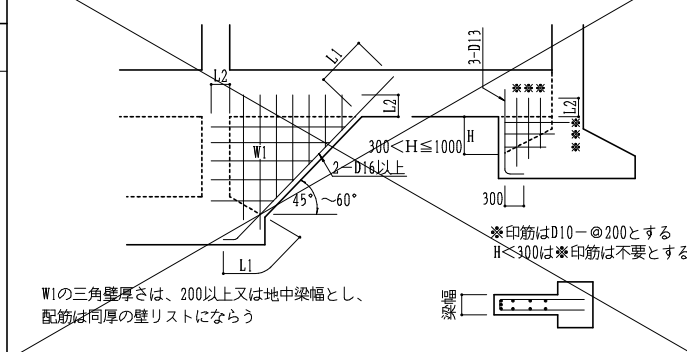
◎場所打ち杭



◎PHC杭



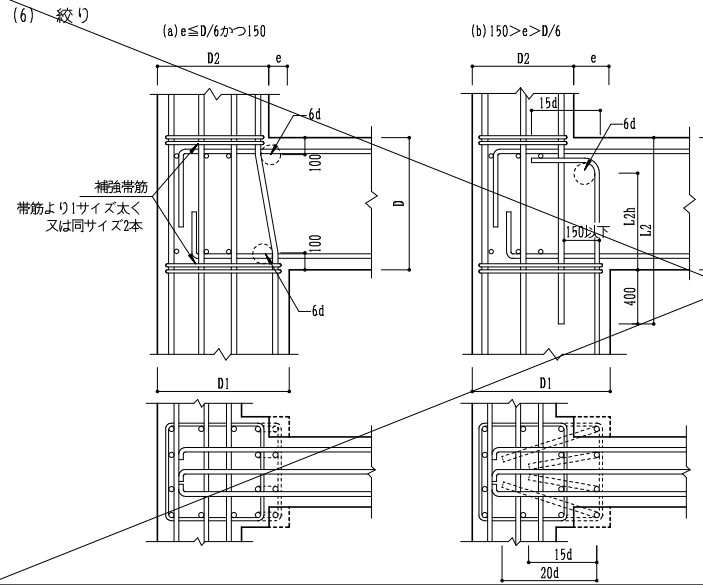
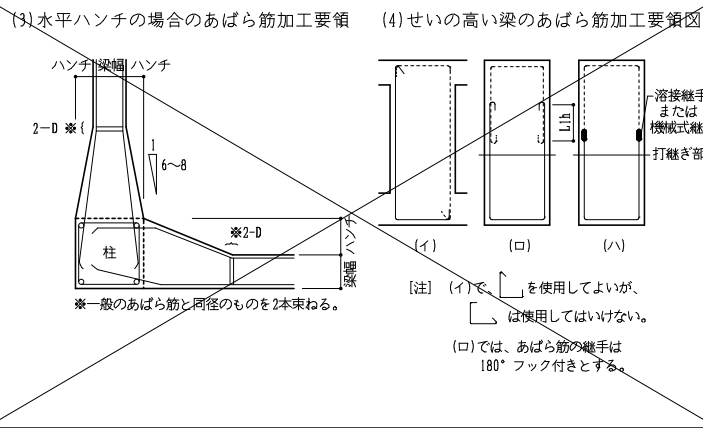
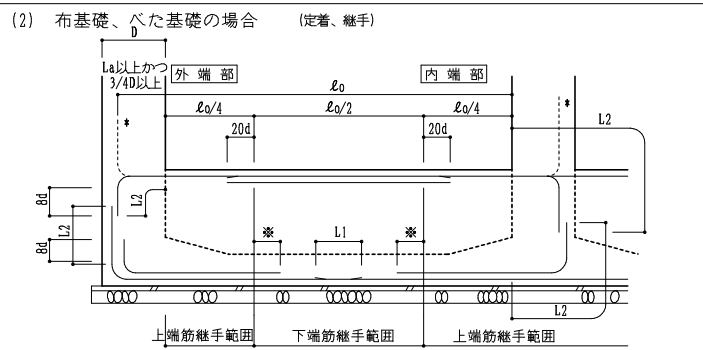
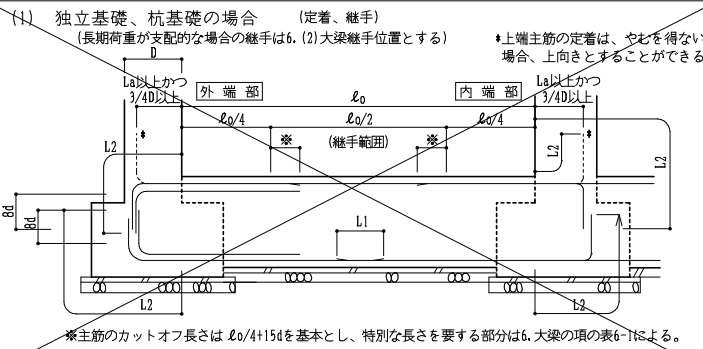
(3) 基礎接合部の補強



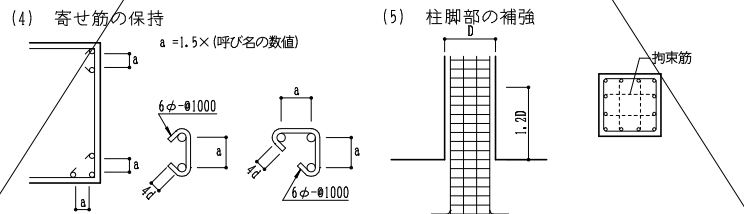
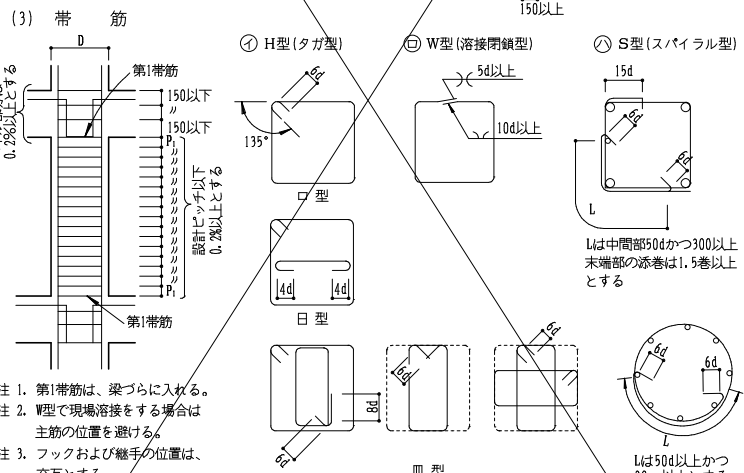
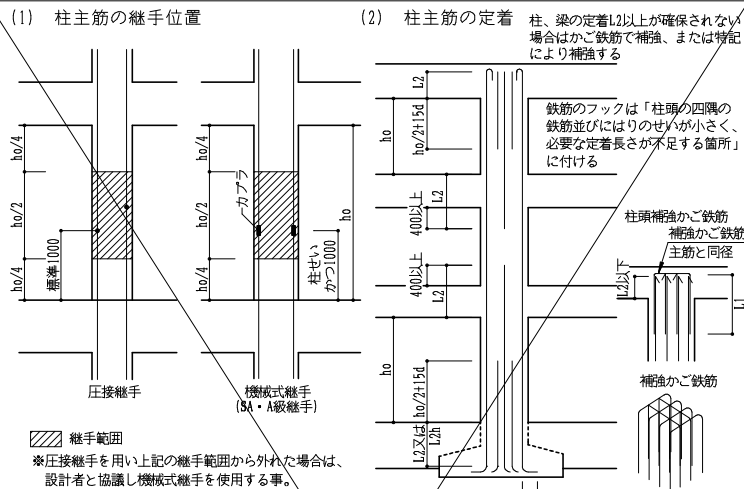
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

※訂正箇所は下線を引くこと

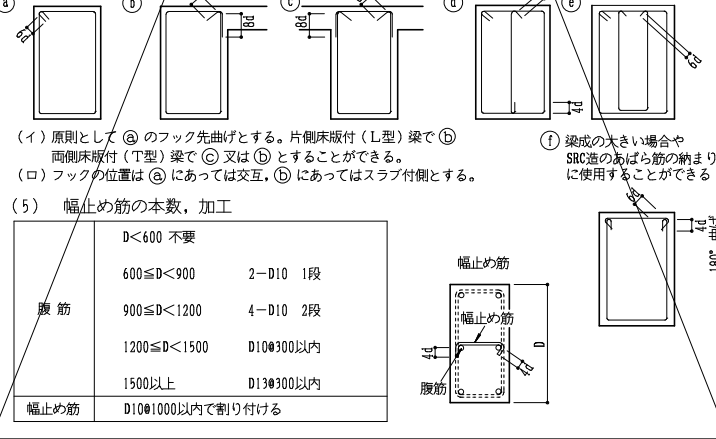
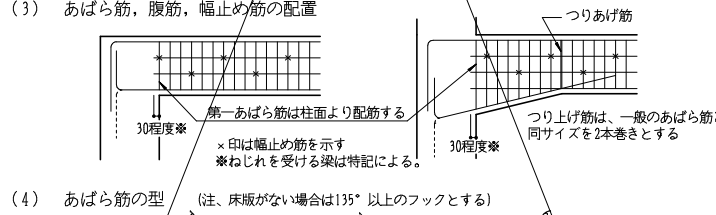
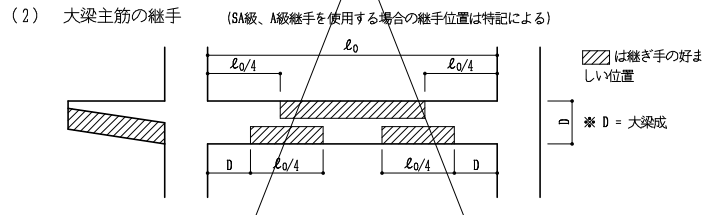
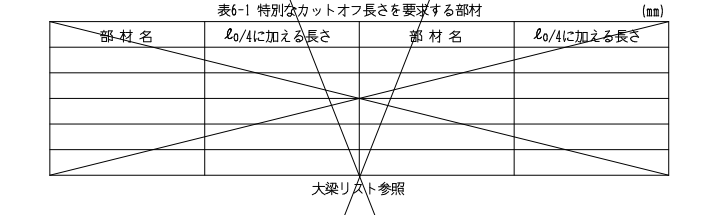
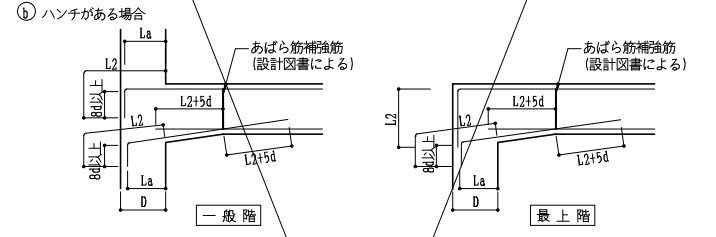
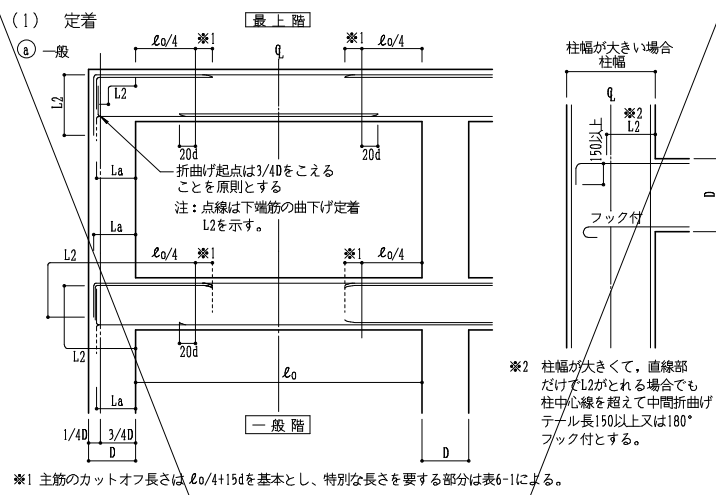
4. 地中梁



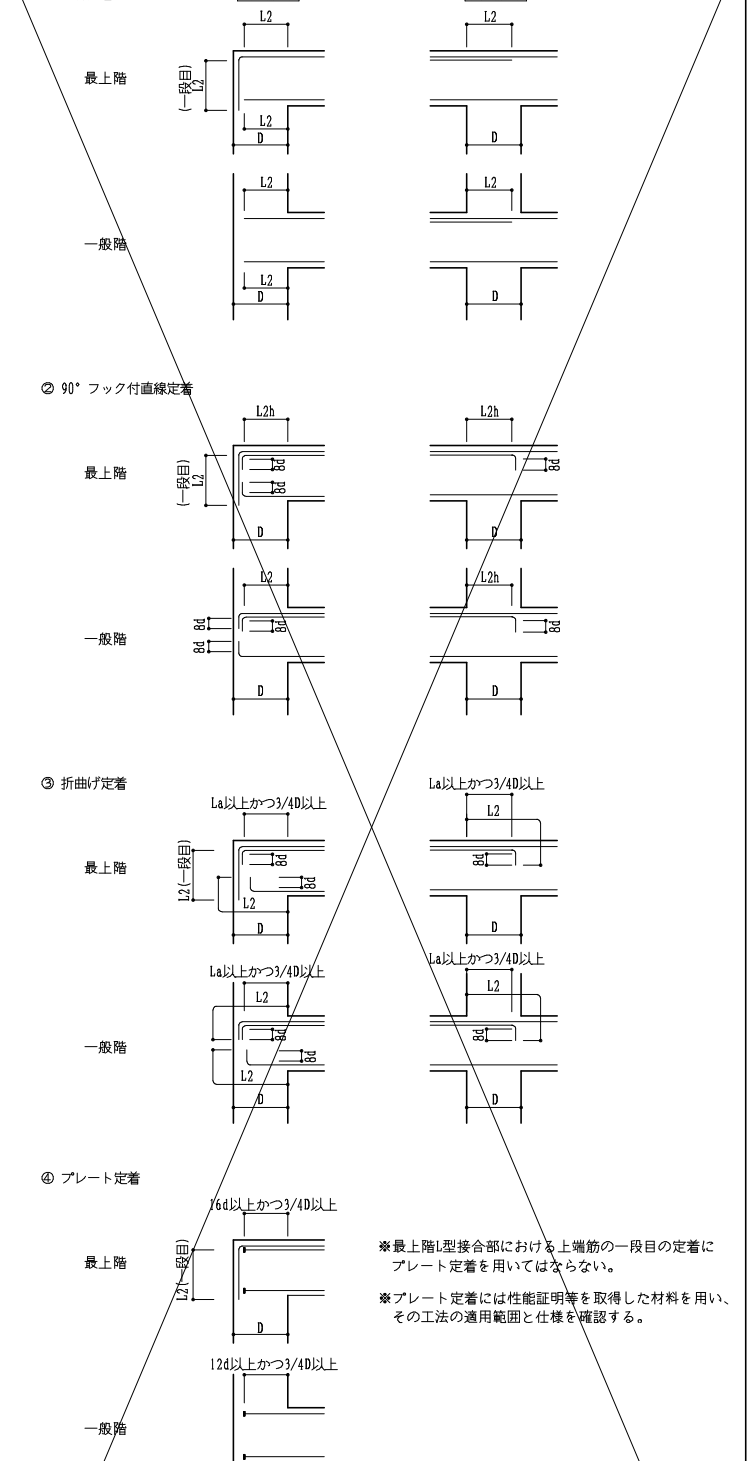
5. 柱



6. 大梁



(6) 梁主筋の定着



鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)

※訂正箇所は下線を引くこと

7. 小梁、片持梁

(1) 定着

① 小梁の定着

※固定度を考慮した場合は2/3以上とする。

注) 設計図にカットオフ位置の特記がない場合

② 段差小梁の配筋(連続端の場合)

③ 小梁筋の継手位置

④ 片持梁の定着

注) 上端筋の柱内への定着は3/4以上とすること。

注) 下端筋位置まで折り下げること

(a) 先端部の範囲とカットオフ位置

(b) 先端小梁の定着

(c) 隣接する梁がある場合で柱定着又は、隣接する梁へ定着する場合

(d) 隣接する梁がない場合で柱定着

8. 床版

(1) 定着および継手

一般床スラブ(四辺固定)

(2) 屋根スラブの補強

(3) 片持ち床スラブ定着および出隅部補強

① 片持ちスラブ定着

② 片持ちスラブ出隅部補強

注) 出隅部の補強筋は、計算により算出する。

(4) 床版開口部の補強 (開口の径500程度の場合)

注) 設備の小開口が連続して開く場合は、横、斜補強筋とは別に開口によって切断される鉄筋と同じ鉄筋を開口を避けて補強する。

(5) 床版段差

(6) 土間コンクリート

① 軽作業の土間

② 間仕切壁との交差部

(7) 釜場

(8) 打継ぎ補強 (ダメージ打継ぎ面について)

●設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L以上

●無筋部分D10×200 長さ800以上

床版厚さD	周囲	斜め
D ≤ 150	各2-D13	各1-D13
150 < D ≤ 300	各2-D13	各2-D13
300 < D ≤ 500	各2-D19	各2-D16

9. 壁

(1) 定着

① 梁に

② 柱に(平面図)

(2) スリット部(設計図に記入のあるとき)

(3) 手摺、パラベット

(4) コンクリートブロック帳壁

(5) 耐震壁端部の納まり

(8) 打継ぎ補強 (ダメージ打継ぎ面について)

注) h ≤ 25tかつ3500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合を除く。

注) hはコンクリートブロック段数調整寸法とする。但し、200 ≤ h ≤ 400

注) 継手部は必ずモルタルを充填すること。

(6) 連層耐震壁乾燥収縮の補強筋

補強筋

注) 補強筋はEW15の場合3-D13@100シングル
EW18~22の場合4-D13@100シングル
EW25以上の場合4-D16@100ダブルとする。

10. 柱、梁増打コンクリート補強

(増打ちするときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと)

(1) 柱

(2) 梁

●ハッチ部分は増打コンクリートを示す

●ハッチ部分の面積A cm²

補強スラブ	補強筋
A < 500	3-D16
500 ≤ A < 1000	4-D16

●150以上の増打ちは図示による。

●増打ち80以下は補強なし。

●※柱H00Pと同等、同ピッチとする。

●補強筋の定着長さはL2とする。

11. 梁貫通孔補強

(開口補強筋については計算により確認すること)

(1) 設置可能範囲

梁端部(スパンℓ/10以内かつ20以内)は原則として避ける

(2) 既製品 (指定条件と異なる場合は、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

□製品名

施工前に計算書を提出し、承認を得ること。

設計時に使用する評価取得品については計算書を提出すること。

深層混合処理工法（炎工法）による地業特記仕様書

1. 工法概要

本工事は、炎工法による、地盤改良地業であり、スラリー状のセメント系固化材を地中に注入しながら、原地盤を機械的に混合攪拌し、固化材の化学反応により所要の強度を持つ改良体を築造する工法である。

2. 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか、「改訂版、建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」(日本建築センター)および「建築工事標準仕様書・同解説 JASS4 杭・地業及び基礎工事」(日本建築学会)による。
 (1)本工事は、炎工法協会に所属する指定の施工会社とする。(株式会社ソイル基工)
 (2)同等工法で施工する場合は、工法取得会社、且つ応力照査等の技術力を有する会社に限る。
 また、事前に同等工法である証明書を提出し監督者の承認を得ること。
 同等工法とは、減水剤、界面活性剤（流動化剤）等の添加剤を使用せずに、変動係数25%で技術審査証明を取得した工法である。

3. 特記事項

(1)コラム径、掘削深度(設計コラム長+空堀長)、本数配置は設計図書による。ただし、コラム径・長さ・本数・位置及び固化材液の配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切だと判断される場合は、監督員の承認の下に変更することができる。
 (2)本工法は、技術審査証明取得工法とし、施工は工法取得会社が行う。協会加盟店等はそれに含まれない。
 (3)減水材は、土質や改良径、掘削長等を考慮し固化材に対して0.1%~1.0%の割合で加える場合がある。

4. 施工計画

(1)本施工業者は、本工法の施工技術に精通したものとす。
 (2)施工計画書

施工に先立ち下記事項を記載した施工計画書を提出する。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| (1)工事名称及び工事場所 | (8)施工管理(管理項目、施工記録) |
| (2)コラム仕様及び数量 | (9)品質管理 |
| (3)工事期間及び工程 | (10)安全衛生対策 |
| (4)工事の組織(コラム施工業者名及び責任者) | (11)地盤概要(土質柱状図) |
| (5)施工手順 | (12)コラム伏図 |
| (6)施工機械 | (13)技術審査証明書(写し) |
| (7)固化材配合条件 | |

5. 施工

(1)作業地盤は、施工機械が傾斜、転倒しないように養生する。
 (2)基本的な施工手順を以下に示す。施工障害になる事項が出現した場合は、別途検討する。
 a. 攪拌装置をコラム芯に合わせる。
 b. 固化材液を吐出せずに、空堀部分を所定の深度まで掘進する。
 c. 固化材液を吐出しながら掘進・攪拌混合する。
 d. 注入掘進工程が終了したら、固化材液の吐出を停止し先端部の繰り返しを行う。
 e. 先端繰り返し工程が終了したら、攪拌軸を逆回転し引き上げ攪拌混合する。
 (3)設計図書に示された支持地盤に着底する長さを実施コラム長という。
 (4)本工事により排出される発生残土は場内処分とする。

6. 施工機械

(1)供回り現象を防止する機構を有し、固化材と原位置土を確実に攪拌混合できる攪拌装置を用いること。
 (2)所定の施工管理項目を測定し、記録できる管理装置を用いること。
 (3)施工本体は、改良コラムの品質管理が十分できる地盤改良専用機とする。
 (4)ミキシングプラントは、所定の吐出量を十分供給できるものとする。

7. 配合管理

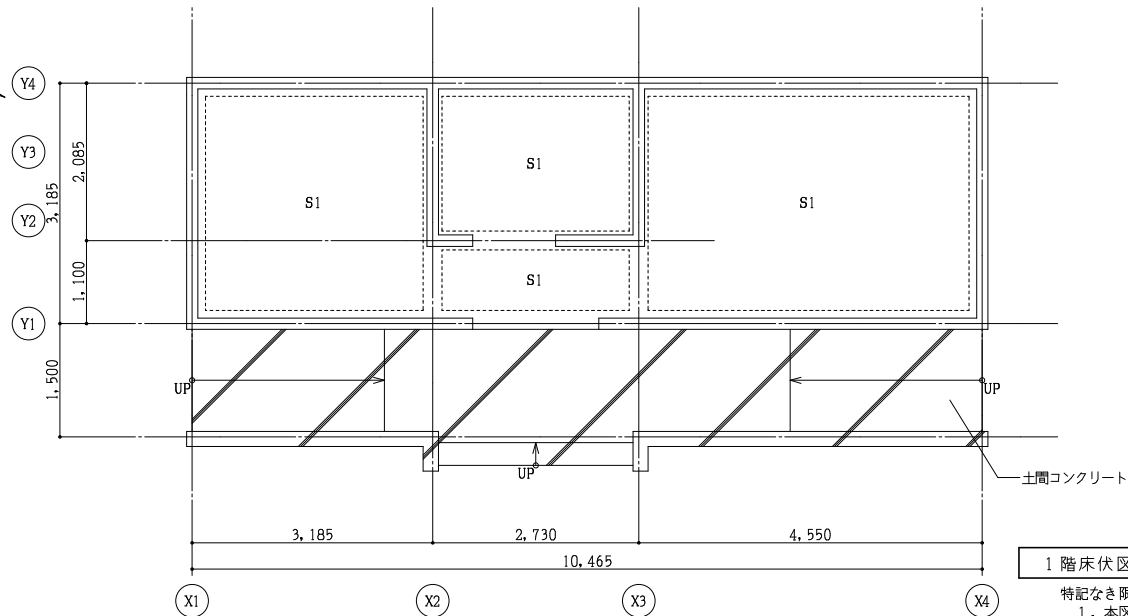
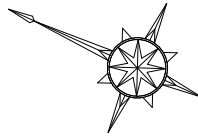
(1)固化材液に使用する材料は、セメント系固化材とする。
 (2)配合強度

割増係数 αt は、合格率80%とした下表による。

採取ヶ所数 N		1	2	3	4~6	7~8	9~
変動係数 Vc	25%	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

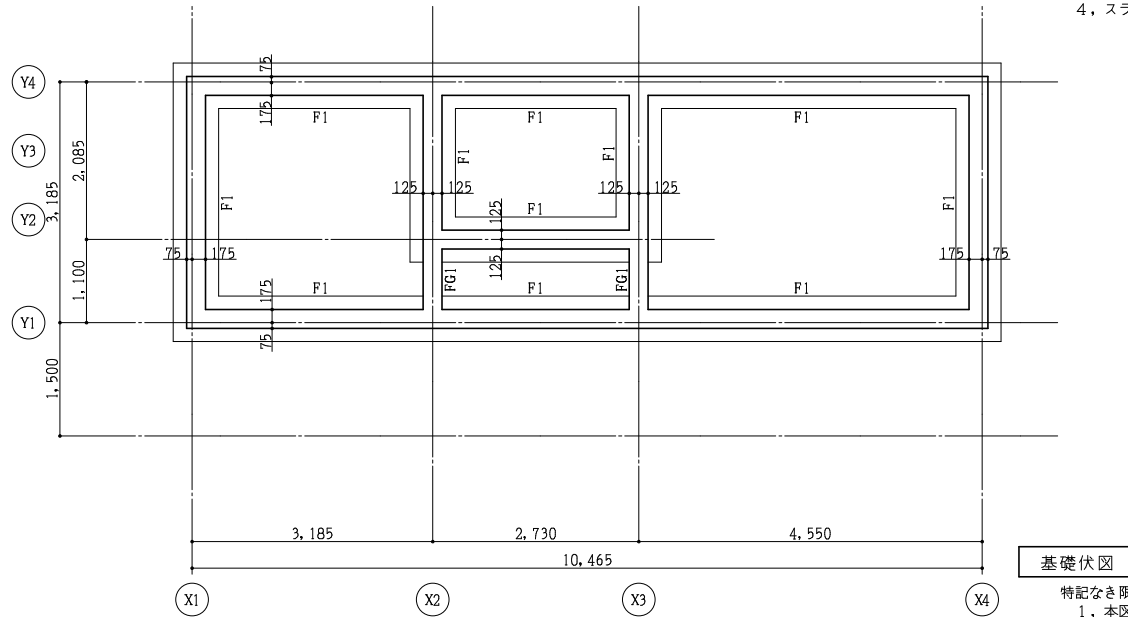
8. 施工管理方法

設計条件	<ol style="list-style-type: none"> 固化材添加量 300 (kg/m³) (室内配合試験結果により変更する場合がある) 水、固化材比 60~80 (%) (試験施工状況により、変更する場合がある) 設計基準強度(Fc) 600 (KN/m²) 固化材の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 一般固化材 <input type="checkbox"/> 有機質用 コラム径は、コラム伏図、基礎リスト図を参照すること。 想定改良土 <input checked="" type="checkbox"/> 粘性土 <input type="checkbox"/> 砂質土 <input type="checkbox"/> 有機質土 <input type="checkbox"/> ローム質土 想定先端土質 平均 N 値 N = 10 (先端土質 <input checked="" type="checkbox"/> 砂質土 <input type="checkbox"/> 粘性土) 														
施工前試験	<ol style="list-style-type: none"> 現場の土を採取し、室内配合試験を行う。固化材添加量は3種類とし、7日強度の試験を行う。7日強度より28日強度の推定を行い、固化材添加量の確認を行う。 六価クロム抽出試験を行う。 配合強度 Xf の設定 $Xf = Fc \cdot \alpha t$ 割増し係数 αt の設定 合格率を確保する、割増し係数 α は配合管理で目標とする変動係数 Vc、Vd と採取箇所数により設定される。 配合強度の割増し係数は 配合強度の表による。 														
施工	<ol style="list-style-type: none"> 設計寸法・形状の確保 <ul style="list-style-type: none"> 攪拌羽根 攪拌翼の径をスケール計測する。 コラム芯 事前にコラム芯にマークを設ける。 掘削深度 深度計で計測する。 固化材 <ul style="list-style-type: none"> 材料計量 水・固化材の重量 スラリー比重 マッドバランスで測定する。 攪拌混合度 <ul style="list-style-type: none"> 掘進・引上速度 速度計で測定する。 掘削翼、攪拌装置 掘削翼、攪拌翼の枚数等。 支持地盤 <ul style="list-style-type: none"> 掘進速度 速度計で計測する。 トルク値 トルク計で計測する。(支持層の判断基準は、指針により監督員と協議する) <p>A 試掘 6'-リフが調査箇所付近を試掘ロッドで掘削し、先端土質の確認を行う。設計で想定した土質と差異がある場合は、監督員と協議する。</p> <p>B 試験施工 ポーリング調査位置で施工し、混合状況、トルク値、掘削深度等を確認する。</p> <p>C 本施工 本施工時に、以下のデータをコラム1本毎に機械で記録管理する。 掘削最大深度(深度計)、トルク値(トルク計)、注入量(流量計) 施工地盤状況により、改良長の変更がある。</p>														
施工後試験 (品質検査)	<ol style="list-style-type: none"> コラム頭部及び深度方向のコアを採取して、圧縮試験を行いコア本体の強度の確認を行う。 コア採取箇所数 頭部コア 1 カ所 (モールドコア試験) 深度コア 1 カ所 (ポーリングコア試験) 改良柱体強度 採取検査による品質検査の合格判定値 XL を下式で設定する。 $XL = Fc + ka \frac{Fc \cdot Vd}{1 - 1.3Vd}$ ka: 検査手法Aの合格判定係数 Vd: 設計で想定するコアの一軸圧縮強度の変動係数 Xn: 採取したコアの圧縮強度の平均値 $XL < Xn$ 検査手法Aの合格判定係数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>コア採取箇所数 N</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4~6</th> <th>7~8</th> <th>9~</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合格判定係数 ka</td> <td>1.9</td> <td>1.7</td> <td>1.6</td> <td>1.5</td> <td>1.4</td> <td>1.3</td> </tr> </tbody> </table> 	コア採取箇所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~	合格判定係数 ka	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3
コア採取箇所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~									
合格判定係数 ka	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3									
報告	工事施工後、次の事項について報告書をまとめ、監督員に提出する。 <ol style="list-style-type: none"> コラム伏図、番号 コラム施工日、改良径、掘削深度、改良長、注入量 固化材液の配合、固化材使用量 コアの強度結果、合格判定結果 														



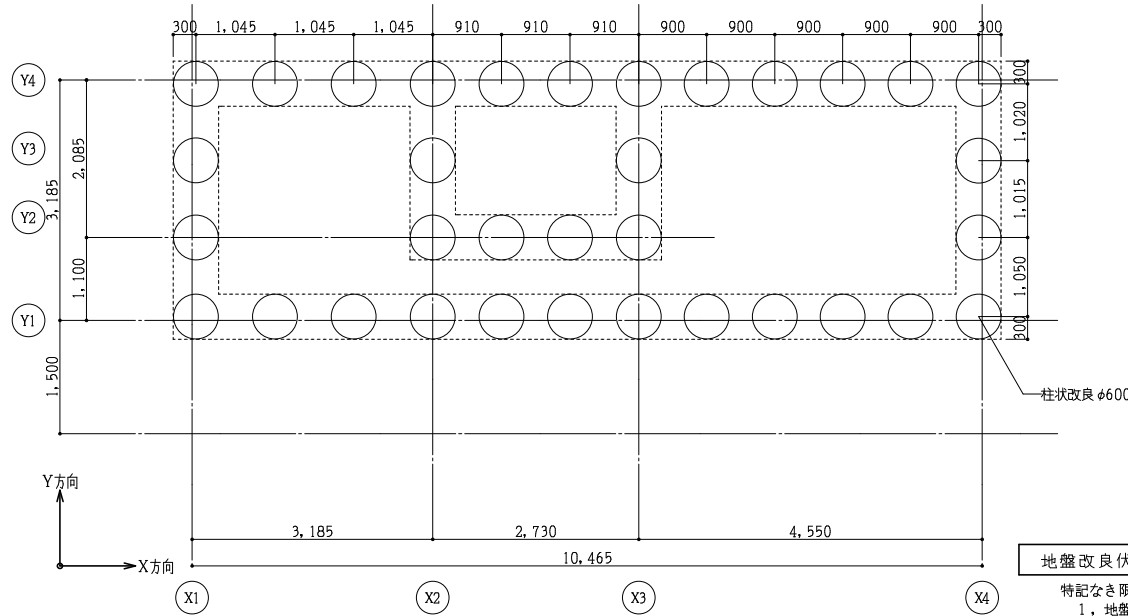
1階床伏図 A1:1/50 (A3:1/100)

特記なき限り下記による。(1FL=階上GL+300)
 1. 本図は見下げ図とする。
 2. 立上り壁 t=150
 3. 基礎天端 --- 1FL±0
 4. スラブ天端 --- 1FL±0



基礎伏図 A1:1/50 (A3:1/100)

特記なき限り下記による。(1FL=階上GL+300)
 1. 本図は見下げ図とする。
 2. 基礎天端 --- 1FL-800

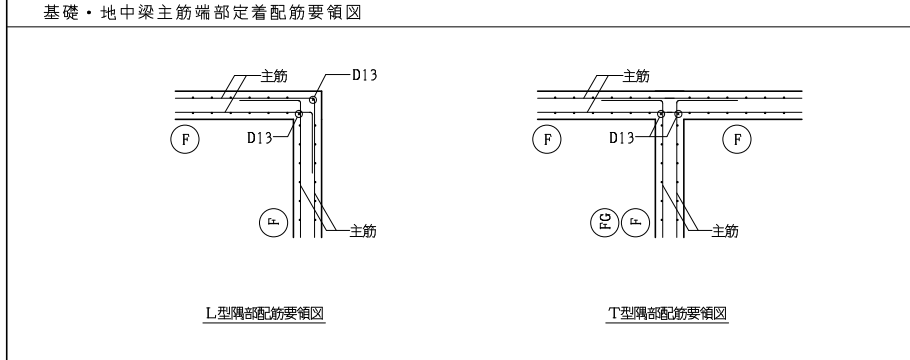


地盤改良伏図 A1:1/50 (A3:1/100)

特記なき限り下記による。(1FL=階上GL+300)
 1. 地盤改良先端深さ --- GL-3,000

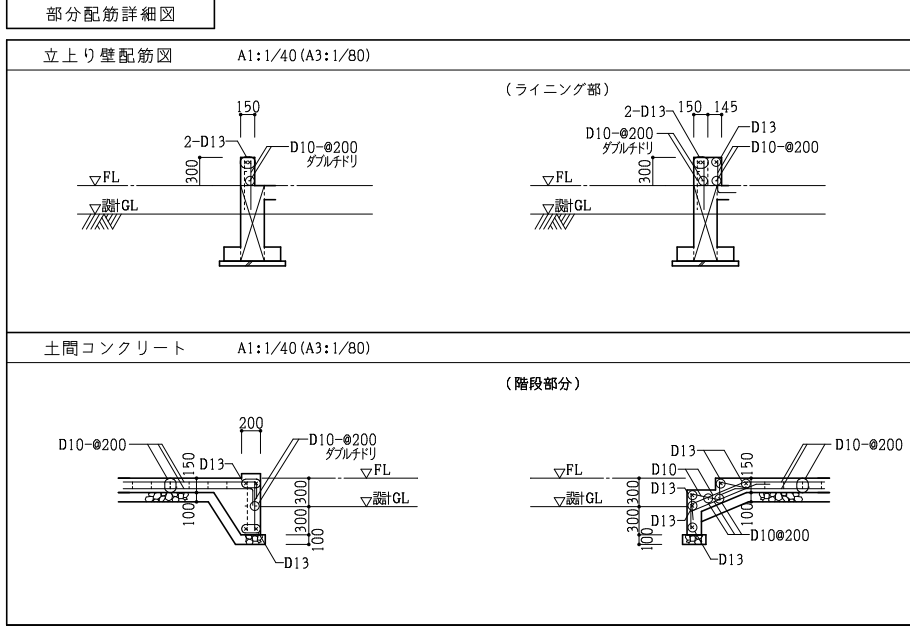
基礎・地中梁リスト A1:1/40 (A3:1/80) 特記なき限り 1. 巾止め筋 D10-→φ1,000とする。

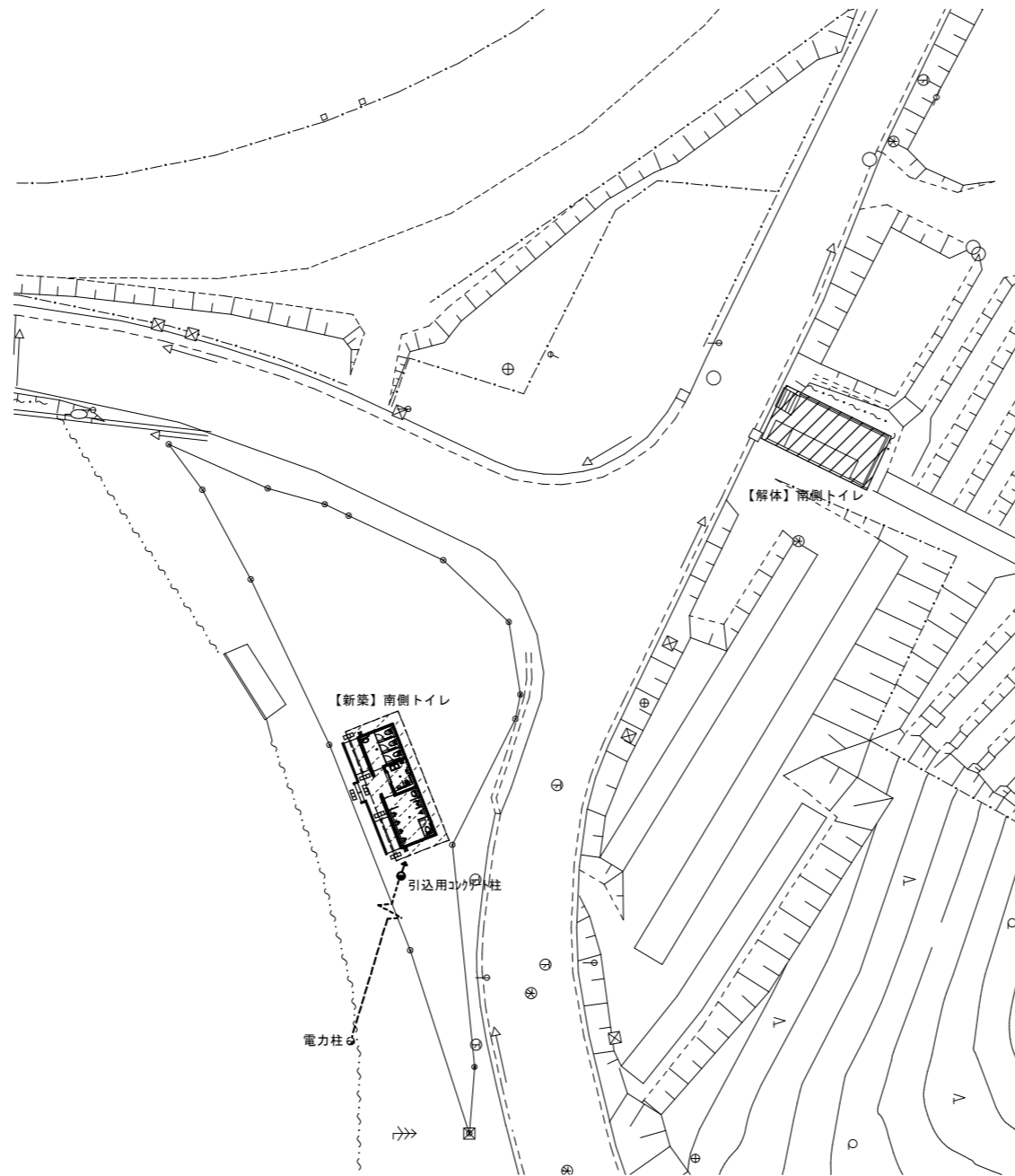
符号	F1	FG1
位置	全断面	全断面
断面		
上端筋	2-D16	2-D16
下端筋	2-D16	2-D16
あばら筋	2-D10-φ200	2-D10-φ200
腹筋	2-D10	2-D10
備考		



スラブリスト

符号	版厚	位置	短辺方向		長辺方向		備考
			端部	中央	端部	中央	
S1	150	上端筋	D10-φ200	←	D10-φ200	←	
		下端筋	D10-φ200	←	D10-φ200	←	
		上端筋					
		下端筋					
		上端筋					
		下端筋					
		上端筋					
		下端筋					



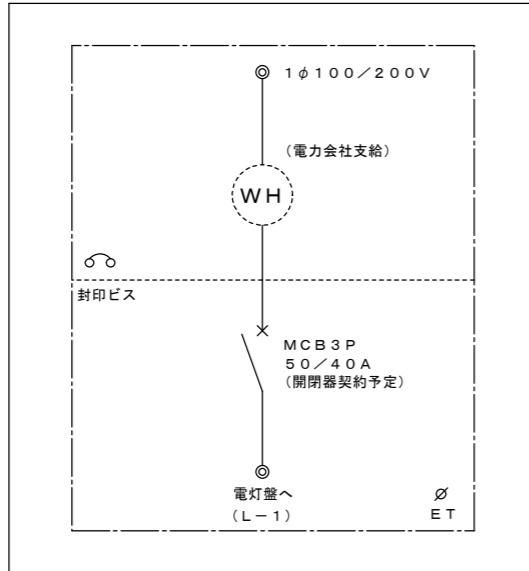


【新築】南側トイレ 配置図 1/600

記号 _____ _____ _____		仙台市青葉区一番町三丁目3番16号 オー・エックス芭蕉の社ビル TEL (022) 224-1207	一級建築士事務所 宮城県知事 登録 第23110182号 板垣 俊也 登録 第207908号	設計者	承認	設計部	月日	縮尺	令和7年度 雲雀ヶ原祭場地内公衆トイレ建替工事 【南側トイレ】	図面名 配置図	No. E-02
							R8.3	A3=1/300 A3=1/600			

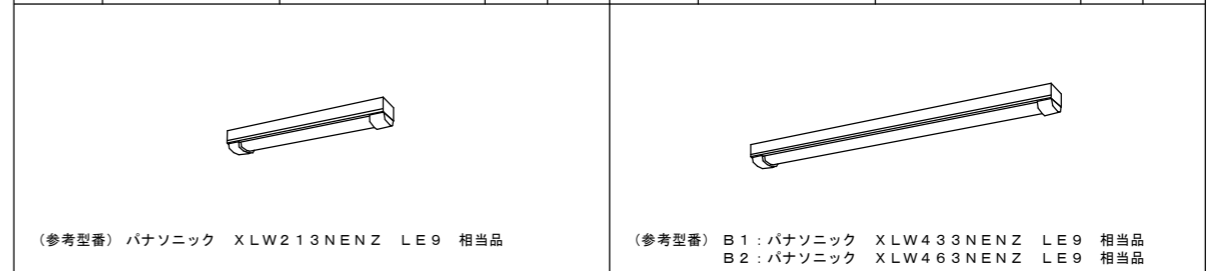
引込開閉器盤 L-M2 結線図

屋外鋼板製 露出・防水型
※コンクリート柱取付 指定色塗装



照明器具参考図

器具記号	器具名称	ランプ名称又は種類	消費電力	備考	器具記号	器具名称	ランプ名称又は種類	消費電力	備考
A1	トラフ型20タイプ	LEDバータイプ20形(1520lm)	11.6W	5000K	B1	トラフ型40タイプ	LEDバータイプ40形(3040lm)	20.6W	5000K
					B2	トラフ型40タイプ	LEDバータイプ40形(6560lm)	43.1W	5000K



器具記号	器具名称	ランプ名称又は種類	消費電力	備考	器具記号	器具名称	ランプ名称又は種類	消費電力	備考
C1	屋外ブラケット	LED-体型(455lm)	7.7W	5000K	D1	屋外ブラケット	LED-体型(1470lm)	14.9W	5000K



※ 照明器具の消費電力はJIS C 8105-3の測定方法による。

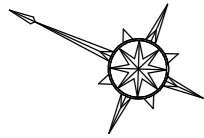
電灯端子盤 結線図

分電盤名称、電気方式、幹線サイズ、主幹開閉器等	回路番号	分岐開閉器容量	リモコン等	負荷容量	負荷名称	備考
L T-2 屋外鋼板製 壁掛型 指定色塗装 1φ3W 210V-105V 主開閉器 ELCB3P50AF 40AT 負荷容量 8,624VA ・電子式タイマー×1 ・呼出表示器用アダプタースペース ・呼出表示器用リレーボックススペース ・コンセント2E用スペース 壁内組込 壁内組込 壁内組込 壁内組込	①	MCCB 2P30/20		500	電気パネルヒーター電源	
	②	MCCB 2P30/20		予備		
	①	MCCB 2P30/20		95	男子トイレ照明	
	②	MCCB 2P30/20		138	女子トイレ・リフトトイレ照明	
	③	MCCB 2P30/20	Mg×1	31	外部ブラケット照明	※AS+TM制御
	④	MCCB 2P30/20		1379	便器ヒーター・洗浄便座・小便器ヒーター用コンセント	
	⑤	MCCB 2P30/20		1307	便器ヒーター・洗浄便座用コンセント	
	⑥	MCCB 2P30/20		1307	便器ヒーター・洗浄便座用コンセント	
	⑦	MCCB 2P30/20		1307	便器ヒーター・洗浄便座用コンセント	
	⑧	MCCB 2P30/20		1260	便器ヒーター・洗浄便座用コンセント	
	⑨	MCCB 2P30/20		1200	電気温水用コンセント	
	⑩	MCCB 2P30/20		100	端子盤内コンセント	
⑪	MCCB 2P30/20		予備			
⑫	MCCB 2P30/20		予備			

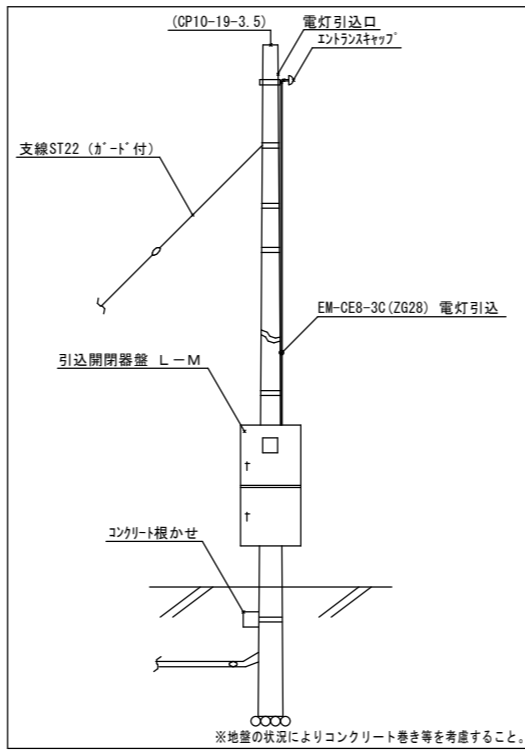


情報表示設備 機器参考図

[CN1] 呼出表示器(1窓・移報接点付・壁埋込型) <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>DC12V (電源アダプターから供給)</td></tr> <tr><td>形状</td><td>壁埋込型 (JIS3個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>ステンレス t0.8</td></tr> <tr><td>窓数</td><td>1窓</td></tr> <tr><td>表示方式</td><td>断続ブザー音と表示窓点灯</td></tr> </table>	電源電圧	DC12V (電源アダプターから供給)	形状	壁埋込型 (JIS3個用スイッチボックス)	材質	ステンレス t0.8	窓数	1窓	表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯	[] 呼出ボタン(引きひも付) <table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr> <tr><td>備考</td><td>引きひも式、押ボタン式両用</td></tr> </table>	形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)	材質	自己消火性樹脂	備考	引きひも式、押ボタン式両用	[PS] 電源アダプター <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>入力容量</td><td>75VA</td></tr> <tr><td>出力電圧</td><td>DC12V</td></tr> <tr><td>出力電流</td><td>2.5A</td></tr> <tr><td>形状</td><td>据置・壁取付 (専用金具) 両用</td></tr> <tr><td>材質</td><td>難燃性樹脂</td></tr> </table>	電源電圧	AC100V 50/60Hz	入力容量	75VA	出力電圧	DC12V	出力電流	2.5A	形状	据置・壁取付 (専用金具) 両用	材質	難燃性樹脂
電源電圧	DC12V (電源アダプターから供給)																													
形状	壁埋込型 (JIS3個用スイッチボックス)																													
材質	ステンレス t0.8																													
窓数	1窓																													
表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯																													
形状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)																													
材質	自己消火性樹脂																													
備考	引きひも式、押ボタン式両用																													
電源電圧	AC100V 50/60Hz																													
入力容量	75VA																													
出力電圧	DC12V																													
出力電流	2.5A																													
形状	据置・壁取付 (専用金具) 両用																													
材質	難燃性樹脂																													
[R] リレーボックス <table border="1"> <tr><td>形状</td><td>壁取付形</td></tr> <tr><td>材質</td><td>樹脂</td></tr> <tr><td>電源電圧</td><td>DC12V</td></tr> <tr><td>リレ定格</td><td>電圧 AC100V、DC24V</td></tr> <tr><td>電流</td><td>1A</td></tr> </table>	形状	壁取付形	材質	樹脂	電源電圧	DC12V	リレ定格	電圧 AC100V、DC24V	電流	1A	[Bz] 警報ランプ付ブザー (屋外用) (AC100V) <table border="1"> <tr><td>定格</td><td>電圧 AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>消費電力</td><td>動作時: 5W 待機時: 1W</td></tr> <tr><td>操作電圧</td><td>DC5V</td></tr> <tr><td>使用周囲温度</td><td>-10℃~+50℃</td></tr> <tr><td>質量</td><td>約530g</td></tr> <tr><td>音圧</td><td>警報音: 約90dB (前方1mにて) 報知音: 約65dB (前方1mにて)</td></tr> </table>	定格	電圧 AC100V 50/60Hz	消費電力	動作時: 5W 待機時: 1W	操作電圧	DC5V	使用周囲温度	-10℃~+50℃	質量	約530g	音圧	警報音: 約90dB (前方1mにて) 報知音: 約65dB (前方1mにて)	情報表示設備 参考結線図 						
形状	壁取付形																													
材質	樹脂																													
電源電圧	DC12V																													
リレ定格	電圧 AC100V、DC24V																													
電流	1A																													
定格	電圧 AC100V 50/60Hz																													
消費電力	動作時: 5W 待機時: 1W																													
操作電圧	DC5V																													
使用周囲温度	-10℃~+50℃																													
質量	約530g																													
音圧	警報音: 約90dB (前方1mにて) 報知音: 約65dB (前方1mにて)																													

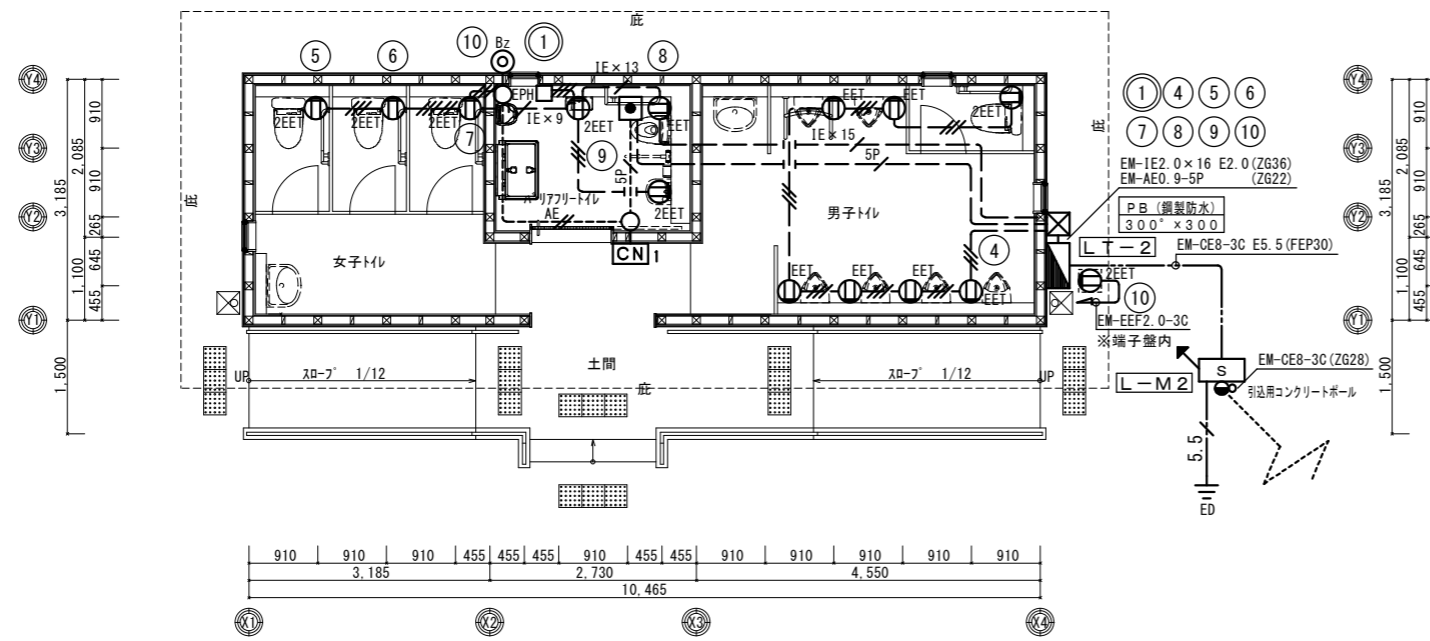


構内柱 参考図 S=NO SCALE

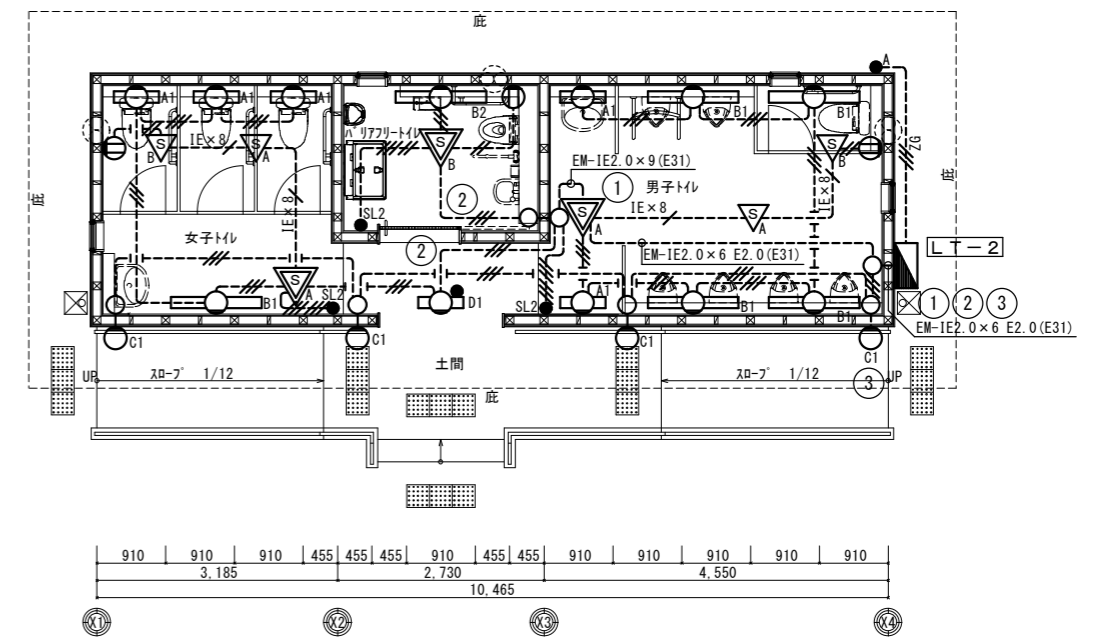


記号	名称	仕様
S	引込開閉器	※分電盤結線図参照
EM	電灯分電盤	※分電盤結線図参照
○	照明器具 (壁取付)	※照明器具参考図参照
□	照明器具 (壁取付)	※照明器具参考図参照
○	照明器具 (ブラケット)	※照明器具参考図参照
▽A	熱線センサー付自動スイッチ (明るさセンサー付)	機種 露出取付カバー共
▽B	熱線センサー付自動スイッチ (明るさセンサー付)	機種 換気扇連動用 露出取付カバー共
▽A	熱線センサー付自動スイッチ	機種 露出取付カバー共
▽B	熱線センサー付自動スイッチ	機種 換気扇連動用 露出取付カバー共
●SL2	同上用操作ユニット	2回路用
●A	自動点滅器	点灯照度調整付
⊗	換気扇類	別途 機械設備工事
⊙	埋込コンセント 新金属P	2P15A×1
⊙EET	埋込コンセント 新金属P	2P15A×1 接地極・接地端子付
⊙2EET	埋込コンセント 新金属P	2P15A×2 接地極・接地端子付
⊙CN1	呼出表示器 (1窓)	※機器参考図参照
⊙	呼出ボタン (引きひも付)	※機器参考図参照
⊙Bz	警報ランプ付プザー	※機器参考図参照
⊙	プルボックス	※ 平面図参照
⊙	ジョイントボックス	O. B プランクカバー付
○	丸形露出ボックス	
---	隠蔽配管配線	
---	床隠蔽 (埋込) 配管配線	
---	露出配管配線	
---	地中埋設配管配線	

注 記		
1. 特記無き配線は下記とする。		
---	EM-1E2.0×2	(E19・塗装共)
---	EM-1E2.0×3	(E19・塗装共)
---	EM-1E2.0×5	(E25・塗装共)
---	EM-1E2.0×6	(E25・塗装共)
---	EM-1E2.0×8	(E31・塗装共)
---	EM-1E2.0×3 (ZG16)	
---	EM-AE0.9-2C	(E19・塗装共)
---	EM-AE0.9-5P	(E25・塗装共)
---	EM-1E2.0×3	(PF16)
---	EM-1E2.0×5	(PF22)
---	EM-1E2.0×11	(PF28)
---	EM-1E2.0×13	(PF28)
---	EM-1E2.0×15	(PF28)
---	EM-AE0.9-5P	(PF22)
2. ケーブルの立上げ及び引下げは適合する電線管で保護すること。		
3. 地中埋設線路の深さはGL-600以上とする		
4. 地中埋設ルートには埋設シートを布設のこと。		



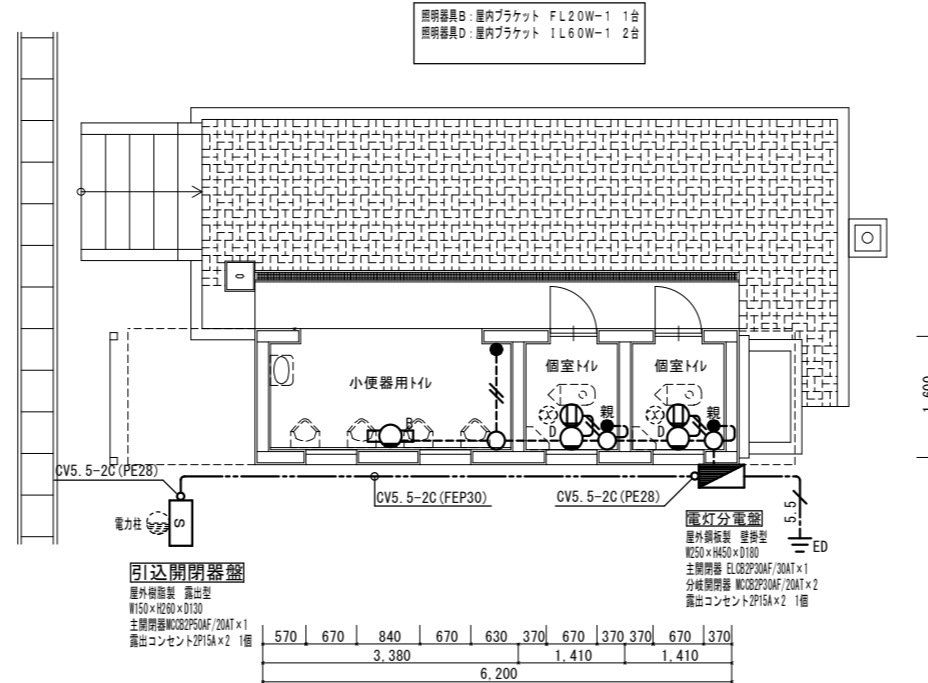
【新築】南側トイレ 幹線・コンセント・情報表示設備 平面図



【新築】南側トイレ 電灯設備 平面図


凡 例		
記号	名称	仕様
□S	引込開閉器盤	※分電盤結線図参照
■	電灯分電盤	※分電盤結線図参照
○	照明器具 (天井取付)	※平面図参照
○	照明器具 (壁取付)	※平面図参照
○	照明器具 (ブラケット)	※平面図参照
●	埋込スイッチ 新金属P	1P15A×1
●親	熱線センサー付自動スイッチ	親機 壁取付型
●子	熱線センサー付自動スイッチ	子機 壁取付型
●A	自動点滅器	
⊙	換気扇類	別途 機械設備工事
⊙	埋込コンセント 新金属P	2P15A×1
○	丸形露出ボックス	
—	隠蔽配管配線	
—	ケーブルころがし配線	
—	床隠蔽 (埋込) 配管配線	
—	露出配管配線	
—	地中埋設配管配線	

注 記		
1. 特記無き配線は下記とする。		
—	VVF1.6-3C	保護管 (PF16)
—	VVF2.0-3C	保護管 (PF22)
—	IV2.0×2	(E19)
—	IV2.0×3	(E19)



【解体】南側トイレ 電気設備 撤去図

※記載の機器、器具類は建物の解体のため全て撤去とする。
 ※記載の配管配線は建物の解体のため全て撤去とする。

章	項目	特記事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14																																																																																																																									
1	機械設備共通事項 工事項目 (機械設備工事) ○印を付したのもの 建物種別及び屋外	<table border="1"> <tr> <th>工事項目</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>屋外</th> </tr> <tr> <td>1 空気調和設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 換気設備</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 排煙設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 自動制御設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 衛生器具設備</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 給水設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>7 排水設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>8 給湯設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 消火設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 ガス設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 厨房機器設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 雨水利用設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 浄化槽設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14 汚濁処理設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15 撤去工事</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>工事項目の分類は、公共建築工事内訳書標準書式(設備工事編)(令和5年版)を標準とする。</p>	工事項目	1	2	3	4	屋外	1 空気調和設備						2 換気設備	○					3 排煙設備						4 自動制御設備						5 衛生器具設備	○					6 給水設備					○	7 排水設備					○	8 給湯設備						9 消火設備						10 ガス設備						11 厨房機器設備						12 雨水利用設備						13 浄化槽設備						14 汚濁処理設備						15 撤去工事	○					16						<ul style="list-style-type: none"> 17 インサート 18 コンクリート貫通 ・はつり・穿孔 19 電動機及び制御盤 20 絶縁継手 21 配管消接部の非破壊検査 	<p>床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。</p> <p>(1) 貫通、はつり又は穿孔する箇所は、事前に金属探知機による鉄筋・埋設物(電線類・配管類)の調査を行うこと。 (2) 金属探知機による調査で判断できなかった場合は、X線内部探査(撮影)等による調査について監督員と協議すること。 (3) 金属探知機及びX線内部探査(撮影)等による調査が困難な場合は、休日等に関係設備を停止し不測の事態を想定した上での施工など、対応方法について監督員と協議の上、施設管理者に報告すること。</p> <p>(1) 電動機の電源周波数は50Hzとする。 (2) 制御盤の仕様は下記のとおりとし、詳細は図面特記による。 ・受注制作品(庫仕様) ※ 既製品 (3) ヒューズ(温度ヒューズも含む)及び表示灯は種別毎に予備品を納入する。 (4) 水中ポンプ付属ケーブルの最小寸法は2.0mm²以上とし、中間接続はしないこと。</p> <p>図示の箇所に設ける。仕様は標準図による。 [標準図-施工3]</p> <p>・ 浸透探傷検査(PT)又は磁粉探傷検査(MT) ・ 放射線透過検査(RT)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="4">室内(調査目標値)</th> </tr> <tr> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>34.8℃</td> <td>52.0%</td> <td>26℃</td> <td>50%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-2.8℃</td> <td>63.6%</td> <td>22℃</td> <td>40%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>空気熱源ヒートポンプユニット及びパッケージ型空気調和機の温度湿度条件はJIS条件による</p> <ul style="list-style-type: none"> 2 冷暖房の能力 3 ばい煙濃度計 4 煙道 5 ダクト工法 6 長方形ダクト工法 7 風量測定口 8 チャンパー等 9 防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー 10 弁類 11 防振継手 12 フレキシブルジョイント 13 伸縮管継手 14 温度計 15 圧力計 16 瞬間流量計及び測定タッピング(32mmピート管流量計用) 17 油面制御装置 18 消音内貼り 19 ファンコイルユニット 20 保温 21 予備品 		外気条件		室内(調査目標値)				温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	夏季	34.8℃	52.0%	26℃	50%	℃	%	冬季	-2.8℃	63.6%	22℃	40%	℃	%	<ul style="list-style-type: none"> 5 1 中央監視制御 <ul style="list-style-type: none"> ・有(・本工事 ・別注電気設備工事) ・無 2 計装用配線 3 屋内キャビネット <p>(第4編 1.5.1) (第4編 1.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6 1 一般事項 <p>機器及び仕様は機器表による 衛生陶器の色は監督員の指示による</p> 2 小便器用節水装置 <p>個別感知フラッシュ方式 (・小便器一体型 ○小便器分離型 (・埋込み ○露出))</p> 3 小便器 <p>・節水Ⅱ形 ・節水Ⅰ形 ・一般形</p> 4 大便器便座 <p>・普通便座 ○暖房便座 暖房便座を設置する場合の、付加機能は次による ○温水洗浄機能(・水道直結給水方式とする 加熱方式(・貯湯式 ○瞬間式)) ・温水乾燥機能 ・脱臭機能 ・暖房機能</p> 5 水栓 <p>・一般水栓 ※節水型水栓</p> 6 自動水栓 <p>(1) 機器表による (2) 自動水栓の電源供給方法 (○ AC100V ・電池式 ・発電式)</p> 7 暖音装置 <p>(1) 機器表による (2) 暖音装置の電源供給方法 (※ AC100V ・電池式)</p> <ul style="list-style-type: none"> 7 1 量水器 <p>(1) 観メーター (○貨物品 ・買い取り) (※直読式 ・パルス式) (2) ゴメーター (・貨物品 ・買い取り) (※直読式 ・パルス式)</p> 2 量水器料 <p>(1) 観メーター用 (○水道事業者の指定品 ・標準図) (2) ゴメーター用 (・水道事業者の指定品 ・標準図)</p> 3 弁類 <p>(1) 水道直結部分はJIS又はJV10Kとする。 (2) その他の部分はJIS又はJV5Kとする。 ただし、特記部分はJIS又はJV10Kとする。</p> 4 引込納付金等 5 緊急遮断弁 <p>・有(・機械式 ・電気式) ・無</p> 6 試験 <p>中水を利用する場合の通水試験は、雑用水系統に着色水を使用して誤接続がないか確認すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 8 1 放流納付金等 <p>○要 (○本工事 ・別注工事) ・不要</p> 2 洗面器等の排水管 <p>洗面器等に直結する排水管の寸法は器具トラップよりワンサイズアップとする</p> 3 満水試験継手 <p>3階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける</p> 4 試験 <p>排水管は、満水試験を行い、衛生器具等の取付完了後に通水試験を行うこと</p> 5 屋外排水樹用ふた <p>・屋外プラスチック樹用塩ビ 県 章: ※無し ・入り おすい、雨水等の標準文字: ※入り ・無し 間 閉 具 納 品: ・1個 ・(個) 特殊文字: ※無し ・有り(図示による)</p> <p>・屋外プラスチック樹用鋳鉄 県 章: ※無し ・入り おすい、雨水等の標準文字: ※入り ・無し 耐 荷 重: ※図示による 構 造: ※ 蝶番ロック式、蝶番穴式、鎖式の区分は、図示による。 間 閉 具 納 品: ・1個 ・(個)</p> <p>・コンクリート樹用鋳鉄製ふた 県 章: ※無し ・入り おすい、雨水等の標準文字: ※入り ・無し 耐 荷 重: ※図示による 間閉用フック(ハンドル)納品: ・1組 ・2組 ・(組)</p> <p>・化粧蓋 ※無し ・有り(仕様、構造等は図示による) 間 閉 具 納 品: ・1組 ・(組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 9 1 弁類 <p>給水設備の当該事項による。(第2編 2.2.1)</p> 2 保温 <p>保温の種類別は、標準仕様書による。(第2編 3.1.5)</p> 3 その他 <p>貯湯式給湯器のオーバーフローはステンレス管にて最寄りの流しに間接排水すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 10 1 屋内消火栓箱 <p>屋内消火栓箱の仕様は以下による ・HB-1A ・HB-1B ・HB-1AT ・HB-1BT ・HB-2A ・HB-2B ・HB-4A ・HB-4B</p> 2 屋外消火栓箱 <p>・塩ビ(1.6mm) ・ステンレス鋼板(厚1.5mm) 屋外消火栓箱の仕様は以下による ・HB-20 ・HB-21</p> 3 保温 <p>保温が必要な場合は図示による。(第2編 3.1.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 11 1 熱調理器の熱源 <p>・都市ガス ・液化石油ガス ・電気</p> 2 厨房機器類 <p>仕様性能等は図示によることとし、機器の寸法は概略寸法とする。(第5編 1.6.1)</p> 3 転倒防止 <p>熱調理器 高さが1.0mを越える厨房機器は、床または壁に固定する。 厨房機器取付作業は標準図による。(第5編 2.2.6) [標準図-施工75]</p> <ul style="list-style-type: none"> 12 1 充てん容器 <p>・別注工事 (・50kg×本 ・kg×本) ・本工事 (・50kg×本 ・kg×本)</p> 2 集合装置 <p>_____本立</p> 3 転倒防止等 <p>(・(a) ・(b)) による。また、容器用固定具は鋼製、滑転重鉛モッキ仕上げとし、鎖はステンレス製とする</p> 4 ガスメーター <p>(1) 観メーター (・貨物品 ・買い取り) (※直読式 ・パルス式) (2) ゴメーター (・貨物品 ・買い取り) (※直読式 ・パルス式)</p> 5 引込負担金等 <p>・要(別途支出) ・不要</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 13 1 処理能力 <p>処理対象人員 人 処理水量 m³/日 流入BOD mg/L</p> 2 型式 <p>・ユニット形 ・現場施工形</p> 3 放流水質性能 <p>BOD mg/L以下 除去率 %以上</p> 4 水質表の提出 <p>完成引渡しの日後に放流水質性能等を記入した水質表を提出すること</p> 5 施工機 <p>処理能力、放流水質、処理方式、施工年月日等を記入したSUS製又は鋼板製のものを設ける</p> <p>※ 受注者が設計仕様に基づき任意に選定する機器類を設置する場合は、電源工事が本工事・別注工事にかかわらず、設置する機器類に対して電源(電圧、電流、閉路容量等)や配線容量が適合していることを確認すること。なお、確認は電源工事施工前に行うこと。また、適合していない場合は、監督員と協議を行うこと。 (設計段階における機器類の電源容量等は、想定機器から求めたものであり、受注者が選定する機種によっては、電源容量等の不足が生じる場合があることから、確認を要するものである。)</p> <p>※ 雷保護設備がある建築物の屋上等に機器類を設置する場合は、雷保護領域内に納まることを確認すること。また、雷保護設備がない建築物でも屋上等に機器類を設置することにより、雷保護設備が必要になる場合があるので、確認すること。確認の結果、雷保護領域内に納まらない場合や新たに雷保護設備が必要になる場合は、監督員と協議すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4 1 ダクト <p>・ 重鉛鉄板 ・ 普通鋼板(厚1.6mm以上) (第3編 2.2.4)</p> 2 排煙口の形式 <p>・ スリット形 ・ パネル形</p> 3 排煙口開放装置 <p>・ ワイヤード ・ 電気式(遠隔操作機能) ・ 要 ・ 不要 (第3編 1.15.5)</p> 4 排煙風量測定 <p>建築設備定期検査業務標準書(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる</p>
			工事項目	1	2	3	4	屋外																																																																																																																																	
1 空気調和設備																																																																																																																																									
2 換気設備	○																																																																																																																																								
3 排煙設備																																																																																																																																									
4 自動制御設備																																																																																																																																									
5 衛生器具設備	○																																																																																																																																								
6 給水設備					○																																																																																																																																				
7 排水設備					○																																																																																																																																				
8 給湯設備																																																																																																																																									
9 消火設備																																																																																																																																									
10 ガス設備																																																																																																																																									
11 厨房機器設備																																																																																																																																									
12 雨水利用設備																																																																																																																																									
13 浄化槽設備																																																																																																																																									
14 汚濁処理設備																																																																																																																																									
15 撤去工事	○																																																																																																																																								
16																																																																																																																																									
	外気条件		室内(調査目標値)																																																																																																																																						
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)																																																																																																																																			
夏季	34.8℃	52.0%	26℃	50%	℃	%																																																																																																																																			
冬季	-2.8℃	63.6%	22℃	40%	℃	%																																																																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">特記事項</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 機器等の配置</td> <td>設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 機材</td> <td>本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は同等以上のものとする。 ただし、同等以上のものとする場合は、監督員の承認を受ける。 [県:第1編 1.5.1] [県:第5編 1.1.4]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 機材、施工の試験</td> <td>共通仕様書の各項の試験によるほか、「機械設備工事試験内容一覧表」による。 [県:第1編 1.5.3]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 耐震施工</td> <td>(1) 耐震施工は、「福島県建築設備耐震・対津波計画指針(福島県土木部制定)」及び、「建築設備耐震設計・施工指針(一財)日本建築センター」による。 (2) 本工事施設の耐震安全性の分類は下記による。 ・ 特定の施設 (・ 甲種1 ・ 甲種2 ・ 乙種1 ・ 乙種2) ○ 一般の施設 (その他) (3) 設備機器の設計用標準水平震度(K_e)は、下表による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="4">耐震安全性の分類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <td></td> <th>甲種1,2及び乙種1,2</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震クラス</td> <td>耐震クラスS</td> <td>耐震クラスA</td> <td>耐震クラスB</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.4 (0.6)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注:(・)内の値は地階および1階(あるいは地表)に設置する水櫃の場合に適用する</p> <p>※ 上層階の定義は次にによる</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物階数</th> <th>上層階</th> <th>建物階数</th> <th>上層階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2~6階建</td> <td>最上階</td> <td>10~12階建</td> <td>上層3階</td> </tr> <tr> <td>7~9階建</td> <td>上層2階</td> <td>13階建</td> <td>上層4階</td> </tr> </tbody> </table> <p>【重要機器】 ・ 高置水櫃 ・ 受水槽 () () ・ 空気調和機 ・ 厨房機器 () () ・ ボイラー ・ 冷却塔 () ()</p> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 建物導入部の変位吸収</td> <td>・ 図示の箇所に変位吸収配管を施工する。要領は標準図による。 [標準図-施工4.5.6] 対象配管 ○ 給水管 ・ 消火管 ・ ガス管 ・ 排水管 (第2編 2.4.1) 施工方法 ○ フレキシブルジョイント ・ ボールジョイント ・ スリクッション</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 建物EXPJの変位吸収</td> <td>・ 建築エキスパンジョイント部の配管要領は標準図による。 [標準図-施工7.8] 対象配管 ・ 給水管 ・ 消火管 ・ ガス管 ・ 排水管 (第2編 2.4.1) 施工方法 ・ フレキシブルジョイント ・ ボールジョイント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 工事用電力、水、その他</td> <td>本工事に必要な工事用電力、水などの費用及び官公庁への手続きなどの費用は、受注者の負担とする。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 埋戻し土</td> <td>土中埋設配管の埋戻し土 ※ 掘切り土中の良質土 () () 配管保護部の埋戻し土 ※ 山砂 () () (第2編 4.2.1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 総合調整</td> <td>各機器の個別試験後に下記の総合調整を行い、測定表を監督員に提出する。 [第1編 1.5.6~1.5.7] ・ 飲料水の水質の測定 ○ 風量調整 ○ 水量調整 ・ 室内空気質の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 機器の絶縁抵抗測定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 試運転調整</td> <td>試運転に係る費用は、受注者の負担とする。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 自動制御装置、現場盤</td> <td>中央監視制御装置のシステム構成上必要とされる機能は追従すること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 運転燃料</td> <td>納入する (種別) (t) (kg) ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 スリーブ</td> <td>水密を要する部分には、つば付き鋼管製を使用する。 (第2編 2.2.7)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14 支持金物・固定金具</td> <td>(1) 屋外機器及び屋外配管に使用する吊り金物、支持金物、固定金物類 ・ ステンレス製(SUS304) ・ 溶接部は溶接部を保護する (2) 屋外機器のアンカーボルトキャップ(樹脂製)を取り付ける。 (3) 振動を伴う機器の固定金具のナットは、ダブルナットとする。 (4) ビット内等多湿箇所の吊り金物、支持金物、固定金物類 ・ 溶融亜鉛めっき ・ 電気亜鉛めっき製 ・ ステンレス製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15 金属管の塗装</td> <td>(1) 下記箇所に使用する金属管には塗装を施す。 ・ 屋外 ・ 居室 ・ 機械室 ・ 共同溝内</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16 あと施工アンカー</td> <td>アンカーは原則として先付け工法とす。やむを得ない場合は監督員と協議の上、下記のとおり施工アンカーを使用する。特に重量物を吊る場合のあと施工アンカーについては、アンカーの選定、鉄筋や電線管等に干渉しないことの事前確認方法、及び作業員について協議すること。 (1) あと施工アンカー ・ 接着系アンカー(有機系) ・ 金属筋接着アンカー(打込式) (2) 施工前に計画書を作成し、監督員に提出すること。 (3) 施工確認試験(目視検査、接触検査、打音検査)を全数 (※ 行う ・ 行わない) (4) 引張試験 (・ 行う ※ 行わない) 引張試験本数 (※ 抽出 ・ 全数) () () () () 【引張試験対象設備】 () () () () () () 引張試験を抽出して行う場合は次にによる。 ① 1日に施工されたものの各径、各仕様ごとを1ロットとし、1ロットに対し3本を行う。 ただし、1日で同一径のもの複数枚、複数箇所を施工する場合は、それぞれ行う。 ② ロットの合格判定は、ロットの全ての試験箇所が合格と判定された場合に、当該ロットを合格とする。 ③ 不合格ロットは、残り全数に対して試験を行う。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	特記事項		1	2	1 機器等の配置	設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする		2 機材	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は同等以上のものとする。 ただし、同等以上のものとする場合は、監督員の承認を受ける。 [県:第1編 1.5.1] [県:第5編 1.1.4]		3 機材、施工の試験	共通仕様書の各項の試験によるほか、「機械設備工事試験内容一覧表」による。 [県:第1編 1.5.3]		4 耐震施工	(1) 耐震施工は、「福島県建築設備耐震・対津波計画指針(福島県土木部制定)」及び、「建築設備耐震設計・施工指針(一財)日本建築センター」による。 (2) 本工事施設の耐震安全性の分類は下記による。 ・ 特定の施設 (・ 甲種1 ・ 甲種2 ・ 乙種1 ・ 乙種2) ○ 一般の施設 (その他) (3) 設備機器の設計用標準水平震度(K _e)は、下表による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="4">耐震安全性の分類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <td></td> <th>甲種1,2及び乙種1,2</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震クラス</td> <td>耐震クラスS</td> <td>耐震クラスA</td> <td>耐震クラスB</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.4 (0.6)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注:(・)内の値は地階および1階(あるいは地表)に設置する水櫃の場合に適用する</p> <p>※ 上層階の定義は次にによる</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物階数</th> <th>上層階</th> <th>建物階数</th> <th>上層階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2~6階建</td> <td>最上階</td> <td>10~12階建</td> <td>上層3階</td> </tr> <tr> <td>7~9階建</td> <td>上層2階</td> <td>13階建</td> <td>上層4階</td> </tr> </tbody> </table> <p>【重要機器】 ・ 高置水櫃 ・ 受水槽 () () ・ 空気調和機 ・ 厨房機器 () () ・ ボイラー ・ 冷却塔 () ()</p>	設置場所	耐震安全性の分類				特定の施設		一般の施設			甲種1,2及び乙種1,2	重要機器	一般機器	その他	耐震クラス	耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB		上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.0		中間階	1.5	1.0	0.6		1階及び地下階	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)		建物階数	上層階	建物階数	上層階	2~6階建	最上階	10~12階建	上層3階	7~9階建	上層2階	13階建	上層4階		5 建物導入部の変位吸収	・ 図示の箇所に変位吸収配管を施工する。要領は標準図による。 [標準図-施工4.5.6] 対象配管 ○ 給水管 ・ 消火管 ・ ガス管 ・ 排水管 (第2編 2.4.1) 施工方法 ○ フレキシブルジョイント ・ ボールジョイント ・ スリクッション		6 建物EXPJの変位吸収	・ 建築エキスパンジョイント部の配管要領は標準図による。 [標準図-施工7.8] 対象配管 ・ 給水管 ・ 消火管 ・ ガス管 ・ 排水管 (第2編 2.4.1) 施工方法 ・ フレキシブルジョイント ・ ボールジョイント		7 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用及び官公庁への手続きなどの費用は、受注者の負担とする。		8 埋戻し土	土中埋設配管の埋戻し土 ※ 掘切り土中の良質土 () () 配管保護部の埋戻し土 ※ 山砂 () () (第2編 4.2.1)		9 総合調整	各機器の個別試験後に下記の総合調整を行い、測定表を監督員に提出する。 [第1編 1.5.6~1.5.7] ・ 飲料水の水質の測定 ○ 風量調整 ○ 水量調整 ・ 室内空気質の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 機器の絶縁抵抗測定		10 試運転調整	試運転に係る費用は、受注者の負担とする。		11 自動制御装置、現場盤	中央監視制御装置のシステム構成上必要とされる機能は追従すること。		12 運転燃料	納入する (種別) (t) (kg) ()		13 スリーブ	水密を要する部分には、つば付き鋼管製を使用する。 (第2編 2.2.7)		14 支持金物・固定金具	(1) 屋外機器及び屋外配管に使用する吊り金物、支持金物、固定金物類 ・ ステンレス製(SUS304) ・ 溶接部は溶接部を保護する (2) 屋外機器のアンカーボルトキャップ(樹脂製)を取り付ける。 (3) 振動を伴う機器の固定金具のナットは、ダブルナットとする。 (4) ビット内等多湿箇所の吊り金物、支持金物、固定金物類 ・ 溶融亜鉛めっき ・ 電気亜鉛めっき製 ・ ステンレス製		15 金属管の塗装	(1) 下記箇所に使用する金属管には塗装を施す。 ・ 屋外 ・ 居室 ・ 機械室 ・ 共同溝内		16 あと施工アンカー	アンカーは原則として先付け工法とす。やむを得ない場合は監督員と協議の上、下記のとおり施工アンカーを使用する。特に重量物を吊る場合のあと施工アンカーについては、アンカーの選定、鉄筋や電線管等に干渉しないことの事前確認方法、及び作業員について協議すること。 (1) あと施工アンカー ・ 接着系アンカー(有機系) ・ 金属筋接着アンカー(打込式) (2) 施工前に計画書を作成し、監督員に提出すること。 (3) 施工確認試験(目視検査、接触検査、打音検査)を全数 (※ 行う ・ 行わない) (4) 引張試験 (・ 行う ※ 行わない) 引張試験本数 (※ 抽出 ・ 全数) () () () () 【引張試験対象設備】 () () () () () () 引張試験を抽出して行う場合は次にによる。 ① 1日に施工されたものの各径、各仕様ごとを1ロットとし、1ロットに対し3本を行う。 ただし、1日で同一径のもの複数枚、複数箇所を施工する場合は、それぞれ行う。 ② ロットの合格判定は、ロットの全ての試験箇所が合格と判定された場合に、当該ロットを合格とする。 ③ 不合格ロットは、残り全数に対して試験を行う。		<p>設計者</p> <p>承認</p> <p>設計部</p> <p>月日</p> <p>縮尺</p> <p>工事名</p> <p>図面名</p> <p>No.</p>																																				
項目	特記事項																																																																																																																																								
	1	2																																																																																																																																							
1 機器等の配置	設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする																																																																																																																																								
2 機材	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は同等以上のものとする。 ただし、同等以上のものとする場合は、監督員の承認を受ける。 [県:第1編 1.5.1] [県:第5編 1.1.4]																																																																																																																																								
3 機材、施工の試験	共通仕様書の各項の試験によるほか、「機械設備工事試験内容一覧表」による。 [県:第1編 1.5.3]																																																																																																																																								
4 耐震施工	(1) 耐震施工は、「福島県建築設備耐震・対津波計画指針(福島県土木部制定)」及び、「建築設備耐震設計・施工指針(一財)日本建築センター」による。 (2) 本工事施設の耐震安全性の分類は下記による。 ・ 特定の施設 (・ 甲種1 ・ 甲種2 ・ 乙種1 ・ 乙種2) ○ 一般の施設 (その他) (3) 設備機器の設計用標準水平震度(K _e)は、下表による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="4">耐震安全性の分類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <td></td> <th>甲種1,2及び乙種1,2</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震クラス</td> <td>耐震クラスS</td> <td>耐震クラスA</td> <td>耐震クラスB</td> <td></td> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.4 (0.6)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注:(・)内の値は地階および1階(あるいは地表)に設置する水櫃の場合に適用する</p> <p>※ 上層階の定義は次にによる</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物階数</th> <th>上層階</th> <th>建物階数</th> <th>上層階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2~6階建</td> <td>最上階</td> <td>10~12階建</td> <td>上層3階</td> </tr> <tr> <td>7~9階建</td> <td>上層2階</td> <td>13階建</td> <td>上層4階</td> </tr> </tbody> </table> <p>【重要機器】 ・ 高置水櫃 ・ 受水槽 () () ・ 空気調和機 ・ 厨房機器 () () ・ ボイラー ・ 冷却塔 () ()</p>	設置場所	耐震安全性の分類				特定の施設		一般の施設			甲種1,2及び乙種1,2	重要機器	一般機器	その他	耐震クラス	耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB		上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.0		中間階	1.5	1.0	0.6		1階及び地下階	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)		建物階数	上層階	建物階数	上層階	2~6階建	最上階	10~12階建	上層3階	7~9階建	上層2階	13階建	上層4階																																																																																										
設置場所	耐震安全性の分類																																																																																																																																								
	特定の施設		一般の施設																																																																																																																																						
	甲種1,2及び乙種1,2	重要機器	一般機器	その他																																																																																																																																					
耐震クラス	耐震クラスS	耐震クラスA	耐震クラスB																																																																																																																																						
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.0																																																																																																																																						
中間階	1.5	1.0	0.6																																																																																																																																						
1階及び地下階	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																																																																																																																																						
建物階数	上層階	建物階数	上層階																																																																																																																																						
2~6階建	最上階	10~12階建	上層3階																																																																																																																																						
7~9階建	上層2階	13階建	上層4階																																																																																																																																						
5 建物導入部の変位吸収	・ 図示の箇所に変位吸収配管を施工する。要領は標準図による。 [標準図-施工4.5.6] 対象配管 ○ 給水管 ・ 消火管 ・ ガス管 ・ 排水管 (第2編 2.4.1) 施工方法 ○ フレキシブルジョイント ・ ボールジョイント ・ スリクッション																																																																																																																																								
6 建物EXPJの変位吸収	・ 建築エキスパンジョイント部の配管要領は標準図による。 [標準図-施工7.8] 対象配管 ・ 給水管 ・ 消火管 ・ ガス管 ・ 排水管 (第2編 2.4.1) 施工方法 ・ フレキシブルジョイント ・ ボールジョイント																																																																																																																																								
7 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用及び官公庁への手続きなどの費用は、受注者の負担とする。																																																																																																																																								
8 埋戻し土	土中埋設配管の埋戻し土 ※ 掘切り土中の良質土 () () 配管保護部の埋戻し土 ※ 山砂 () () (第2編 4.2.1)																																																																																																																																								
9 総合調整	各機器の個別試験後に下記の総合調整を行い、測定表を監督員に提出する。 [第1編 1.5.6~1.5.7] ・ 飲料水の水質の測定 ○ 風量調整 ○ 水量調整 ・ 室内空気質の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ 機器の絶縁抵抗測定																																																																																																																																								
10 試運転調整	試運転に係る費用は、受注者の負担とする。																																																																																																																																								
11 自動制御装置、現場盤	中央監視制御装置のシステム構成上必要とされる機能は追従すること。																																																																																																																																								
12 運転燃料	納入する (種別) (t) (kg) ()																																																																																																																																								
13 スリーブ	水密を要する部分には、つば付き鋼管製を使用する。 (第2編 2.2.7)																																																																																																																																								
14 支持金物・固定金具	(1) 屋外機器及び屋外配管に使用する吊り金物、支持金物、固定金物類 ・ ステンレス製(SUS304) ・ 溶接部は溶接部を保護する (2) 屋外機器のアンカーボルトキャップ(樹脂製)を取り付ける。 (3) 振動を伴う機器の固定金具のナットは、ダブルナットとする。 (4) ビット内等多湿箇所の吊り金物、支持金物、固定金物類 ・ 溶融亜鉛めっき ・ 電気亜鉛めっき製 ・ ステンレス製																																																																																																																																								
15 金属管の塗装	(1) 下記箇所に使用する金属管には塗装を施す。 ・ 屋外 ・ 居室 ・ 機械室 ・ 共同溝内																																																																																																																																								
16 あと施工アンカー	アンカーは原則として先付け工法とす。やむを得ない場合は監督員と協議の上、下記のとおり施工アンカーを使用する。特に重量物を吊る場合のあと施工アンカーについては、アンカーの選定、鉄筋や電線管等に干渉しないことの事前確認方法、及び作業員について協議すること。 (1) あと施工アンカー ・ 接着系アンカー(有機系) ・ 金属筋接着アンカー(打込式) (2) 施工前に計画書を作成し、監督員に提出すること。 (3) 施工確認試験(目視検査、接触検査、打音検査)を全数 (※ 行う ・ 行わない) (4) 引張試験 (・ 行う ※ 行わない) 引張試験本数 (※ 抽出 ・ 全数) () () () () 【引張試験対象設備】 () () () () () () 引張試験を抽出して行う場合は次にによる。 ① 1日に施工されたものの各径、各仕様ごとを1ロットとし、1ロットに対し3本を行う。 ただし、1日で同一径のもの複数枚、複数箇所を施工する場合は、それぞれ行う。 ② ロットの合格判定は、ロットの全ての試験箇所が合格と判定された場合に、当該ロットを合格とする。 ③ 不合格ロットは、残り全数に対して試験を行う。																																																																																																																																								
記事		<p>仙台市青葉区一番町三丁目3番16号 オー・エックス芭蕉の辻ビル TEL (022) 224-1207</p>	<p>一級建築士事務所 宮城県知事 登録 第23110182号 板垣 俊也 登録 第 207908号</p>	<p>R8.3</p> <p>A1= N S A3= N S</p> <p>令和7年度 雲雀ヶ原祭場地内公衆トイレ建替工事</p> <p>機械設備工事特記仕様書</p> <p>M-01</p>																																																																																																																																					

1. 給排水・衛生・暖冷房・空調設備

項目	試験時期	配管途中	隠ぺい前	埋戻し前	配管終了後	試験方法	試験値及び試験内容			最小保持時間	備考
							管種	初圧	60分後		
○1		○	○	○	○	水圧試験	1. 75MPa以上			60分	水道事業者の試験圧力の規定がある場合はそれによる。
・2		○	○	○	○	水圧試験	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍(ただし、最小0.75MPa)			60分	
・3		○	○	○	○	水圧試験	静水頭に相当する圧力の2倍(ただし、最小0.75MPa)			60分	
・4		○	○	○	○	水圧試験	上記1、2、3に準ずる。			60分	
・5		○	○		○	水圧試験	管種	初圧	60分後	60分後に規定の圧力以下の場合には再試験を行う。再試験は、共通仕様書による。 [注]継手部分の漏水の有無を目視確認する。	30分 15分
		架橋ポリエチレン管		0.75MPa	0.45MPa以上						
		ポリブテン管		0.75MPa	0.55MPa以上						
○6	排水管(屋外埋設管以外)		○	○	○	満水試験				30分	
	排水管(屋外埋設管)				○	煙試験	刺激性の濃煙 250Pa			15分	
・7	排水ポンプ吐出管				○	水圧試験	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍(ただし、最小0.75MPa)			60分	
・8	各消火ポンプに連結される消火配管		○	○	○	水圧試験	当該ポンプの締切圧力の1.5倍			60分	
・9	各種送水口に連結される消火配管		○	○	○	水圧試験	配管の設計送水圧力の7倍又は、75MPaのいずれか大なる圧力(7と兼用兼用される配管は7又は8のいずれか大なる圧力)			60分	連結送水管送水口等
・10	不活性ガス消火配管		○		○	気密試験(空気又は窒素)	貯蔵容器から選択弁までは10.8MPa 選択弁から噴射ヘッドまでは最高使用圧力(選択弁を設けない場合、貯蔵容器から噴射ヘッドまで最高使用圧力)			10分	
・11	粉末消火配管				○	気密試験(空気又は窒素)	貯蔵容器から選択弁までは2.5MPa 選択弁から噴射ヘッドまでは最高使用圧力(選択弁を設けない場合、貯蔵容器から噴射ヘッドまで最高使用圧力)			10分	
・12	冷温水、冷却水配管		○		○	水圧試験	最高使用圧力の1.5倍(ただし、最小0.75MPa)			30分	
・13	蒸気配管、高温水管		○	○	○	水圧試験	最高使用圧力の2.0倍(ただし、最小0.2MPa)			30分	
・14	油 管	○	○	○	○	空気圧試験	最大常用圧力の1.5倍			30分	
・15	冷 媒 配 管		○		○	気密試験(空気又は不燃性ガス)	冷媒ガスの種類	気密試験圧力		外部に発泡液を塗布して漏れのない事。その後24時間放置して漏れのない事。	周囲温度変化による圧力変化の補正を行う。
							R22	工事管理指針による			
R134a											
R407C											
R410A											
[注](1)試験に使用するガスは、窒素ガス、炭酸ガス又は乾燥空気とする。 (2)試験終了後、ガスをバージし、真空乾燥を行う。絶対圧力が-0.1MPa以下になってからさらに5分以上真空引きし、密閉放置して漏れのないことを確かめる。 (3)配管に冷媒を充填し、運転開始後にガス検知器を使用して配管の接続部を点検し、冷媒の漏洩のないことを確認する。 (4)屋内機と屋外機の連絡配線は、施工後、絶縁抵抗試験、動作試験を行う。											
・16	住宅用暖房配管				○	水圧試験	住戸内 0.15MPa(ただし、温水コンセント接続後は0.1MPa) 住戸内以外 静水頭に相当する圧力の2倍(ただし、最小0.75MPa)			30分	
○17	通 水 試 験				○	通水試験	・給水設備～水栓器具等取付後、各々全開又は作動させ、吐出水が清澄となるまで行う。 また、飲料水配管の場合は、末端において、遊離残留塩素濃度が0.2ppm検出されるまで消毒を行う。 排水設備～衛生器具等取付後、行う。 ～空調用ドレン管にも適用する。 ・通水試験後、衛生器具等の水量調整を行う。 ・給湯設備～給水設備に準ずる。				
・18	水 質 試 験					簡易試験(9項目)	塩素イオン、有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)一般細菌並びに大腸菌群、PH値、臭気、味、色度、濁度				福島県給水施設等条例並びに(各)市町村給水施設等条例
・19	ポ ン プ				据付完了後	水圧試験	最高吐出圧力(運転範囲における最高全揚程+最高押込み圧力)の1.5倍(ただし、最小0.4MPa)			3分	給水設備、排水設備、給湯設備、空気調和設備各種ポンプ
・20	塩 素 滅 菌 装 置				据付完了後	動作試験	注入及び停止をそれぞれ手動、自動運転で10回以上行い、異常の有無を検査する。				
・21	水 槽 類				○	満水試験	満水状態で12時間以上放置し、漏水の有無を検査する。飲料用の場合は、次亜塩素酸ソーダ溶液等により消毒を行う。			12時間	

1. 給排水・衛生・暖冷房・空調設備

項目	試験時期	配管途中	隠ぺい前	埋戻し前	配管終了後	試験方法	試験値及び試験内容			最小保持時間	備考	
							管種	初圧	60分後			
・22	鋼製ボイラー					据付完了後	水圧試験	・最高使用圧力が0.42MPa以下のものは、最高使用圧力の2倍(ただし、最小0.2MPa) ・最高使用圧力が0.42MPaを超え1.5MPa以下のものは、最高使用圧力の1.3倍に0.3MPaを加えた圧力 ・最高使用圧力以上の圧力を受けるおそれのない温水ボイラーは、最高使用圧力に0.1MPaを加えた圧力(ただし、最小0.2MPa)				
・23	鑄鉄製ボイラー					据付完了後	水圧試験	・蒸気ボイラーは、0.2MPa ・温水ボイラーは、最高使用圧力の1.5倍(ただし、最小0.2MPa) ・セクションは、最高使用圧力が0.2MPa以下のボイラーは0.4MPa、最高使用圧力が0.2MPaを超えるボイラーは最高使用圧力の2倍				
・24	真空式温水発生機					○	気密試験	窒素ガス又はヘリウムガスによる漏れ試験とし、漏れ量は2.03Pa・mL/sec(大気圧換算値)以下				
・25	無圧式温水発生機					○	満水試験				30分	
・26	鑄鉄製温水発生機					○	水圧試験	セクションの試験圧は0.6MPa			10分	
・27	温水発生機に組込む熱交換器					○	水圧試験	最高使用圧力に0.1MPaを加えた圧力(ただし、最小0.2MPa)				
・28	冷 凍 機					○	水圧試験	設計圧力の1.5倍				冷水及び冷却水水路
・29	遠 心 冷 凍 機					○	気密試験	真空95kPaとし、真空降下は12時間に対して1時間当たり50Pa以下				運転中の低圧部圧力が大気圧以上となる冷媒を使用するものを除く
・30	吸収冷凍機 直置き吸収冷温水機 小形直置き吸収冷温水機ユニット					○	気密試験	窒素ガス又はヘリウムガスによる漏れ試験とし、漏れ量は2.03Pa・mL/sec(大気圧換算値)以下				
・31	空気調和機の冷水、温水及び蒸気コイル					○	気密及び耐圧試験	空気又は窒素ガス試験とし、試験値は1.0MPa			10分	
・32	ファンコンベクター コンベクター ベースボードヒーター パネルラジエーター					○	気密及び耐圧試験	空気又は窒素ガス試験とし、試験値は最高使用圧力の1.3倍(ただし、最小0.5MPa)				
・33	貯 湯 タ ン ク 熱 交 換 器 ヘ ッ ダ ー					据付完了後	水圧試験	最高使用圧力の1.5倍に温度補正を行った圧力 $P_a = P \times \sigma_n / \sigma_a$ Pa:補正された試験圧力又は気圧試験圧力 P:補正前の試験圧力又は気圧試験圧力 σ_n :試験時の温度における材料の許容引張応力 σ_a :使用温度における材料の許容引張応力				
・34	密閉形隔膜式膨張タンク					据付完了後	水圧又は気密試験	使用圧力の1.3倍以上				
・35	地下オイルタンク					据付完了後	水圧試験	70kPa以上			10分	

2. 浄化槽設備

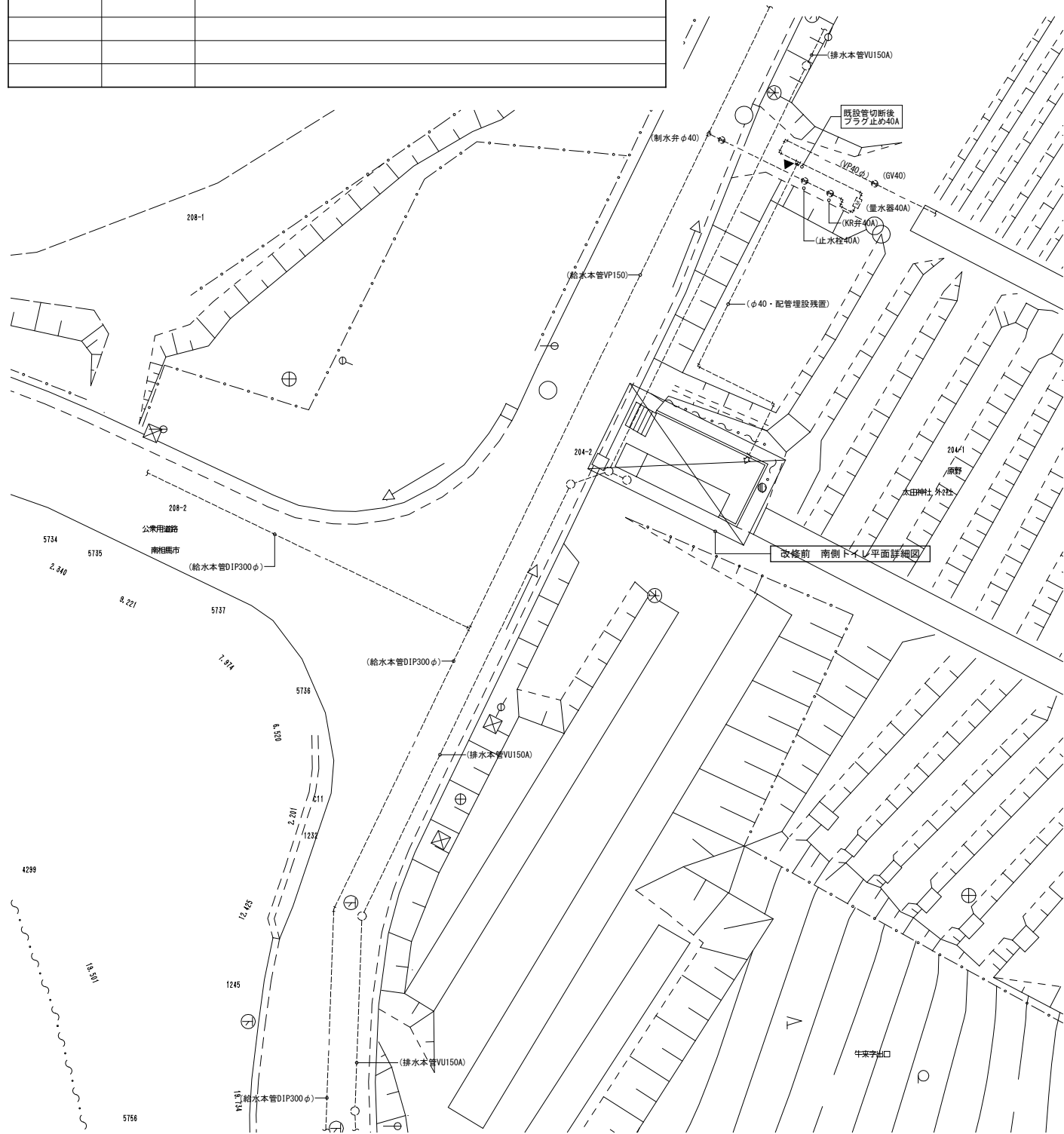
項目	試験時期	配管途中	隠ぺい前	埋戻し前	配管終了後	試験方法	試験値及び試験内容			最小保持時間	備考
							管種	初圧	60分後		
・1	槽 類					満水試験	満水状態で24時間以上放置し、漏水の有無を検査する。			24時間	
・2	汚水管及び汚泥管	○			○	満水試験				30分	
・3	ポンプ吐出管				○	水圧試験	最小圧力0.75MPa			60分	
・4	消 泡 管	○			○	通水試験					
・5	空 気 管	○	○	○	○	気密試験	最高使用圧力の1.1倍			60分	

3. ガス設備

項目	試験時期	配管途中	隠ぺい前	埋戻し前	配管終了後	試験方法	試験値及び試験内容			最小保持時間	備考	
							管種	初圧	60分後			
・1	都 市 ガ ス					○	気密試験 点火試験	最高使用圧力の1.1倍以上 ガスメーター取付後、管内空気を排出して行う。			供給会社規程	ガス事業法に定める技術基準及びガス供給事業者の供給約款
・2	液 化 石 油 ガ ス	○	○	○	○	○	気密試験	不燃性ガス又は不活性ガスを使用し、高圧側1.56MPa、低圧側8.4kPa以上10.0kPa以下			供給管等の内容積	
								10L以下	5分	10L～50L	10分	50L超過
							点火試験	気密試験終了後、管内の空気をガスと入れ替え、指定の圧力に調整された調整器を取付後に行う。				

※水圧・気密・空気圧試験等は、試験中の圧力状態が分かるようにチャート紙に記録することが望ましい。
※本一覧表に記載無き項目は、「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」による。

機械設備 改修前 配管凡例(南側トイレ)			
記号	名称	摘要	要
—	給水管	(一般・土中)硬質塩化ビニル管(VP)	
—	汚水管	(一般・土中)硬質塩化ビニル管(VP)	
—	雑排水管	(一般・土中)硬質塩化ビニル管(VP)	
—	通気管	(一般・土中)硬質塩化ビニル管(VP)	
—	屋外排水管	硬質塩化ビニル管(VP)	



改修前 南側トイレ配置図 S=1/200

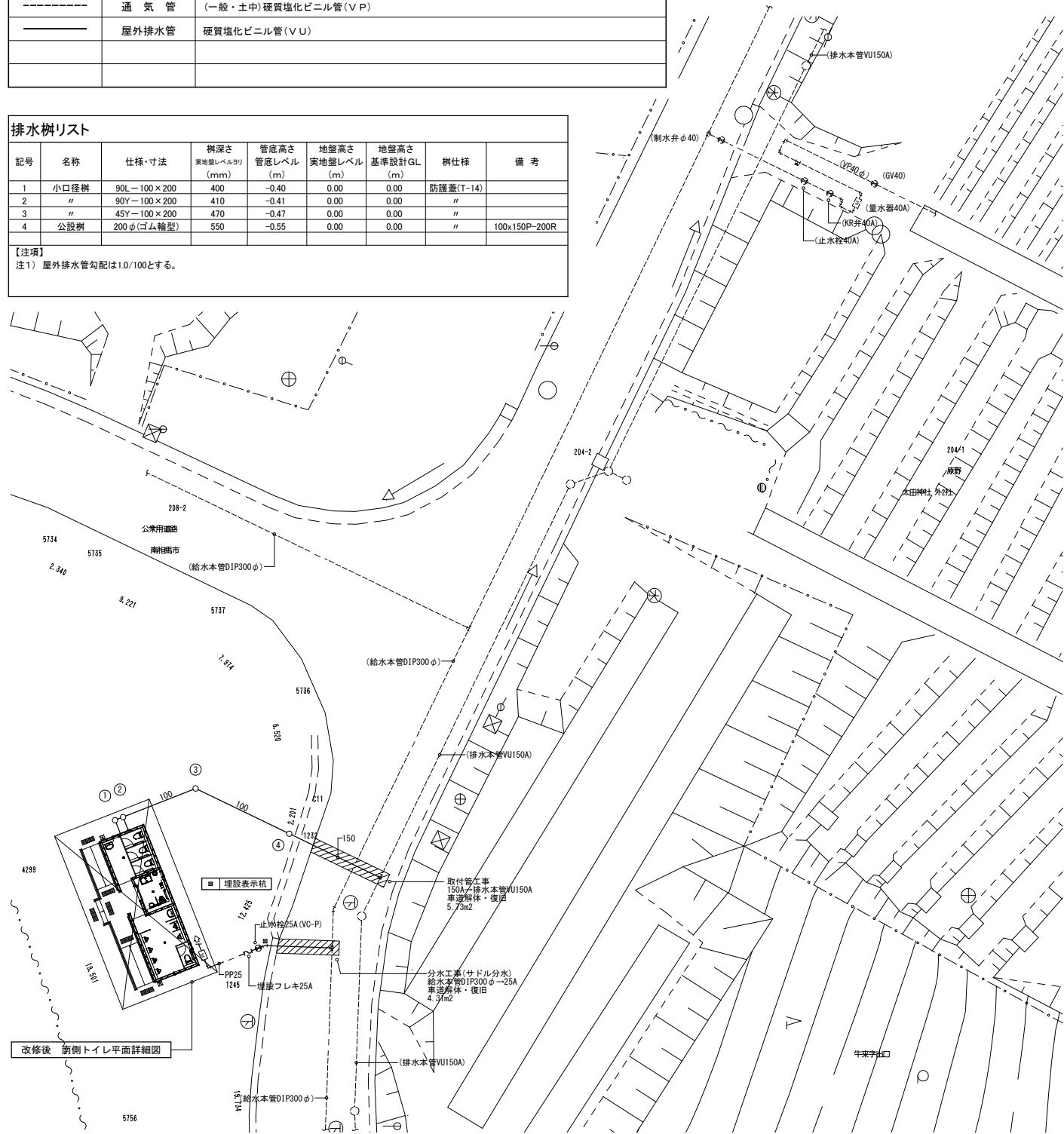
- 特記事項
- ▶印は既設配管の切断部分を示す。
 - は既設残置配管を示す。
 - は撤去配管を示す。



機械設備 改修後 配管凡例(南側トイレ)			
記号	名称	摘要	要
—	給水管	塩ビライニング鋼管(一般・SGP-VB) (土中・SGP-VD)	
—	給水管	水道用ポリエチレン管	
—	給湯管	ステンレス鋼管	
—	汚水管	(一般・土中)硬質塩化ビニル管(VP)	
—	雑排水管	(一般・土中)硬質塩化ビニル管(VP)	
—	通気管	(一般・土中)硬質塩化ビニル管(VP)	
—	屋外排水管	硬質塩化ビニル管(VU)	

排水樹リスト								
記号	名称	仕様・寸法	樹深さ 実地レベルヨリ (mm)	管底高さ 管底レベル (m)	地盤高さ 実地レベル (m)	地盤高さ 基準設計GL (m)	樹仕様	備考
1	小口径樹	90L-100×200	400	-0.40	0.00	0.00	防護蓋(T-14)	
2	"	90Y-100×200	410	-0.41	0.00	0.00	"	
3	"	45Y-100×200	470	-0.47	0.00	0.00	"	
4	公設樹	200φ(ゴム輪型)	550	-0.55	0.00	0.00	"	100×150P-200R

【注項】
注1) 屋外排水管勾配は1.0/100とする。



改修後 南側トイレ配置図 S=1/200

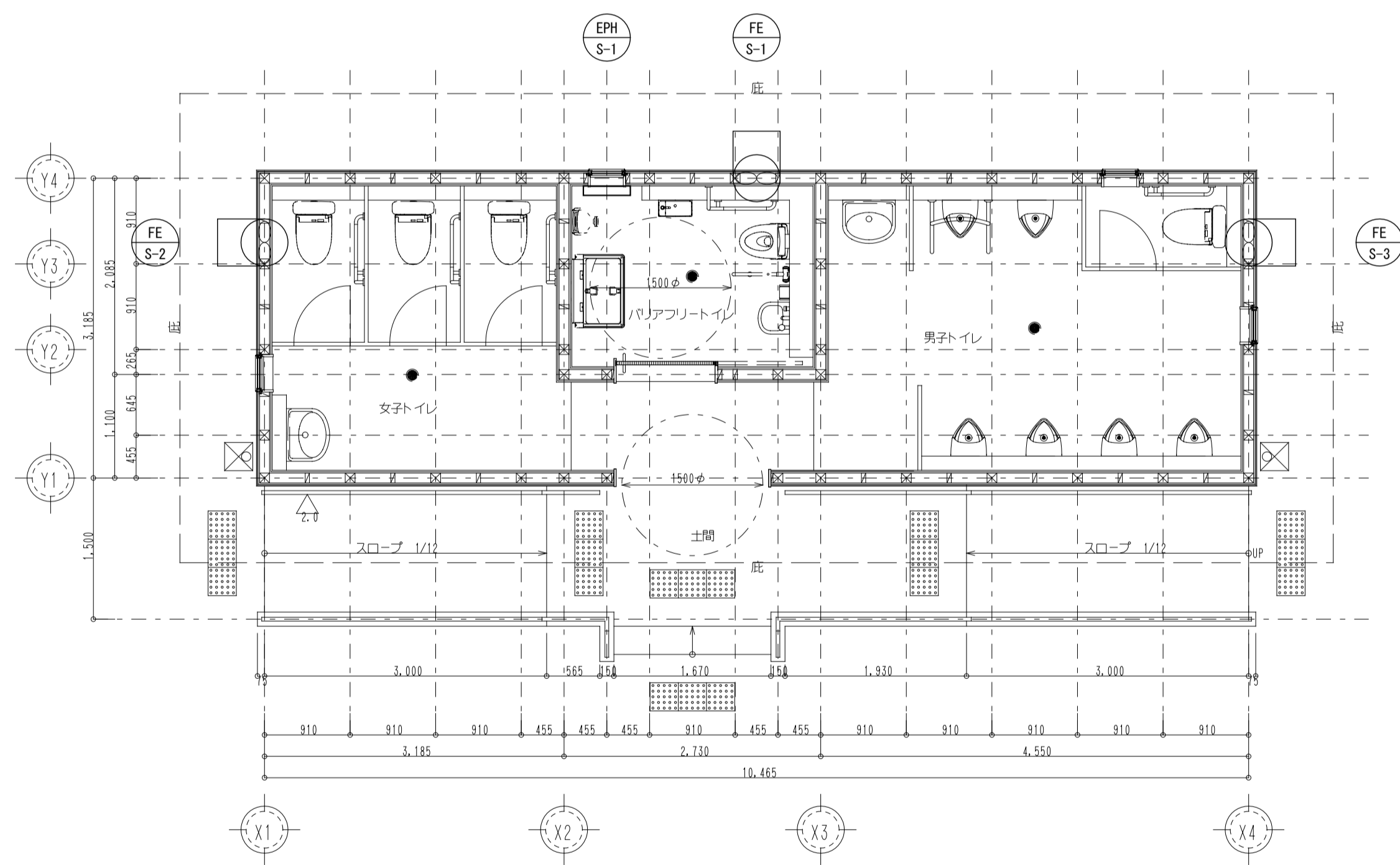
- 特記事項
- ▶印は既設配管の接続部分を示す。
 - は既設残置配管を示す。
 - は改修配管を示す。

注記: AS舗装(市道)
本復旧時、掘削幅+両サイド500mm切断
復旧日から、1ヶ月以上後に本復旧とする。



改修後 空調・換気機器表(南側トイレ) 注記: 換気機器のON/OFFはセンサースイッチとし、電気設備工事とする。

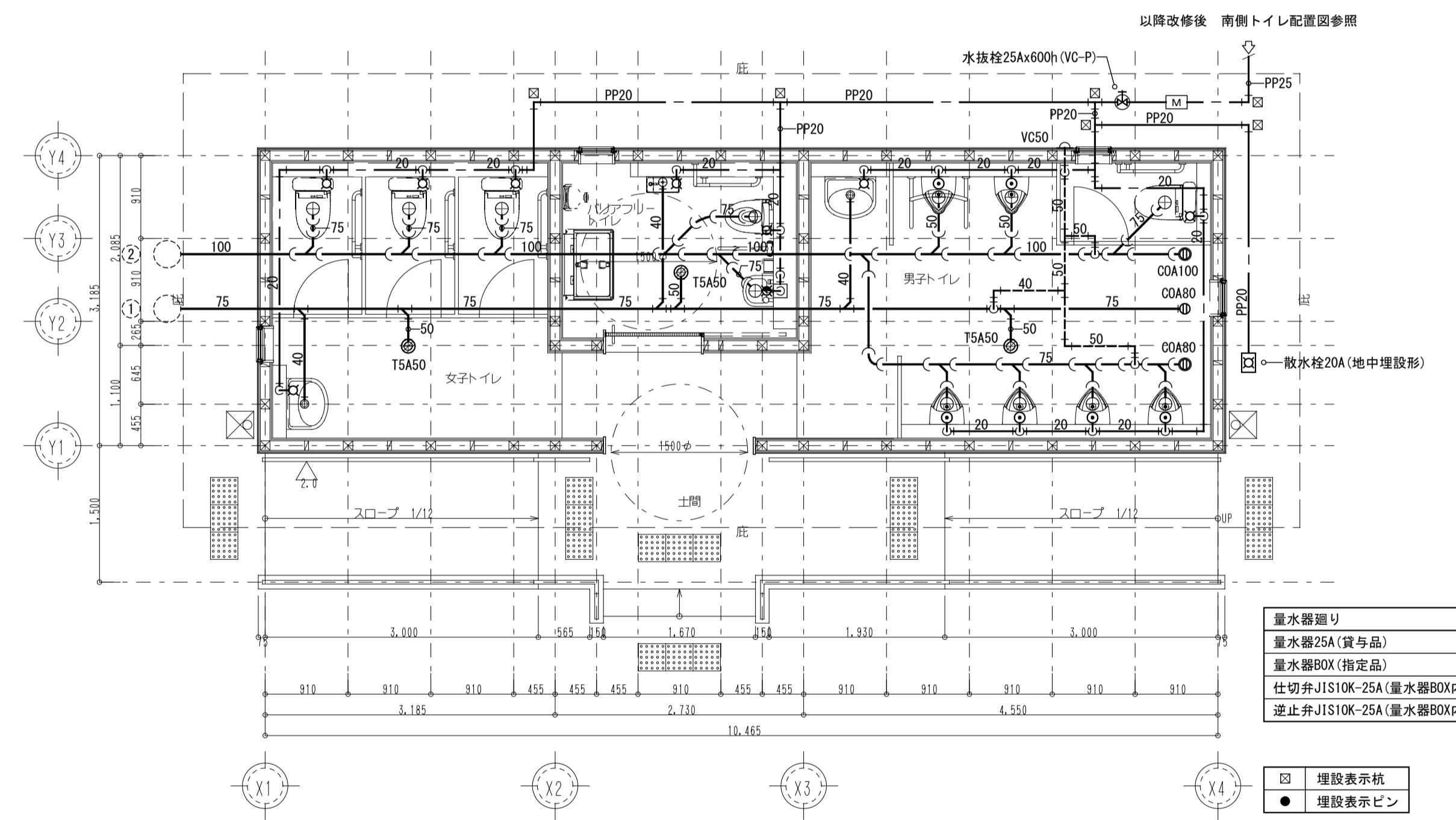
記号	名称	仕様	台数	動力			設置場所	備考
				φ	V	KW		
EPH-S-1	電気パネルヒーター	型式: ステンレス製壁掛形 / 横型 暖房能力: 0.5Kw 付属品: 保護ガード、いたずら防止カバー、他付属品一式	1	1	200	0.5	バリアフリートイレ	NXS-500 相当品 490W x 500H x 70D
FE-S-1	壁用換気扇	型式: 格子タイプ 風量: 20cm x 200m3/h 付属品: 木枠、ステンレス製ウェザーカー(20cm用)、他付属品一式	1	1	100	0.012	バリアフリートイレ	EX-20EK9-C 相当品
FE-S-2	壁用換気扇	型式: 格子タイプ 風量: 20cm x 300m3/h 付属品: 木枠、ステンレス製ウェザーカー(20cm用)、他付属品一式	1	1	100	0.012	女子トイレ	EX-20EK9-C 相当品
FE-S-3	壁用換気扇	型式: 格子タイプ 風量: 20cm x 400m3/h 付属品: 木枠、ステンレス製ウェザーカー(20cm用)、他付属品一式	1	1	100	0.012	男子トイレ	EX-20EK9-C 相当品



空調・換気設備 改修後 南側トイレ平面詳細図 S=1/50

改修後 器具表(南側トイレ)

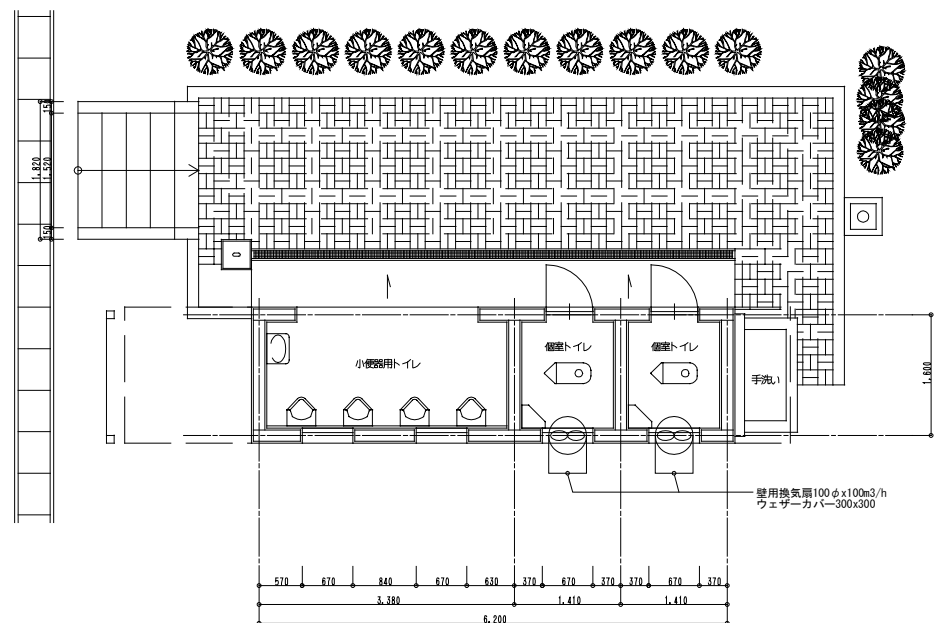
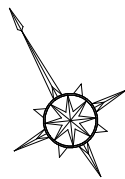
器具名	記号	付属品	消費電力			合計	1階		備考	
			φ	V	W		男子トイレ	バリアフリートイレ		
洋風大便器	CS400BH+SH400BN+TGF4744AK+YH702	HBC-Z30S+DT-Z350N+QW-EA24ADG+CF-63HST	床置床排水大便器(ヒーター付・水抜併用)、密結タンク、洗浄・操作リモコン、洗浄便座(蓋有)瞬間式、棚付二連紙巻器	1	100	1307	4	1	3	便器(ヒーター): 25W タンク(ヒーター): 2W 洗浄便座: 1280W
洋風大便器(バリアフリートイレ用)	CFS498BC-EWC383CR-TGF5841AUPR-YH702	BC-F110SM+DQ-PA150CH+KFC-275T1U+ QW-PC120E-NECK+GF-63HST	掃除口付床置床排水大便器、背もたれ(ソフトタイプ)、洗浄・操作リモコン、洗浄便座(蓋無・金属ベースプレート)瞬間式、棚付二連紙巻器	1	100	1260	1		1	
コンパクトオストメイトバック	UAS81LSB1NW#NW1+UTR141	PTOM-B210S+PTOM-ESCR	電気温水器(3L)おまかせ節電あり、水石けん入れ、停電時洗浄レバー、側板	1	100	600	1		1	
壁掛ハイバック洗面器	LSH125CBR	L-A951A2E	自動水栓、電気温水器(3L)おまかせ節電あり、壁掛排水、水石けん入れ、止水栓、連結管(フレキ管)	1	100	600	1		1	
床置小便器	UFH507CHR+TG600PL	U-321RWH+UF-3JHT	床置小便器(ヒーター付・水抜併用)、押しボタン式フラッシュバルブ(凍結防止用)	1	100	12	6	6		便器(ヒーター): 12W
壁掛洗面器	L250CM+TL19AR+TH752-1R+TS126AR+TL250D	L-176UN+LF-P02B+KF-24F+SF-10E	手動式オートストップ水栓、アダプター、水石けん入れ、バックハンガー、止水栓、排水金具				2	1	1	
化粧鏡	YM4575F	KF-5075A	耐食鏡、450x750				3	1	1	1
フィッティングボード(建築工事)									(1)	(1)
ベビーチェア(建築工事)									(1)	(1)
小便器用手すり(建築工事)									(1)	(1)



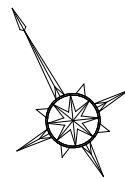
給排水衛生設備 改修後 南側トイレ平面詳細図 S=1/50

注記: トイレ内床下配管は土間配管とする。

- 特記事項
- ▷印は既設配管の接続部分を示す。
 - ()---は既設設置配管を示す。
 - は改修配管を示す。
 - 屋外給水管はGL-600とし埋設シートも見込む。

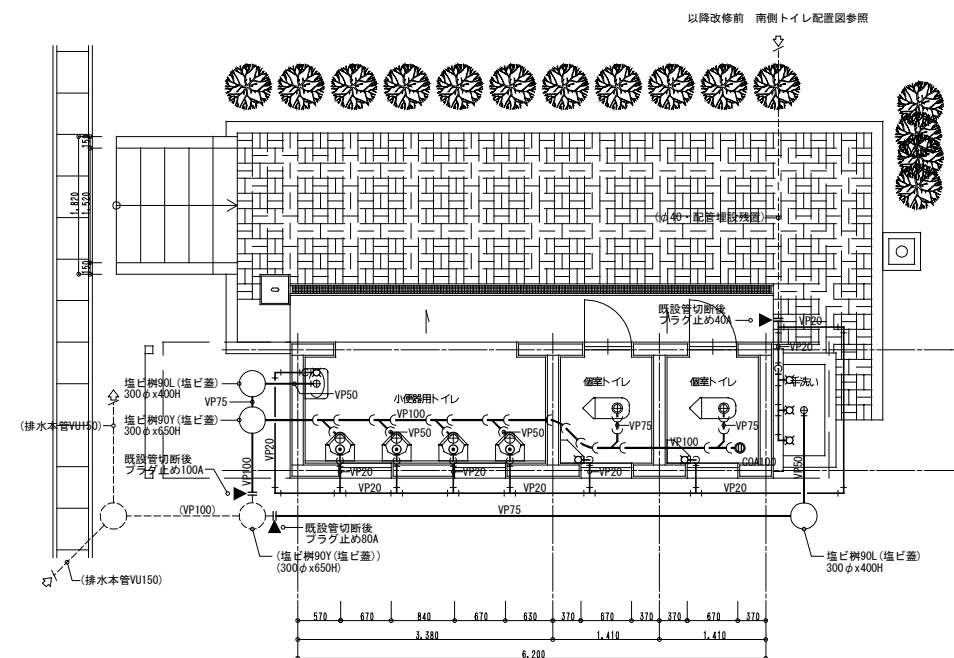


空調和・換気設備 改修前 南側トイレ平面詳細図 S=1/50



撤去 器具表 (南側トイレ)

器具名	記号	合計	1階		備考
			個室トイレ	小便専用トイレ	
和風大便器	C750V0-S670B	2	2		
小便器	U307C-TG60P	4	4		
手洗器	L5D-Sトラップ	1	1		
横水栓		3		3	



給排水衛生設備 改修前 南側トイレ平面詳細図 S=1/50

- 特記事項
- ▶印は既設配管の切断部分を示す。
 - ()---は既設残置配管を示す。
 - は撤去配管を示す。

記事

株式会社 楠山設計

仙台市青葉区一番町三丁目3番16号
オー・エックス芭蕉の辻ビル
TEL (022) 224-1207

一級建築士事務所
宮城県知事 登録 第23110182号
板垣 俊也 登録 第 207908号

設計者	承認	設計部	月日	縮尺	工事名	図面名	No.
			R8. 3	A1=1/50 A3=1/100	令和7年度 震害ヶ原祭場内公衆トイレ建替工事	空調和・換気・給排水衛生設備 改修前 平面詳細図	M-05

見積単価一覧表

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
柱状改良	深層混合処理工法(炎工法) 固化材添加量:300kg/m ³ 水・固化材比:60~80% 設計基準強度:FC600kN/m ² 600φ 掘削長L3400 改良長L2850 34本	1	式	1,160,000	1,160,000	柱状改良 2
土台	桧KD材 無等級 120×120×3000	1	本	5,950	17,850	木造 25
土台	桧KD材 無等級 120×120×4000	1	本	7,920	55,440	木造 26
柱	杉KD材 E70 105×105×3000	1	本	3,470	131,860	木造 27
通し柱	杉KD材 E70 105×105×3000	1	本	3,470	6,940	木造 28
小屋束	杉KD材 E70 105×105×3000	1	本	3,470	20,820	木造 29
梁	杉KD材 E70 105×120×3000	1	本	4,780	14,340	木造 30
梁	杉KD材 E70 105×120×4000	1	本	6,370	101,920	木造 31
梁	杉KD材 E70 105×210×3000	1	本	7,550	22,650	木造 32
登り梁	杉KD材 E70 105×210×4000	1	本	10,100	40,400	木造 33
母屋	杉KD材 E70 105×105×3000	1	本	3,470	48,580	木造 34
垂木	杉KD材 無等級 45×90×3000	1	本	1,540	64,680	木造 35
筋交い	杉KD材 無等級 45×90×3000	1	本	1,540	16,940	木造 36
間柱	杉KD材 無等級 36×105×3000	1	本	1,560	109,200	木造 37
内部天井 構造用合板	針葉樹 特類2級C-D 24×910×1820	1	枚	3,710	89,040	木造 38
野地板 構造用合板	針葉樹 特類2級C-D 12×910×1820	1	枚	1,940	81,480	木造 39
破風・鼻隠し	杉KD材 無等級 24×150×4000	1	枚	1,980	19,800	木造 40
接合金物類	Zマ-ク他	1	m ²	1,680	55,944	木造 41
土台用ア-カ-ボ-ルト	Zマ-ク M12 L400 角座金共	1	本	160	5,920	木造 42
基礎パ-ッキン	KP-L120 キ-ツパ-ッキンロンク t=20	1	m	590	14,868	木造 43
工場加工費	接合部仕口加工	1	m ²	9,350	311,355	木造 44
運搬費	10tトラック 工場~現場	1	台	102,000	102,000	木造 45
現場施工費	建て方 垂木・野地合板・レ-ッカ-含む	1	m ²	23,400	1,429,740	木造 46
水上雨押え 木下地	75×25	1	m	1,760	21,648	造作 12
水下唐草 木下地	75×25	1	m	1,760	21,648	造作 13

ｸﾞﾗﾌﾞ 雨押え 木下地	75×25		1	m	1,760	17,952	造作 14
外壁 構造用合板	t9		1	m ²	3,760	262,448	造作 15
外壁 縦胴縁	15×45 @455		1	m ²	2,240	156,352	造作 16
軒天 木下地	45×45 @455		1	m ²	3,040	77,216	造作 17
壁 木胴縁	15×45 @455		1	m ²	2,240	196,896	造作 18
ﾗｲﾝﾝｸﾞ 腰壁 木下地	W150×H900 45×45		1	m ²	2,560	28,416	造作 19
ﾗｲﾝﾝｸﾞ 腰壁 木下地	W250×H900 45×45		1	m ²	2,720	4,080	造作 20
ﾗｲﾝﾝｸﾞ 腰壁 耐水ﾌﾗﾝｸ合板	t5.5		1	m ²	2,960	37,296	造作 21
廻縁	米松 15×20 等級:2級 含水率:A種		1	m	1,760	71,456	造作 22
塗装GLめっき鋼板 横葺き	t0.35 KMEW:ｽﾏｰﾄﾞﾏﾙ同等品		1	m ²	10,100	629,230	屋根 14
改質ｱｽﾌﾞﾙﾄｰﾌﾞｲﾝｸﾞ	t1.0		1	m ²	1,040	64,792	屋根 15
水上雨押え			1	m	2,880	35,424	屋根 16
水下唐草			1	m	2,080	25,584	屋根 17
ｸﾞﾗﾌﾞ 雨押え			1	m	2,880	29,376	屋根 18
破風	屋根同材t0.35 現場曲げ加工 糸尺200程度		1	m	3,360	75,264	屋根 19
鼻隠し	屋根同材t0.35 現場曲げ加工 糸尺200程度		1	m	3,360	41,328	屋根 20
雪止め	ｱｸﾘﾙ樹脂焼付塗装 200×60 後付け KMEW:K雪止め金具同等品 SUS304下地共		1	m	5,760	67,968	屋根 21
軒換気金物	鋼板製 城東ｱｸﾉ:軒天換気材(軒先ﾀｲﾌﾟ)同等 品		1	m	2,800	94,080	屋根 22
軒樋	硬質塩化ビニル樹脂製 W110 ｽﾌｰﾙ芯 KMEW:KAKU RK85同等品 落葉除けネット共		1	m	6,560	81,344	屋根 23
落し口	60×60		1	か所	2,480	4,960	屋根 24
堅樋	高耐候性特殊樹脂製 60×60 KMEW:S30同等品		1	m	2,800	19,600	屋根 25
堅樋ﾎﾞｰ			1	か所	660	2,640	屋根 26
外壁 平型ﾙｰﾄ	t5.2 千鳥張り KMEW:ｸﾞﾗｯｼﾝｸﾞﾞﾙ同等品		1	m ²	8,800	614,240	外壁 10
透湿防水ｼｰﾄ			1	m ²	1,360	94,928	外壁 11
非透湿防水紙			1	m ²	1,200	83,760	外壁 12
外壁出隅	ｽﾏｰﾄ出隅		1	m	3,040	31,920	外壁 13
外壁上部水切			1	m	2,880	80,640	外壁 14

開口上部納め見切		1	m	2,880	8,640	外壁 15
開口下部納め見切		1	m	2,880	4,032	外壁 16
開口縦納め見切		1	m	2,880	44,064	外壁 17
外壁土台水切		1	m	2,880	75,744	外壁 18
屋外用樹脂製手摺	平部 H=750 四国化成:セイテイル-ASF型同等品 現場曲げ加工手摺 支柱共	1	m	54,400	141,440	金属 11
屋外用樹脂製手摺	平部 H=1050 四国化成:セイテイル-ASF型同等品 現場曲げ加工手摺 支柱共	1	m	54,400	157,760	金属 12
屋外用樹脂製手摺	斜部 H=750 四国化成:セイテイル-ASF型同等品 現場曲げ加工手摺 支柱共	1	m	54,400	326,400	金属 13
屋外用樹脂製手摺	斜部 H=800~1050 四国化成:セイテイル-ASF型同等品 現場曲げ加工手摺 支柱共	1	m	54,400	326,400	金属 14
屋外用樹脂製手摺	斜部 H=1050 四国化成:セイテイル-ASF型同等品 現場曲げ加工手摺 支柱共	1	m	54,400	38,080	金属 15
額縁	アルミ製 99×25	1	m	5,200	72,800	金属 16
巾木見切	アルミ製	1	m	4,960	186,000	金属 17
壁コーナーガード	ガード:コーナーガード SC50A同等品 ステンレス製下地共	1	m	5,200	17,680	金属 18
ライニング 甲板	ステンレス製 t2.0 W150	1	m	18,400	228,160	金属 19
ライニング 甲板	ステンレス製 t2.0 W250	1	m	22,400	40,320	金属 20
下り壁見切縁	スチール製 W190	1	m	14,400	27,360	金属 21
床舗装用洗い出し仕上	t10	1	m ²	20,800	162,240	舗装洗い出し 4
スロープ 床舗装用洗い出し仕上	t10	1	m ²	22,400	179,200	舗装洗い出し 5
階段舗装用洗い出し仕上	t10	1	m ²	24,000	21,600	舗装洗い出し 6
AW-1 FIX窓	W350×H1400 見込70 性能等級:D種 表面処理:BB-2種	1	か所	90,300	361,200	アルミ製建具 2
SF-1 スチール三方枠	W1620×H2350 見込190	1	か所	209,000	209,000	鋼製建具 2
LSD-1 片引きハックガード	W1050×H2000 見込190 化粧鋼板 キックガードH600 ガラリ付	1	か所	546,000	546,000	鋼製軽量建具 2
TB-1 トイレブース	W1690×H1900 見込40 扉1か所 側面パネル W860×H1900×1枚 メラミン樹脂化粧板 ステンレス製巾木、レック	1	か所	229,000	229,000	トイレブース 3
TB-2 トイレブース	W3020×H1900 見込40 扉3か所 側面パネル W1660×H1900×2枚 メラミン樹脂化粧板 ステンレス製巾木、レック	1	か所	628,000	628,000	トイレブース 4
男子トイレ 隔てブース	W900×H1900 見込40 メラミン樹脂化粧板 ステンレス製巾木	1	か所	76,900	153,800	トイレブース 5
根廻り コンクリート保護撥水材 塗布	コンクリート面 エービーシー商会:ワイルドール-7C同等品	1	m ²	2,480	34,472	撥水材 5

スロープ・土間立上り コンクリート保護撥水材 塗布	コンクリート面 エービーシー商会:ワイティブ ルーフC同等品	1	m ²	2,480	10,912	撥水材 6
立上り笠木 コンクリート保護撥水材 塗布	コンクリート面 W200 エービーシー商会:ワイティブ ルーフC同等品	1	m	500	4,800	撥水材 7
床 散布硬質床	t1.5	1	m ²	9,600	250,560	散布硬質床 3
巾木 散布硬質床立上げ	H300	1	m	3,680	138,000	散布硬質床 4
壁 木片セメント板	t15	1	m ²	2,560	225,024	内装 3
ラインク 腰壁 フレキシブルボード	t6 目透かし	1	m ²	4,160	52,416	内装 4
玉砂利敷	t100	1	m ²	1,920	47,424	玉砂利敷 2
施設名称サイン	W1500×H350×t0.5 SUS HL カッティングシート	1	か所	120,000	120,000	サイン 4
ビクトサイン(壁付)	W200×H200×t0.5 SUS HL カッティングシート	1	か所	41,600	124,800	サイン 5
ビクトサイン(扉付)	カッティングシート	1	か所	14,800	14,800	サイン 6
小便器用手すり	TOTO:T113BU22同等品	1	か所	78,200	78,200	ユニット 8
L型手すり	TOTO:T113BL9同等品	1	か所	43,000	172,000	ユニット 9
L型手すり	TOTO:T113BL11同等品	1	か所	52,900	52,900	ユニット 10
可動式手すり	TOTO:T113HK7R同等品	1	か所	130,000	130,000	ユニット 11
ベビーカー	TOTO:YKA15S同等品	1	か所	92,800	92,800	ユニット 12
ベビーカー	TOTO:YKA25N同等品	1	か所	177,000	177,000	ユニット 13
チェンジングボード	TOTO:YKA41R同等品	1	か所	80,400	80,400	ユニット 14
インターロッキング舗装撤去	t60 砂敷・砕石共 集積共	1	m ²	3,080	58,828	解体 1
側溝撤去	150×150 グレーチング 蓋共 集積共	1	m	1,560	9,984	解体 2
集水桝撤去	400×400 蓋共 集積共	1	か所	7,640	7,640	解体 3
地先境界ブロック撤去	150×150 捨コンクリート共 集積共	1	m	1,240	19,716	解体 4
看板スチールフレーム撤去	W2100×H2400 集積共	1	か所	22,800	22,800	解体 5
とりこわし 発生材処分	無筋コンクリート類	1	t	2,000	27,000	(見積り・刊行物等)
とりこわし 発生材処分	有筋コンクリート類	1	t	2,300	89,700	(見積り・刊行物等)
とりこわし 発生材処分	ガラス・陶器類	1	m ³	20,000	102,000	(見積り・刊行物等)
とりこわし 発生材処分	廃プラスチック類	1	m ³	19,000	1,900	(見積り・刊行物等)
とりこわし 発生材処分	金属類	1	m ³	10,000	2,000	(見積り・刊行物等)

支線材	亜鉛めっき鋼より線22mm2	1	か所	39,700	39,700	(見積り・刊行物等) 積算実務マニュアル P571
発生材処分費	廃プラ類	1	m3	19,000	380	(見積り・刊行物等) 産廃処分先比較表
スクラップ控除	スチール (H ⁺ -H3)	1	t	▲35,000	▲1,750	(見積り・刊行物等) 建設物価 P795
スクラップ控除	銅 (並銅)	1	kg	▲1,485	▲3,712	(見積り・刊行物等) 建設物価 P797
EPH-S-1 電気パネヒーター	ステンレス製壁掛形 暖房能力=0.5Kw	1	台	98,000	98,000	空調機器類 2
FE-S-1 壁用換気扇	格子タイプ 20cm x 200m3/h	1	台	37,300	37,300	換気機器類 3
FE-S-2 壁用換気扇	格子タイプ 20cm x 300m3/h	1	台	37,300	37,300	換気機器類 4
FE-S-3 壁用換気扇	格子タイプ 20cm x 400m3/h	1	台	37,300	37,300	換気機器類 5
洋風大便器	タンク式+洗浄便座+紙巻器	1	組	243,000	972,000	衛生器具類 8
洋風大便器 (バリアフリー用)	タンク式+背もたれ+洗浄便座+紙巻器	1	組	279,000	279,000	衛生器具類 9
コンバート オストメイトパック	電気温水器(3L)付	1	組	574,000	574,000	衛生器具類 10
壁掛ハイバック 洗面器	自動水栓+電気温水器(3L)	1	組	313,000	313,000	衛生器具類 11
床置小便器	押しボタン式フラッシュバルブ	1	組	76,000	456,000	衛生器具類 12
壁掛洗面器	手動式オートストップ 水栓	1	組	60,800	121,600	衛生器具類 13
化粧鏡	耐食鏡、450x750	1	枚	18,800	56,400	衛生器具類 14
取付管工事	150A→排水本管VU150A 公設樹、取付配管材共 車道解体・復旧共	1	式	1,160,000	1,160,000	一次側工事類 3
プラグ止め	40A	1	か所	110	220	プラグ類 1
プラグ止め	80A	1	か所	580	580	プラグ類 2
プラグ止め	100A	1	か所	1,040	1,040	プラグ類 3
配管工事費(給水・南)		1	%	299,650	20,975	スリーブ費等1 - 001
配管工事費(排水・南)		1	%	587,060	41,094	スリーブ費等1 - 002
陶器屑		1	m3	20,000	2,400	(見積り・刊行物等) 産廃処分先比較表 斎藤運輸工業(株)
ビニル屑		1	m3	19,000	3,800	(見積り・刊行物等) 産廃処分先比較表 斎藤運輸工業(株)
鉄スクラップ	H2	1	t	▲35,500	▲355	(見積り・刊行物等) 建設物価_2026_3月_P795
スクラップ 控除	H2	1	t	31,750		刊行物(材) 1
WP塗り	木部 工程B種	1	m2	1,105		刊行物(工) 1
DP塗り (糸幅300mm以下)	鋼製枠面 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	1	m	1,050		刊行物(工) 2

錆止め塗料塗り (糸幅300mm以下)	鋼製建具面(屋内外) 現場2回目 1回目別途	1	m	205	刊行物(工) 3
素地ごしらえ (糸幅300mm以下)	鉄鋼面 工程C種	1	m	140	刊行物(工) 4
WP塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種	1	m	385	刊行物(工) 5
素地ごしらえ (糸幅300mm以下)	木部 工程A種(屋内)	1	m	135	刊行物(工) 6
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	A種 150×200×600 砕石・捨てｺﾝｸﾘｰﾄ共	1	m	6,000	刊行物(工) 16
雨水浸透柵	300×300 蓋共	1	か所	23,700	刊行物(工) 17
RC造建物解体	地上からの解体 圧砕機・ﾊﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰｶ併用	1	m3	12,300	刊行物(工) 9
RC造基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ解体	大型ﾌﾞﾚｰｶ・ﾊﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰｶ併用	1	m3	17,100	刊行物(工) 10
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ解体	大型ﾌﾞﾚｰｶ・ﾊﾝﾄﾞﾌﾞﾚｰｶ併用	1	m2	6,970	刊行物(工) 12
ｷﾞｯｽﾀｰﾞｰﾄ	W6000×H2000 3か月	1	か所	70,600	刊行物(工) 13
ｷﾞｯｽﾀｰﾞｰﾄ	W6000×H2000 6か月	1	か所	92,200	刊行物(工) 14
交通誘導員B		1	人	15,800	刊行物(材) 2
引込開閉器盤	L-M2	1	面	1,335,000	(見積り・刊行物等)
雑材料		1	式	934,500	(見積り・刊行物等)
電灯端子盤	LT-2	1	面	3,022,000	(見積り・刊行物等)
雑材料		1	式	2,115,400	(見積り・刊行物等)
照明器具	A1	1	台	63,300	(見積り・刊行物等)
雑材料		1	式	44,310	(見積り・刊行物等)
照明器具	B1	1	台	85,900	(見積り・刊行物等)
雑材料		1	式	60,130	(見積り・刊行物等)
照明器具	B2	1	台	100,600	(見積り・刊行物等)
雑材料		1	式	70,420	(見積り・刊行物等)
照明器具	C1	1	台	39,900	(見積り・刊行物等)
雑材料		1	式	27,930	(見積り・刊行物等)
照明器具	D1	1	台	68,800	(見積り・刊行物等)
雑材料		1	式	48,160	(見積り・刊行物等)
熱線センサー自動 スイッチ	親機 明るさセンサー付	1	台	16,300	(見積り・刊行物等)

雑材料			1	式	11,410	(見積り・刊行物等)
熱線センサー自動スイッチ	親機 換気扇連動用		1	台	14,600	(見積り・刊行物等)
雑材料			1	式	10,220	(見積り・刊行物等)
熱線センサー自動スイッチ	子機		1	台	9,600	(見積り・刊行物等)
雑材料			1	式	6,720	(見積り・刊行物等)
熱線センサー自動スイッチ	子機 換気扇接続端子付		1	台	10,300	(見積り・刊行物等)
雑材料			1	式	7,210	(見積り・刊行物等)
同上用操作スイッチ	2回路用		1	台	6,200	(見積り・刊行物等)
雑材料			1	式	4,340	(見積り・刊行物等)
同上用露出取付カバー			1	台	830	(見積り・刊行物等)
雑材料			1	式	581	(見積り・刊行物等)
自動点滅器	点灯照度調整付		1	台	6,000	(見積り・刊行物等)
雑材料			1	式	4,200	(見積り・刊行物等)
呼出表示器	1窓 移報接点付 埋込型		1	台	43,600	(見積り・刊行物等)
雑材料			1	式	30,520	(見積り・刊行物等)
呼出ボタン	引きひも付		1	個	13,300	(見積り・刊行物等)
雑材料			1	式	9,310	(見積り・刊行物等)
電源アダプター			1	個	15,800	(見積り・刊行物等)
雑材料			1	式	11,060	(見積り・刊行物等)
リレーボックス			1	個	8,000	(見積り・刊行物等)
雑材料			1	式	5,600	(見積り・刊行物等)
警報ランプ付ブザー	屋外用 100V		1	個	18,300	(見積り・刊行物等)
雑材料			1	式	12,810	(見積り・刊行物等)
エントランスキャップ	ZG28		1	個	3,670	(見積り・刊行物等)
雑材料			1	式	2,569	(見積り・刊行物等)
コンクリート根枷			1	個	5,940	(見積り・刊行物等) 建設物価 P629
雑材料			1	式		(見積り・刊行物等)